

HP デザインジェット 1050C/1055CM ラージフォーマットプリンタ



サービス マニュアル

HP 社内専用

©Copyright Hewlett-Packard Company 1999

本書には、著作権により保護されている情報が含まれています。All rights are reserved. Hewlett-Packard 社の文書による許可なしに、本書の内容の一部または全部を、無断でコピーまたは複製し、ほかの言語に翻訳することは法律で禁止されています。

初版、1999 年 3 月

保証

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

弊社は、本書中のいかなる問題に対しても責任を負いかねます。また、本書に関しては、特定の目的に対する適合性、市場性などについての一切の保証をいたしかねます。

Hewlett-Packard 社は、本文書およびこれに扱われている内容の保管、実施、使用に伴う、またこれから生じる偶然的、結果的損失に責任を負うものではありません。

警告

本書に記載した手順は、HP 認定のサービス員によってのみ実行されるものです。

電気ショックの危険

以下の予防手段を怠ると、感電によって死亡または重症を負う可能性があります。

- 電源コンセント (主電源) に感電防止用のアース端子があることを確認してください。

- 保守を実施する前に、プリンタを電源から切り離します。

- 電子部品またはサーキットの上や、開口部の中のモジュールに、水やその他の液体がかからないようにしてください。

静電気放電

プリンタ サーキットの損傷や静電気放電を防止するために必要な注意事項については、本書の第 8 章の最初の部分を参照してください。

安全シンボル

安全シンボルの一般定義については、目次のすぐ後に記載しています。

警告

このシンボルは、操作方法や実行内容に注意を要することを意味します。この指示に従わなかったり、操作が正しく実行されなかった場合は、人身事故の発生する恐れがあります。指示内容を十分に把握し、安全であることを確認するまでは、このシンボルより先に進まないでください。

注意

このシンボルは、操作方法や実行内容に注意を要することを意味します。この指示に従わなかったり、操作が正しく実行されなかった場合は、製品の一部分あるいは全体に損傷をきたす恐れがあります。指示内容を十分に把握し、安全であることを確認するまでは、このシンボルより先に進まないでください。

Technical Marketing,
Barcelona Division
Hewlett-Packard Espanola, S.A.
Avda. Graells, 501
08190 Sant Cugat del Valles
Spain

HP デザインジェット 1050C/1055CM ラージフォーマットプリンタ



サービス マニュアル

本書の使い方

目的

本サービス マニュアルには、テスト、校正、およびサービスに必要な情報が記載されています。

- HPデザインジェット1050Cプリンタ (モデル C6074A)
- HPデザインジェット1055CMプリンタ (モデル C6075A)

上記のプリンタの使用方法に関する情報は、対応する『ユーザーズ ガイド』および『クイック レファレンス ガイド』を参照してください。

対象者

本サービス マニュアルに記載した手順は、HP認定のサービス員によってのみ実行されるものです。

部品番号

プリンタ オプション、アクセサリ、およびサービス部品の部品番号は、第7章に記載してあります。

凡例

小さい矢印 ⇒ は、参照しているトピックの関連情報が本サービス マニュアルの他の場所に記載されている場合に、そのページ番号を示すのに使用されます。

目次

トラブルの解決 1-1

はじめに 1-2

システム エラー コードに関するトラブルの解決 1-2

不良アッセンブリに対するサービス テストの実施 1-3

必要なサービス校正の実施 1-3

イメージ品質に関するトラブルの解決 1-3

電源を入れるとフロントパネルのLEDが一瞬点灯するだけで何も起こらない 1-4

プリンタの電源が入らない 1-5

フロントパネルのLEDがすべて点灯するが何も起こらない 1-5

フロントパネルでいずれかの出力品質LEDが点灯し (他にはなし)、「セルフテスト...」のメッセージが表示される 1-5

プリントヘッドが連続して認識されない 1-6

カバー センサが動作していない 1-6

ライン センサが用紙を正しく検出できない 1-6

用紙詰まり/プリントヘッド クラッシュに関するトラブルの解決 1-7

シャットダウンに関するトラブルの解決 1-7

バキューム ファンに関するトラブル 1-9

高所での吸引力の低下について 1-9

HP光沢紙の印刷面にスタッカの跡が付く 1-10

コート紙を使用した高濃度印刷におけるプリントヘッドのクラッシュ / 汚れ 1-10

HP光沢紙に印刷したものを重ねると色相が変わる 1-11

HPデザインジェット プリンタの種類によるHP-GL/2カラーの違い 1-12

NTP、ベラム紙、光沢紙の印刷面にこすった跡が付く 1-12

極端な動作環境下で発生する帯状のムラ 1-13

印刷中のインク カートリッジ交換による帯状のムラ 1-13

HP光沢紙における時間の経過に伴うインクのにじみと色相の変化 1-13

HP光沢フォト用紙への印刷直後の光沢の低下 1-14

34インチライス ペーパーについて (非対応) 1-14

カット紙のライス ペーパーの取り付け不良 1-14

HPコート紙上の薄い塗りつぶしにミミズのような跡が付く 1-14

用紙の取り扱いに関するトラブルの解決 1-15

フロントパネル メニューの操作方法 1-16

サービス構成プリント 1-20

システム エラー コード 2-1

はじめに 2-2

使用継続可能および使用継続不可能のエラー コード 2-2

初期化中のシステム エラー コード 2-19

HP No.80 インクサプライ品のトラブル の解決 3-1

HP No.80 サプライ品とは? 3-2

インク カートリッジ 3-2

プリントヘッドとプリントヘッド クリーナ 3-2

コンポーネントの認識 3-3

HP No.80 サプライ品に関する一般情報 3-4

HP No.80 サプライ品を扱うときの一般的な事前注意 3-5

インク システムのプライミング 3-5

いつHP No.80 サプライ品を交換するのか? 3-6

フロントパネル ディスプレイ 3-7

インク カートリッジの情報を得る 3-8

プリントヘッドの情報を得る 3-9

インク カートリッジのステータス メッセージ 3-11

印刷中のインク カートリッジのステータス 3-11

交換中のインク カートリッジのステータス 3-11

印刷中のプリントヘッドのステータス メッセージ 3-12

交換中のプリントヘッドのステータス メッセージ 3-15

HP No.80 サプライ品のトラブル解決の要約 3-17

キャリッジ接点クリーナ 3-18

サービス テストおよびユーティリティ 4-1

サービス テスト (診断) 4-3

「サービス テスト」 メニューの表示 4-4

1. Electronic Systems (電気テスト) 4-5

2. EIO Card (EIOネットワーク カードのテスト) 4-11

3. Hard Disk Drive (ハードディスク ドライブのテスト) 4-13

4. Ink Pressure System (インク プレッシュ システムのテスト) 4-15

5. Scan Axis (スキャン軸のテスト) 4-18

6. Paper Axis (用紙軸のテスト) 4-21

7. Drop Detector (ドロップ検出のテスト) 4-23

サービス ユーティリティ 4-26

「サービス ユーティリティ」 メニューの表示 4-27

1. Tubes Purge (チューブ内の空気を除去) 4-29

2. Release Info (リリース情報) 4-33

3. Set Asian PS Fonts (アジアPSフォントの設定) 4-34

4. Printer Model Type (プリンタ モデル タイプの設定) 4-36

5. Overdrive Cleaning (オーバードライブのクリーニング) 4-38

6. EEROM Utilities (EEROMユーティリティ) 4-39

7. Printhead Check (プリントヘッド チェックの設定) 4-42

8. Mon. Mode Baud Sel. (モニタ モード ボーレート選択) 4-43

9. Reset Num. Cycles (Carriage Cycleカウンタのクリア) 4-44

サービス校正 5-1

サービス校正 5-2

「サービス校正」 メニューの表示 5-4

1. Accuracy Calibration (精度校正) 5-6

2. Line Sensor (ライン センサの校正) 5-9

3. Service Station (サービス ステーションの校正) 5-11

4. Roller Mark Position (ローラー マーク位置の校正) 5-13

5. Pen to Paper Spacing (ペンと用紙間の校正) 5-15

6. Color to Color Calibration (カラー間の校正) 5-16

7. Calibration Backup (校正のバックアップ) 5-19

8. Pen Alignment (ペンの軸合わせ) 5-22

キャリッジ高さの校正 5-24

出力品質 6-1

- 出力品質のトラブル解決チェックリスト 6-2
- 印刷モード 6-3
- 出力品質テストの使用方法 6-4
- 出力品質テストとは 6-4
- 出力品質テストを印刷する際の注意 6-4
- 出力品質テストの印刷 6-4
- ノズルの印刷テスト 6-6
- ノズルの不具合の修正方法 6-7
- カラーの軸合わせプリント テスト 6-7
- カラーの軸合わせのトラブルの解決 6-8
- 高品質モードでの全体的な出力品質テスト 6-9
- 帯状のムラとは？ 6-9
- 帯状のムラのトラブルの解決 6-10
- プリントヘッドの軸合わせ 6-12
- サービス精度校正 6-12
- 出力品質のトラブルの解決 6-13
- 段差のある線のトラブル 6-13
- 印刷した線のトラブル 6-14
- カラー間の軸合わせのトラブル 6-15
- 水平方向の線のトラブル (帯状のムラ) 6-17
- 出力品質テストでトラブルの原因が見つからなかった場合 6-21
- カラー精度のトラブルの解決 6-22
- カラー濃度のトラブル 6-22
- 時間の経過に伴うカラーのにじみ (光沢紙) 6-22
- カラー精度設定 6-23
- 用紙 6-24
- 印刷された用紙に汚れやきずが発見された場合 6-24

Parts and Diagrams 7-1

Printer Support 7-2
Rear Covers 7-4
Electronics Module 7-6
Right Hand Cover 7-8
Left Hand Cover and Window 7-10
Right Hand Assemblies 7-12
ISS and APS Assembly 7-14
Clutch Assembly 7-16
Carriage Assembly 7-18
Scan-Axis Assemblies 7-20
Drive Roller and ARSS Miscellaneous Parts 7-22
Paper Path Assemblies 7-24
Pinch Assembly 7-26
Drive Roller Assemblies 7-28
Center Guide and Media Sensor 7-30
Tubes Guide Assemblies 7-32
Ordering Accessories 7-34

取り外しと取り付け 8-1

はじめに 8-2
安全のための注意 8-2
静電気放電 (ESD) に関する注意 8-3
必要な工具 8-3
右側カバー 8-4
フロントパネル アッセンブリ 8-6
右側トリムとウィンドウ スイッチ 8-7
サービス ステーション アッセンブリ 8-8
ドロップ検出アッセンブリ 8-10
バキューム ファン 8-11
用紙軸モーター アッセンブリ 8-12
左側カバー 8-13
左側トリム アッセンブリ 8-18
インク サプライ ステーション アッセンブリ (ISS) 8-19
エアー プレシャライゼーション システム (APS) 8-20
クラッチ アッセンブリと左側のその他の部品 8-21
テイルデフレクタとリアー プラテン 8-24
左リアー カバーと右リアー カバー 8-25
エレクトロニクス モジュール 8-26
メディア センサ 8-30
ウィンドウ 8-31
トップ カバー 8-32
バック カバー 8-33
スキャン軸モーター アッセンブリ 8-34
エンコーダ ストリップ 8-35

テンショナ	8-38
トレーリング ケーブル	8-40
カッター アッセンブリ	8-44
キャリッジ アッセンブリとベルト	8-46
チューブ システム アッセンブリ	8-55
インク漏れ検知アッセンブリ	8-62
フロント プラテン アッセンブリ	8-64
プラテン アッセンブリ	8-65
給紙アッセンブリ	8-66
ローラー ガイド	8-68
メディア ホルダ ストリップ	8-71
ドライブ ローラー	8-72
センタ ガイド	8-73
ピンチホイール アッセンブリとカム	8-75

予防保守 9-1

プリンタの湿気	9-2
キャリッジブッシングの騒音	9-2
ベルトの膨張	9-2
プリンタのクリーニング	9-2
一般クリーニング	9-2
Overdrive Cleaning (オーバードライブのクリーニング)	9-3
予定保守	9-3
プリンタ使用レベル	9-3
スキャン軸の保守	9-4

機能の概要 10-1

はじめに	10-2
HPデザインジェット1050Cプリンタ	10-2
HPデザインジェット1055CMプリンタ	10-2
エレクトリカル システム	10-2
電源ユニット (PSU)	10-3
ソフト パワー オフ スイッチ	10-4
フロントパネル	10-4
インク デリバリ システム (IDS)	10-5
インク サプライ ステーション (ISS)	10-5
チューブ システム	10-6
エアー プレシャライゼーション システム (APS)	10-7
インク レベル センス (ILS)	10-8
インク漏れ検知システム (LDS)	10-9
サービス ステーション	10-9
プリント ヘッド クリーナ (PHC)	10-10
Printer Specifications	10-13
Printable Area	10-17
Interface Specifications	10-18
法定規格通知	10-19
Material Safety Data Sheet (MSDS) の入手方法	10-19
サウンド	10-19
電磁整合性 (EMC)	10-19
VCCI Class A and Class B (Japan)	10-22
Declaration of Conformity	10-23
www.designjet-online.hp.com	10-24

用語集

索引

トラブルの解決

1

- はじめに 1-2
- システム エラー コードに関するトラブルの解決 1-2
- 不良アッセンブリに対するサービス テストの実施 1-3
- 必要なサービス校正の実施 1-3
- イメージ品質に関するトラブルの解決 1-3
- 電源を入れるとフロントパネルのLEDが一瞬点灯するだけで何も起こらない 1-4
- プリンタの電源が入らない 1-5
- フロントパネルのLEDがすべて点灯するが何も起こらない 1-5
- フロントパネルでいずれかの出力品質LEDが点灯し (他にはなし)、
「セルフテスト…」のメッセージが表示される 1-5
- プリントヘッドが連続して認識されない 1-6
- カバー センサが動作していない 1-6
- ラインセンサが用紙を正しく検出できない 1-6
- 用紙詰まり/プリントヘッド クラッシュに関するトラブルの解決 1-7
- シャットダウンに関するトラブルの解決 1-7
- バキューム ファンに関するトラブル 1-9
- 高所での吸引力低下について 1-9
- HP光沢紙の印刷面にスタッカの跡が付く 1-10
- コート紙を使用した高濃度印刷におけるプリントヘッドのクラッシュ/汚れ 1-10
- HP光沢紙に印刷したものを重ねると色相が変わる 1-11
- HPデザインジェット プリンタの種類によるHP-GL/2カラーの違い 1-11
- NTP、ベラム紙、HP光沢紙の印刷面にこすった跡が付く 1-12
- 極端な動作環境下で発生する帯状のムラ 1-13
- 印刷中のインク カートリッジ交換による帯状のムラ 1-13
- HP光沢紙における時間の経過に伴うインクのにじみと色相の変化 1-13
- HP光沢フォト用紙への印刷直後の光沢の低下 1-14
- 34インチライス ペーパーについて (非対応) 1-14
- カット紙のライス ペーパーの取り付け不良 1-14
- HPコート紙上の薄い塗りつぶしにミミズのような跡が付く 1-14
- 用紙の取り扱いに関するトラブルの解決 1-15
- フロントパネル メニューの操作方法 1-16
- サービス構成プリント 1-20

プリンタのトラブル解決のためのガイド

はじめに

この章では、プリンタのトラブルを解決するための適切な手順について紹介します。

システム エラー コードに関するトラブルの解決

第2章 - システム エラー コードには、システム エラー コードのリストと、それぞれについての説明および推奨の対処方法が記述されています。推奨される操作を一度に1つ実行して、そのエラー コードが表示されなくなるかどうか点検してください。

この『サービス マニュアル』に記載されていないエラー コードがある場合や、自分で解決できないエラーがある場合は、そのエラーをHPレスポンス センタまたは最寄りのHPサポート窓口に報告してください。エラーを報告するときは、次の情報を準備してください。

- プリンタのモデル番号とシリアル番号。
- プリンタが使用しているファームウェアのバージョン (以下の注記を参照)。「ユーティリティ / ジョウハウ / ROMバージョン」でファームウェアのバージョンを確認してください。
- 完全なエラー番号 (以下の注記を参照)。
- サービス構成プリント ⇒ 1-20 ページ
- 現在の設定シート。
- カスタマが使用しているソフトウェア アプリケーション (名前、バージョンなど)。

注記

システム エラー コードを報告する場合は、必ず完全なエラー コード (該当する場合は、最後の8つの数字も含めて) とファームウェアのバージョンを提示するようにしてください。この情報がないと、HPの担当者がサポートを提供できません。

不良アッセンブリに対するサービス テストの実施

可能な場合は、交換する部品/アッセンブリに必ずサービス テストを実施し、その部品/アッセンブリが不良であることを確認します。

注記

部品/アッセンブリがテストに合格した場合は、交換を中止します。

サービス テストとその使用方法については、第 4 章 - サービス テストおよびユーティリティを参照してください。

必要なサービス校正の実施

部品の交換後、プリンタを正しく校正しましたか？ 校正がいつ必要かについては、5-2 ページの表を参照してください。

注記

あるアッセンブリを、別のアッセンブリや部品を調べるために分解した場合でも、校正が必要となる場合がありますので注意してください。

サービス校正とその使用方法については、第 5 章 - サービス校正を参照してください。

イメージ品質に関するトラブルの解決

イメージ品質に関するトラブルが発生した場合は、イメージ品質プリントを印刷すると、トラブルを診断するのに役立ちます。イメージ品質プリントは、プリントヘッドのエラーを検出します。また、フロントパネルの誤った選択、ドライバやRIPの設定、機械的なトラブルも検出できます。イメージ品質トラブルの解決については、第 6 章 - 出力品質を参照してください。

電源を入れるとフロントパネルのLEDが一瞬点灯するだけで何も起こらない

電源装置によってショートが検出されたため、電源が切られています。

- 1 ハードディスク ドライブまたはネットワーク カードの不良と考えられます。以下の手順でトラブルを解決してください。
 - a プリンタにハードディスク ドライブまたはネットワーク カード (またはその両方) が取り付けられている場合は、プリンタ背面の電源スイッチを切り、これらを取り外します。
 - b 再びプリンタの電源スイッチを入れます。
 - c この状態でプリンタが正しく動作する場合は、再びプリンタの電源スイッチを切り、ネットワーク カードを正しく取り付け直します。2本の取り付けネジが完全に締まっていることを確認してください。

注記

ハードディスク ドライブとネットワーク カードを取り外してもプリンタが正しく動作しない場合は、エレクトロニクス モジュールを交換する必要があります。

- d 再びプリンタの電源スイッチを入れます。
- e ネットワーク カードを取り付けた状態でプリンタが正しく動作する場合は、再びプリンタの電源スイッチを切ります。

注記

ネットワーク カードを取り付けた状態でプリンタが正しく動作しない場合は、ネットワーク カードを交換する必要があります。

- f ハードディスク ドライブを正しく取り付け直します。2本の取り付けネジが完全に締まっていることを確認してください。
- g 再びプリンタの電源スイッチを入れます。
- h ハードディスクを取り付けた状態でプリンタが正しく動作するかを点検します。

注記

ハードディスク ドライブを取り付けた状態でプリンタが正しく動作しない場合は、ハードディスク ドライブを交換する必要があります。

- 2 エレクトロニクス モジュールに接続されているすべてのケーブルを点検し、カバーとサイドプレートの間にはさまっていないことを確認してください。

プリンタの電源が入らない

- 1 プリンタおよび電源ソケットに電源コードが正しく接続されているかを点検します。
- 2 ファームウェアDIMMが、プリンタ背面の正しいスロット (一番右のスロット) に正しく取り付けられているかを点検します。
- 3 プリンタ背面の電源スイッチがオンの位置にあるかを点検します。
- 4 フロントパネル ケーブルがエレクトロニクス モジュールに正しく接続されているかを点検します。また、フロントパネル ケーブルが損傷していないかを点検します。

フロントパネルのLEDがすべて点灯するが何も起こらない

ファームウェアDIMMが正しく取り付けられていません。

- 1 プリンタ背面の電源を切って、電源コードを取り外します。ファームウェアDIMMを再配置し (一番右のスロット)、正しく取り付けられていることを確認します。

フロントパネルでいずれかの出力品質LEDが点灯し (他にはなし)、「セルフテスト...」のメッセージが表示される

DRAM DIMMのいずれかが正しく取り付けられていないか、または不良です。

- 1 プリンタ背面の電源を切って、電源コードを取り外します。両方のDRAM DIMMを再配置し (一番左の2つのスロット)、正しく取り付けられていることを確認します。DRAM DIMM を再配置してもトラブルが解決しない場合は、DRAM DIMMを交換してください。

プリントヘッドが連続して認識されない

- 1 キャリッジ接点クリーナ (第3章を参照) を使って、プリントヘッドの接点部分およびキャリッジアセンブリの接点部分をクリーニングしてから、もう一度試してください。
- 2 プrintヘッドがすべて認識されない (フロントパネル上のステータス メッセージが、すべてのプリントヘッドについて「OK」を表示しない) 場合は、Electronics System Test (電気テスト) を実施します ⇒ 4-5 ページ

カバー センサが動作していない

- 1 動作不良のセンサが正しくインストールされているかを点検します。
- 2 動作不良のセンサのケーブルが正しく接続されているかを点検します。
- 3 動作不良のセンサを交換します。

ライン センサが用紙を正しく検出できない

- 1 使用されている用紙の種類を調べてください。透明な用紙や特定の種類の非HP製用紙が使用されていると、ライン センサによって正しく検出されない場合があります。プリンタにHP普通紙を取り付け、検出されるかどうかを調べます。
- 2 プラテンの表面に多量のインクが溜まっていると、光の反射によってセンサが誤動作する場合があります。プラテンをクリーニングしてください。
- 3 ライン センサが正しく校正されていません。Line Sensor calibration (ライン センサの校正) を実施してください。⇒ 5-9 ページ
- 4 ライン センサが損傷しているか、または故障しています。キャリッジアセンブリを交換します。⇒ 8-46 ページ

用紙詰まり/プリントヘッド クラッシュに関する トラブルの解決

注記

HP コート紙の使用時に問題が発生している場合は、1-10 ページ「コート紙を使用した高濃度印刷におけるプリントヘッドのクラッシュ/汚れ」も参照してください。

用紙詰まりが発生する多くの場合は、用紙がキャリッジの移動する部分で持ち上がり、ヘッド クラッシュを引き起こします。用紙詰まりによる動作不良の多くは、ヘッド クラッシュとして報告されるため、「用紙詰まり」と「ヘッド クラッシュ」は同様の問題にまとめられます。

- 1 用紙を取り付けるときに用紙詰まりが発生している
 - 用紙詰まりを起こしている場合、用紙経路に用紙の切れ端が詰まっていることがよくあります。用紙経路から切れ端を取り除いてください。

注記

用紙詰まりを除去するとき、用紙経路に紙が詰まっていることがあります。これを取り除くには、用紙セット ハンドルを持ち上げ、用紙経路に厚めの用紙を差し込んで、詰まっている紙を押し出します。

- 2 非HP製の用紙を使用している
 - 非HP製の用紙を使用すると、用紙詰まりやヘッド クラッシュの原因になります (特にヘッド クラッシュが発生しやすくなります。HP製の用紙は、ヘッド クラッシュの主な原因の1つであるシワの発生を抑えるため、特殊な製法で作られています)。用紙がHP公認のものでない場合は、カスタマにHP用紙の使用を勧め、これによって問題が解決するかどうかを調べます。
- 3 センタ プラテンとの位置関係において、キャリッジの高さが間違っています。キャリッジを正しい高さに調整し ⇒ 5-24 ページ、用紙の取り付けをもう一度試してください。
- 4 バキューム ファンが正しく動作するか点検します - 1-9 ページ「バキューム ファンに関するトラブル」を参照。

シャットダウンに関するトラブルの解決

シャットダウンが発生すると、「デンゲンヨキッテ...」に続いて次のようなメッセージが表示されます。

- プリントヘッドクリーナノ ケイロヲチェックシテクダサイ
- ヨウシノ ケイロヲ チェックシテクダサイ
- プリントヘッドノ ケイロヲ チェックシテクダサイ ((1)、

(2)、または(3))

シャットダウンの発生した経路によって、以下のように、トラブルを解決するための手順が異なります。

警告

いずれの場合も、トラブル解決の手順を実行する前に、プリンタの電源を切ってください。

プリントヘッド クリーナの経路

- 1 プリンタの右の扉を開けて、サービス ステーションの動きを妨げるものがないかを点検します。サービス ステーションを手で動かし、滑らかに自由に動くかを点検します。

用紙の経路

- 1 ウィンドウを開けて、ドライブ ローラーの動きを妨げるものがないかを点検します。用紙経路の内部で用紙がシワになって詰まっている場合は、ピンチ ホイールを持ち上げて(用紙セット ハンドルを使用) 障害物を取り除きます。用紙に手が届かない場合は、プリンタ後部のエレクトロニクス モジュール(⇒ 8-26 ページ)とローラー ガイド(⇒ 8-68 ページ)を取り外すと、手が届きやすくなります。
- 2 シャットダウンがロール紙の巻き終わりの部分で発生した場合は、用紙がロールにしっかりとくっついてはなれないことが原因になっている可能性があります。ピンチ ホイールを持ち上げ(用紙セット ハンドルを使用)、用紙を引っ張り出してください。
- 3 用紙スピンドルが壊れていれば、交換します。
- 4 用紙軸モーターを交換します ⇒ 8-12 ページ

プリントヘッドの経路

シャットダウンがプリントヘッドの経路で発生した場合は、「デングエンヨキッテプリントヘッドノ ケイロヲ テンケンシテクダサイ(*)」というメッセージが表示されます。(*)の部分には、故障が発生している場所を示す番号が入ります。

PWMシャットダウン (1) および 電力シャットダウン (3)

- 1 スライダ ロッドをクリーニングし、スライダ ロッドの軸全体にオイルを塗布します。オイルを塗布した後、スキャン軸テストを実施し ⇒ 4-18 ページ、値が許容範囲内にあるかを点検します。
- 2 スキャン軸モーターを交換します ⇒ 8-34 ページ

速度シャットダウン (2)

- 1 ウィンドウを開けて、キャリッジアッセンブリの動作を妨げるものがないかを点検します。キャリッジアッセンブリを手で動かしみて、滑らかに自由に動くかを点検します。
- 2 エンコーダ ストリップが汚れていないかを点検します。必要ならば、濡らした布でクリーニングします。

バキューム ファンに関するトラブル

ロール紙またはカット紙のいずれかを取り付けるときにトラブルが発生する場合は、バキューム ファンにトラブルがある可能性があります。バキューム ファンのトラブルであることを確認するには、以下の手順を実行してください。

- 1 プリンタの電源を入れた状態でウィンドウを開け、センタプラテン上の青い線に合わせてHP光沢フォト用紙(Dサイズ)を1枚配置します。バキューム ファンによって用紙が正しい位置に保持され、正しくセットされる場合は、バキューム ファンは正しく機能しています。バキューム ファンが用紙を正しい位置に保持しない(吸引力がない)場合は、以下の方法を試してみてください。
 - センタ プラテンの穴がふさがっていないかを点検します。
 - バキューム ファンが正しく取り付けられているかを点検します。
 - バキューム ファンを交換します ⇒ 8-11 ページ
- 2 バキューム ファンが用紙を正しい位置に保持しているのに、正しくセットできない場合は、オーバードライブにトラブルがある可能性があります。この場合は、プラテンアッセンブリを交換してください。⇒ 8-65 ページ

高所での吸引力低下について

3,000メートルを超える高所では、用紙を保持する吸引力が低下するため、用紙を正しい位置に保持することができず、次のような現象が発生します。

- 用紙上にインクの汚れが見られる。
- プリントヘッドが用紙にあたる。
- カット紙の取り付けエラー (可能性高い)。
- ロール紙の取り付けエラー (可能性低い)。

プリンタの制限事項 - 解決法はありません。

HP光沢紙の印刷面にスタッカの跡が付く

HP光沢紙の印刷面を用紙スタッカに排出すると、ひっかき傷が付きやすくなります。

このトラブルを解決するには、以下の方法を試してみてください。

- カスタマに、プリンタに付属の用紙スタッカ カバーを使用してトラブルを回避するように勧めます。
- 可能ならば、出力結果を手で支え、用紙がスタッカ内に落ちないようにするという方法を勧めます。

コート紙を使用した高濃度印刷におけるプリントヘッドのクラッシュ / 汚れ

高濃度印刷は、主にHPコート紙においてシワの原因となる場合があります。主として、次の2つのトラブルが発生します。

1. 境界部分のシワ - プリンタがコート紙上に乗せるインクの量が多すぎると、インク領域との境界部分が盛り上がり、プリントヘッドが用紙に接触する原因となります。このトラブルを解決するには、以下の方法を試してみてください。
 - フロントパネルで「**インクヲ セイゲンスル**」の設定がオンかオフかを点検します。オフになっている場合は、オンに切り換えます。
 - フロントパネルまたはドライバのいずれかで、用紙のマージンを15mmに変更します。PostScriptイメージを印刷するカスタマには、マージンを15mmに拡張したPPDファイルを送付してください。
2. 印刷領域内のシワ - プリンタが印刷領域内に乗せるインクの量が多すぎると、用紙が波うち、プリントヘッドによって用紙が汚れる原因となります。このトラブルを解決するには、以下の方法を試してみてください。
 - フロントパネルで「**インクヲ セイゲンスル**」の設定がオンかオフかを点検します。オフになっている場合は、オンに切り換えます。
 - 高濃度印刷には、HPコート紙を使用せず、代わりにHP厚手コート紙を使用します。

HP光沢紙に印刷したものを重ねると色相が変わる

HP光沢紙に印刷したものを重ねて置いた場合、重なった部分とそうでない部分では、色相が違って見えます。これは、空気に晒されている部分が重なっている部分よりも常に薄い色になるためです。重なっている部分ではインクが蒸発しないため、インクが広がり続け、大きなドットになります。このトラブルを解決するには、以下の方法を試してみてください。

- 出力結果を重ねる前に完全に乾かすようにします。これには、インクの濃度によって、10分から3時間かかります。
- より乾燥した環境条件にすると、症状が改善します。環境条件を調べるには、サービス構成プリントを印刷します (プリンタ セットアップ メニュー / ユーティリティ / テスト プリント / サービス コウセイ)。

HPデザインジェット プリンタの種類によるHP-GL/2カラーの違い

HPデザインジェット1000シリーズとその他のデザインジェットプラットフォームとの間で、印刷されたイメージに色の違いが見られるのは、1000シリーズのインクの成分が他のプリンタと異なるためです。HPデザインジェットシリーズのプリンタの種類によって色が変わるのは、従来からの現象です。このトラブルを解決するには、以下の方法を試してみてください。

- 印刷時に、ドライバでカラー校正を実施します。この校正はあまり正確ではありませんが、厳密なケースでは役に立つ場合があります。
- アプリケーションによっては、カラー制御機能があり、ユーザがイメージを修正して好きな色を作成できるようになっています。
- PostScriptで印刷すると、症状が大幅に改善します。
- 光沢紙への印刷後、極端な環境条件にあまり長い時間置かないようにします (湿度が80%の場所に12時間以上置くと、深刻な色の変化が起こります)。

NTP、ベラム紙、HP光沢紙の印刷面にこすった跡が付く

セット ハンドルや用紙ロールに触れてしまうことがあり、まだ印刷されていない部分にインクが付いたり、実際の出力結果が損なわれます。この現象は、主にモノクロ・カラー・トレーシング ペーパー (NTP)、ベラム紙、HP光沢紙で発生します。このトラブルを解決するには、以下の方法を試してみてください。

- フロントパネルで乾燥時間の設定を長くします (『ユーザーズ ガイド』の**第3章**「用紙の取り扱い」を参照)。
- 新しいロール紙を取り付けます。

極端な動作環境下で発生する帯状のムラ

精度の校正は通常的环境条件で行われているため、極端な環境条件で印刷すると、ドライブ ローラーの送り量が校正実施時の条件と一致しないため、帯状のムラが発生します。このトラブルを解決するには、次の方法を試してみてください。

- 現在の環境条件で精度の校正をやり直します（『ユーザーズ ガイド』の第8章「プリンタの設定」を参照）。

印刷中のインク カートリッジ交換による帯状のムラ

印刷中にユーザがインク カートリッジを取り外したために、プリンタが停止しています。インク カートリッジをすぐに交換しなかった場合、プリンタが印刷を再開したとき、その場所に帯状のムラが発生します。この帯は、濡れたインクが用紙上の乾燥したインクと反応して発生するものです。このトラブルを解決するには、以下の方法を試してみてください。

- 印刷中はインク カートリッジを取り外さないでください。インク カートリッジの交換や取り外しは、印刷の合間に行うようにします。
- カスタマがフロントパネルの「インクギレ」のステータスによってインク カートリッジを交換している場合は、「スグニ ナクナリマス」のステータスが表示された時点で交換するように勧めます。

HP光沢紙における時間の経過に伴うインクのにじみと色相の変化

高湿度の環境 (約65%以上)では、用紙をコーティングしている親水性の高いポリマが空気中の水分を吸収しやすくなります。このため、染料がコーティングを通して広がり、にじみの原因となります。この現象は、マゼンタを含む色で特に顕著です。このトラブルを解決するには、以下の方法を試してみてください。

- プリンタを使用する環境の湿度を下げます (65%以下)。湿度レベルを調べるには、サービス構成プリントを印刷します (プリンタ セットアップ メニュー / ユーティリティ / テスト プリント / サービス コウセイ)。

HP光沢フォト用紙への印刷直後の光沢の低下

用紙の乾燥中は、出力結果の光沢が低下しますが、徐々に光沢が高くなり、最終的な光沢レベルに達します (インクの濃度によって10～60分)。以下の方法を試してみてください。

- 高い光沢になるまで最低60分待ちます。

34インチライス ペーパーについて (非対応)

ロール長が34インチ (非標準) になっているため、ピンチホイールが用紙の端を制御できません。このため、塗りつぶしの有無にかかわらず、印刷領域内でインクの汚れやプリントヘッドのクラッシュが発生します。

プリンタの制限事項 - 解決法はありません。

カット紙のライス ペーパーの取り付け不良

薄いライス ペーパーは、センタ プラテンの溝とリニア ブレード リッジに吸入されます。これは、センタ プラテンとライス ペーパーとの間の摩擦が、オーバードライブ ホイールと用紙の場合よりも高くなることを意味します。このため、吸引力が強すぎて、ライス ペーパーを正しく取り付けるのはほとんど不可能です。

プリンタの制限事項 - 解決法はありません。

HPコート紙上の薄い塗りつぶしにミミズのような跡が付く

薄い塗りつぶしの部分に、用紙軸の方向に薄い帯 (S字型) が残り、イメージ品質が著しく損なわれます。

- サービス構成プリントを印刷し (⇒ 1-20 ページ)、湿度が極端に低くないか (30%以下) を点検します。湿度を上げると、症状が改善する場合があります。

注記

トラブルの原因は、プリンタではなく用紙です。このトラブルを解決しようとして、プリンタの部品を交換しないでください。

用紙の取り扱いに関するトラブルの解決

プリンタのフロントパネルに用紙の取り付けエラーが続
けて表示される

ロール紙

- ロール紙が正しく取り付けられていません。用紙は手前側に巻くように取り付けます。
- 用紙が斜めに取り付けられています。用紙の右端が、エントリ ローラー上の白い線と平行になるようにしてください。

警告

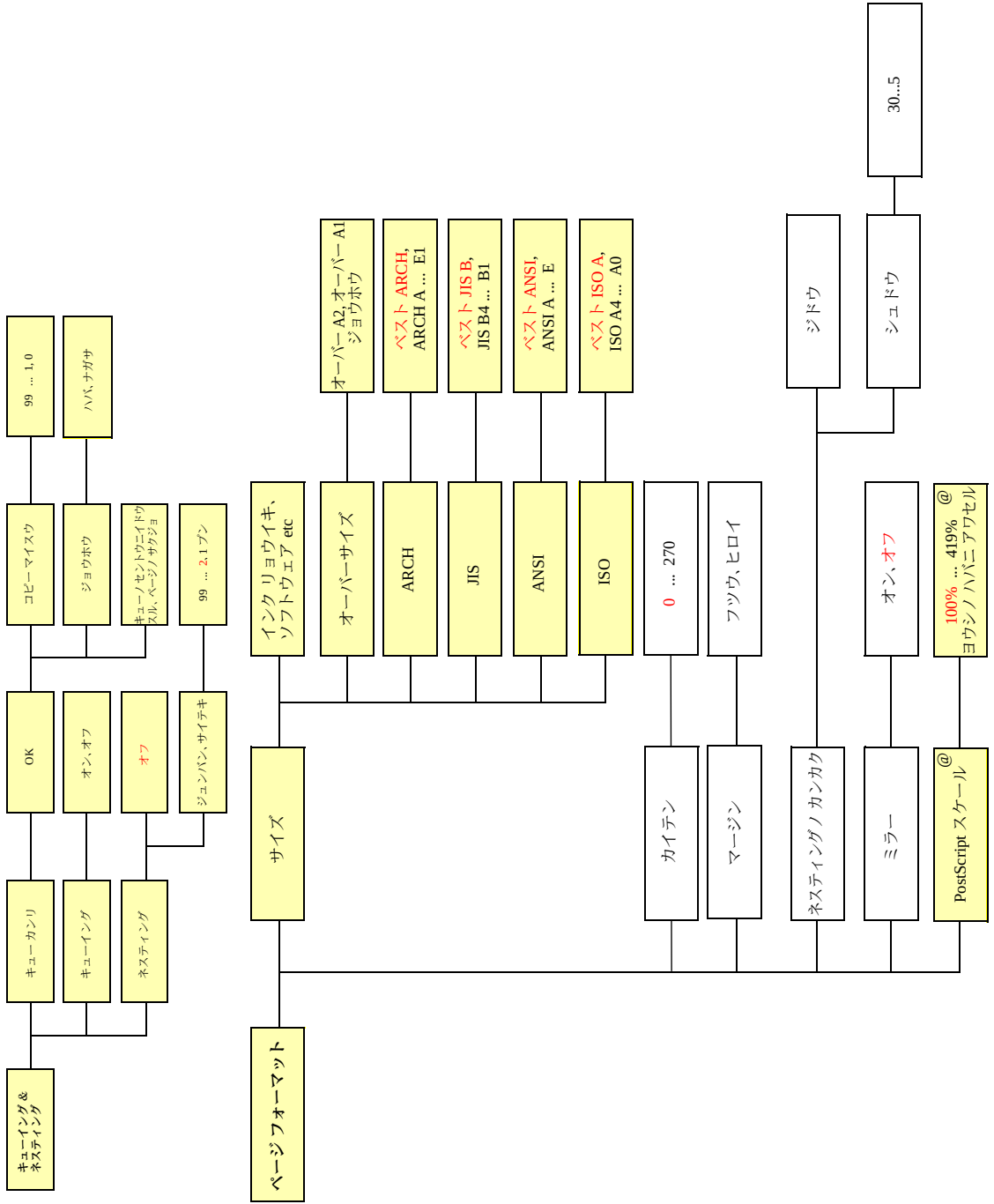
用紙がロールにしっかり巻かれていることを確認します。これを怠ると、用紙が斜めに取り付けられ、用紙が排出される原因となりますので、忘れずに確認してください。

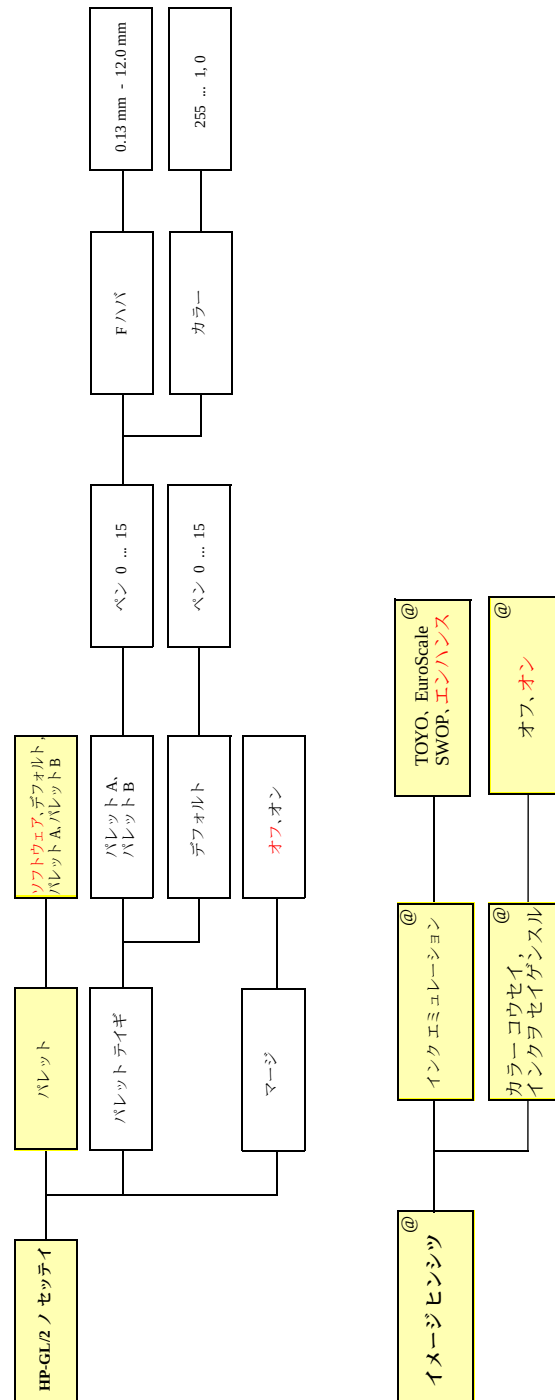
- 手動による軸合わせの手順 (『ユーザズ ガイド』を参照) を実行します。
- 用紙がスピンドル上に正しく取り付けられているかを点検します。

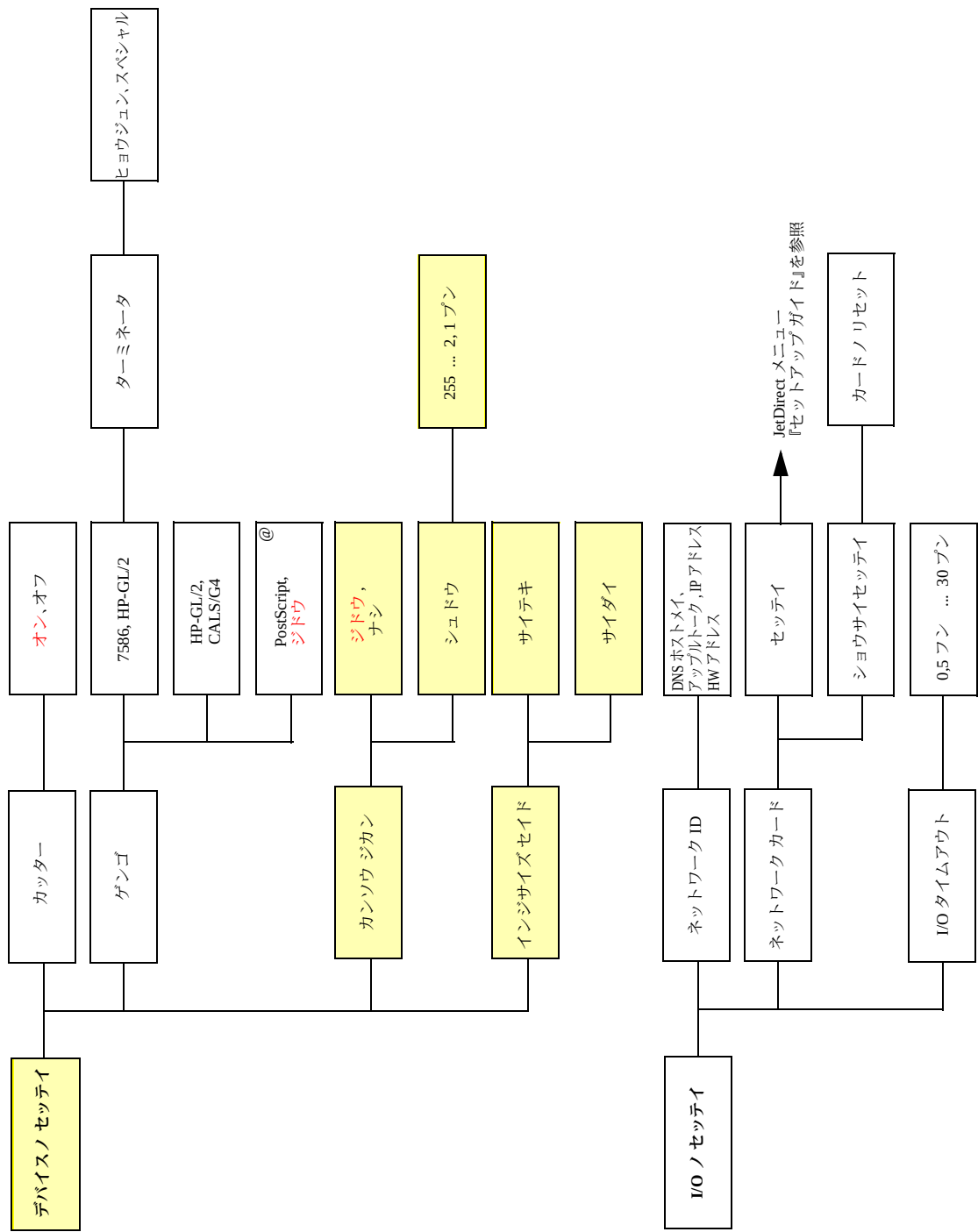
カット紙

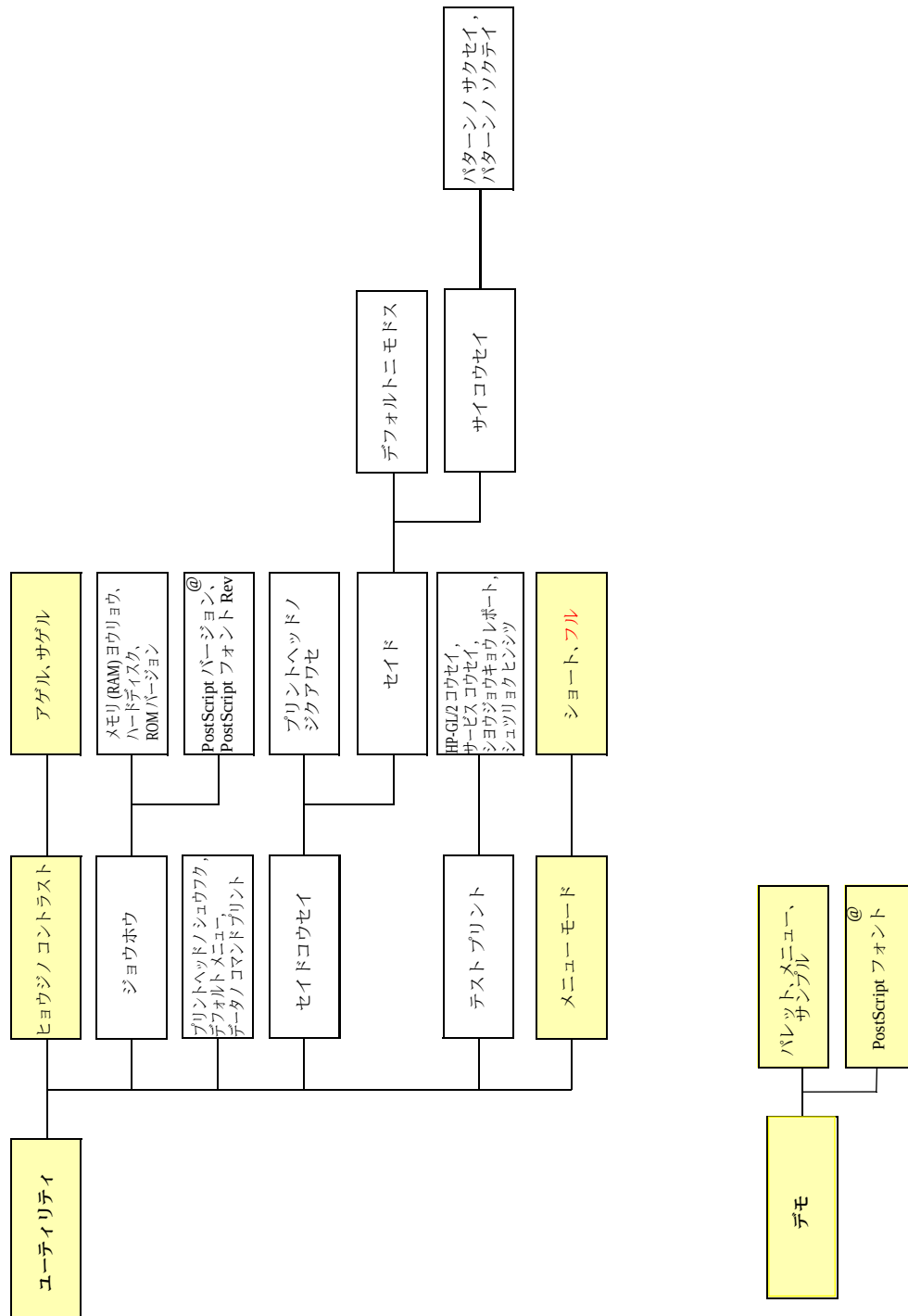
- 用紙の右端をプリンタの青い点線に揃えて取り付けてください。
- 用紙にシワやゆがみがあるか、または用紙の先端がまっすぐにカットされていない可能性があります。
- 手で切った用紙は先端が斜めになっていたり、まっすぐでないことがあります。用紙は、ご自身で切ったものではなく、市販のものを使用してください。
- 取り付けようとしている用紙が非常にすべりやすい場合は、用紙を両手で持ち、中央部分が上に突き当たるまでゆっくりとプリンタに押し込みます。これによって、プリンタが用紙を取り付けやすくなります。
- オーバードライブに埃が付いていると、カット紙をセットするときに用紙を取り込むことができません。サービス ユーティリティのOverdrive Cleaning (オーバードライブのクリーニング) を使用して、オーバードライブをクリーニングしてください。⇒ 4-38 ページ

フロントパネル メニューの操作方法









サービス構成プリント

サービス構成プリントは、プリンタのトラブルを解決するのに便利なツールです。サービス構成プリントには、プリンタに関する次のような情報が含まれています。

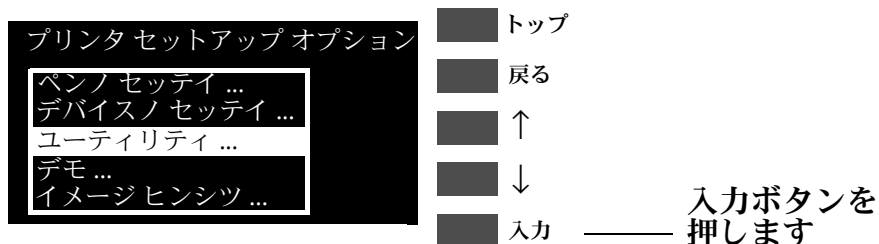
- 一般設定
- プリントヘッド情報
- カートリッジ情報
- 使用環境
- 校正
- 保守
- IIOの設定

サービス構成プリントの印刷方法

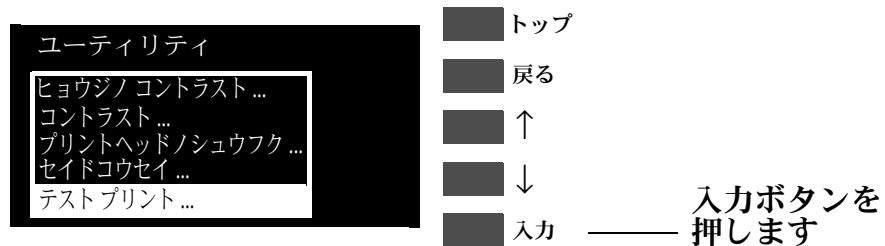
- 1 プリンタに用紙 (ロール紙またはA4以上のカット紙) を取り付けます。
- 2 フロントパネルに「プリント カノウデス」というメッセージが表示されたら、「プリンタ セットアップ オプション」のアイコンまでスクロールして「ニュウリョク」ボタンを押します。



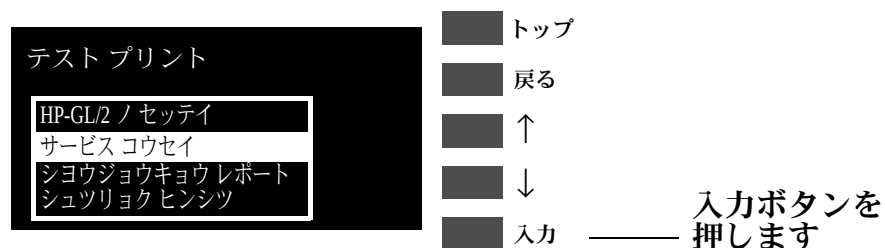
- 3 「プリンタ セットアップ オプション」メニューが表示されたら、矢印を使って「ユーティリティ」メニュー表示までスクロールし、「ニュウリョク」ボタンを押します。



- 4 「ユーティリティ」メニューが表示されたら、矢印キーを使って「テスト プリント」メニュー表示までスクロールし、「ニューリョク」ボタンを押します。



- 5 矢印キーを使って「サービス コウセイ」までスクロールし、「ニューリョク」ボタンを押すと、サービス構成プリントが印刷されます。



サービス構成プリントの使用方法

サービス構成プリントは、7つの領域に分かれています。それぞれプリンタのトラブルを解決するための次のような情報が表示されます。

- **一般設定** - この領域には、ファームウェアのバージョン、取り付けられているメモリの量、ハードディスクドライブの容量など、プリンタの一般的な設定に関する情報が表示されます。
- **プリントヘッド情報** - この領域には、部品番号、製造日、プリントヘッドがキャリッジに挿入された回数など、プリントヘッドに関するあらゆる情報が表示されます。プリントヘッドに関するトラブルの解決に役立つほか、このプリントヘッドが非HP製カートリッジで使用されているかどうかもわかります。
- **カートリッジ情報** - この領域には、部品番号、製造日、インク レベルなど、カートリッジに関するあらゆる情報が表示されます。また、カスタマが非HP製カートリッジを使用しているかどうかもわかります。
- **使用環境** - この領域には、プリンタを使用している環境の湿度と温度のレベルが表示されます。
- **校正** - この領域には、プリンタに対して実施された特定

の校正に関する情報が表示されます。また、必要な校正が実施されているかどうかもわかります。

- **保守** - この領域には、プリンタの電源をオンにした回数、キャリッジサイクル数、最後に発生したシステム エラーコードなど、保守に関する情報が表示されます。
- **IIOの設定** - この領域には、JetDirectカードの設定に関する情報が表示されます。

サービス構成プリントのサンプル

システム エラー コード

2

システム エラー コード 2-2

0000D8 XXXXXXXXX (使用継続不可能) 2-3
01002D (使用継続不可能) 2-3
010020 (使用継続不可能) 2-3
010021 (使用継続不可能) 2-4
010023 (使用継続不可能) 2-4
010040 2-5
010041 2-5
010042 2-6
010050 XXXXXXXXX (使用継続不可能) 2-6
01009X (使用継続可能) 2-7
02xxxx (使用継続不可能) 2-7
04Cxxx 2-8
048xxx 2-9
060301 2-9
060305 0000000X 2-10
060309 2-10
06030A (使用継続可能) 2-11
06030B 2-11
070100 XXXXXXXXX (使用継続不可能) 2-11
080001 (使用継続不可能) 2-12
09xxxx (使用継続不可能) 2-12
0A0000 2-13
0A0010 2-14
0A0020 2-14
0A0030 2-15
0A0040 2-15
0A0050 (使用継続不可能) 2-15
0A0060 (使用継続不可能) 2-16
0A0070 (使用継続可能) 2-16
0C0030 2-17
0C0032 (使用継続可能) 2-17
0C1000 2-18
0C1001 2-18
初期化中のシステム エラー コード 2-19

システム エラー コード

はじめに

システム エラー コードとは、一般的に内部システム エラーによって起こる16進の数字です。次ページ以降には、システム エラー コード、トラブルの説明、および推奨される解決のための操作方法が記載されています。推奨される操作を一度に1つ実行して、そのエラー コードが表示されなくなるかどうか点検してください。

この『サービス マニュアル』に記載されていないエラー コードがある場合や、自分で解決できないエラーがある場合は、そのエラーをHPレスポンス センタまたは最寄りのHP サポート窓口で報告してください。エラーを報告するときは、次の情報を準備してください。

- プリンタのモデル番号とシリアル番号。
- プリンタが使用しているファームウェアのバージョン (以下の注記を参照)。「ユーティリティ/ジョウハウ/ROM バージョン」でファームウェアを確認してください。
- 完全なエラー番号 (以下の注記を参照)。
- サービス構成プリント ⇒ 1-20 ページ
- 現在の設定シート。
- カスタマが使用しているソフトウェア アプリケーション (名前、バージョンなど)。

注記

システム エラー コードを報告する場合は、必ず完全なエラー コード (該当する場合は、最後の8つの数字も含めて) とファームウェアのバージョンを提示するようにしてください。この情報がないと、HPの担当者がサポートを提供できません。

使用継続可能および使用継続不可能のエラー コード

一部のエラー コードは使用継続可能です。つまり、フロントパネル上で「ニュウリョク」ボタンを押して、プリンタを引き続き使用する事が出来ます。使用継続不可能のエラー コードが表示されると、プリンタを引き続き使用する事が出来ません。この場合は、プリンタの電源を切ってから再び電源を入れて、システム エラーが消えるかどうかを確認してください。エラー コードが再び表示される場合

は、オンサイト サポートによってプリンタのトラブルを解決する必要があります。

注記

使用継続可能なエラー コードであればカスタマは引き続き使用する事が出来ますが、トラブルを解決するには、オンサイト サポートを予定しておく必要があります。

システム エラー： 0000D8 XXXXXXXXX (使用継続不可能)

トラブルの説明： ライブラリ エラーの検出。

解決のための操作： システム エラー コード070100を参照してください。

システム エラー： 01002D (使用継続不可能)

トラブルの説明： メインPCAがキャリッジと通信できない。

解決のための操作： Electronic Systems Test（電気テスト）の実施 ⇒ 4-5 ページ

システム エラー： 010020 (使用継続不可能)

トラブルの説明： ファームウェアDIMMテストの失敗。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- プリンタ背面の電源スイッチを切り、電源ケーブルを取り外します。ファームウェアDIMMを正しく取り付け直し、電源ケーブルを再び差し込んで、プリンタの電源を入れます。
- エラー コードが再び表示されたら、プリンタ背面の電源スイッチを切り、電源ケーブルを取り外して、ファームウェアDIMMを交換します。電源ケーブルを再び差し込んで、プリンタの電源を入れ、エラー コードが解決されたかどうかを点検します。
- システム エラーが引き続き起こる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告

部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

システム エラー： 010021 (使用継続不可能)

トラブルの説明： メモリ DRAM DIMM テストの失敗。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- プリンタ背面の電源スイッチを切り、電源ケーブルを取り外します。DRAM DIMM (メモリ モジュール) を正しく取り付け直し、電源ケーブルを再び差し込んで、プリンタの電源を入れます。
- エラー コードが再び表示されたら、プリンタの電源スイッチを切り、電源ケーブルを取り外して、DRAM DIMM (メモリ モジュール) を交換します。電源ケーブルを再び差し込んで、プリンタの電源を入れ、エラーコードが解決されたかどうかを点検します。
- システム エラーが引き続き起こる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告

部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

システム エラー： 010023 (使用継続不可能)

トラブルの説明： EEROM テストの失敗。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- EEROM (⇒ 4-39 ページ) をクリアし、プリンタ背面の電源スイッチを切ってから、再び電源を入れます。EEROM をクリアした後でエラー コードが表示されなくなった場合は、必ず Calibration Backup (校正のバックアップ) を行ってください。⇒ 5-19 ページ

注記

Calibration Backup (校正のバックアップ) を行うときは、「**Electronics Module Replaced**」(エレクトロニクス モジュールヲ コウカン) を必ず選択してください。

- システム エラーが引き続き起こる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

システム エラー：	010040
トラブルの説明：	用紙軸エンコーダのクアドラチャー (分割位置検出) に異常。
解決のための操作：	以下の方法を試してみてください。 ■ 用紙軸モーター ケーブルが破損または損傷していないかを点検します。 ■ 用紙軸モーター ケーブルが正しく差し込まれているかを点検します。 ■ 用紙軸モーターを交換します ⇒ 8-12 ページ ■ システム エラーが引き続き起こる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告	部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。
-----------	---

システム エラー：	010041
トラブルの説明：	スキャン軸エンコーダのクアドラチャー (分割位置検出) に異常。
解決のための操作：	以下の方法を試してみてください。 ■ エンコーダ ストリップが破損または損傷していないかを点検します。 ■ エンコーダ ストリップを交換します ⇒ 8-35 ページ ■ キャリッジ アセンブリを交換します ⇒ 8-46 ページ ■ システム エラーが引き続き起こる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告	部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。
-----------	---

システム エラー： 010042

トラブルの説明： サービス ステーション内キャリア軸エンコーダのクアドラチャー（分割位置検出）に異常。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- サービス ステーション内のエンコーダケーブルが破損または損傷していないかを点検します。
- サービス ステーション内のエンコーダケーブルが正しく差し込まれているかを点検します。
- サービス ステーションを交換します ⇒ 8-8 ページ
- システム エラーが引き続き起こる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告

部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

システム エラー： 010050 XXXXXXXXX (使用継続不可能)

トラブルの説明： PostScript処理に異常を検出。

解決のための操作： プリンタの電源を切ってから再び電源を入れ、システム エラーが表示されなくなったかどうかを確認します。もう一度、印刷データを送ってみてください。

印刷データの送信後にエラー コードが再び表示されたら、HPレスポンス センタか最寄のHPサポート窓口エラーを報告してください。エラーを報告するときは、次の情報を準備してください。

- プリンタのモデル番号とシリアル番号。
- プリンタが使用しているファームウェアのバージョン (以下の注記を参照)。「ユーティリティ/ジョウハウ/ROM バージョン」でファームウェアを確認してください。
- 完全なエラー番号 (以下の注記を参照)。
- サービス構成プリント ⇒ 1-20 ページ
- 現在の設定シート。
- カスタマが使用しているソフトウェア アプリケーション (名前、バージョンなど)。

注記

システム エラー コードを報告する場合は、必ず完全なエラー コード (該当する場合は、最後の8つの数字も含めて) とファームウェアのバージョンを提示するようにしてください。この情報がないと、HPの担当者がサポートを提供できません。

システム エラー： 01009X (使用継続可能)

トラブルの説明： 用紙軸エンコーダの異常を検出。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- 用紙軸モーター ケーブルが破損または損傷していないかを点検します。
- 用紙軸モーター ケーブルが正しく差し込まれているかを点検します。
- 用紙軸モーターを交換します ⇒ 8-12 ページ
- システム エラーが引き続き起こる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告

部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

システム エラー： 02xxxx (使用継続不可能)

トラブルの説明： PostScript/ファームウェアのエラー検出。

解決のための操作： プリンタの電源を切ってから再び電源を入れ、システム エラーが表示されなくなったかどうかを確認します。

エラー コードが再び表示されたら、HPレスポンス センタか最寄のHPサポート窓口エラーを報告してください。エラーを報告するときは、次の情報を準備してください。

- プリンタのモデル番号とシリアル番号。
- プリンタが使用しているファームウェアのバージョン (以下の注記を参照)。「ユーティリティ/ジョウハウ/ROM バージョン」でファームウェアを確認してください。
- 完全なエラー番号 (以下の注記を参照)。
- サービス構成プリント ⇒ 1-20 ページ
- 現在の設定シート。
- カスタマが使用しているソフトウェア アプリケーション (名前、バージョンなど)。

注記

システム エラー コードを報告する場合は、必ず完全なエラー コード (該当する場合は、最後の8つの数字も含めて) とファームウェアのバージョンを提示するようにしてください。この情報がないと、HPの担当者がサポートを提供できません。

システム エラー : 04Cxxx

トラブルの説明 : EIOアクセサリ (EIOネットワーク カード/ハードディスク ドライブ) のエラー検出。

解決のための操作 : 以下の方法を試してみてください。

- **ENTER** を押し、プリンタの電源スイッチを切ります。ハードディスク ドライブ (取り付けられている場合) を取り外します。次に、EIOネットワーク カードを内側に強く押し、2つの取り付けネジが完全に締まっていることを点検して、EIOネットワーク カードが正しく取り付けられているかを確認します。プリンタの電源スイッチを再び入れます。このシステム エラーが引き続き起こる場合は、EIOネットワーク カードを交換してください。
- ハードディスク ドライブを取り外した後でエラー コードが表示されなくなった場合は、プリンタの電源スイッチを切って、ハードディスク ドライブを取り付け直します。その際、2つの取り付けネジを完全に締まっていることを確認してください。プリンタの電源スイッチを再び入れます。このエラー コードが再び表示される場合は、ハードディスク ドライブが故障している可能性があります。ハードディスク ドライブを交換してください。
- EIOネットワーク カードまたはハードディスク ドライブの交換後に、このシステム エラーが引き続き表示される場合は、エレクトロニクス モジュールを交換してください ⇒ 8-26 ページ

システム エラー：	048xxx
トラブルの説明：	EIOネットワーク カードが他社製で、IIOプロトコル仕様2.0に完全に準拠していないか、 あるいは EIOネットワーク カード ファームウェアがアップデートされていない可能性はある。
解決のための操作：	以下の方法を試してみてください。 ■ 他社ベンダに確認します。EIOネットワーク カードがIIOプロトコル仕様2.0に準拠していない場合は、仕様に準拠している新しいEIOネットワーク カードを取り付ける必要があります。 ■ EIOネットワーク カード ファームウェアをアップデートします。
システム エラー：	060301
トラブルの説明：	プリントヘッドのうちの1つに電気的な内部トラブルがある。
解決のための操作：	以下の方法を試してみてください。 ■ すべてのプリントヘッドを取り外して、プリントヘッドとキャリッジ アセンブリの接点部分をクリーニングします (『サービス マニュアル』3-18、『ユーザーズ ガイド』11-23以降を参照)。 ■ Electronic Systems Test (電気テスト) の実施 ⇒ 4-5 ページ ■ トレーリング ケーブルが正しく差し込まれているかを確認します。 ■ トレーリング ケーブルを交換します ⇒ 8-40 ページ ■ キャリッジ アセンブリを交換します ⇒ 8-46 ページ ■ システム エラーが引き続き起こる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ
警告	部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

システム エラー： 060305 0000000X

トラブルの説明： 温度制御の異常を検出 (プリントヘッドのうちの1つが制限温度を超えている)。

エラー データ：

00000000 → シアン プリントヘッドの故障

00000001 → マゼンタ プリントヘッドの故障

00000002 → イエロー プリントヘッドの故障

00000003 → 黒プリントヘッドの故障

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- 故障しているプリントヘッドを交換します。
- 故障しているプリントヘッドの交換後に、このトラブルが引き続き起こる場合は、カスタマが他社製のRIPを使用しているかを点検します。他社製のRIPが使用されている場合は、RIPの印刷設定を点検するか、あるいはRIPなしでトラブルが解決しているかデモ プリントの1つを印刷してみてください。

システム エラー： 060309

トラブルの説明： プリントヘッドの電圧制御に異常を検出。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- すべてのプリントヘッドを取り外して、プリントヘッドとキャリッジアッセンブリの接点部分をクリーニングします (第2章を参照)。
- Electronic Systems Test (電気テスト) の実施 ⇒ 4-5 ページ
- すべてのプリントヘッドを交換します。
- トレーリング ケーブルを交換します ⇒ 8-40 ページ
- キャリッジアッセンブリを交換します ⇒ 8-46 ページ
- システム エラーが引き続き起こる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告

部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

システム エラー： 06030A (使用継続可能)

トラブルの説明： マーク エンコーダの位置検出に失敗。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- 必要に応じて、マーク エンコーダをクリーニングします (マーク エンコーダをクリーニングする位置にするには、Overdrive Cleaning Utility (オーバードライブのクリーニング) を使用) ⇒ 4-38 ページ
- ライン センサをクリーニングします(キャリッジ アッセンブリ上にあります)。
- Line Sensor calibration (ライン センサの校正)を行います ⇒ 5-9 ページ
- Mark Encoder Calibration (マーク エンコーダの校正)を行います ⇒ 5-13 ページ
- トレーリング ケーブルを交換します ⇒ 8-40 ページ
- キャリッジアッセンブリを交換します ⇒ 8-46 ページ
- システム エラーが引き続き起こる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告

部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

システム エラー： 06030B

トラブルの説明： 測定された周辺温度が標準範囲外。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- 周辺温度が許容範囲内 (摂氏0～55度) であるかを確認します。
- エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

システム エラー： 070100 XXXXXXXX (使用継続不可能)

トラブルの説明： ファームウェアのエラー検出。

解決のための操作： プリンタの電源を切ってから再び電源を入れ、システム エラーが表示されなくなったかどうかを確認します。

エラー コードが再び表示されたら、HPレスポンス センタか最寄のHPサポート窓口にエラーを報告してください。エ

ラーを報告するときは、次の情報を準備してください。

- プリンタのモデル番号とシリアル番号。
- プリンタが使用しているファームウェアのバージョン (以下の注記を参照)。「ユーティリティ/ジョウハウ/ROMバージョン」でファームウェアを確認してください。
- 完全なエラー番号 (以下の注記を参照)。
- サービス構成プリント ⇒ 1-19ページ
- 現在の設定シート。
- カスタマが使用しているソフトウェア アプリケーション (名前、バージョンなど)。

注記

システム エラー コードを報告する場合は、必ず完全なエラー コード (該当する場合は、最後の8つの数字も含めて) とファームウェアのバージョンを提示するようにしてください。この情報がないと、HPの担当者がサポートを提供できません。

システム エラー： 080001 (使用継続不可能)

トラブルの説明： PostScriptエラー検出。

解決のための操作： システム エラー コード070100を参照してください。

システム エラー： 09xxxx (使用継続不可能)

トラブルの説明： EIOアクセサリ (EIOネットワーク カード/ハードディスクドライブ) のエラー検出。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- プリンタの電源スイッチを切ってから再び電源を入れて、初期化が完了するまで待ちます。
- エラー コードが引き続き表示される場合は、プリンタの電源スイッチを切って、EIOネットワーク カード (取り付けられている場合) を取り外します。次に、ハードディスク ドライブを内側に強く押し、2つの取り付けネジが完全に締まっていることを点検して、ハードディスク ドライブが正しく取り付けられているかを確認します。プリンタの電源スイッチを再び入れます。エラーコード09Axxxまたは09Bxxxが表示されたら、ハードディスク ドライブを交換してください。
- EIOネットワーク カードを取り外した後でエラー コードが表示されなくなった場合は、プリンタの電源スウィ

チを切って、EIOネットワーク カードを取り付け直します。その際、2つのネジが完全に締まっていることを確認してください。プリンタの電源スイッチを再び入れます。エラー コードが引き続き表示される場合は、EIO ネットワーク カードが故障している可能性があります。EIOネットワーク カードを交換してください。

- 初期化後にエラー コード09Cxxxが表示された場合は、エレクトロニクス モジュールを交換してください ⇒ 8-26 ページ
- いったんエラー コードが解決されたら、ハードディスク ドライブが正しく機能するかを確かめるために、デモ プリントを印刷します。エラー コードが引き続き表示される場合は、上記の情報を使ってトラブルを解決してください。

システム エラー： 0A0000

トラブルの説明： 空気圧が必要最低条件を下回っている。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- APSのすべてのケーブルを点検して、それらが正しく差し込まれていて、損傷がないかを確認します。
- APS(Air Pressurization System)とチューブ システムのすべてのチューブを点検して、それらが正しく差し込まれていて、ねじれや損傷がないかを確認します。
- APSのエアー チューブがチューブ システムに正しく差し込まれているかを確認します。
- APS内の圧力センサ、圧力軽減バルブ、あるいはエア ポンプが故障しています。APS(Air Pressurization System)を交換してください。⇒ 8-20 ページ
- インク カートリッジを1つ交換するたびに、エラー コードが表示されなくなるかを点検します。

警告

部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

システム エラー： 0A0010

トラブルの説明： エアプレッシャ システムの加圧に異常を検出。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- インク カートリッジを1つ交換するたびに、エラー コードが表示されなくなるかを点検します。
- APS(Air Pressurization System)のすべてのケーブルを点検して、それらが正しく差し込まれていて、損傷がないかを確認します。
- APSとチューブ システムのすべてのチューブを点検して、それらが正しく差し込まれていて、ねじれや損傷がないかを確認します。
- APS内の圧力センサ、圧力軽減バルブ、あるいはエア ポンプが故障しています。APS(Air Pressurization System)を交換してください⇒ 8-20 ページ

警告

部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

システム エラー： 0A0020

トラブルの説明： APS内の圧力センサの校正にエラー検出。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- APS(Air Pressurization System)のすべてのケーブルを点検して、それらが正しく差し込まれていて、損傷がないかを確認します。
- APSとチューブ システムのすべてのチューブを点検して、それらが正しく差し込まれていて、ねじれや損傷がないかを確認します。
- APS 内の圧力センサまたは圧力軽減バルブが故障しています。APS(Air Pressurization System)を交換してください。⇒ 8-20 ページ

システム エラー： 0A0030

トラブルの説明： エアプレッシャ システムの減圧に異常を検出。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- インクで汚れた跡がないかAPS(Air Pressurization System)を点検します。また、インク漏れの痕跡について、すべてのインク カートリッジを確認してください(インクカートリッジの裏面下側のバルブにインクの汚れ、流入がないか)。
- インク漏れの場合は、すべてのインク カートリッジ、APS(Air Pressurization System)(⇒ 8-20 ページ)、およびチューブ システム (⇒ 8-55 ページ)を交換します。

システム エラー： 0A0040

トラブルの説明： 空気圧が低いことによるインク チューブの初期化に失敗。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- APS(Air Pressurization System)のすべてのケーブルを点検して、それらが正しく差し込まれていて、損傷がないかを確認します。
- APSとチューブ システムのすべてのチューブを点検して、それらが正しく差し込まれていて、ねじれや損傷がないかを確認します。
- インク カートリッジを1つ交換するたびに、エラー コードが表示されなくなるかを点検します。
- APS内の圧力センサまたはエア ポンプが故障しています。APS(Air Pressurization System)を交換してください。
⇒ 8-20 ページ

システム エラー： 0A0050 (使用継続不可能)

トラブルの説明： システムの寿命の前にチューブ システムにインク漏れが検出された。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- 結露等の水滴によってインク漏れ検知が誤検出した可能性があります。プリンタの電源を切って、プリンタを15分間乾燥させてください。次に、プリンタの電源を入れて、エラー コードが表示されなくなったかどうかを点検します。

- エラー コードが再び表示された場合は、チューブ システムを交換します ⇒ 8-55 ページ

警告

部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

システム エラー： 0A0060 (使用継続不可能)

トラブルの説明： システムの寿命後にチューブ システムにインク漏れが検出された。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- 結露等の水滴によってインク漏れ検知が誤検出した可能性があります。プリンタの電源を切って、プリンタを15分間乾燥させてください。次に、プリンタの電源を入れて、エラー コードが表示されなくなったかどうかを点検します。
- エラー コードが再び表示された場合は、チューブ システムを交換します ⇒ 8-55 ページ

警告

部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

システム エラー： 0A0070 (使用継続可能)

トラブルの説明： チューブ システムに保存されているバックアップEEROMの内容が、ファームウェアが要求するものと一致していない。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- Calibration Backup (校正のバックアップ) を行います ⇒ 5-19 ページ

注記

Calibration Backup (校正のバックアップ) を行うときは、必ず「Tube replaced...」(チューブヲ コウカン)を選択してください。

システム エラー： 0C0030

トラブルの説明： ドロップ検出の異常を検出。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- ドロップ検出のケーブルが破損または損傷していないかを点検します。
- ドロップ 検出のケーブルがエレクトロニクス モジュールからのケーブルに正しく差し込まれているかを点検します。
- ドロップ検出を取り外して、センサを妨げる障害物がないかを確認します。
- ドロップ検出アッセンブリを交換します ⇒ 8-10 ページ
- システム エラーが引き続き起こる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告

部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

システム エラー： 0C0032 (使用継続可能)

トラブルの説明： すべてのプリントヘッドに対してドロップ検出が校正されない。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- Service Station Calibration (サービス ステーションの校正) を行います ⇒ 5-11 ページ
- ドロップ検出アッセンブリを交換します ⇒ 8-10 ページ
- システム エラーが引き続き起こる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告

部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

システム エラー： 0C1000

トラブルの説明： プライマが校正されない。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- Service Station Calibration（サービス ステーションの校正）を行います ⇒ 5-11 ページ
- プライマ アームが損傷していないかを確認します。プライマ アームが損傷している場合は、サービス ステーションを交換します。⇒ 8-8 ページ
- エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

システム エラー： 0C1001

トラブルの説明： プライマの動作異常を検出。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- プライマ ステッパモータ ケーブルが破損または損傷していないか、およびプライマ アームが左右に自由に動くかを点検します。
- サービス ステーションを交換します ⇒ 8-8 ページ
- システム エラーが引き続き起こる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告

部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

初期化中のシステム エラー コード

次のシステム エラー コードは、プリンタの電源を入れたときの初期化プロセス中にのみ表示されます。

システム エラー： 0B0000

トラブルの説明： 不適切な周辺温度を検出。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- 周辺温度が許容範囲内 (摂氏0～55度) であるかを確認します。
- エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

システム エラー： 0B0001

トラブルの説明： 不適切な湿度を検出。

解決のための操作： エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-25 ページ

システム エラー： 0B0002

トラブルの説明： チューブ システム内のインク圧に異常を検出。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- インク サプライ ステーション (ISS) PCAからインク サプライ ステーションにケーブルが正しく差し込まれているかを点検します。
- エアー プレシャライゼーション システム内の圧力センサ ケーブルが正しく差し込まれていて、損傷がないかを点検します。
- APSのすべてのチューブを点検し、それらにねじれや損傷がないかを確認します。
- APS内の圧力センサが故障しています。APS(Air Pressurization System)を交換してください。⇒ 8-20 ページ
- システム エラーが引き続き起こる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告

部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

システム エラー： 0B0003

トラブルの説明： ADC0内蔵チャネル チェックの失敗。

解決のための操作： エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒8-25ページ

システム エラー： 0B0004

トラブルの説明： エア ポンプを検出できない。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- インク サプライ ステーション (ISS) PCAからインク サプライ ステーションにケーブルが正しく差し込まれているかを点検します。
- APS内のエア ポンプの故障です。APS(Air Pressurization System)を交換してください。⇒ 8-20 ページ
- システム エラーが引き続き起こる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告

部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

システム エラー： 0B0005

トラブルの説明： 圧力軽減バルブを検出できない。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- インク サプライ ステーション (ISS) PCAからインク サプライ ステーションにケーブルが正しく差し込まれているかを点検します。
- APS内の圧力軽減バルブの故障です。APS(Air Pressurization System)を交換してください。⇒ 8-20 ページ
- システム エラーが引き続き起こる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告

部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

システム エラー： 0B0006

トラブルの説明： トレーリング ケーブルが正しく差し込まれていないか、エレクトロニクス モジュール内のヒューズが開放状態になっています。

解決のための操作： プリンタの電源を切って、トレーリング ケーブルを取り外します。トレーリング ケーブル両端の差し込み部分が平面で、損傷またはねじれがないかを点検します。トレーリング ケーブルをしっかりと押しこんで正しく再び差し込みます (8-40 ページの手順を参照)。プリンタの電源を入れて、エラー コードが表示されなくなったかを点検します。エラー コードが引き続き表示される場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します (8-26 ページの手順を参照)。その際、トレーリング ケーブルを再び差し込むときは慎重に実施してください。

警告

トレーリング ケーブルをエレクトロニクス モジュールに差し込むときは注意が必要です。取り付け方を間違えるとエレクトロニクス モジュールのヒューズが開放状態になり、エレクトロニクス モジュールの交換が必要になります。

システム エラー： 0B0007

トラブルの説明： バキューム ファンを検出できない。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- バキューム ファンのコネクタがエレクトロニクス モジュールに正しく差し込まれているかを確認します。
- プリンタの電源を切って、エレクトロニクス モジュールからバキューム ファンを取り外します。エレクトロニクス モジュールに**新しい**バキューム ファンのコネクタを差し込んで、プリンタの電源を入れます。**新しい**バキューム ファンがエラー コードなく正常に機能する場合は、プリンタから**古い**バキューム ファンを取り外して、**新しい**バキューム ファンを取り付けます。
- 新しいバキューム ファンが正常に機能しない場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

システム エラー： 0B0008

トラブルの説明： クーリング ファンを検出できない。

解決のための操作： エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-25 ページ

システム エラー： 0B0009

トラブルの説明： エアゾール ファンを検出できない (右カバー側)。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- エアゾール ファンのコネクタがエレクトロニクス モジュールに正しく差し込まれているかを確認します。
- プリンタの電源を切って、エレクトロニクス モジュールからエアゾール ファンを取り外します。新しいエアゾール ファン (新しい右カバーについてくる) のコネクタをエレクトロニクス モジュールに差し込み、プリンタの電源を入れます。新しいエアゾール ファンがエラー コードなく正常に機能する場合は、プリンタから古いエアゾール ファンを取り外して、新しいエアゾール ファンを取り付けます。
- 新しいエアゾール ファンが正常に機能しない場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

システム エラー： 0B000A

トラブルの説明： プライマ の動作異常を検出。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- プライマ ステッパモータ ケーブルが破損または損傷していないか、およびプライマ アームが左右に自由に動くかを点検します。
- サービス ステーションを交換します ⇒ 8-8 ページ
- システム エラーが引き続き起こる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告

部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

システム エラー： 0B000B

トラブルの説明： エア ポンプまたは圧力 センサの動作異常を検出。

解決のための操作： 以下の方法を試してみてください。

- インク サプライ ステーション (ISS) PCAからインク サプライ ステーションにケーブルが正しく差し込まれているかを点検します。
- エアー プレシャライゼーション システム (APS)内の圧力センサ ケーブルが正しく差し込まれていて、損傷がないかを点検します。
- APSのすべてのチューブを点検し、それらにねじれや損傷がないかを確認します。
- APS内の圧力センサ、圧力軽減バルブ、またはエア ポンプが故障しています。APS(Air Pressurization System)を交換してください。⇒ 8-20 ページ
- システム エラーが引き続き起こる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告

部品を1つ交換したら、別の部品を交換する前に、エラーが解決されたかどうかを点検してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

システム エラー： 0B000C

トラブルの説明： シリアル デバイスADCテストの失敗。

解決のための操作： エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-25ページ

システム エラー： 0B000D

トラブルの説明： 24ボルト電源電圧テストの失敗。

解決のための操作： エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-25ページ

HP No.80インク サプライ品の トラブルの解決

3

HP No.80サプライ品とは?	3-2
インク カートリッジ	3-2
プリントヘッドとプリントヘッド クリーナ	3-2
コンポーネントの認識	3-3
HP No.80サプライ品に関する一般情報	3-4
HP No.80サプライ品を扱うときの一般的な事前注意	3-5
インク システムのプライミング	3-6
いつHP No.80サプライ品を交換するのか?	3-6
フロントパネル ディスプレイ	3-7
インク カートリッジの情報を得る	3-8
プリントヘッドの情報を得る	3-9
インク カートリッジのステータス メッセージ	3-11
印刷中のインク カートリッジのステータス	3-11
交換中のインク カートリッジのステータス	3-12
印刷中のプリントヘッドのステータス メッセージ	3-13
交換中のプリントヘッドのステータス メッセージ	3-15
HP No.80サプライ品のトラブル解決の要約	3-17
キャリッジ接点クリーナ	3-18

HP No.80 サプライ品とは?

プリンタで使用する4種類のインク カラーは、それぞれ3つのコンポーネントで構成されています。プリントヘッドとプリントヘッド クリーナはセットになっています。インク カートリッジは別箱に梱包されています。これらすべてのコンポーネントをHP No.80 サプライ品と呼びます。正しい交換部品を注文できるように、サプライ品はHP No.80 選択番号で識別されています。



インク カートリッジ

HPデザインジェット1050C/1055CMプリンタのHP No.80インク カートリッジには保守やクリーニングの必要がありません。各インク カートリッジが正しくスロットに挿入されていれば、インクはプリントヘッドに補充されます。

フロントパネルにはインク カートリッジのステータスが表示されます。フロントパネルを使うと、インク カートリッジについての詳細情報を確認することができます。

プリントヘッドとプリントヘッド クリーナ

HP No.80プリントヘッドは耐久性に優れているので、インクカートリッジの交換のたびにこのプリントヘッドを交換する必要はありません。プリントヘッドはインク カートリッジから独立しているので、インク カートリッジのインク量が少なくなっても優れたイメージ品質を提供することができます。詳細は、3-6ページ「いつHP No.80 サプライ品を交換するのか?」を参照してください。

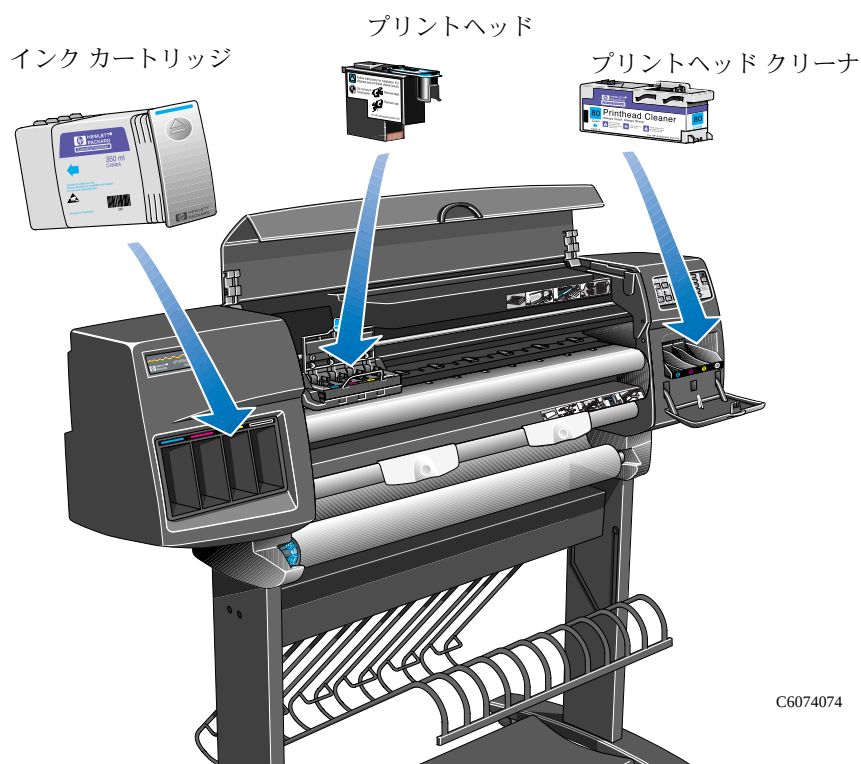
テキストやグラフィックスから線やドットが抜けるなど、出力品質の低下が見られる場合は、6-13ページ「出力品質

のトラブルの解決」を参照してください。

HP No.80プリントヘッド クリーナは、プリントヘッドを良好な状態に保ち、プリンタを使用していないときはプリントヘッドが損傷しないように保護します。プリントヘッド クリーナはプリントヘッドを保守して、いつでも使える状態に保ちます。

コンポーネントの認識

次の図は、HP No.80サプライ品のコンポーネントを認識するのに役立ちます。



C6074074

HP No.80 サプライ品に関する一般情報

プリンタとインク システム (モジュール式) を使用して最適の印刷結果を得るために、これらのガイドラインに従ってHP No.80 サプライ品を扱ってください。

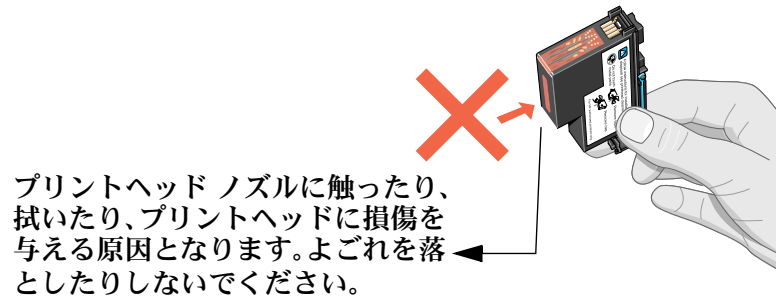
- パッケージに記載されている取り付け期限の前にインク カートリッジ、プリントヘッド、プリントヘッド クリーナを取り付けるようにしてください。
- プrintヘッドを交換したときには、必ずプリントヘッド クリーナも新しいものにしてください。
- プrintヘッド クリーナが自動的にプリントヘッドのクリーニングを行うように、プリンタを設定してください。
- インク カートリッジ、プリントヘッド、プリントヘッド クリーナは、それぞれの色のラベルの付いたスロットに取り付けてください。
- 取り付け時には、フロントパネルに表示される手順に従ってください。
- インク カートリッジやプリントヘッドはむやみに取り出さないようにしてください。
- プリンタの電源をオフにするときは、常にフロントパネル上のオン/オフボタンを使用してください。そうすれば、プリントヘッドが正常に保管されて乾燥を防ぐことができます。
- 印刷中にインク カートリッジを絶対に取り外さないでください。プリンタで交換の準備ができているときにだけ、取り外すようにしてください。取り外しおよび取り付け手順は、フロントパネルに表示されます。詳細は、3-6 ページ 「いつHP No.80 サプライ品を交換するのか?」を参照してください。

HP No.80サプライ品を扱うときの一般的な事前注意

注意



プリントヘッド ノズルに触れたり、拭いたり、よごれを落としたりしないでください。プリントヘッドに損傷を与える原因となります。



プリントヘッド ノズルに触ったり、拭いたり、プリントヘッドに損傷を与える原因となります。よごれを落としたりしないでください。

C6074297a

HP No.80サプライ品は注意深く取り扱ってください。特に、プリントヘッドは非常に精密な機構になっていますので、取り扱いには注意してください。

- プrintヘッドのノズルには触れないでください。
- プrintヘッドをノズルを下にして置かないでください。
- プrintヘッドの取り扱いは乱暴にしないでください。常に丁寧に取り外してください。
- プrintヘッドを落とさないでください。
- 正しく扱うことで、プリントヘッドの寿命がくるまでその性能を最大限に発揮することができます。
- インクが漏れることがあるので、プリントヘッドクリーナは常に上向きで取り扱って保管してください。
- インクカートリッジの接点部分に少量のインクが付着している場合がありますが、触れない様にして下さい。
- 一時的に利用したインク カートリッジを立てて保管するのは避けてください。

インク システムのプライミング

カスタマにプリンタが納品されるとき、プリントヘッドキャリッジに4つのセットアップ用プリントヘッドがプリインストールされています。これらのセットアップ用プリントヘッドは、インク システム (モジュール式) のチューブをプライミングするために使用します。『セットアップガイド』の手順を実行するまでは、カスタマは、キャリッジからセットアップ用プリントヘッドを取り外さないでください。

プリンタの電源を初めて入れると、自動的にプライミングプロセスが実行されます。プライミング プロセスが行われないと、カスタマはプリンタを使用できません。

プリンタにプライミングが必要な理由は以下の通りです。

- カスタマにプリンタが納品されるとき、チューブ システムは空気が入っている状態です。
- チューブ システムは加圧して、チューブ システムにインクを満たし気泡を除去します。

注意

プライミング プロセス中にキャリッジに印刷用プリントヘッドが取り付けられると、プリントヘッドは拒否され、フロントパネルに「モデルガ チガイマス」というメッセージが表示されます。

いつHP No.80サプライ品を交換するのか?

HP No.80サプライ品の交換時期は、ほとんどの場合、フロントパネルの指示によりユーザが決定します。フロントパネルに表示されるメッセージと本章のメッセージの説明を合わせて参照することで、HP No.80サプライ品を交換する適切な時期を決めることができます。

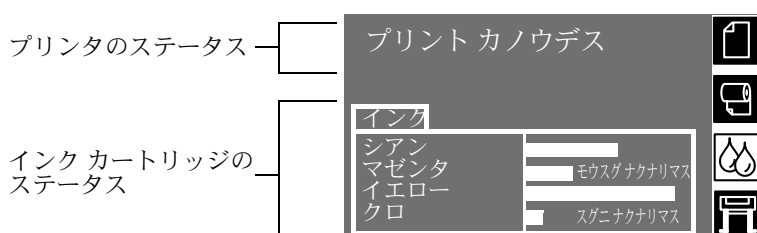
プリンタはインク レベルも表示して、インク サプライ品のレベルが少ないか、非常に少ないか、空になっているかを示します。つまり、HP No.80サプライ品についての情報を更新し続けていることになります。

プリントヘッドの寿命は、インク噴霧量が700mlに達したときか、プリンタに取り付けてから12ヵ月経過したときです。この寿命は、プリントヘッドを標準的な作業条件で使用する (HPインク カートリッジのみを使用)、“「取り付け期限」”を過ぎていない場合です。しかし、使用する出力品質設定により結果は変化します。

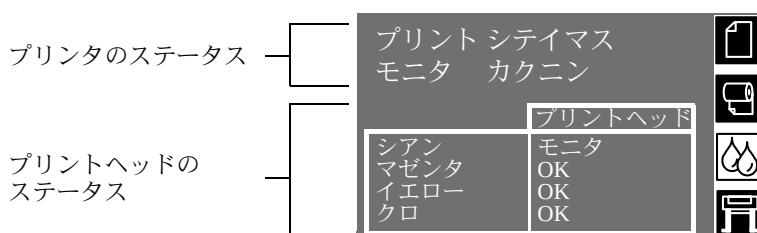
フロントパネル ディスプレイ

フロントパネル ディスプレイには、HP No.80 サプライ品のステータスをレポートする専用領域があります。2種類の画面があります。

- 一方の画面では、インク カートリッジに関する情報を表示します。



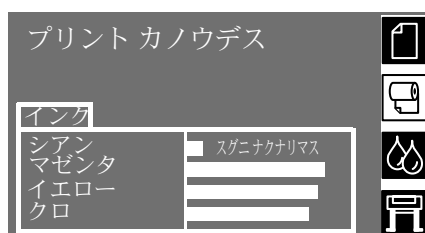
- もう1つの画面では、プリントヘッドとプリントヘッドクリーナに関する情報を表示します。



- 通常の操作時には、インク レベルがフロントパネルに表示されています。しかし、「モニタ」(3-13ページ「印刷中のプリントヘッドのステータス メッセージ」を参照)などのプリントヘッド ステータス メッセージがある場合は、こちらのメッセージが優先して表示されます。このメッセージはプリントヘッドを交換するまで表示され続けます。表示されていないときにインク レベルを確認したい場合は、インク システム メニューを使って点検できます。

インク カートリッジの情報を得る

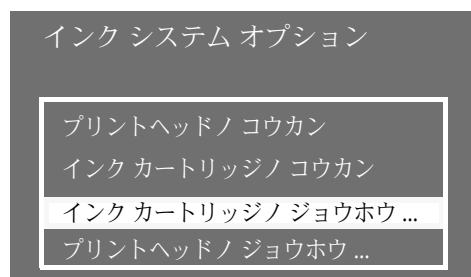
- 1 インク カートリッジの情報を得るには、フロントパネルの
トップボタンを押して、メイン メニューへ移動します。



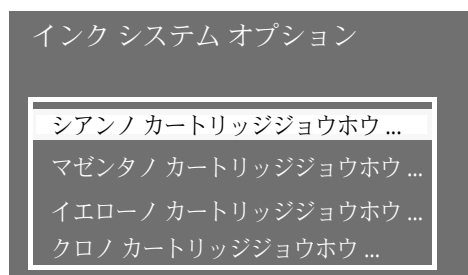
- 2 ↑ボタンまたは↓ボタンを押して、フロントパネルにインク
システム メニューを表示させます。次に入力ボタンを押します。



- 3 ↑ボタンまたは↓ボタンを押して、フロント パネルで“「イ
ンク カートリッジノ ジョウホウ」”をハイライトします。
次に入力ボタンを押します



- 4 ↑ボタンまたは↓ボタンを押して、フロント パネルで情報
を表示させるカラーをハイライトします。次に入力ボタン
を押します。



- 5 フロントパネルに選択したインク カートリッジの情報が表示されます。



表示されている情報は以下の通りです。

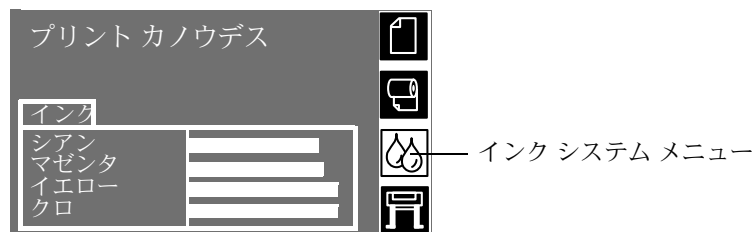
- インク カートリッジの製品名 (HP No.80をお勧めします)。
- パーセントで表した残りのインク量 (インクレベル)。
- ミリリットルで表したインク カートリッジのオリジナル容量。
- インク カートリッジの製品名 (番号)。
- インク カートリッジが製造された年月。

プリントヘッドの情報を得る

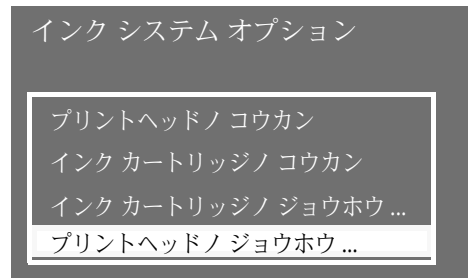
- 1 プリントヘッドの情報を得るには、フロントパネルのトップ ボタンを押してメイン メニューへ移動します。



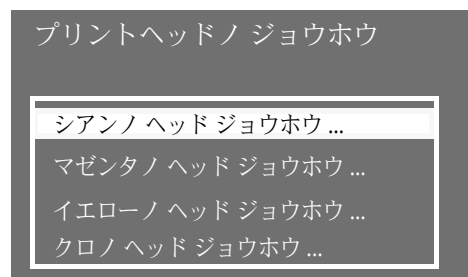
- 2 ↑ボタンまたは↓ボタンを押して、フロントパネルにインク システム メニューを表示させます。次に入力ボタンを押します。



- 3 ↑ボタンまたは↓ボタンを押して、フロントパネルで“「プリントヘッドノ ジョウホウ」”をハイライトします。次に入力ボタンを押します



- 4 ↑ボタンまたは↓ボタンを押して、フロントパネルで情報を表示させるカラーをハイライトします。入力ボタンを押します。



- 5 フロントパネルに選択したプリントヘッドの情報が表示されます。



表示されている情報は以下の通りです。

- プリントヘッドの製品名 (HP No.80をお勧めします)。
- プリントヘッドの現在のステータス。
- プリントヘッドの製品名 (番号)。
- プリントヘッドがプリンタ内で動作した時間。
- プリントヘッドで消費されたインク量。メモ: プリントヘッド1つでインク カートリッジ1個分以上のインクを消費できます。
- プリントヘッドが製造された年月。

インク カートリッジのステータス メッセージ

ステータス バー フロントパネルに4本の水平なバーが表示されます。このバーはインク カートリッジに残っているインク量を示しています。インクの使用に従ってバーの長さが短くなります。残りのインク量を確認するには、「インク カートリッジノ ジョウホウ」メニューへ移動してください。3-8ページ「インク カートリッジの情報を得る」を参照してください。

印刷中のインク カートリッジのステータス

モウスグ ナクナリマス 「モウスグ ナクナリマス」メッセージが表示されたら、指定されたカラーの新しいサプライ品を入手してください。これは早期警告サインです。インク カートリッジに残っているインク量は、そのインク容量によります。

- 175mlのインク カートリッジには約43.8mlのインクが残っています。

- 350mlのインク カートリッジには約63.8mlのインクが残っています。

残りのインク量を確認するには、3-8ページ「インク カートリッジの情報を得る」を参照してください。

スグニ ナクナリマス 「スグニ ナクナリマス」というメッセージが表示されたら、オペレータのいない夜通しの印刷は避けるようにしてください。印刷の途中でプリンタが停止するのを避けるため、インク カートリッジの交換を強くお勧めします。インク カートリッジに残っているインク量は、約25mlです。

残りのインク量を確認するには、3-8ページ「インク カートリッジの情報を得る」を参照してください。

インクガアリマセン プリンタは停止し、新しいインク カートリッジを取り付けしないと印刷を継続することができません。イメージの印刷中にプリンタが停止した場合、印刷の中断がプリントに影響することもあるので、イメージの品質を点検してください。

交換中のインク カートリッジのステータス

インク カートリッジの交換中、プリンタに次のステータス メッセージが表示されます。

トリカエテクダサイ インク カートリッジに故障が発生しており、交換しないと印刷を継続できません。

ツケナオシテクダサイ インク カートリッジに問題が継続的に発生しています。インク カートリッジを取り付け直してください。

モデルガチガイマス インク カートリッジがプリンタに認識されません。交換しないと印刷を継続できません。

フメイデス 取り付けられたインク カートリッジが承認されません。純正のHP No.80インク カートリッジに交換する必要があります。

注記 4つの全ステータス メッセージの主要な操作は以下の通りです。

- 1 インク カートリッジを取り付け直します。
- 2 取り付け直してもステータス メッセージが解決されない場合は、インク カートリッジを交換します。
- 3 インク カートリッジを交換してもステータス メッセージが表示される場合は、チューブ システム全体を交換します
⇒ 8-55 ページ

印刷中のプリントヘッドのステータス メッセージ

以下は、プリント中に表示されるプリントヘッド ステータス メッセージの詳細です。

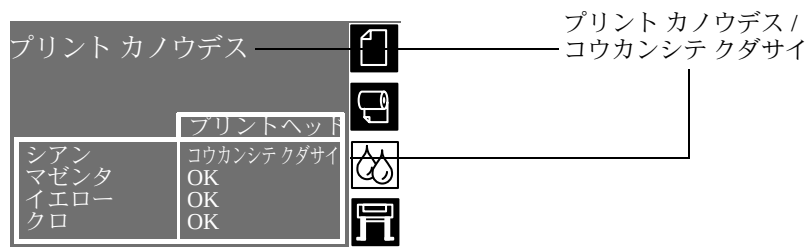
OK

プリントヘッドは正常に動作しており、満足のいく出力品質を提供します。プリントヘッドについての詳細は、3-9ページ「プリントヘッドの情報を得る」を参照してください。

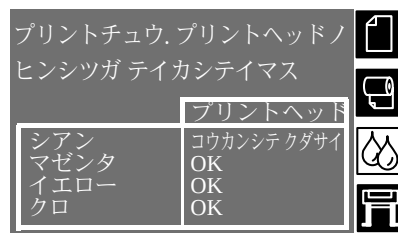
プリント カノウデス/コウカンシテ クダサイ

フロントパネルで「プリント カノウデス」と表示されており、プリントヘッド ステータスは「コウカンシテ クダサイ」となっています。プリンタは出力品質が低下する可能性があるという早期警告を発しています。プリンタによって、各8つのサービス手順のうちの5つで、4つ以上の黒の未噴射ノズルまたは7つ以上のカラーの未噴射ノズルが検出されました。

新しいプリントヘッドを購入してください。使用している出力品質によっては (高品質、標準、ドラフト)、満足のいく出力品質でまだ印刷できることもありますが、速度は若干落ちます。詳細は、以下の表を参照してください。



プリンタは交換が必要なプリントヘッドでまだ動作を続けますが、フロントパネルには次のように表示されます。



フロントパネルで「プリント カノウデス/コウカンシテ クダサイ」と表示されている		
ドラフト	標準	高品質
出力品質に影響が出ます	出力品質は維持されますが、劣化したプリントヘッドを補正するため印刷プロセスが変更されます。したがって、印刷速度が落ちます。	プリンタは劣化したプリントヘッドを補正しようとします
速度に影響はありません	速度に影響が出ます	速度に影響はありません

プリントヘッドノコウカン

フロントパネルは、プリントヘッドに正常に動作しないノズルがわずかにあることを伝える警告を表示しています。用紙が無駄になる恐れがあります。プリンタはプリントジョブの最初の段階で停止し、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。

ケイコク! プリントヘッドノヒンシツガ
テイカシテイマス。ハイヲセンタクシテ
フリョウノ プリントヘッドヲ
コウカンシテ クダサイ

ハイ (コウカン)

イイエ (ツヅケル)

↓ボタンまたは↑ボタンを押して「ハイ」または「イイエ」を選択します。入力ボタンを押します。「ハイ」を選択すると、プリントジョブはキャンセルされ、交換作業が開始されます。「イイエ」を選択すると、プリンタは印刷を続けます。次に印刷するときは、「ハイ (コウカン)」を選択するまで同じメッセージが表示されます。

フリョウデス

このメッセージは通常、プリントヘッドの交換が必要であることを示します。この状態を正さないとプリンタは作業を開始しません。しかし、この問題は次の手順で修正できます。

- 1 プリントヘッドを取り付け直します。
- 2 キャリッジ接点クリーナを使って、キャリッジとプリントヘッドの接触部分をクリーニングします ⇒ 3-18 ページ
- 3 プリントヘッドを取り付け直してクリーニングすると、いったん「フリョウデス」のメッセージが消えますが、その後また表示される場合は、プリントヘッドを交換してください。

注記

4つのプリントヘッドのステータスが「フリョウデス」の場合は、キャリッジアッセンブリが故障している可能性があります。

モニタ

このメッセージが表示されると、プリントヘッドが設定寿命に達したことを示します。

プリントヘッドが消費したインク量と使用期間を確認するには、3-9ページ「プリントヘッドの情報を得る」を参照してください。

プリントヘッドの寿命は、インク噴霧量が700mlに達したときか、プリンタに取り付けてから12ヵ月 (9,000時間) 経過したときです。この寿命は、プリントヘッドを標準的な作業条件で使用し (HPインク カートリッジのみを使用)、「取り付け期限」を過ぎていない場合です。しかし、使用する出力品質設定により結果は変化します。プリンタは、モニタメッセージを表示して寿命に達したことを警告します。

モニタ メッセージが表示されていても、依然として良好なイメージ品質が得られる場合もありますが、品質の低下は始まっています。印刷されたイメージを見て、満足できる出力品質か判断してください。オペレータのいない長時間の印刷で最適の出力品質を得たい場合は、新しいプリントヘッドを購入して古いものと交換してください。

交換中のプリントヘッドのステータス メッセージ

以下は、プリントヘッドの交換中に表示されるプリントヘッド ステータス メッセージです。

セットアップ

プリンタは、セットアップ用のプリントヘッドが取り付けられていることを検出しました。

ショウズミデス

プリンタは、使用済みのセットアップ用プリントヘッドが取り付けられていることを検出しました。

セットシテ クダサイ

キャリッジ内にプリントヘッドが検出されませんでした。プリントヘッドがキャリッジ内に取り付けられているにも拘わらず、このメッセージが表示されるときは、次の操作を行います。

- 1 プリントヘッドが正しく取り付けられていることを確実にするために、それを取り付け直します。
- 2 キャリッジ接点クリーナを使って、キャリッジとプリントヘッドの接触部分をクリーニングします ⇒ 3-18 ページ
- 3 プリントヘッドを交換します。
- 4 Electronic Systems Test (電気テスト) を実施します ⇒ 4-5 ページ

注記

4 つのプリントヘッドがすべて取り付けられているにも関わらず、ステータス メッセージが「セットシテ クダサイ」の場合は、キャリッジアセンブリが故障している可能性があります。

ツケナオシテ クダサイ	プリントヘッドが少しずれてしまい、キャリッジアッセンブリとの良好な電気接点を得ることができません。プリントヘッドを正しい位置に取り付け直してください。この状態を正さないとプリンタは作業を開始しません。 1 プrintヘッドを正しい位置に取り付け直します。 2 キャリッジ接点クリーナを使って、キャリッジとプリントヘッドの接触部分をクリーニングします ⇒ 3-18 ページ 3 プrintヘッドを交換します。 4 Electronic Systems Test (電気テスト) を実施します ⇒ 4-5 ページ
注記	4 つのプリントヘッドのステータスがすべて「ツケナオシテ クダサイ」の場合は、キャリッジアッセンブリが故障している可能性があります。
トリカエテ クダサイ	プリントヘッドのスマートチップが正しくないか、あるいはキャリッジとプリントヘッド間のデジタル通信が間違っています。この状態を正さないとプリンタは作業を開始しません。 1 プrintヘッドを取り付け直します。 2 キャリッジ接点クリーナを使って、キャリッジとプリントヘッドの接触部分をクリーニングします ⇒ 3-18 ページ 3 プrintヘッドを交換します。 4 Electronic Systems Test (電気テスト) を実施します ⇒ 4-5 ページ
注記	4 つのプリントヘッドのステータスがすべて「トリカエテ クダサイ」の場合は、キャリッジアッセンブリが故障している可能性があります。
モデルガチガイマス	プリンタは取り付けてあるプリントヘッドやプリントヘッドクリーナを認識しません。これらを取り外さないとプリンタは作業を継続できません。
注意	プライミング プロセス中にキャリッジに印刷用プリントヘッドが取り付けられると、プリントヘッドは拒否され、フロントパネルに「モデルガチガイマス」メッセージが表示されます。
フメイデス	取り付けられたプリントヘッドが認識されません。純正のHP No.80プリントヘッドに交換する必要があります。

HP No.80 サプライ品のトラブル解決の要約

HP No.80 サプライ品を使用中のトラブルの多くは、フロントパネルの指示で解決することができます。フロントメッセージの完全なリストは『ユーザーズガイド』に記載されています。

プリントヘッドの取り付け直しのトラブル

プリントヘッドをプリントヘッド キャリッジ アセンブリに挿入しても、“ビーブ音”が鳴らない場合は、次の方法を試してみてください。

注記

プライミング プロセス中に、セットアップ用のプリントヘッドがキャリッジに取り付けられていることを確認します。プライミング プロセス中にキャリッジに印刷用プリントヘッドが取り付けられると、プリントヘッドは拒否され、フロントパネルに「モデルガチガイマス」というメッセージが表示されます。

- プrintヘッドから保護テープが取り外されていることを確認します。
- プrintヘッドをキャリッジ アセンブリに挿入しますが、今度はラッチを使用してカバーを閉じてください。
- キャリッジ接点クリーナを使って、プリントヘッドとプリントヘッド キャリッジ アセンブリの両方の電気接点をクリーニングします ⇒ 3-18 ページ
- プrintヘッドを新しいものと交換してください。

インク カートリッジをプリンタに挿入できない場合

- 1 正しいHP No.80インク カートリッジであることを確認します。
- 2 インク カートリッジが、そのスロットに対して正しいカラーであることを確認します。
- 3 インク カートリッジの向きが正しいこと (カラー ラベルが上) を確認します。

注意

インク カートリッジ スロットの内部をクリーニングしないでください。

プリントヘッドをプリンタに挿入できない場合

- 1 正しいHP No.80プリントヘッドであることを確認します。
- 2 プrintヘッドがスロットに対して正しいカラーであることを確認します。

- 3 プリントヘッドの向きが正しいことを確認します。
- 4 保護用のキャップがプリントヘッドから取り外されていることを確認します。

プリントヘッド クリーナを挿入できない場合

- 1 正しいHP No.80プリントヘッド クリーナであることを確認します。
- 2 プリントヘッド クリーナがスロットに対して正しいカラーであることを確認します。
- 3 プリントヘッド クリーナの向きが正しいことを確認します。

キャリッジ接点クリーナ

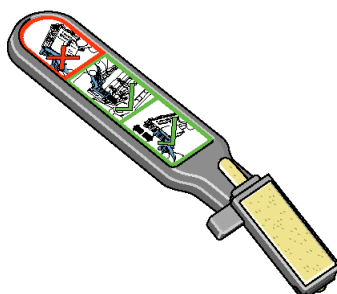
注記

キャリッジ アセンブリを注文すると、キャリッジ接点クリーナが付属として提供されます。キャリッジ接点クリーナの使用に関する説明書も同梱されています。

プリントヘッドを交換するとき、キャリッジ内のスロットをクリーニングする必要があるかを確認します。過酷な環境では、プリントヘッドを挿入するとき、プリントヘッドとプリントヘッド キャリッジ間の電気接点にインクが付着しているためにプリンタがプリントヘッドを認識しないことがあります。

キャリッジ接点クリーナはHPデザインジェット プリンタに含まれます。このツールは別売です。スポンジと説明書も同梱されています。このツールは、プリントヘッドとプリントヘッド キャリッジ間の電気接点をクリーニングするために使用します。

フロントパネルが損傷しているプリントヘッドの横に“「ツケナオシテ クダサイ」”または“「フリオウデス」”のメッセージを表示している場合は、キャリッジとプリントヘッドの接触部分をクリーニングしてください。



注記

プリントヘッド ノズルに触れたり、拭いたり、よごれを落としたりしないでください。プリントヘッドが損傷し出力品質が低下します。

サービス テストおよび ユーティリティ

4

はじめに 4-2

自己診断テスト 4-2

サービス テスト (診断) 4-3

「サービス テスト」メニューの表示 4-4

1. Electronic Systems (電気テスト) 4-5

2. EIO Card (EIOネットワーク カードのテスト) 4-11

3. Hard Disk Drive (ハードディスク ドライブのテスト) 4-13

4. Ink Pressure System (インク プレッシュ システムのテスト) 4-15

5. Scan Axis (スキャン軸のテスト) 4-18

6. Paper Axis (用紙軸のテスト) 4-21

7. Drop Detector (ドロップ検出のテスト) 4-23

サービス ユーティリティ 4-26

「サービス ユーティリティ」メニューの表示 4-27

1. Tubes Purge (チューブ内の空気を除去) 4-29

2. Release Info (リリース情報) 4-33

3. Set Asian PS Fonts (アジアPSフォントの設定) 4-34

4. Printer Model Type (プリンタ モデル タイプの設定) 4-36

5. Overdrive Cleaning (オーバードライブのクリーニング) 4-38

6. EEROM Utilities (EEROMユーティリティ) 4-39

7. Printhead Check (プリントヘッド チェックの設定) 4-42

8. Mon.Mode Baud Sel (モニタ モード ボーレートの選択) 4-43

9. Reset Num.Cycles (Carriage Cycleカウンタのクリア) 4-44

はじめに

本章では、プリンタに内蔵されている「サービス テスト」および「サービス ユーティリティ」の使用方法和、サービス テストがエラーになったときの対処方法について説明します。部品を交換する場合には、不良部品ではないことを確認するため、可能な場合は必ず「サービス テスト」する必要はありません。

自己診断テスト

初期化手順

プリンタの電源をオンにするたびに、一連の内部的なセルフ テストと機械的な初期化手順が自動的に実行されます。トラブルのある部品があれば、システム エラーが表示されますので、第 2 章 - システム エラー コードを調べてください。

サービス テスト (診断)

以下は、このプリンタで利用できる内部的なサービス テストの一覧です。「サービス テスト」メニューを表示する方法については、4-4 ページを参照してください。

警告

サービス テストは、プリンタの完全な初期化を必要としない特殊なモードで動作します。このため、「サービス テスト」の終了後は、印刷を実行する前に、プリンタの電源をいったんオフにしてから、再びオンにする必要があります。

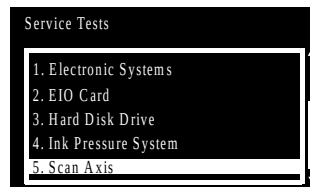
- 1 Electronic System (電気テスト) ⇒ 4-5 ページ**
このテストの目的は、以下の部品の動作を確認することです。
 - エレクトロニクス モジュール
 - DRAM
 - トレーリング ケーブル
 - キャリッジ アセンブリ
- 2 EIO Card (EIO ネットワーク カードのテスト) ⇒ 4-11 ページ**
このテストの目的は、EIO ネットワーク カードの動作を確認することです。
- 3 Hard Disk Drive (ハードディスク ドライブのテスト) ⇒ 4-13 ページ**
このテストの目的は、ハードディスク ドライブの動作を確認することです。
- 4 Ink Pressure System (インク プレッシャ システムのテスト) ⇒ 4-15 ページ**
このテストの目的は、以下の部品の動作を確認することです。
 - チューブ システム
 - エアー プレシャライゼーション システム (APS)
- 5 Scan Axis (スキャン軸のテスト) ⇒ 4-18 ページ**
このテストの目的は、スキャン軸の動作を確認することです。
- 6 Paper Axis (用紙軸のテスト) ⇒ 4-21 ページ**
このテストの目的は、用紙軸の動作を確認することです。
- 7 Drop Detector (ドロップ検出のテスト) ⇒ 4-23 ページ**
このテストの目的は、ドロップ検出の動作を確認することです。

「サービス テスト」メニューの表示

注記

「サービス ユーティリティ」メニューを表示する方法については、**4-27** ページの操作手順を参照してください。

- 1 プリンタ背面の電源スイッチではなく、フロントパネルのオン/オフ ボタンを使って、プリンタの電源をオフにします。
- 2 カラー ボタンを押しながら、フロントパネルのオン/オフ ボタンを使って、プリンタの電源をオンにします。フロントパネルに「ショキカチュウ」のメッセージが表示されるまで待ち、カラー ボタンを離します。
- 3 「サービス テスト」メニューが表示されたら、矢印ボタンを使ってサービス テストの各項目までスクロールして選択します。



- 4 実行するサービス テストの項目がハイライトされているときに入力ボタンを押して、特定のサービス テストを開始します。

注記

プリンタを使用しないまま**3**分間放置すると、プリンタがハングします。この場合、上記の手順を繰り返して「サービス モード」に入る必要があります。

注記

ボタンを押す操作が速すぎると、プリンタが認識しないことがあります。ボタンを押すときは、正確にゆっくりと押してください。

注記

テスト中にプリンタがハング アップした場合は、プリンタの電源をオフにして、手順**1**からやり直してください。

1. Electronic Systems (電気テスト)

このテストの目的は、以下の部品の動作を確認することです。

- エレクトロニクス モジュール
- DRAM
- トレーリング ケーブル
- キャリッジ アセンブリ

注記

このテストでは、**EIO** ネットワーク カードやハードディスク ドライブはテストされません。

注記

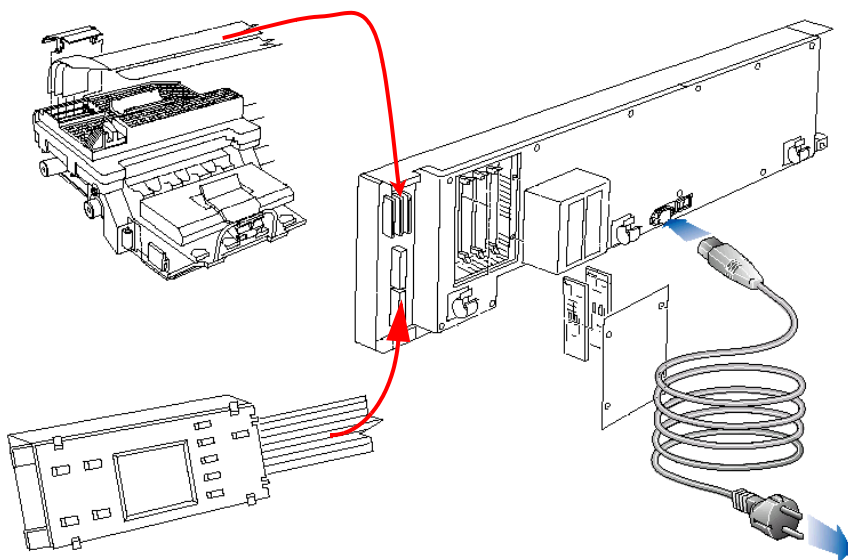
サービス テストは、プリンタの完全な初期化を必要としない特殊なモードで動作します。このため、サービス テストの終了後は、印刷を実行する前に、プリンタの電源をいったんオフにしてから、再びオンにする必要があります。

警告

エレクトロニクス モジュール、トレーリング ケーブル、キャリッジ アセンブリを交換する前に、可能な場合は必ずこのテストを実行してください。このテストが正常に終了すれば、エレクトロニクス モジュール、トレーリング ケーブル、キャリッジ アセンブリを交換する必要はありません。

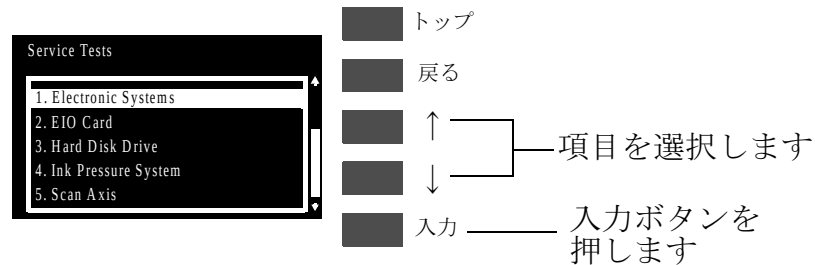
修理のヒント

このテストは、問題の切り分けを行うために、フロントパネル、トレーリング ケーブル、キャリッジ、エレクトロニクス モジュール、電源ケーブルだけを接続した状態で実行することができます。

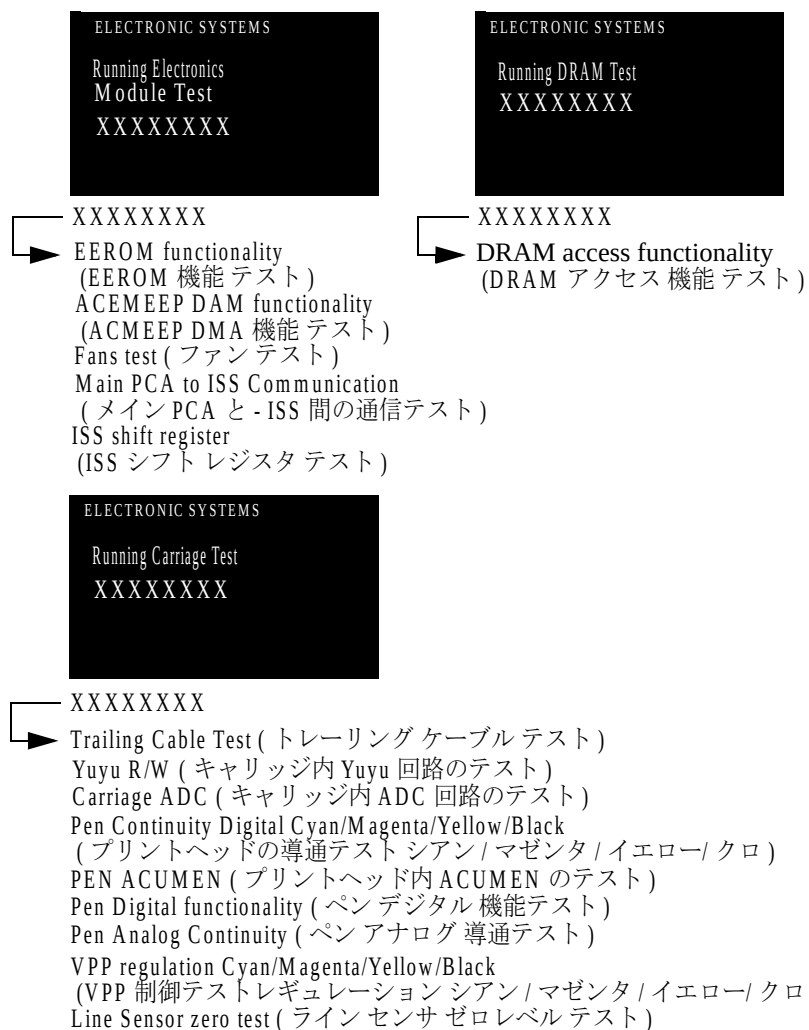


エレクトロニクス システムのテストは、次の手順で実行します。

- 1 「サービス テスト」サブメニューで、「1.Electronic Systems」までスクロールして入力ボタンを押します。



- 2 テストが開始され、フロントパネルに次のような一連のメッセージが表示されます。



- 3 テストが正常に終了すると、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。

```
ELECTRONIC SYSTEMS

Tests passed
FW:A.00.13
PS:6.0A77R
DIMM1:EDO 32MB 60ns
DIMM2:EDO 16 MB 60ns
```

警告

このテストが正常に終了すれば、エレクトロニクス モジュール、トレーリング ケーブル、キャリッジ アセンブリを交換する必要はありません。

- 4 テストがエラーになった場合

エレクトロニクス エラー

エレクトロニクス モジュールの構成部品にトラブルがあれば、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。

```
ELECTRONIC SYSTEMS

Possible Failure on:
1. Electronics Module

Code:00XXXX:0000XX
```

この場合は、エレクトロニクス モジュールを交換してください⇒ 8-26 ページ

DRAMテストのエラー

DRAM にトラブルがあれば、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。

```
ELECTRONIC SYSTEMS

Possible Failure on:
1. DRAM DIMMs
2. Electronic Module

Code:00XXXX:0000XX
```

この場合は、次のいずれかを試してみてください。

- 1 プリンタ背面の電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを取り外します。DRAM DIMMs (メモリモジュール) を正しく取り付け直し、電源ケーブルを再び差し込んで、プリンタの電源をオンにします。もう一度Electronic Systems (電気テスト) を実行します。

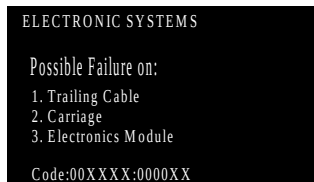
- 2 テストが再びエラーになる場合は、プリンタの電源をオフにし、電源ケーブルを取り外し、**DRAM DIMMs** (メモリ モジュール) を交換します。電源ケーブルを再び差し込み、プリンタの電源をオンにし、もう一度テストを実行します。
- 3 エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告

部品は一度に**1**つだけ交換し、他の部品を交換する前にもう一度サービス テストを実行してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

トレーリング ケーブルのエラー

トレーリング ケーブルにトラブルがあれば、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



ELECTRONIC SYSTEMS
Possible Failure on:
1. Trailing Cable
2. Carriage
3. Electronics Module
Code:00XXXX:0000XX

この場合は、次のいずれかを試してみてください。

- 1 トレーリング ケーブルが正しく差し込まれているかを確認します。
- 2 プリンタの電源をオフにし、(古いトレーリング ケーブルをプリンタから取り外さずに) 新しいトレーリング ケーブルをキャリッジとエレクトロニクス モジュールに差し込みます。このテストをもう一度実行し、エラーになった場合は、トレーリング ケーブルを交換しないでください。テストが正常に終了した場合は、トレーリング ケーブルを交換します。⇒ 8-40 ページ
- 3 プリンタの電源をオフにし、(古いキャリッジ アセンブリをプリンタから取り外さずに) 新しいキャリッジ アセンブリをトレーリング ケーブルに接続します。このテストをもう一度実行し、エラーになった場合は、キャリッジ アセンブリを交換しないでください。テストが正常に終了した場合は、キャリッジ アセンブリを交換します。⇒ 8-46 ページ

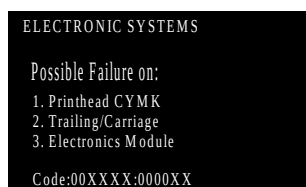
- 4 プリンタの電源をオフにし、(古いエレクトロニクス モジュールをプリンタから取り外さずに) 新しいエレクトロニクス モジュールをトレーリング ケーブルに接続します。このテストをもう一度実行し、エラーになった場合は、エレクトロニクス モジュールを交換しないでください。テストが正常に終了した場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します。⇒ 8-26 ページ

警告

部品は一度に**1**つだけ交換し、他の部品を交換する前にもう一度サービス テストを実行してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

キャリッジ テストのエラー

キャリッジとこれに関連する部品にトラブルがあれば、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



この場合は、次のいずれかを試してみてください。

- 1 プリントヘッドを取り外し、キャリッジ接点クリーナを使って、キャリッジとプリントヘッドの接触部分をクリーニングします ⇒ 3-18 ページ。プリントヘッドを再び取り付け、もう一度テストを実行します。
- 2 再びエラーになった場合は、プリントヘッドを交換します。
- 3 トレーリング ケーブルが、キャリッジ アセンブリとエレクトロニクス モジュールに正しく差し込まれていることを確認します。
- 4 プリンタの電源をオフにし、(古いトレーリング ケーブルをプリンタから取り外さずに) 新しいトレーリング ケーブルをキャリッジとエレクトロニクス モジュールに差し込みます。このテストをもう一度実行し、エラーになった場合は、トレーリング ケーブルを交換しないでください。テストが正常に終了した場合は、トレーリング ケーブルを交換します。⇒ 8-40 ページ
- 5 プリンタの電源をオフにし、(古いキャリッジ アセンブリをプリンタから取り外さずに) 新しいキャリッジアセンブリをトレーリング ケーブルに接続します。このテスト

をもう一度実行し、エラーになった場合は、キャリッジアッセンブリを交換しないでください。テストが正常に終了した場合は、キャリッジアッセンブリを交換します。⇒ 8-46 ページ

- 6 プリンタの電源をオフにし、(古いエレクトロニクス モジュールをプリンタから取り外さずに) 新しいエレクトロニクス モジュールをトレーリング ケーブルに接続します。このテストをもう一度実行し、エラーになった場合は、エレクトロニクス モジュールを交換しないでください。テストが正常に終了した場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します。⇒ 8-26 ページ

警告

部品は一度に**1**つだけ交換し、他の部品を交換する前にもう一度サービス テストを実行してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

2. EIO Card (EIOネットワーク カードのテスト)

このテストの目的は、EIOネットワーク カードの動作を確認することです。

警告

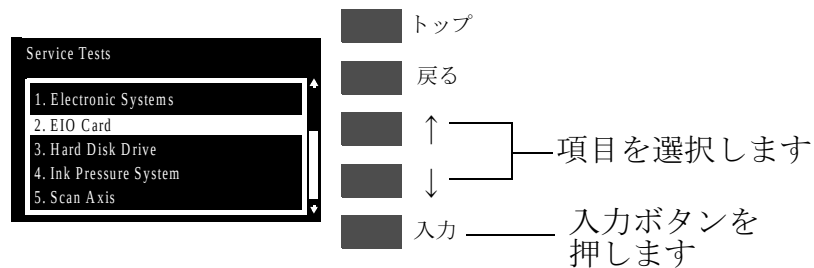
EIOネットワーク カードを交換する前に、可能な場合は必ずこのテストを実行してください。このテストが正常に終了すれば、**EIO**ネットワーク カードを交換する必要はありません。

注記

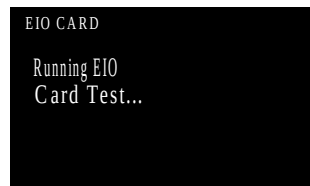
サービス テストは、プリンタの完全な初期化を必要としない特殊なモードで動作します。このため、サービス テストの終了後は、印刷を実行する前に、プリンタの電源をいったんオフにしてから、再びオンにする必要があります。

EIOネットワーク カードのテストは、次の手順で実行します。

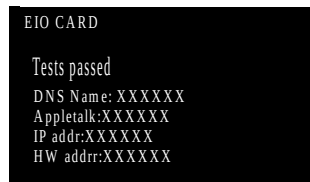
- 1 「サービス テスト」サブメニューで、「2.EIO Card (EIOネットワーク カードのテスト)」までスクロールして入力ボタンを押します。



- 2 テストが開始され、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



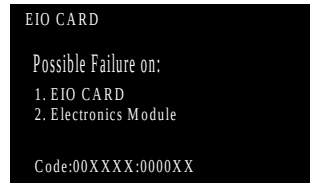
- 3 テストが正常に終了すると、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



警告

このテストが正常に終了すれば、**EIO**ネットワーク カードを交換する必要はありません。

EIO ネットワーク カードにトラブルがあれば、テストがエラーになり、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



注記

トラブルの解決を始める前に、**EIO**ネットワーク カードが取り付けられていることを確認してください。**EIO**ネットワーク カードが取り付けられていなければ、もちろんテストは常にエラーになります。

この場合、次の手順でトラブルを解決します。

- 1 プリンタの電源をオフにします。ハードディスク ドライブを取り外し(取り付けられている場合)、**EIO**ネットワーク カードを再び取り付けます。奥にしっかりと押し込んで、2本の取り付けネジが完全に締まっているかを点検し、**EIO**ネットワーク カードが正しく取り付けられていることを確認してください。プリンタの電源を再びオンにして、**EIO**ネットワーク カードのテストを繰り返します。テストが再びエラーになれば、**EIO**ネットワーク カードを交換します。
- 2 ハードディスク ドライブを取り外した状態で、**EIO**ネットワーク カードのテストが正常に終了した場合は、プリンタの電源をオフにして、ハードディスク ドライブを再び取り付けます。2本の取り付けネジが完全に締まっていることを確認してください。プリンタの電源を再びオンにして、**EIO**ネットワーク カードのテストを繰り返します。**EIO**ネットワーク カードのテストがエラーになれば、ハードディスク ドライブに故障があると考えられます。ハードディスク ドライブを交換してください。
- 3 **EIO**ネットワーク カードやハードディスク ドライブを交換しても、引き続き**EIO**ネットワーク カードのテストがエラーになる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告

部品は一度に**1**つだけ交換し、他の部品を交換する前にもう一度サービス テストを実行してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

3. Hard Disk Drive (ハードディスク ドライブのテスト)

このテストの目的は、ハードディスク ドライブの動作を確認することです。

警告

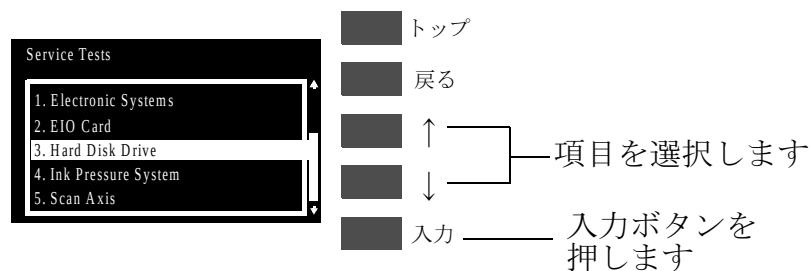
ハードディスク ドライブを交換する前に、可能な場合は必ずこのテストを実行してください。このテストが正常に終了すれば、ハードディスク ドライブを交換する必要はありません。

注記

サービス テストは、プリンタの完全な初期化を必要としない特殊なモードで動作します。このため、サービス テストの終了後は、印刷を実行する前に、プリンタの電源をいったんオフにしてから、再びオンにする必要があります。

ハードディスク ドライブのテストは、次の手順で実行します。

- 1 「サービス テスト」サブメニューで、「3.Hard Disk Drive」までスクロールして入力ボタンを押します。



- 2 テストが開始され、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



- 3 テストが正常に終了すると、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



警告

このテストが正常に終了すれば、ハードディスク ドライブを交換する必要はありません。

ハードディスク ドライブにトラブルがあれば、テストがエラーになり、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



注記

トラブルの解決を始める前に、ハードディスク ドライブが取り付けられていることを確認してください。ハードディスク ドライブが取り付けられていなければ、もちろんテストは常にエラーになります。

この場合、次の手順でトラブルを解決します。

- 1** プリンタの電源をオフにします。EIOネットワーク カードを取り外し(取り付けられている場合)、ハードディスク ドライブを再び取り付けます。奥にしっかりと押し込んで、2本の取り付けネジが完全に締まっているかを点検し、ハードディスク ドライブが正しく取り付けられていることを確認してください。プリンタの電源を再びオンにして、ハードディスク ドライブのテストを繰り返します。テストが再びエラーになれば、ハードディスク ドライブを交換します。
- 2** EIOネットワーク カードを取り外した状態で、ハードディスク ドライブのテストが正常に終了した場合は、プリンタの電源をオフにして、EIOネットワーク カードを再び取り付けます。2本の取り付けネジが完全に締まっていることを確認してください。プリンタの電源を再びオンにして、ハードディスク ドライブのテストを繰り返します。ハードディスク ドライブのテストがエラーになれば、EIOネットワーク カードに欠陥があると考えられます。EIOネットワーク カードを交換してください。
- 3** EIOネットワーク カードやハードディスク ドライブを交換しても、引き続きハードディスク ドライブのテストがエラーになる場合は、エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告

部品は一度に**1**つだけ交換し、他の部品を交換する前にもう一度サービス テストを実行してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

4. Ink Pressure System (インク プレッシュ システムのテスト)

このテストの目的は、以下の部品の動作を確認することです。

■ チューブ システム

■ エアー プレシャライゼーション システム (APS)

警告

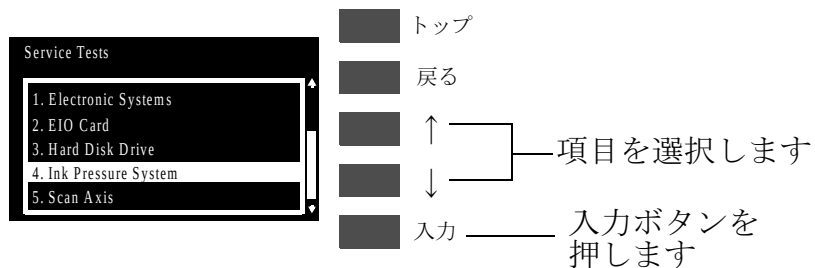
チューブ システムまたは**APS (Air Pressurization System)**を交換する前に、可能な場合は必ずこのテストを実行してください。このテストが正常に終了すれば、チューブ システムや**APS (Air Pressurization System)**を交換する必要はありません。

注記

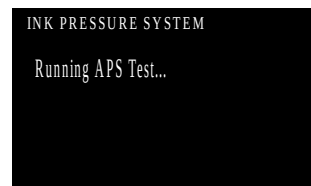
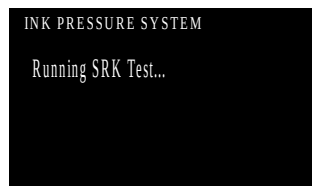
サービス テストは、プリンタの完全な初期化を必要としない特殊なモードで動作します。このため、サービス テストの終了後は、印刷を実行する前に、プリンタの電源をいったんオフにしてから、再びオンにする必要があります。

インク プレッシュ システムのテストは、次の手順で実行します。

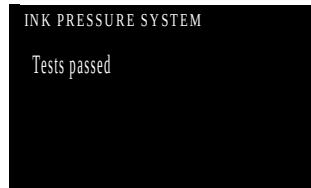
- 1 「サービス テスト」サブメニューで、「4.Ink Pressure System」までスクロールして入力ボタンを押します。



- 2 テストが開始され、フロントパネルに次のような一連のメッセージが表示されます。



- 3 テストが正常に終了すると、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



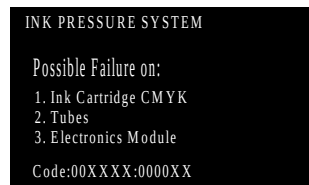
警告

このテストが正常に終了すれば、チューブシステムや **APS(Air Pressurization System)**を交換する必要はありません。

- 4 テストがエラーになった場合

チューブ システムのエラー

チューブ システムにトラブルがあれば、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



この場合は、次のいずれかを試してみてください。

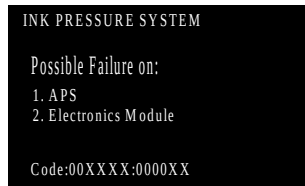
- 1 すべてのインク カートリッジを交換します。
- 2 チューブ システム全体を交換します ⇒ 8-55 ページ
- 3 エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告

部品は一度に**1**つだけ交換し、他の部品を交換する前にもう一度サービス テストを実行してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

APS(Air Pressurization System)テストのエラー

APS(Air Pressurization System) にトラブルがあれば、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



この場合は、次のいずれかを試してみてください。

- 1 APS(Air Pressurization System)のすべてのケーブルを点検して、それらが正しく差し込まれていて、損傷がないかを確認します。
- 2 APS(Air Pressurization System)のすべてのチューブを点検し、それらにねじれや損傷がないかを確認します。
- 3 すべてのインク カートリッジを交換します。
- 4 APS(Air Pressurization System)を交換します ⇒ 8-20 ページ
- 5 エレクトロニクス モジュールを交換します ⇒ 8-26 ページ

警告

部品は一度に**1**つだけ交換し、他の部品を交換する前にもう一度サービス テストを実行してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

5. Scan Axis (スキャン軸のテスト)

このテストの目的は、スキャン軸モーターの動作を確認することです。

次の操作の後には、スキャン軸のテストを実行する必要があります。

- スキャン軸アッセンブリの分解または交換
- キャリッジの分解または交換
- エレクトロニクス モジュールの交換
- チューブ システムの分解または交換

警告

「サービス テスト」メニューでは、すべてのカバー センサが無効になります。キャリッジが動いている場合、ウィンドウを開けても停止しませんので、内部に手を入れないように注意してください。

警告

スキャン軸モーターを交換する前に、可能な場合は必ずこのテストを実行してください。このテストが正常に終了すれば、スキャン軸モーターを交換する必要はありません。

注記

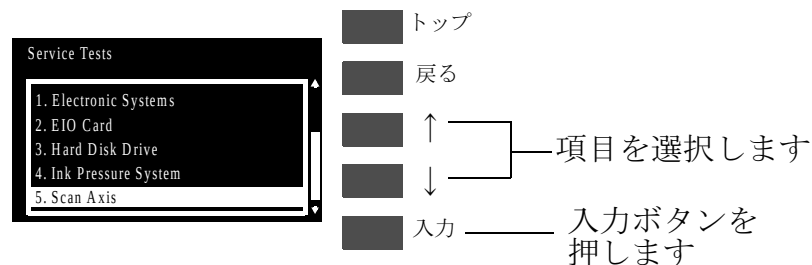
サービス テストは、プリンタの完全な初期化を必要としない特殊なモードで動作します。このため、サービス テストの終了後は、印刷を実行する前に、プリンタの電源をいったんオフにしてから、再びオンにする必要があります。

スキャン軸のテストは、次の手順で実行します。

注記

正しく比較できる値を得るため、このテストはプリンタヘッドとチューブ システムを取り付けた状態で実行してください。

- 1 「サービス テスト」サブメニューで、「5.Scan Axis」までスクロールして入力ボタンを押します。



- 2 テストが開始され、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。

```
SCAN AXIS
Runnign Scan
Axis Test...
(takes 2mn...)
```

- 3 テストが完了すると、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。

```
SCAN AXIS FORWARD
Avg PWM:XXX
Max PWM:XXX
Stabilizat Dist:XXXX
Avg speed offset:XXX
STD speed offset:XXX
```

- 4 入力ボタンを押すと、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。

```
SCAN AXIS BACKWARDS
Avg PWM:XXX
Max PWM:XXX
Stabilizat Dist:XXXX
Avg speed offset:XXX
STD speed offset:XXX
```

テスト後に表示された値が許容範囲内かどうかを調べるには、以下の表を参照してください。

	スキャン軸順方向		スキャン軸逆方向	
	標準	最大	標準	最大
平均 PWM	-165	-185	165	185
最大 PWM	220	240	220	240
スタビライズ ディスタンス (安定した動作ま での距離)	1800	2400	1800	2400
平均スピード オフセット	2.4	10	2.4	10
STD スピード オフセット	4.4	10	4.4	10

テスト中に得られた値が上記の表の最大値よりも小さい場合、テスト結果は正常です。

テスト中に得られた値が上記の表の最大値よりも大きい場合、テスト結果はエラーです。トラブルを解決するには、次の操作を試してみてください。

- 1 スライダ ロッドをクリーニングし、スライダ ロッドの軸全体に沿ってオイルをうすく塗布します。オイルを塗布した後、もう一度テストを実行します。
- 2 エンコーダ ストリップが汚れていないかを点検します。必要ならば、水、ぬるま湯で濡らし固く絞った布でクリーニングした後、乾拭きを実施します。
- 3 チューブ システムが正しく取り付けられているかを点検します。
- 4 キャリッジ ベルトおよびプーリーが正しく取り付けられているかを点検します。
- 5 スキャン軸モーターを交換します ⇒ 8-34 ページ

6. Paper Axis (用紙軸のテスト)

このテストの目的は、用紙軸モーターの動作を確認することです。

警告

用紙軸モーターを交換する前に、可能な場合は必ずこのテストを実行してください。このテストが正常に終了すれば、用紙軸モーターを交換する必要はありません。

注記

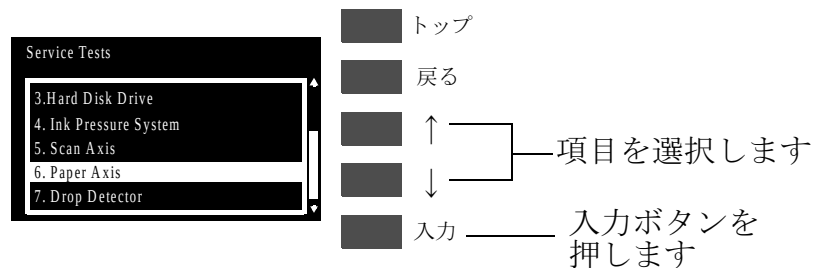
サービス テストは、プリンタの完全な初期化を必要としない特殊なモードで動作します。このため、サービス テストの終了後は、印刷を実行する前に、プリンタの電源をいったんオフにしてから、再びオンにする必要があります。

注記

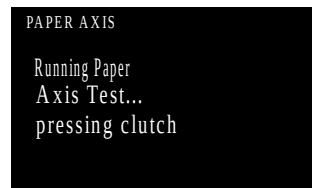
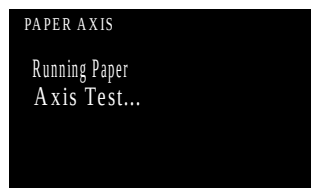
このテストを実行するときは、用紙を取り付けないでください。

用紙軸のテストは、次の手順で実行します。

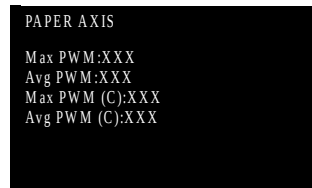
- 1 「サービス テスト」サブメニューで、「6.Paper Axis」までスクロールして入力ボタンを押します。



- 2 テストが開始され、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



- 3 テストが完了すると、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



最大PWMの値が95より小さく、平均PWMの値が85より小さい場合、テスト結果は正常です。

最大PWMの値が95より大きく、平均PWMの値が85より大きい場合、テスト結果はエラーです。トラブルを解決するには、次の操作を試してみてください。

- 1 ウィンドウを開けて、ドライブ ローラーまたはオーバードライブ アセンブリの動作を妨げる障害物がないかを点検します。
- 2 用紙軸モーターを交換します ⇒ 8-12 ページ

最大PWMの値が95より小さく、平均PWMの値が85より小さくても、最大 PWM(C) の値が 100 より大きく、平均 PWM(C)の値が90より大きい場合、テスト結果はエラーです。トラブルを解決するには、次の操作を試してみてください。

- 1 オーバードライブ アセンブリを交換します ⇒ 8-66 ページ

7. Drop Detector (ドロップ検出のテスト)

このテストの目的は、ドロップ検出の動作を確認することです。

警告

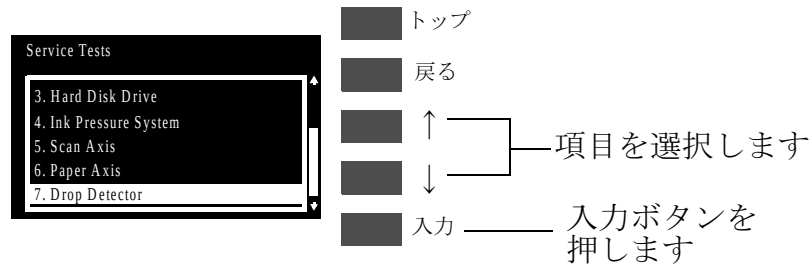
ドロップ検出を交換する前に、可能な場合は必ずこのテストを実行してください。このテストが正常に終了すれば、ドロップ検出を交換する必要はありません。

注記

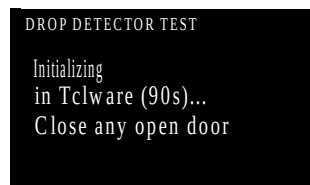
サービス テストは、プリンタの完全な初期化を必要としない特殊なモードで動作します。このため、サービス テストの終了後は、印刷を実行する前に、プリンタの電源をいったんオフにしてから、再びオンにする必要があります。

ドロップ検出のテストは、次の手順で実行します。

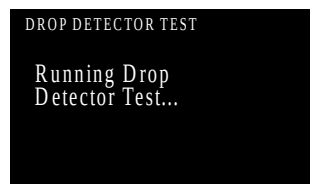
- 1 「サービス テスト」サブメニューで、「7.Drop Detector」までスクロールして入力ボタンを押します。



- 2 テストによって初期化が開始され、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



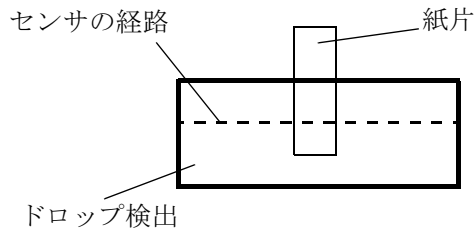
- 3 初期化後テストが開始され、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



警告

以下の手順で、ドロップ検出の内部に紙片を落さないように注意してください。

- 4 次のようなメッセージが表示されたら、ウィンドウを開け、ドロップ検出の内部に薄い紙片を差し込んでブロックします。ドロップ検出がブロックされたら、フロントパネルのいずれかのボタンを押します。



Block the Drop Detector
and press a FP key
when it is blocked

- 5 次のようなメッセージが表示されたら、紙片をドロップ検出から取り除き、ウィンドウを閉じます。ウィンドウを閉じた後、フロントパネルのいずれかのボタンを押します。

Unblock Drop Detector
close the window
and press a FP key
to continue

- 6 ドロップ検出のテストが行われ、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。

DROP DETECTOR TEST

Running Drop
Detector Test, ghost d

- 7 テストが正常に終了すると、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。

DROP DETECTOR

BLOCKED DD:PASS
GHOST DROPS:PASS

警告

このテストが正常に終了すれば、ドロップ検出を交換する必要はありません。

ドロップ検出にトラブルがあれば、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



この場合、次の手順でトラブルを解決します。

- 1** ドロップ検出ケーブルが破損または損傷していないかを点検します。
- 2** ドロップ検出ケーブルがサービス ステーション ケーブルに正しく差し込まれているかを点検します。
- 3** サービス ステーション ケーブルが破損または損傷していないかを点検します。
- 4** ドロップ検出を取り外して、センサを妨げる障害物がないかを確認します。
- 5** ドロップ検出アセンブリを交換します ⇒ **8-10 ページ**
- 6** 引き続きテストがエラーになる場合は、エレクトロニクスモジュールを交換します ⇒ **8-26 ページ**

警告

部品は一度に**1**つだけ交換し、他の部品を交換する前にもう一度サービス テストを実行してください。この手順を用いることにより、どの部品が故障しているのかを正確に判断することができます。

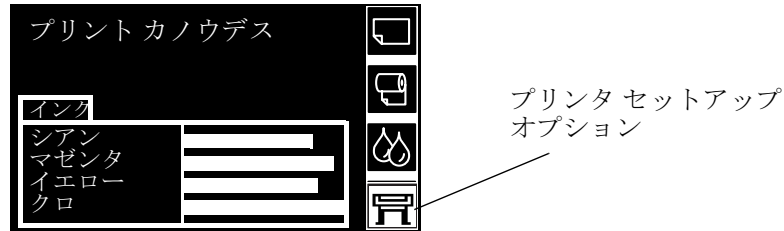
サービス ユーティリティ

以下は、このプリンタで利用できる内部的なサービス ユーティリティの一覧です。「サービス ユーティリティ」メニューを表示する方法については、4-27 ページを参照してください。

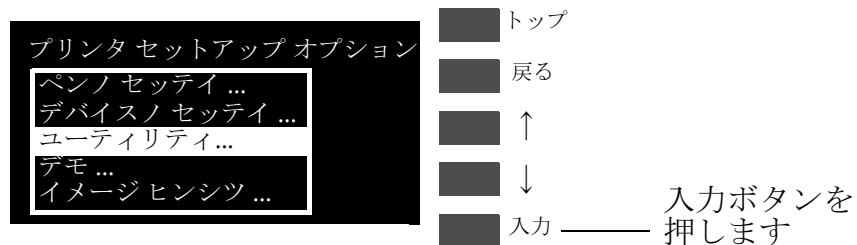
- 1 **Tubes Purge** (チューブ内の空気を除去) ⇒ 4-29 ページ
このサービス ユーティリティの目的は、新しいチューブシステムを取り付けた後にチューブを補充することです。
- 2 **Release Info** (リリース情報) ⇒ 4-33 ページ
このサービス ユーティリティは、現在のファームウェアのバージョンについての情報を提供します。
- 3 **Set Asian PS Font** (アジアPSフォントの設定) ⇒ 4-34 ページ
このサービス ユーティリティの目的は、ハードディスクドライブの交換後にアジア フォントを設定することです。
- 4 **Printer Model Type** (プリンタ モデル タイプの設定) ⇒ 4-36 ページ
このサービス ユーティリティの目的は、プリンタのモデルを正しく設定することです。
- 5 **Overdrive Cleaning** (オーバードライブのクリーニング) ⇒ 4-38 ページ
このサービス ユーティリティの目的は、クリーニングのためにオーバードライブを回転させることです。
- 6 **EEROM Utilities** (EEROMユーティリティ) ⇒ 4-39 ページ
このサービス ユーティリティの目的は、EEROM をクリアまたはテストすることです。
- 7 **Printhead Check** (プリントヘッド チェックの設定) ⇒ 4-42 ページ
このサービス ユーティリティでは、プリントヘッドチェック機能のオン/オフを切り換えることができます。
- 8 **Mon.Mode Baud Sel.** (モニタ モード ボーレートの選択) ⇒ 4-43 ページ
このサービス ユーティリティでは、シリアル ポートのボーレートを変更することができます。

「サービス ユーティリティ」メニューの表示

- 1 フロントパネルに「プリント カノウデス」というメッセージが表示されたら、「プリンタ セットアップ オプション」のアイコンまでスクロールして入力ボタンを押します。



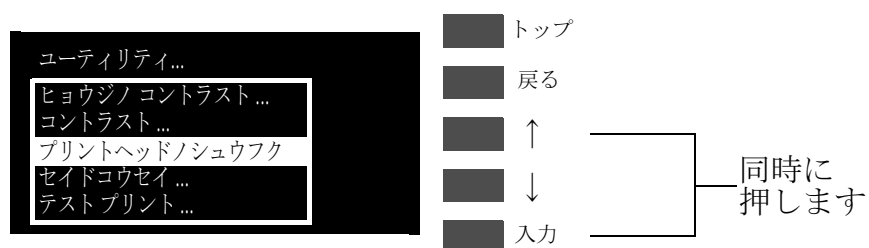
- 2 「プリンタ セットアップ オプション」メニューが表示されたら、矢印ボタンを使って「ユーティリティ」メニュー表示までスクロールし、入力ボタンを押します。



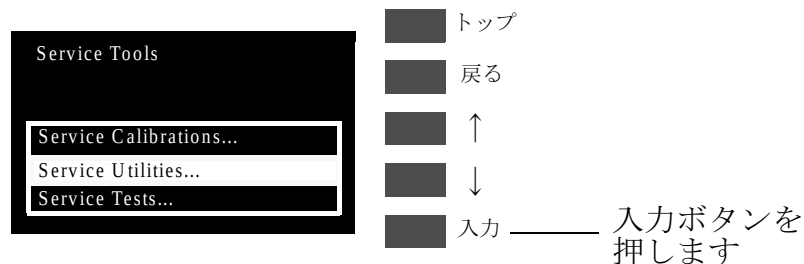
注記

フル メニュー モード (ユーティリティ/メニュー/フル) になっていることを確認してください。フル メニューになっていないと、「**Service Tools**」サブメニューが表示されません。

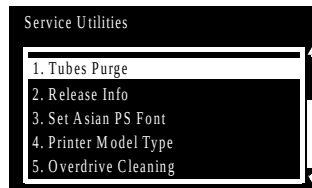
- 3 「ユーティリティ」メニューが表示されたら、↑ボタンと入力ボタンを同時に押します。これで、「**Service Tools**」メニューに移動します。



- 4 矢印ボタンを使って「サービス ユーティリティ」までスクロールし、入力ボタンを押します。



- 5 矢印ボタンを使って、「Service Utilities」メニューの各項目までスクロールします。



- 6 使用するサービス ユーティリティの項目がハイライトされているときに入力ボタンを押して、特定の操作を開始します。

注記

プリンタを使用しないまま **3** 分間放置すると、「サービス ユーティリティ」メニューが終了します。この場合、上記の手順を繰り返してもう一度「サービス ユーティリティ」メニューを表示する必要があります。

注記

ボタンを押す操作が速すぎると、プリンタが認識しないことがあります。ボタンを押すときは、正確にゆっくりと押し込んでください。

注記

プリンタが処理の途中でハングアップしたら、プリンタの電源スイッチをオフにして、手順 **1.**から再開してください。

1. Tubes Purge (チューブ内の空気を除去)

このサービス ユーティリティの目的は、新しいチューブシステムを取り付けたときにチューブをインクで満たすことです。

警告

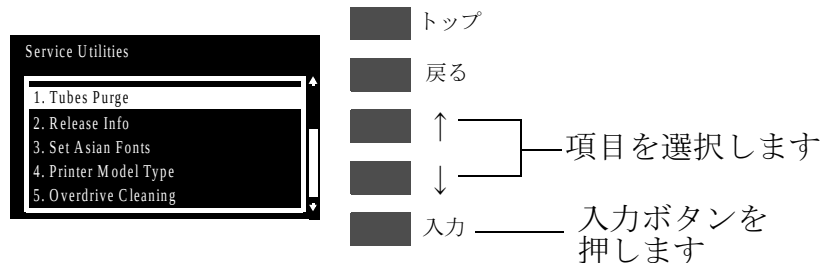
チューブ システムの交換後には、必ず「**Tube Purge**」を実行してください。

注記

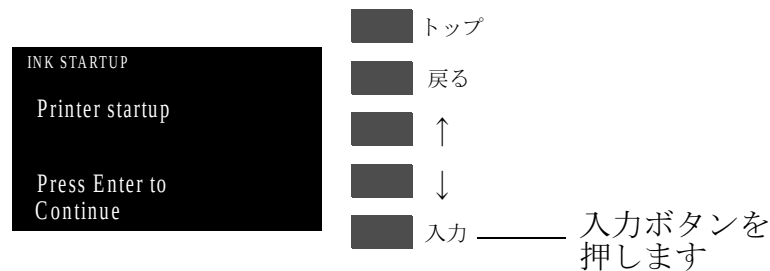
チューブをインクで満たす前に、インクカートリッジにインクが十分に残っていることを確認してください。インクの残量が不足していると、警告のメッセージが表示されます。

チューブ内の空気を除去するには、次の手順で実行します。

- 1 「サービス ユーティリティ」サブメニューで、「1.Tubes Purge」までスクロールして入力ボタンを押します。



- 2 プリンタのスタートアップが開始されます。操作を続行するには、入力ボタンを押します。



- 3 プリンタがプリントヘッドにアクセスしている間、フロントパネルには次のようなメッセージが表示されます。



- 4 次のようなメッセージが表示されたら、ウィンドウを上げて、キャリッジからすべてのプリントヘッドを取り外します。セットアップ用プリントヘッドをキャリッジに取り付けます。



INK STARTUP

Lift window to
install SETUP
printheads

- 5 すべてのセットアップ用プリントヘッドを取り付けると、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。キャリッジカバーを閉じ、ウィンドウを閉じます。



INK STARTUP

All SETUP printheads
are OK. Close cover
and window to
continue

- 6 プリンタがプリントヘッドにアクセスし、規定位置まで移動している間、フロントパネルには次のようなメッセージが表示されます。



INK STARTUP

Accessing Printheads



INK STARTUP

Storing Printheads

- 7 この後、チューブシステム内にインクを満たし空気を除去する作業が開始されます。



INK STARTUP

Initializing printer
Please wait. xx sec

- 8 チューブ システムにインクが満たされると、次のようなメッセージが表示されます。ウィンドウを上げてすべてのセットアップ用プリントヘッドをキャリッジから取り外し、先ほど取り外した印刷用のプリントヘッドをキャリッジに取り付けます。



INK STARTUP

Lift window to
replace SETUP
printheads

- 9 すべてのプリントヘッドを取り付けると、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。キャリッジカバーを閉じ、ウィンドウを閉じます。



INK STARTUP

All printheads
are OK. Close cover
and window to
continue

- 10 右のカバーを開けて、プリントヘッドクリーナがサービスステーションに取り付けられていることを確認します。



INK STARTUP

Open right cover
and install printhead
cleaners

- 11 用紙が取り付けられていないと、フロントパネルに次のメッセージが表示されます。プリンタに用紙を取り付けてください。



INK STARTUP

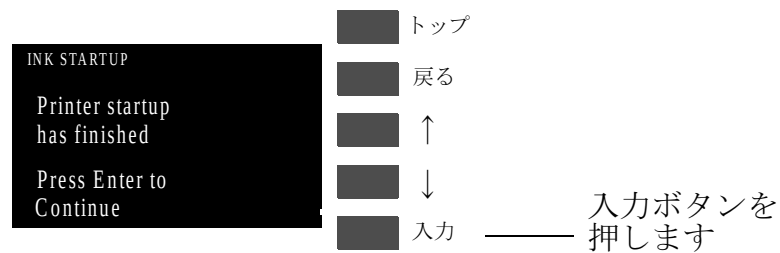
Load paper for
calibration

- 12 プリントヘッド軸合わせパターンの印刷が開始され、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



INK STARTUP
Aligning printheads
Approximate
time remaining
x min xx sec

- 13 プリントヘッドの軸合わせが完了すると、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



INK STARTUP
Printer startup
has finished
Press Enter to
Continue

トップ
戻る
↑
↓
入力

入力ボタンを
押します

警告

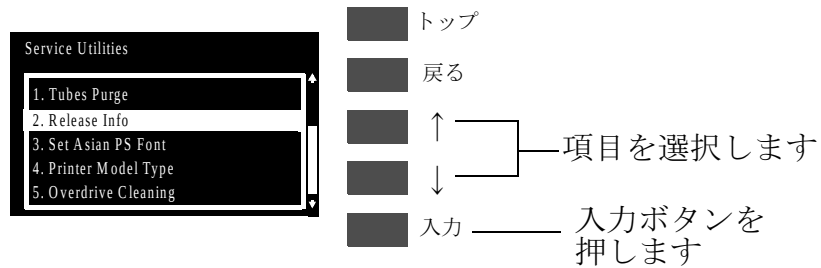
チューブ システムを交換した場合、**Calibration Backup** (校正のバックアップ) (⇒ 5-19 ページ) を実行して、エレクトロニクス モジュールから **EEROM** データをバックアップする必要があります。**Calibration Backup** (校正のバックアップ) を行うときは、必ず「**Tubes Replaced**」(チューブ コウカンズミ) を選択してください。

2. Release Info (リリース情報)

このサービス ユーティリティは、現在のファームウェアのバージョン情報を提供します。

リリース情報の確認は、次の手順で行います。

- 1 「Service Utilities」サブメニューで、「2.Release Info」までスクロールして入力ボタンを押します。



- 2 ファームウェア情報が表示されます。表示例を以下に示します。

```
2. Release Info.  
  
Rel:A.01.02  
Date:Oct 27 1998  
Time:12:20:02  
BChann:No
```

3. Set Asian PS Fonts (アジアPSフォントの設定)

このサービス ユーティリティの目的は、エレクトロニクスモジュール、及びハードディスクの交換後にアジア フォントを選択することです。

警告

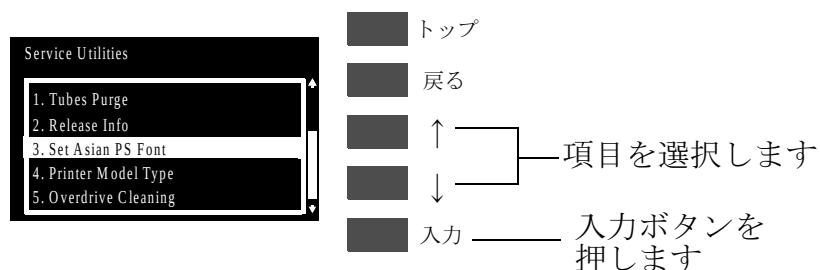
エレクトロニクス モジュール、及びハードディスクの交換後には、必ずアジア フォントを設定してください。

注記

お客様が内蔵のアジア **PS** フォントを使用していない場合、このサービス ユーティリティは必要ありません。

アジアPSフォントの設定は、次の手順で行います。

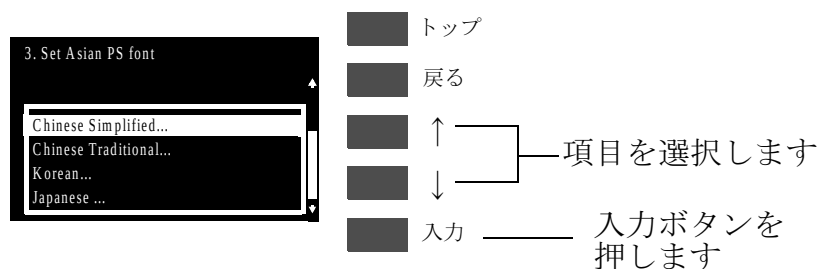
- 1 「Service Utilities」サブメニューで、「3.Set Asian PS Font」までスクロールして入力ボタンを押します。



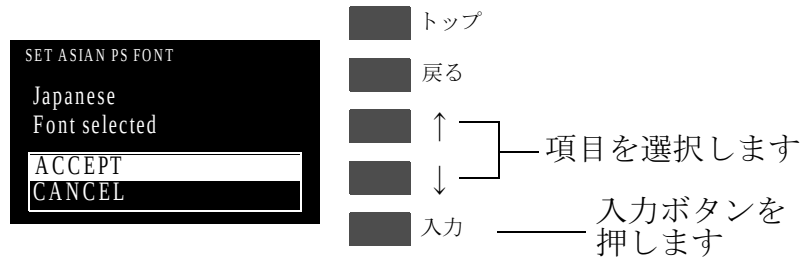
警告

正しいアジア **PS** フォントが選択されていることを確認してください。プリンタが最初の**PostScript**ファイルを受信すると、残りのアジア**PS**フォントはハードディスクから削除されます。これを元に戻す方法はありません。

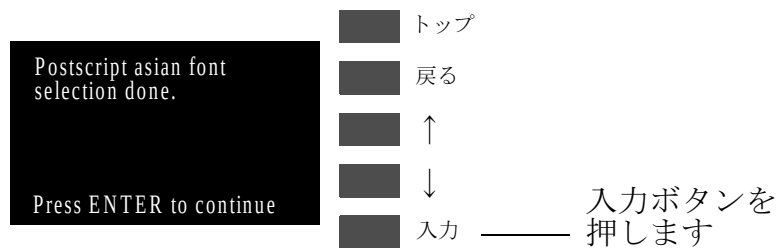
- 2 すべてのアジアPSフォントが一覧表示されます。使用するフォントを選択してください。↑ボタンまたは↓ボタンを使って選択した後、入力ボタンを押します。



- 3 フロントパネルに、選択を確認する次のようなメッセージが表示されます。フォントを選択して作業を続ける場合は **ACCEPT** を選択し、フォントの選択を取り消す場合は **CANCEL** を選択します。どちらかを選択したら、入力を押します。



- 4 フォントの選択が完了すると、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



4. Printer Model Type (プリンタ モデル タイプの 設定)

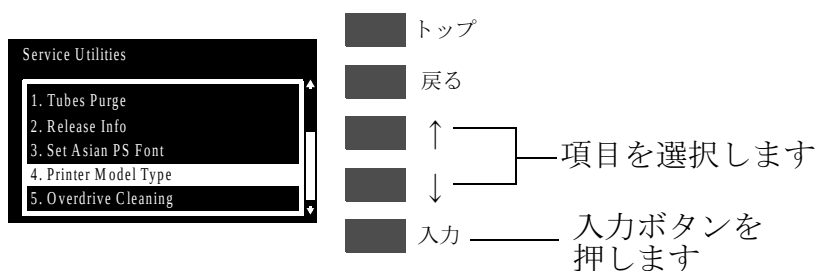
このサービス ユーティリティの目的は、プリンタのモデル
を正しく設定することです。

注記

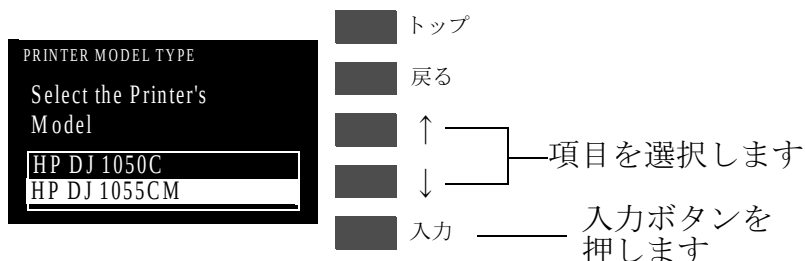
プリンタ モデル タイプの設定は、チューブ システムとエ
レクトロニクス モジュールの両方を同時に交換した場合
にのみ、行う必要があります。

プリンタ モデル タイプの設定は、次の手順で行います。

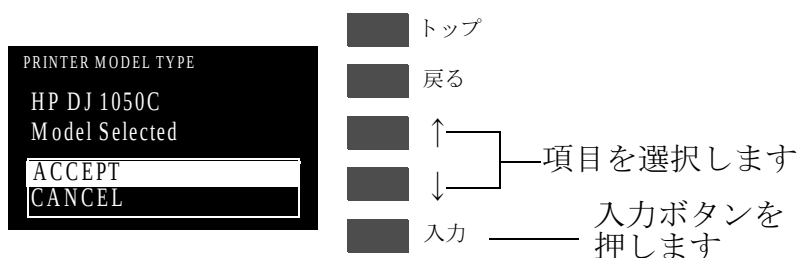
- 1 「Service Utilities」 サブメニューで、「4.Printer Model Type」
までスクロールして入力ボタンを押します。



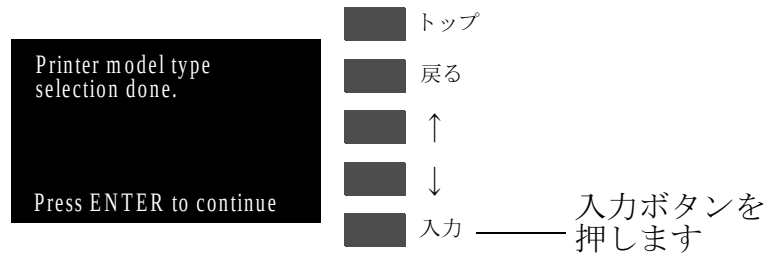
- 2 フロントパネルに次のようなメッセージが表示されたら、
設定するプリンタ モデルを選択します。「HP DJ 1050C」ま
たは「HP DJ 1055CM」のいずれかを選択し、入力ボタン
を押します。



- 3 選択を確認する次のようなメッセージが表示されます。そ
のプリンタ モデル (一つ前の手順で選択したもの) に設定
する場合は「**ACCEPT**」を選択し、モデルの選択を取り消
す場合は「**CANCEL**」を選択します。どちらかを選択した
ら、入力を押します。



- 4 モデル タイプの選択が完了すると、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



- 5 「サービス構成プリント」(⇒ 1-20 ページ) を印刷し、プリンタ モデル タイプが正しく設定されていることを確認します。

5. Overdrive Cleaning (オーバードライブのクリーニング)

このサービス ユーティリティの目的は、クリーニングのために、オーバードライブ、ドライブ ローラー、ローラー マークを回転させることです。

注記

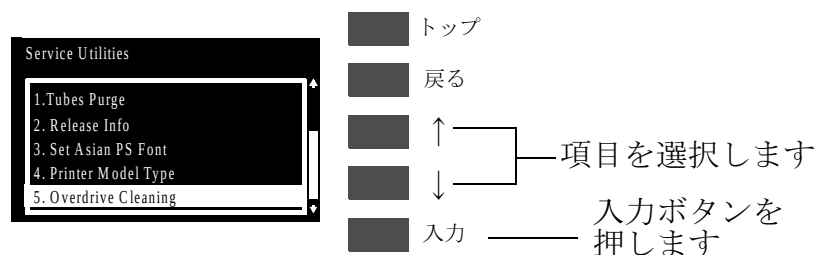
この操作を実行する前に、用紙を取り外してください。

警告

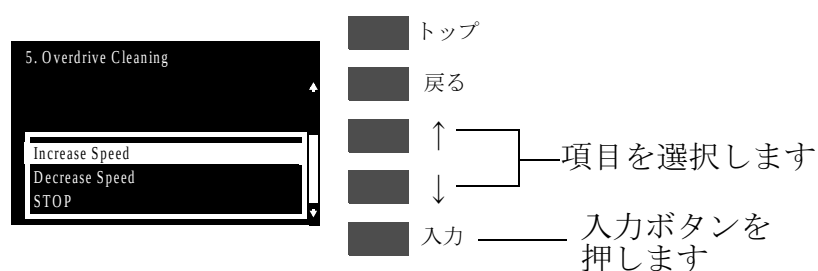
このサービス ユーティリティを実行する前に、プリンタのウィンドウを開け、ウィンドウ センサに紙片をはさみ動作させてください。

オーバードライブ ユーティリティのクリーニングは、次の手順で行います。

- 1 「サービス ユーティリティ」サブメニューで、「5.Overdrive Cleaning」までスクロールして入力ボタンを押します。



- 2 フロントパネルに次のようなメッセージが表示されたら、↑ボタンまたは↓ボタンを使って、速度を速くするか遅くするのいずれかを選択します。入力ボタンを押しますと、選択に従って加速または減速します。



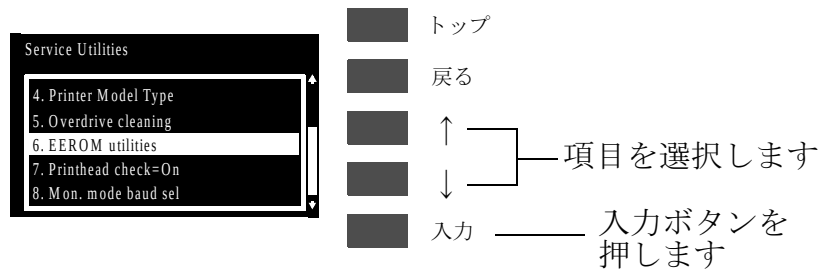
- 3 9-3 ページのクリーニング手順を参照してください。
- 4 オーバードライブを停止するには、「STOP」を選択して入力ボタンを押します。

6. EEROM Utilities (EEROMユーティリティ)

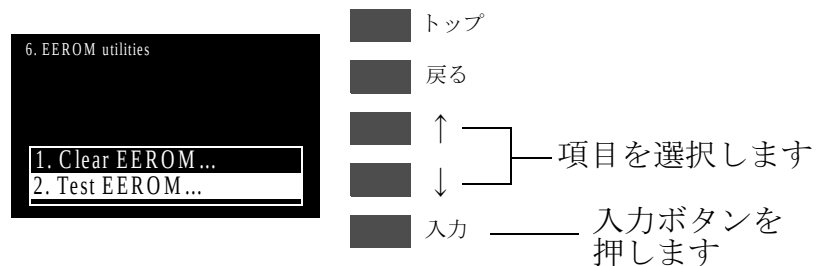
このサービス ユーティリティの目的は、エレクトロニクスモジュールの中のEEROMをクリアまたはテストすることです。

EEROMのクリア/テスト ユーティリティは、次の手順で実行します。

- 1 「Service Utilities」サブメニューで、「6.EEROM Utilities」までスクロールして入力ボタンを押します。

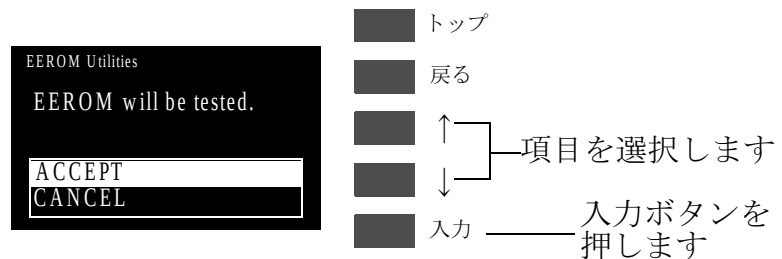


- 2 フロントパネルに次のようなメッセージが表示されたら、EEROMをテストするかクリアするかを選択します。選択後、入力ボタンを押します。

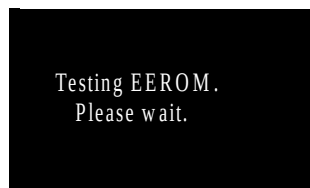


EEROMをテストする場合

- a EEROMをテストする場合は、「Test EEROM」を選択して入力ボタンを押します。選択を確認する次のようなメッセージが表示されます。作業を続ける場合は「ACCEPT」を選択し、テストを取り消す場合は「CANCEL」を選択します。どちらかを選択したら、入力を押します。



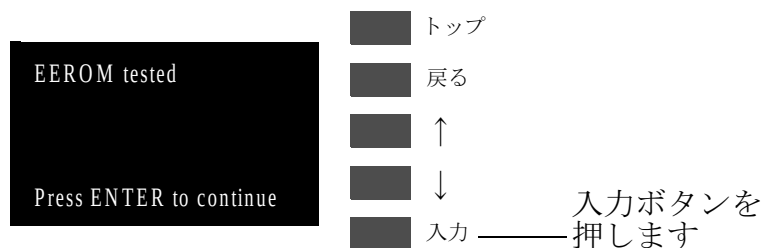
- b** テストの継続を選んだ場合は、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。テストが終了するまで待ちます。



警告

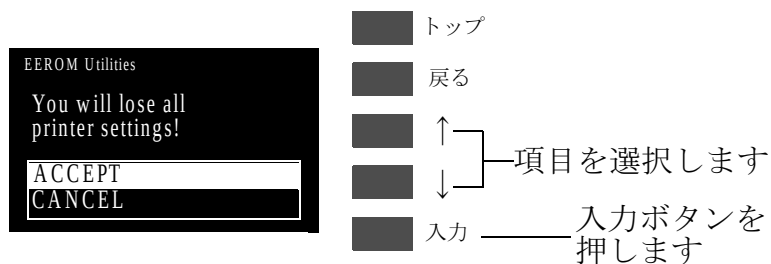
テストの実行中にプリンタの電源をオフにしないでください。エレクトロニクス モジュールが壊れる可能性があります。

- c** テストが完了すると、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。

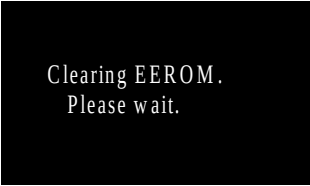


EEROMをクリアする場合

- a** EEROMをクリアする場合は、「Clear EEROM」を選択して入力ボタンを押します。選択を確認する次のようなメッセージが表示されます。作業を続ける場合は「**ACCEPT**」を選択し、操作を取り消す場合は「**CANCEL**」を選択します。どちらかを選択したら、入力を押します。



- b** EEROM クリアの継続を選んだ場合は、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。EEROMのクリアが終了するまで待ちます。

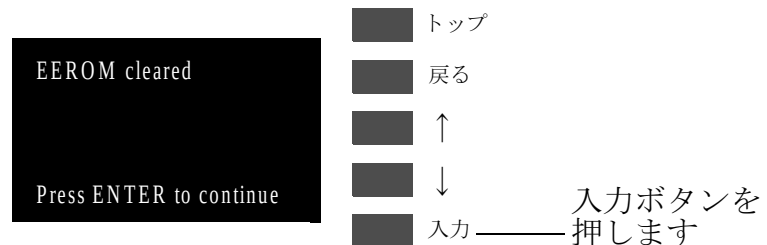


Clearing EEROM.
Please wait.

警告

- EEROM** のクリア中にプリンタの電源をオフにしないでください。エレクトロニクス モジュールが壊れる可能性があります。

- c** EEROM のクリアが完了すると、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。



- d** 校正情報を復元するために、Calibration Backup (校正のバックアップ) を実行してください (⇒ 5-19 ページ)。
- e** また、必要に応じてアジアPSフォントの設定 (⇒ 4-34 ページ) を実行し、EEROMをクリアする前に設定されていたアジアPSフォントを選択してください。

7. Printhead Check (プリントヘッドチェックの設定)

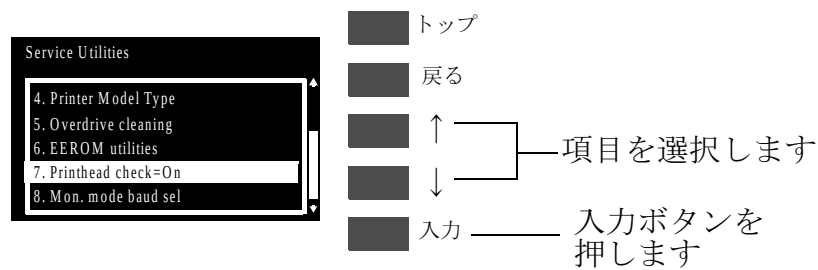
このサービス ユーティリティでは、プリントヘッドチェック機能のオン/オフを切り換えることができます。

警告

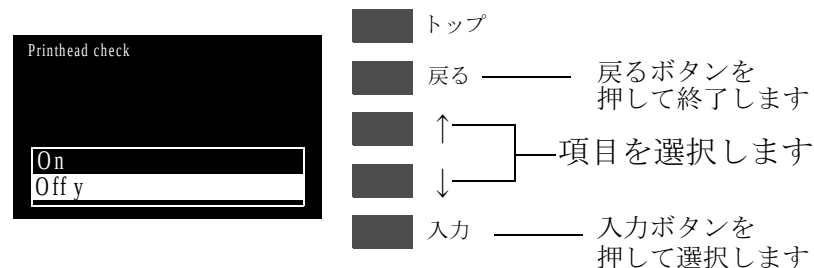
プリントヘッド チェックは常にオンにしてください。プリントヘッドチェックをオフにすると、自動プリントヘッドクリーニングの手順が正しく動作せず、プリントヘッドの寿命が短くなります。また、プリントヘッド チェックをオフにすると、未噴射ノズルの修復機能が使用されないことにより、出力品質が低下する場合があります。

プリントヘッド チェックのオン/オフの切り換えは、次の手順で行います。

- 1 「Service Utilities」サブメニューで、「7.Printhead Cheak」までスクロールして入力ボタンを押します。



- 2 フロントパネルに次のようなメッセージが表示されたら、プリントヘッドチェックをオンにするかオフにするかを選択します。選択後、入力ボタンを押すと、選択した項目の隣りに小さな記号が表示されます。



8. Mon.Mode Baud Sel (モニタ モード ボーレート の選択)

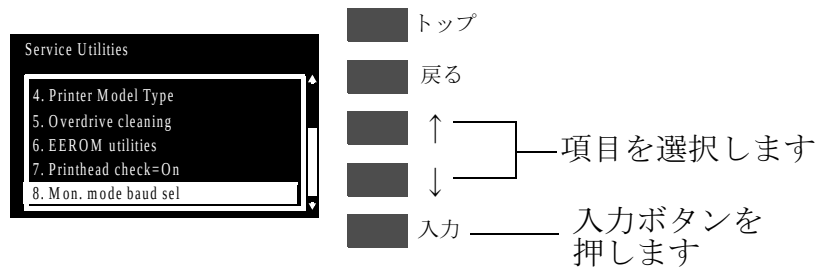
このサービス ユーティリティでは、シリアル ポートの
ボーレートを変更することができます。

注記

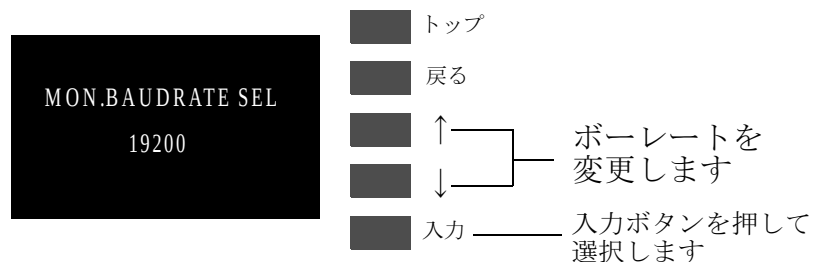
シリアル通信のデフォルトのボーレートは、**19200**です。

ボーレートの変更は、次の手順で行います。

- 1 「Service Utilities」サブメニューで「8.Mon.mode boud sel」
までスクロールして入力ボタンを押します。



- 2 フロントパネルに次のようなメッセージが表示されたら、
↑ボタンまたは↓ボタンを使ってボーレートの設定を選
択します。選択後、入力ボタンを押します。

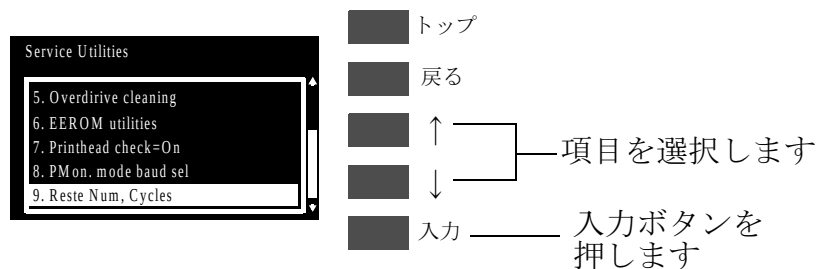


9. Reset Num.Cycles (Carriage Cycleカウンタのクリア)

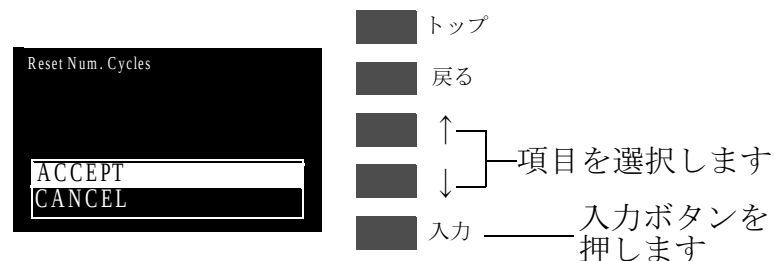
このサービス ユーティリティでは、Carriage Cycleのクリアが出来ます。操作パネルに” プリンタノ ホシュガ ヒツヨウ デス” が表示されPreventive Maintenance Kitで対応した後、実行します。

Carriage Cycleのクリアは、次の手順で行ないます。

- 1 「Service Utilities」サブメニューで「9.Reset Num.Cycles」までスクロールして入力ボタンを押します。



- 2 選択を確認する次のようなメッセージが表示されます。作業を続ける場合は「**ACCEPT**」を選択し、操作を取り消す場合は「**CANCEL**」を選択します。どちらかを選択したら、入力を押します。



サービス校正

5

サービス校正 5-2

「サービス校正」メニューの表示 5-4

1. Accuracy Calibration (精度校正) 5-6

2. Line Sensor (ライン センサの校正) 5-9

3. Service Station (サービス ステーションの校正) 5-11

4. Roller Mark Position (ローラー マーク位置の校正) 5-13

5. Pen to Paper Spacing (ペンと用紙間の校正) 5-15

6. Color to Color Calibration (カラー間の校正) 5-16

7. Calibration Backup (校正のバックアップ) 5-19

8. Pen Alignment (ペンの軸合わせ) 5-22

キャリッジ高さの校正 5-24

サービス校正

プリンタには、特定の状況下で実行しなければならない校正手順がいくつかあります。校正が必要なときは、以下の表を参照して判断してください。

警告

あるアッセンブリを、別のアッセンブリや部品を調べるために分解した場合でも、校正が必要となる場合がありますので注意してください。

実行する必要がある校正

必要な場合	1	2	3	4	5	6	7	8	◆
キャリッジを取り外し または交換する場合	不要	必要	必要	必要	不要	必要	不要	必要	必要
エレクトロニクス モ ジュールを交換する場合	不要	不要	不要	不要	不要	不要	必要	必要	不要
用紙軸モーターを取り外 しまたは交換する場合	必要	不要	不要	不要	不要	必要	不要	不要	不要
プラテン アッセンブリを 取り外しまたは交換する 場合	不要	不要	必要	不要	不要	必要	不要	不要	必要
サービス ステーションを 取り外しまたは交換する 場合	不要	不要	必要	不要	不要	必要	不要	不要	不要
ドライブ ローラーを取り 外しまたは交換する場合	必要	不要	不要	不要	不要	必要	不要	不要	不要
チューブ システムを取り 外しまたは交換する場合	不要	不要	不要	不要	不要	不要	必要	必要	不要
帯状のムラのトラブルが ある場合	必要	必要	不要	不要	不要	不要	不要	必要	不要
カラー間での軸ずれが ある場合	不要	必要	不要	不要	不要	必要	不要	必要	不要
カラー精度のトラブルが ある場合	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要
エッジ検出のトラブルが ある場合	不要	必要	不要	不要	不要	不要	不要	不要	不要

注記

関係のある校正については、次のページを参照してください。

サービス校正

以下は、プリンタで実行可能な内部サービス校正の一覧です。サービス校正メニューの表示手順については、5-4 ページを参照してください。

1 Accuracy Calibration (精度校正) ⇒ 5-6 ページ

このサービス校正の目的は、標準の用紙送りを校正することです。この校正は、帯状のムラのような出力品質のトラブルを回避するために、用紙の正確な動きを制御するのに必要です。

2 Line Sensor (ライン センサの校正) ⇒ 5-9 ページ

このサービス校正の目的は、キャリッジPCAのライン センサの輝度を校正することです。正しく校正が実施されていない場合は、用紙の取り付け中にエッジの検出に失敗したり、軸合わせや校正した結果を正確に得る事が出来なくなります。

3 Service Station (サービス ステーションの校正) ⇒ 5-11 ページ

このサービス校正の目的は、キャリッジアッセンブリに関連してサービス ステーションを校正することです。

4 Roller Mark Position (ローラー マーク位置の校正) ⇒ 5-13 ページ

このサービス校正の目的は、ドライブ ローラー上にあるマーク エンコーダを校正することです。

5 Pen to Paper Spacing (ペンと用紙間の校正) ⇒ 5-15 ページ

この校正は必要なくなりました。

6 Color to Color Calibration (カラー間の校正) ⇒ 5-16 ページ

このサービス校正の目的は、個々のプリントヘッドとの間の軸合わせを校正することです。この校正は、カラーの軸ずれを防ぐために必要です。

7 Calibration Backup (校正のバックアップ) ⇒ 5-19 ページ

このサービス校正の目的は、エレクトロニクス モジュールまたはチューブ システムを交換するときに、EEROMの内容を保存できるようにすることです。

8 Pen Alignment (ペンの軸合わせ) ⇒ 5-22 ページ

このサービス校正の目的は、プリントヘッド間の軸合わせを校正することです。この校正は、カラーの軸ずれや帯状のムラのような出力品質を防ぐために必要です。

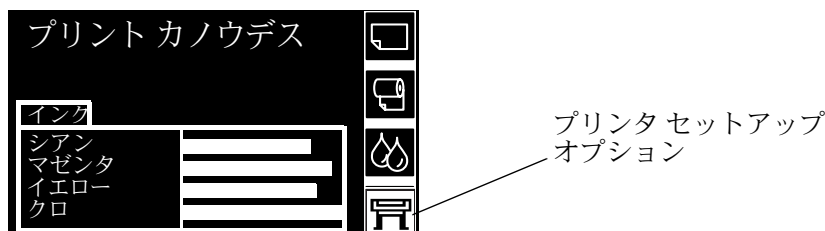
◆ Carriage Hight Calibration (キャリッジ高さの校正) ⇒ 5-24 ページ

このサービス校正の目的は、キャリッジとセンタ プラテン間の距離を調節することです。この校正は、プリントヘッ

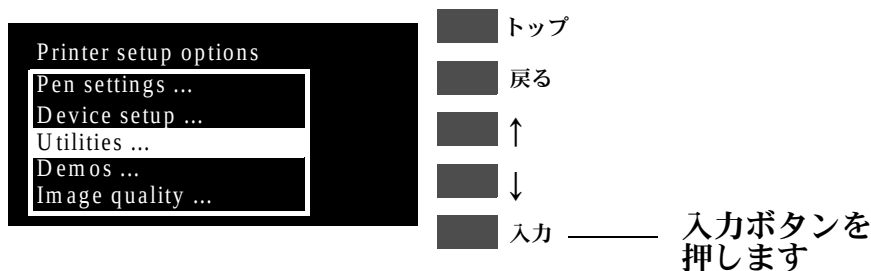
ドのクラッシュのようなトラブルを防ぐために必要です。

「サービス校正」メニューの表示

- 1 フロントパネルに「プリント カノウデス」というメッセージが表示されたら、「プリンタ セットアップ オプション」のアイコンまでスクロールして入力ボタンを押します。



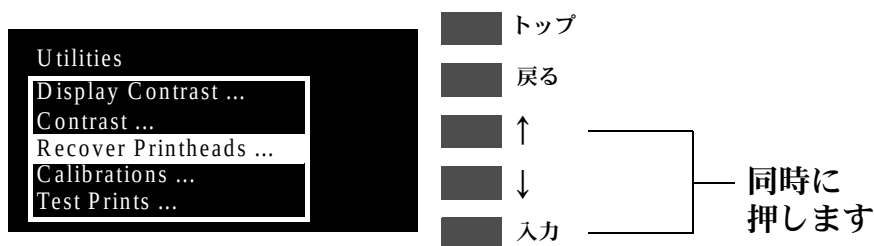
- 2 「プリンタ セットアップ オプション」メニューが表示されたら、矢印キーを使って「ユーティリティ」メニュー表示までスクロールし、入力ボタンを押します。



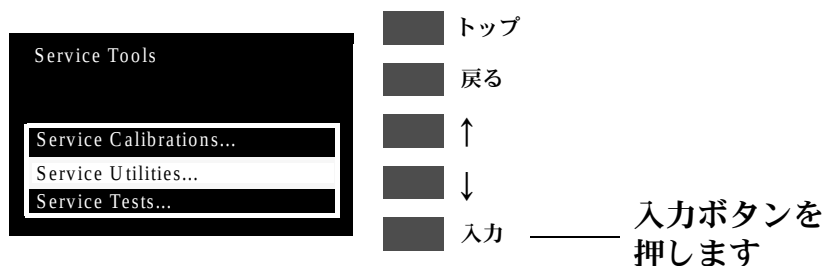
注記

フル メニュー モードでないと「Service Tools」サブメニューにはアクセスできないので、フル メニュー モードであることを確認してください。

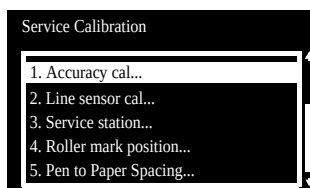
- 3 「ユーティリティ」メニューが表示されたら、入力ボタンを同時に押します。これで、「Service Tools」メニューに移動します。



- 4 矢印ボタンを使って「Service Calibration」メニューにスクロールし、入力ボタンを押します。



- 5 矢印ボタンを使って「Service Calibraion」選択項目にスクロールします。



- 6 目的のサービス校正がハイライトされたら、入力ボタンを押して特定の校正を開始します。

注記

プリンタを使用しない状態で 3 分が経過すると「Service Calibration」メニューが終了するので、再度「Service Calibration」メニューを表示するには、上記の手順を繰り返す必要があります。

注記

ボタンを押す操作が速すぎると、プリンタによって認識されないことがあります。ボタンを押すときは、正確にゆっくりと押し込んでください。

注記

プリンタが処理の途中でハングアップしたら、プリンタの電源スイッチをオフにして、手順 1.から再開してください。

1. Accuracy Calibration (精度校正)

このサービス校正の目的は、標準の用紙送りを校正することです。この校正は、帯状のムラのような出力品質のトラブルを回避するために、用紙の正確な動きを制御するのに必要です。

サービス精度校正を行うのは：

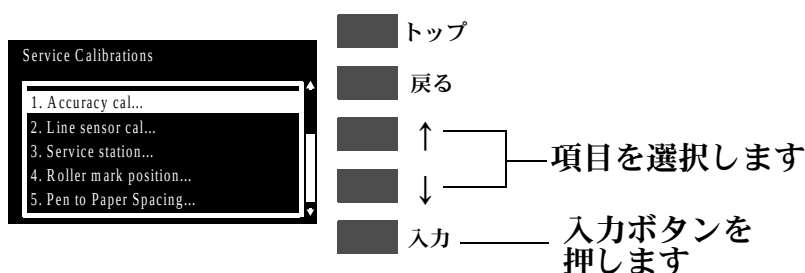
- 出力結果に帯状のムラがあるとき
- ドライブ ローラーを取り外しまたは交換するとき
- 用紙軸モーターを取り外しまたは交換するとき

次の手順で精度校正を行います。

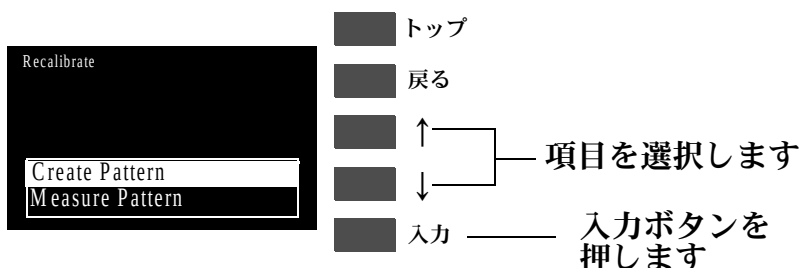
注記

この校正を行う前に、プリンタに HP 光沢フォト用紙が取り付けられていることを確認してください。HP 光沢フォト用紙以外の種類の用紙は使用しないでください。

- 1 「サービス コウセイ」サブメニューで「1.Accuracy cal」にスクロールし、入力ボタンを押します。



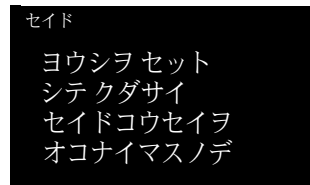
- 2 フロントパネルに次のメッセージが表示されたら、「パターンノ サクセイ」を選択し、入力ボタンを押します。



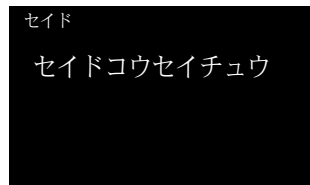
- 3 用紙が取り付けられていないと、フロントパネルに次のようなメッセージが表示されます。プリンタに用紙を取り付けてください。

注記

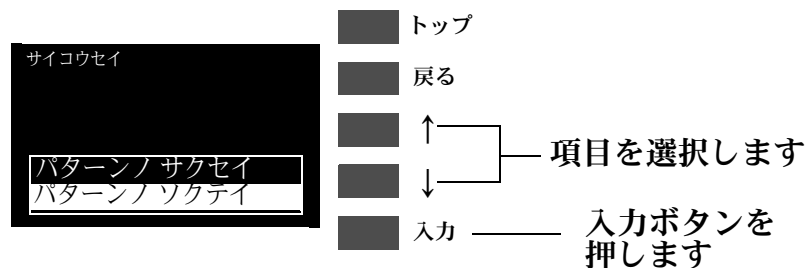
HP 光沢フォト用紙以外の種類の用紙は使用しないでください。



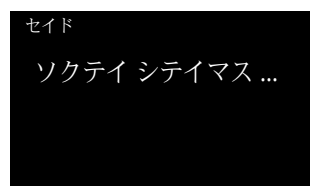
- 4 精度校正パターンの印刷が開始され、フロントパネルに次のメッセージが表示されます。



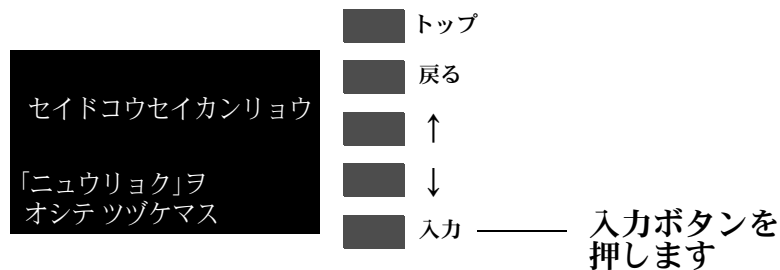
- 5 精度校正パターンがいったん完了したら、次のメッセージが表示されます。用紙からパターンを取り外して「パターンノソクテイ」を選択し、入力ボタンを押します。



- 6 プリントされた面を表にして矢印の向きを前面の青い線に合わせて取り付けます。ウインドウを下げて用紙をロードします。
- 7 プリンタによってパターンが取り付けられ、キャリッジアセンブリのラインセンサを使って軸合わせマークが測定されます。プリンタによってパターンが測定される間、次のメッセージが表示されます。



- 8 いったん校正が完了したら、次のメッセージが表示されます。



- 9 校正が正常に完了したかどうかを点検するには、「サービス構成プリント」(1-20 ページを参照) を印刷し、精度校正に対して指定した値がすべてゼロでないことを点検します。

これらの値がすべてゼロではないことを点検

Calibrations

ACCURACY (FACTORY):	Worm ampli: 2.795 Worm phase: -1.925	Roller ampli: 21.343 Roller phase: 0.900	Roller ampli 2: 5.164 Roller phase 2: -0.450	Slope: -0.003
PLATTEN EDGE:	223.393mm (223.308mm)			
LED(Green/Blue):	Channel: sidLineSensorDC3/sidLineSensorDC1 VLED: 183/183		Offset: 222/159 Margin: 719/735	
LED TO K (SCAN): Not calibrated	LED TO K (SVS): 6.959mm (1.987mm)		SERVICE STATION: Not calibrated	
DROP DETECT (distances in mm):				
Cyan 0	Cyan 1	Magenta 0	Magenta 1	Yellow 0
49.826 (50.207)	45.593 (46.143)	61.630 (62.211)	77.639 (78.147)	113.792 (114.215)
PRIMER:	Start position: 19.727mm			
				Yellow 1
				109.643 (110.151)
				Black 0
				145.881 (146.219)
				Black 1
				141.732 (142.155)

- 10 校正に失敗したら、Electronic Systems Test (電気テスト) を実施します ⇒ 4-5ページ

2. Line Sensor (ライン センサの校正)

このサービス校正の目的は、キャリッジPCAのライン センサの輝度を校正することです。正しく校正が実施されていない場合は、用紙の取り付け中にエッジの検出に失敗したり、軸合わせや校正した結果を正確に得る事が出来なくなります。

Line Sensor Calibration (ライン センサの校正)を実行するのは：

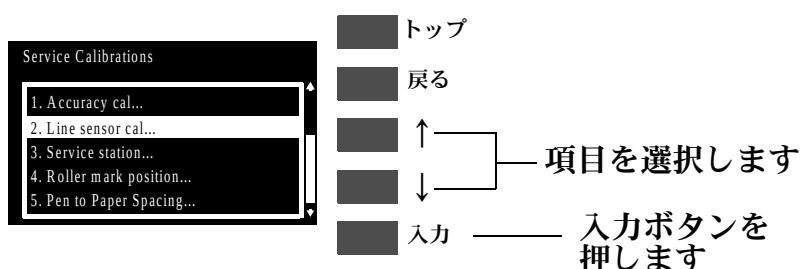
- 用紙の取り付け中にエッジ検出手順に失敗したとき
- キャリッジを取り外しまたは交換するとき
- 出力結果に帯状のムラがあるとき
- カラー間で軸ずれが検出されたとき

次の手順でLine Sensor Calibration (ライン センサの校正)を行います。

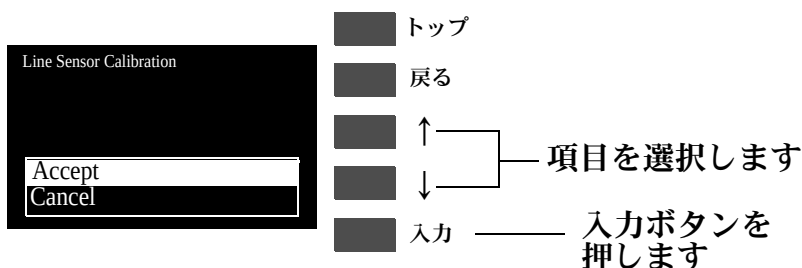
注記

この校正を行う前に、プリンタに HP コート紙が取り付けられていることを確認してください。

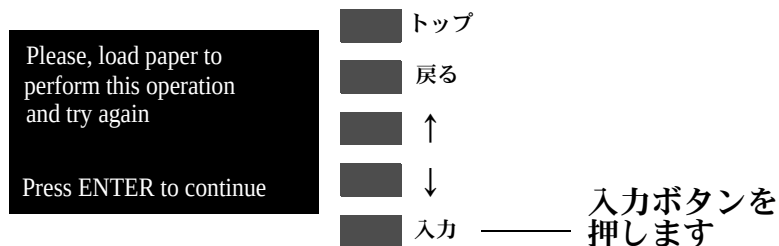
- 1 「サービス コウセイ」サブメニューで「2.Line Sensor」にスクロールし、入力ボタンを押します。



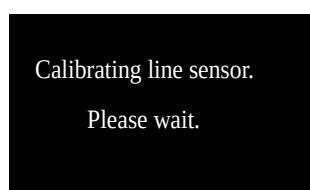
- 2 操作を確認するための次のメッセージが表示されます。Line Sensor Calibration (ライン センサの校正)を続ける場合は「**Accept**」を選択し、Line Sensor Calibration (ライン センサの校正)をキャンセルする場合は「**Cancel**」を選択します。どちらかを選択したら、入力ボタンを押します。



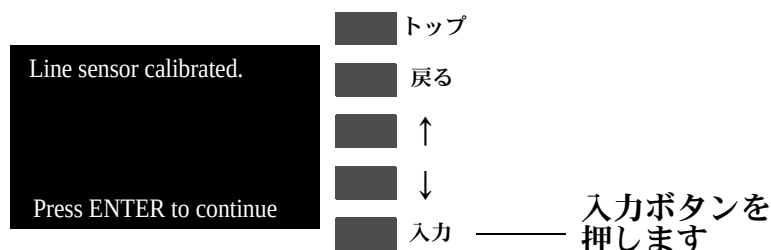
- 3 作業を続けるよう選択した場合は、用紙が取り付けられていないことを示す次のメッセージがフロントパネルに表示されます。作業を続けるには、用紙をプリンタに取り付けてください。



- 4 プリンタによってライン センサ パターンの印刷が開始され、フロントパネルに次のメッセージが表示されます。



- 5 Line Sensor Calibration (ライン センサの校正) がいったん完了したら、フロントパネルに次のメッセージが表示されます。



- 6 校正が正常に完了したかどうかを点検するには、サービス構成プリントを印刷し (1-20 ページを参照)、LED (グリーン/ブルー) に対して指定した値がゼロでないことを点検します。

これらの値がゼロでないことを点検

Calibrations

ACCURACY (FACTORY): Worm amplt: 2.795 Roller amplt: 21.343 Roller amplt 2: 5.164 Slope: -0.003
Worm phase: -1.925 Roller phase: 0.900 Roller phase 2: -0.450

PLATTEN EDGE: 223.393mm (223.308mm)

LED(Green/Blue): Channel: sid_lineSensorDC3/sidLineSensorDC1 Offset: 222/159
VLED: 183/183 Margin: 719/735

LED TO K (SCAN): Not calibrated LED TO K (SVS): 6.959mm (1.987mm) SERVICE STATION: Not calibrated

DROP DETECT (distances in mm):

Cyan 0 Cyan 1 Magenta 0 Magenta 1 Yellow 0 Yellow 1 Black 0 Black 1
49.826 (50.207) 45.593 (46.143) 81.830 (82.211) 77.639 (78.147) 113.792 (114.215) 109.643 (110.151) 145.881 (146.219) 141.732 (142.155)

PRIMER: Start position: 19.727mm

- 7 校正に失敗したら、Electronic Systems Test (電気テスト) を実施します ⇒4-5 ページ

3. Service Station (サービス ステーションの校正)

このサービス校正の目的は、キャリッジアッセンブリに関連してサービスステーションを校正することです。

Service Station Calibration (サービスステーションの校正)を行うのは：

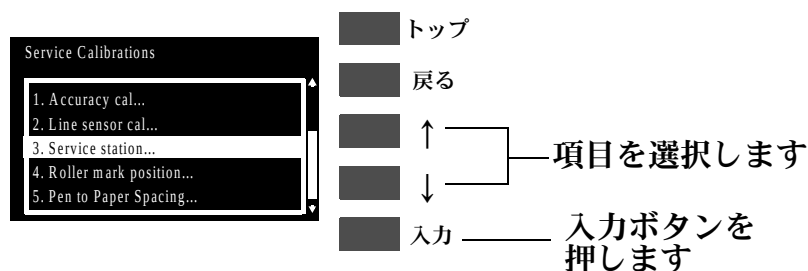
- キャリッジアッセンブリを取り外しまたは交換するとき
- プラテンアッセンブリを取り外しまたは交換するとき
- サービスステーションを取り外しまたは交換するとき

次の手順でService Station Calibration (サービスステーションの校正)を行います。

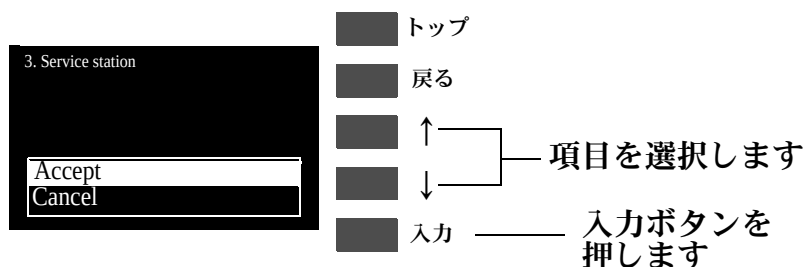
注記

この校正を行う前に、A4より大きい用紙が取り付けられていることを確認してください。HPコート紙またはHP光沢フォト用紙以外の種類の用紙は使用しないでください。

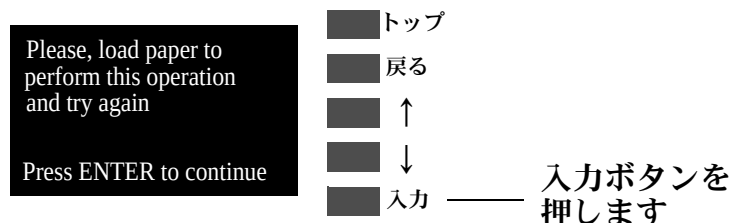
- 1 「サービス コウセイ」サブメニューで「3.Service station」にスクロールし、入力ボタンを押します。



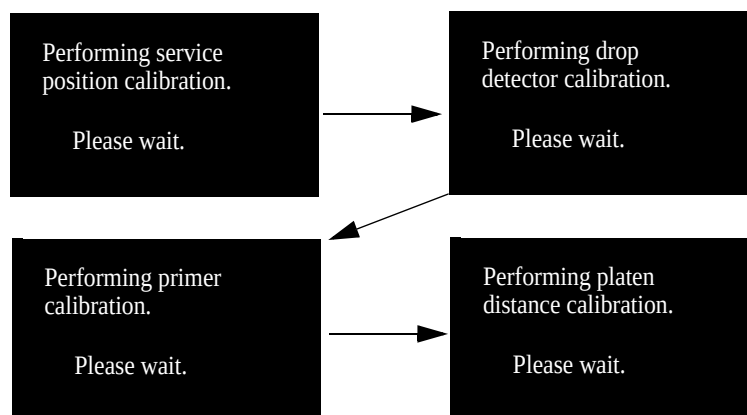
- 2 操作を確認するための次のメッセージが表示されます。Service Station Calibration (サービスステーションの校正)を続ける場合は「Accept」を選択し、Service Station Calibration (サービスステーションの校正)をキャンセルする場合は「Cancel」を選択します。どちらかを選択したら、入力ボタンを押します。



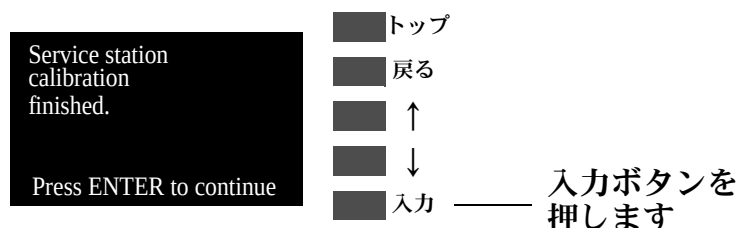
- 3 作業を続けるよう選択した場合は、用紙が取り付けられていないことを示す次のメッセージがフロントパネルに表示されます。作業を続けるには、用紙をプリンタに取り付けてください。



- 4 プリンタによって校正パターンの印刷が開始され、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



- 5 Service Station Calibration (サービスステーションの校正) がいったん完了したら、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



- 6 校正が正常に完了したかどうかを点検するには、サービス構成プリントを印刷し (1-20 ページを参照)、校正が終了して、一定の範囲内にあることを点検します。

校正が終了して範囲内であることを点検																				
Calibrations																				
ACCURACY (FACTORY):	Worm ampt: 2.795	Roller ampt: 21.343	Roller ampt 2: 5.164	Slope: -0.003																
	Worm phase: -1.925	Roller phase: 0.900	Roller phase 2: -0.450																	
PLATTEN EDGE:	223.393mm (223.308mm)																			
LED(Green/Blue):	Channel: sidLineSensorDC3/sidLineSensorDC1	Offset: 222/159																		
	VLED: 183/183	Margin: 719/735																		
LED TO K (SCAN): Not calibrated	LED TO K (SVS): 6.959mm (1.987mm)	SERVICE STATION: Not calibrated																		
DROP DETECT (distances in mm):																				
Cyan 0	Cyan 1	Magenta 0	Magenta 1	Yellow 0	Yellow 1	Black 0	Black 1													
49.826 (50.207)	45.593 (46.143)	81.830 (82.211)	77.639 (78.147)	113.792 (114.215)	109.643 (110.151)	145.881 (146.219)	141.732 (142.155)													
PRIMER: Start position: 19.727mm																				

4. Roller Mark Position (ローラー マーク位置の校正)

このサービス校正の目的は、ドライブ ローラー上にあるマーク エンコーダを校正することです。

ローラー マーク位置の校正を行うのは：

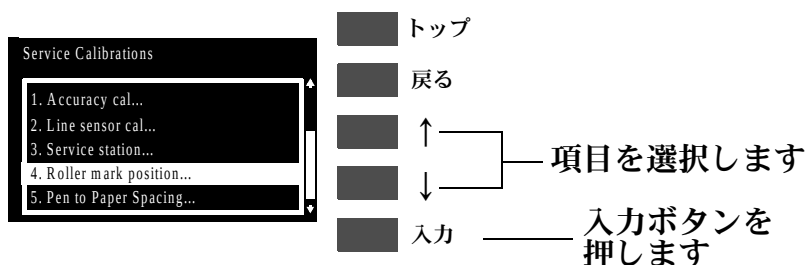
- キャリッジを取り外しまたは交換するとき

次の手順でローラー マーク位置の校正を行います。

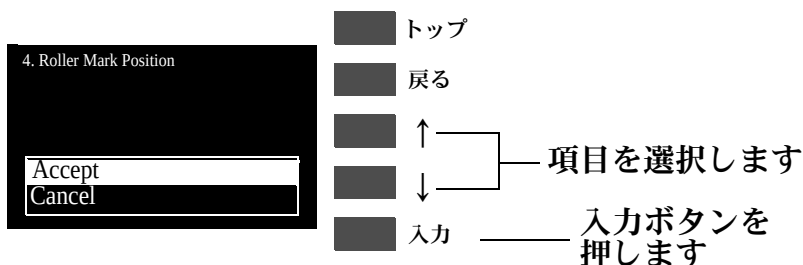
注記

校正を行う前に、プリンタから用紙が取り外されていることを確認してください。

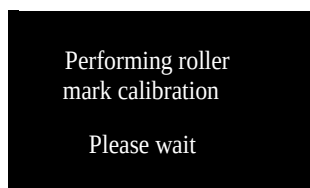
- 1 「サービス コウセイ」サブメニューで「4.Roller mark position」にスクロールし、入力ボタンを押します。



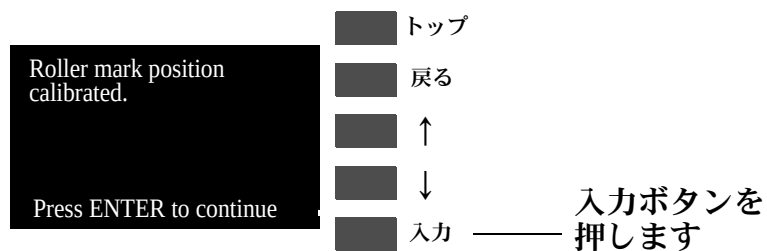
- 2 操作を確認するための次のメッセージが表示されます。ローラー マーク位置の校正を続ける場合は「Accept」を選択し、ローラー マーク位置の校正をキャンセルする場合は「Cancel」を選択します。どちらかを選択したら、入力ボタンを押します。



- 3 作業を続けるよう選択すると、校正が開始され、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



- 4 ローラー マーク位置の校正がいったん完了したら、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



5. Pen to Paper Spacing (ペンと用紙間の校正)

警告

この校正は必要なくなったので、行わないでください。

6. Color to Color Calibration (カラー間の校正)

このサービス校正の目的は、個々のプリントヘッドとの間の軸合わせを校正することです。この校正は、カラーの軸ずれを防ぐために必要です。

カラー間の校正を行うのは：

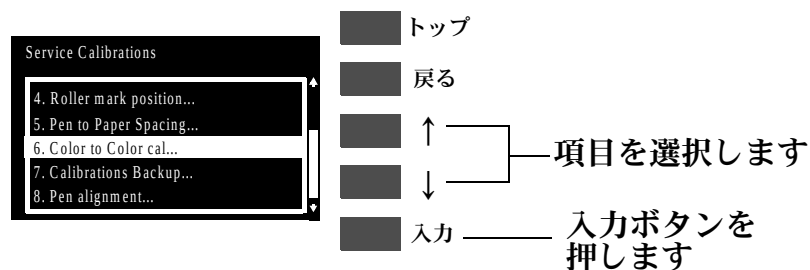
- キャリッジを取り外しまたは交換するとき
- ドライブ ローラーを取り外しまたは交換するとき
- カラーの軸ずれのトラブルがあるとき
- 用紙軸モーターを取り外しまたは交換するとき
- プラテン アッセンブリを取り外しまたは交換するとき
- サービス ステーションを取り外しまたは交換するとき

次の手順でカラー間の校正を行います。

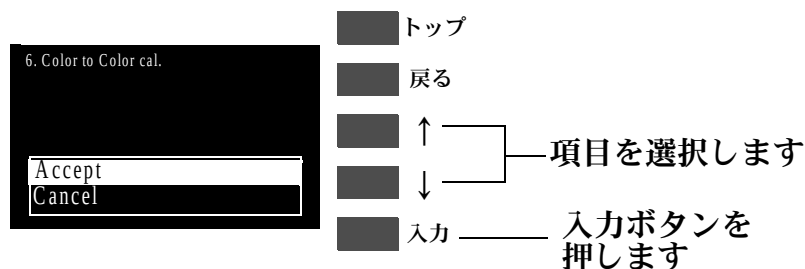
注記

この校正を行う前に、E/A0サイズのHP光沢フォト用紙またはHPコート紙が取り付けられていることを確認してください。HPコート紙またはHP光沢フォト用紙以外の種類の用紙は使用しないでください。

- 1 「サービス コウセイ」サブメニューで「6.Color to Color cal」にスクロールして、**入力**ボタンを押します。



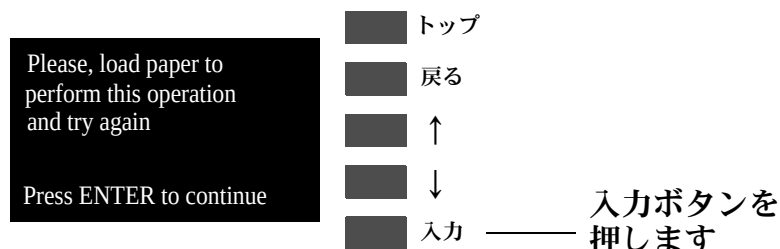
- 2 操作を確認するための次のメッセージが表示されます。校正を続ける場合は「**Accept**」を選択し、校正をキャンセルする場合は「**Cancel**」を選択します。どちらかを選択したら、**入力**ボタンを押します。



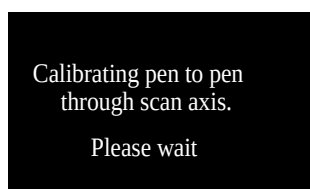
- 3 作業を続けるよう選択した場合は、用紙が取り付けられていないことを示す次のメッセージがフロントパネルに表示されます。

注記

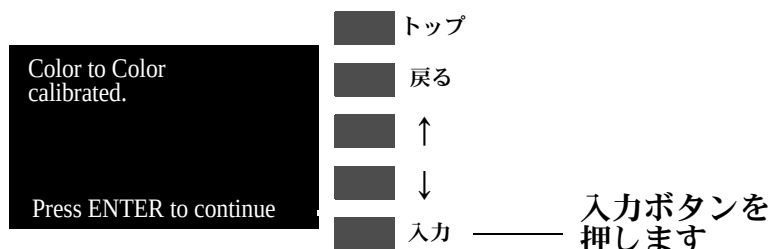
E/A0 サイズの HP 光沢フォト用紙または HP コート紙が取り付けられていることを確認してください。HP コート紙または HP 光沢フォト用紙以外の種類の用紙は使用しないでください。



- 4 プリンタによって校正パターンの印刷が開始され、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



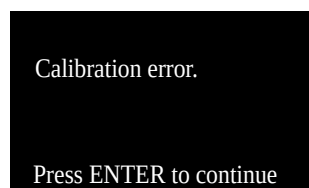
- 5 ペンと用紙の間隔の校正がいったん完了したら、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



注記

校正が終了したら「排紙/カット」を押して、ロール紙から校正パターンを切り取ってください。

校正に失敗したら、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



この場合、次の手順でトラブルを解決します。

- 1 校正パターンが悪い場合：
 - フロントパネル メニューを使ってプリントヘッドを修復し、再校正します。
 - 依然として校正パターンが悪い場合は、インクが正しく噴射されていないプリントヘッドを交換します。
- 2 Electronic Systems Test (電気テスト)を実施します ⇒ 4-5 ページ

7. Calibration Backup (校正のバックアップ)

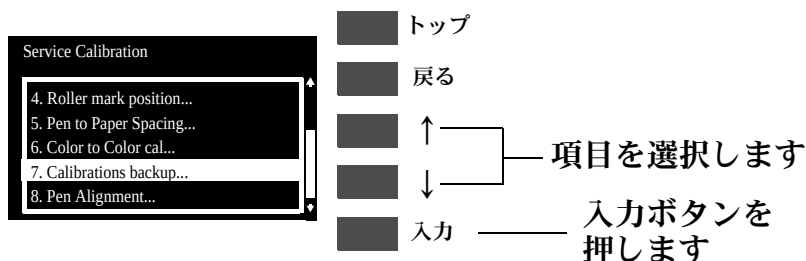
このサービス校正の目的は、エレクトロニクス モジュールまたはチューブ システムを交換した後に、EEROMの内容を保存するために使用します。

警告

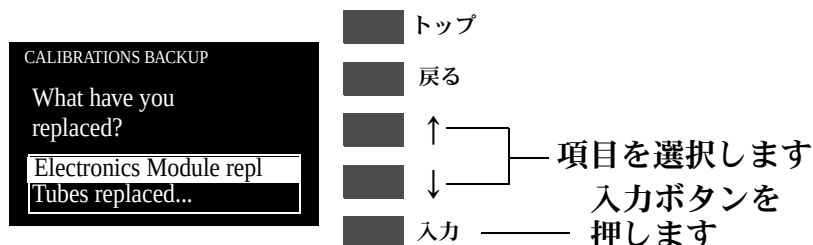
エレクトロニクス モジュールまたはチューブ システムを交換した後は、必ず**Calibration Backup (校正のバックアップ)**を行ってください。

次の手順でCalibration Backup (校正のバックアップ)を行います。

- 1 「サービス ユーティリティ」サブメニューで「7.Calibration Backup」にスクロールし、**入力ボタン**を押します。

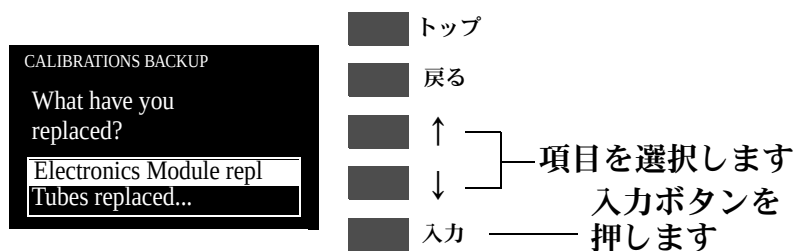


- 2 次のメッセージがフロントパネルに表示されたら、交換した部品を選択する必要があります。「エレクトロニクス モジュール」か「チューブ システム」のどちらかを選択し、**入力ボタン**を押します。

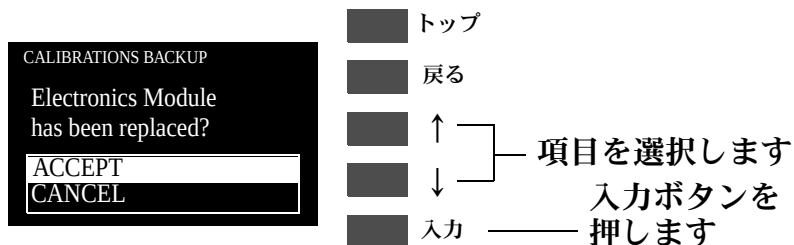


エレクトロニクス モジュールを交換した場合

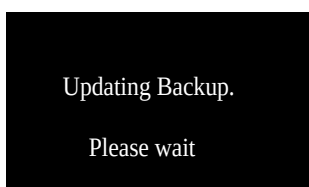
- a エレクトロニクス モジュールを交換した場合は、「Electronics Module repl」を選択し、**入力ボタン**を押します。



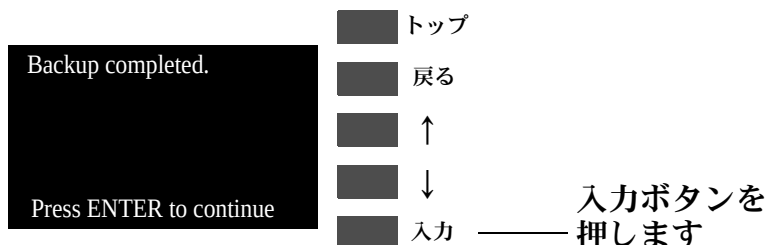
- b 操作を確認するための次のメッセージが表示されます。Calibration Backup (校正のバックアップ) を続ける場合は「**Accept**」を選択し、Calibration Backup (校正のバックアップ) をキャンセルする場合は「**Cancel**」を選択します。どちらかを選択したら、入力ボタンを押します。



- c 作業を続けるよう選択した場合は、Calibration Backup (校正のバックアップ) が開始されて校正がアップデートされ、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。

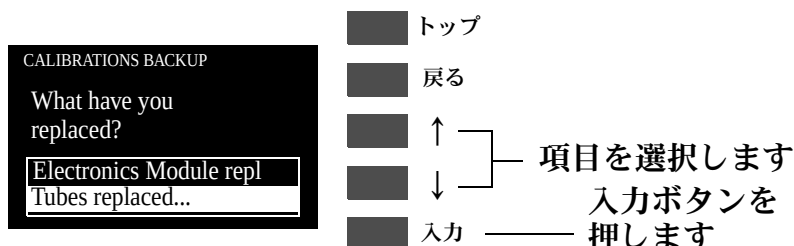


- d Calibration Backup (校正のバックアップ) がいったん完了したら、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。

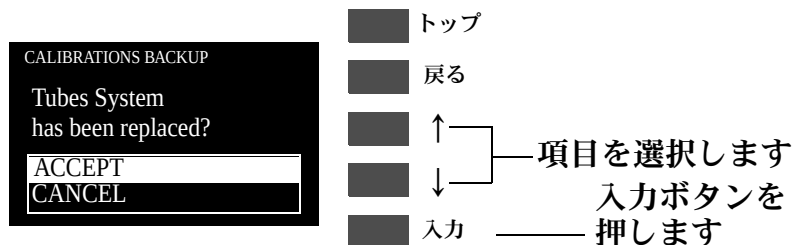


チューブ システムを交換した場合

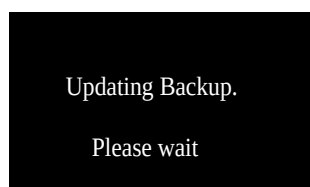
- a チューブ システムを交換した場合は、「チューブ システム」を選択し、入力ボタンを押します。



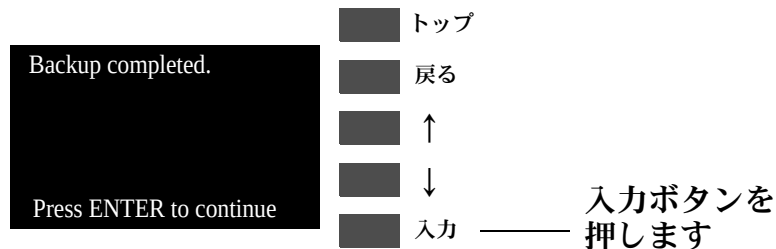
- b 操作を確認するための次のメッセージが表示されます。Calibration Backup (校正のバックアップ) を続ける場合は「**ACCEPT**」を選択し、Calibration Backup (校正のバックアップ) をキャンセルする場合は「**CANCEL**」を選択します。どちらかを選択したら、入力ボタンを押します。



- c 作業を続けるよう選択した場合は、Calibration Backup (校正のバックアップ) が開始されて校正がアップデートされ、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



- d Calibration Backup (校正のバックアップ) がいったん完了したら、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



8. Pen Alignment (ペンの軸合わせ)

このサービス校正の目的は、プリントヘッド間の軸合わせを校正することです。この校正は、カラーの軸ずれや帯状のムラのような出力品質を防ぐために必要です。

プリントヘッドの軸合わせ校正を行うのは：

- キャリッジを取り外しまたは交換するとき
- チューブシステムを取り外しまたは交換するとき
- 出力結果に帯状のムラがあるとき
- カラー間で軸ずれが検出されたとき
- エレクトロニクス モジュールを交換するとき

次の手順でペンの軸合わせ校正を行います。

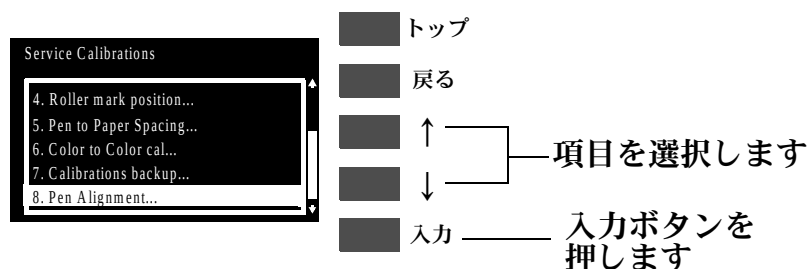
注記

この校正を行う前に、用紙が取り付けられていることを確認してください。

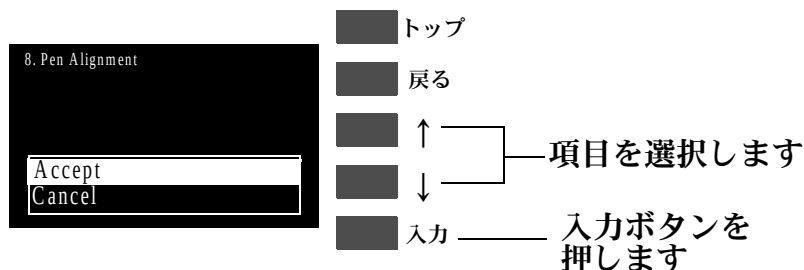
警告

クリアフィルム、ベラム紙、またはモノクロ・カラー・トレーシングペーパーは使用しないでください。

- 1 「サービス コウセイ」サブメニューで「8.Pen Alignment」にスクロールし、**入力**ボタンを押します。



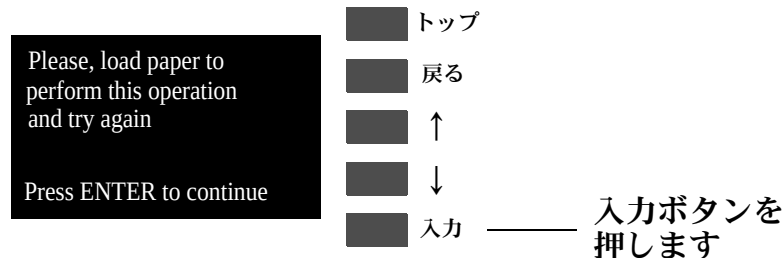
- 2 操作を確認するための次のメッセージが表示されます。校正を続ける場合は「**ACCEPT**」を選択し、校正をキャンセルする場合は「**CANCEL**」を選択します。どちらかを選択したら、**入力**ボタンを押します。



- 3 作業を続けるよう選択した場合は、用紙が取り付けられていないことを示す次のメッセージがフロントパネルに表示されます。作業を続けるには、用紙をプリンタに取り付けてください。

警告

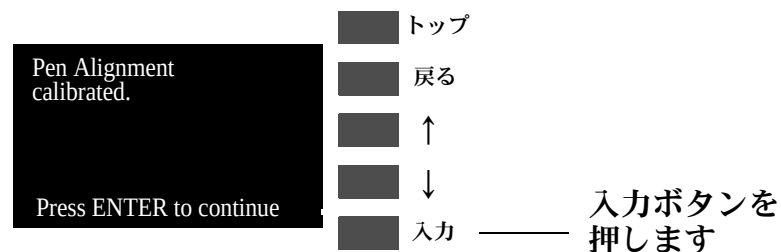
クリアフィルム、ベラム紙、またはモノクロ・カラー・トレーシングペーパーは使用しないでください。



- 4 プリンタによって軸合わせパターンの印刷が開始されたら、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



- 5 ペンの軸合わせの校正がいったん完了したら、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。



- 6 校正に失敗したら、Electronic Systems Test (電気テスト) を実施します ⇒ 4-5 ページ

キャリッジ高さの校正

このサービス校正の目的は、キャリッジアッセンブリとセンタ プラテン間の距離を調節することです。この校正は、プリントヘッドのクラッシュのようなトラブルを防ぐために必要です。

キャリッジ高さの校正を行うのは：

- キャリッジを取り外しまたは交換するとき
- センタ プラテンを取り外しまたは交換するとき
- プrintヘッドが継続的にクラッシュするとき

次の手順でキャリッジ高さの校正を行います。

注記

この手順は、新しいキャリッジアッセンブリまたはセンタ プラテン アッセンブリに付属のキャリッジ高さ調整ツール (下の図を参照) を使って実行してください。

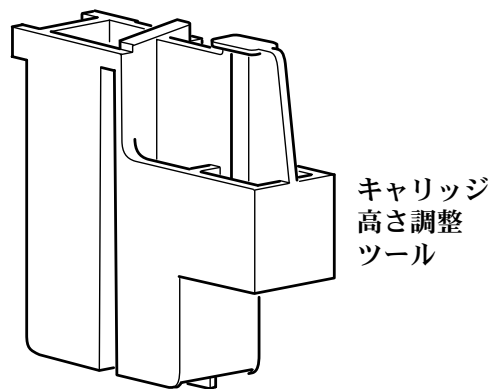
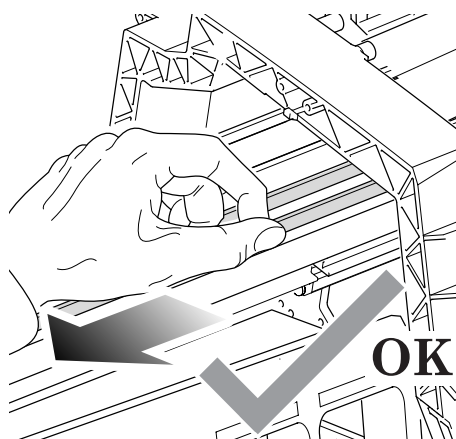


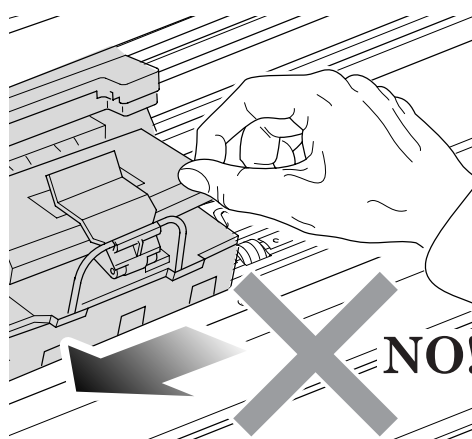
図 1

注記

キャリッジ高さの校正中、正しく校正を行うために、プリンタの端から端までキャリッジアセンブリを移動する必要があります。キャリッジアセンブリはベルトを引っ張って移動し、キャリッジ自体を直接触って移動しないようにしてください(下の図2を参照)。



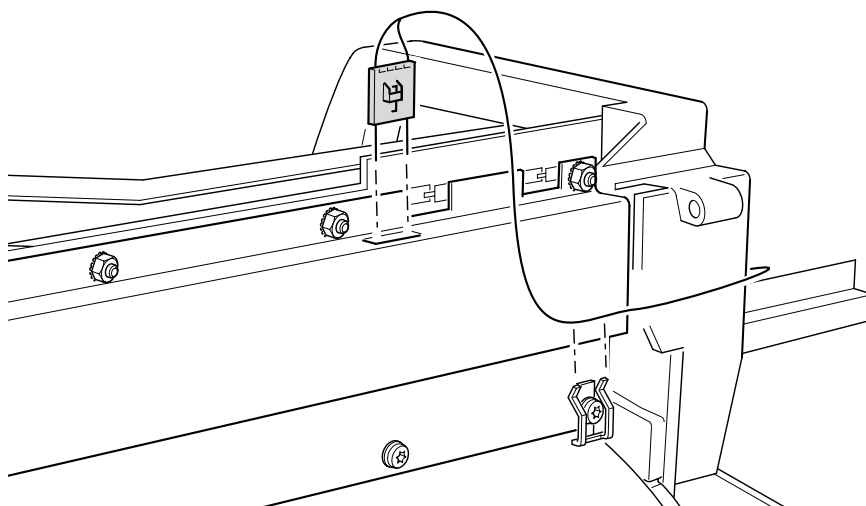
正:ベルトを使って移動します。



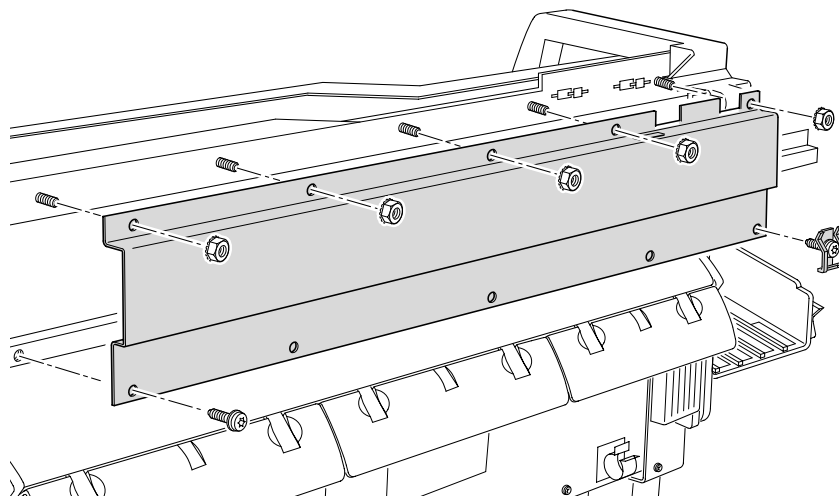
誤:キャリッジアセンブリ自体を掴んで移動してはいけません。

図 2

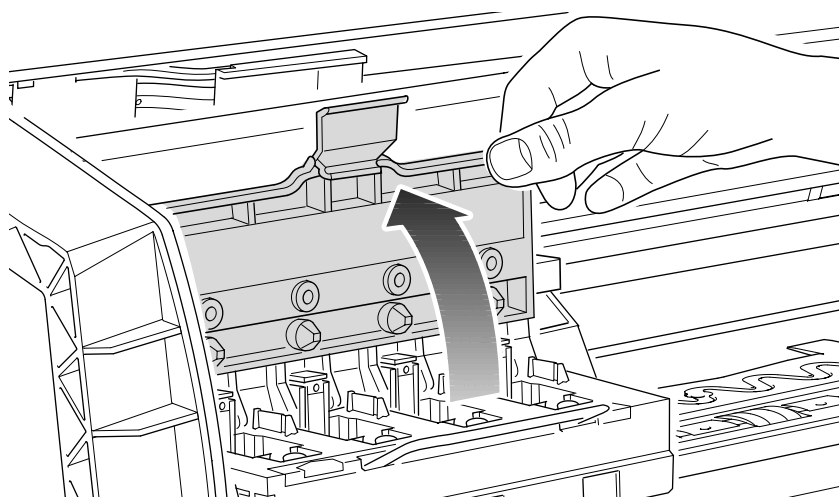
- 1 プリンタ背面からインク漏れ検知のケーブル コネクタを取り外します。



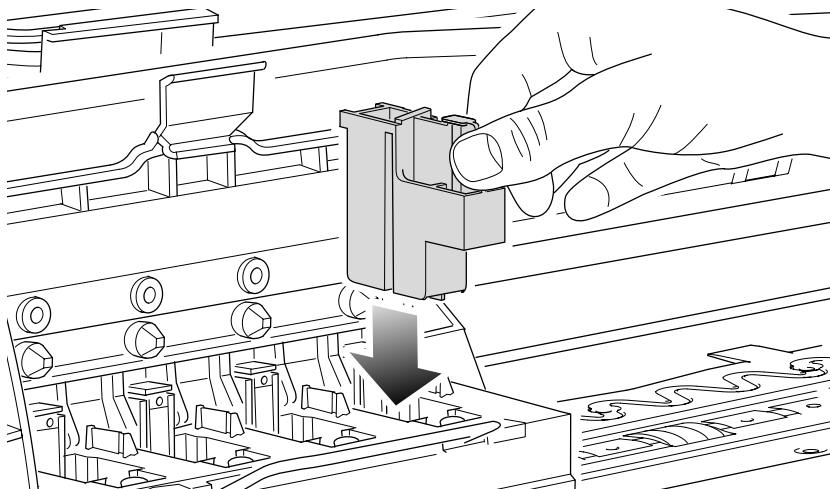
2 EMCカバーを取り外します。



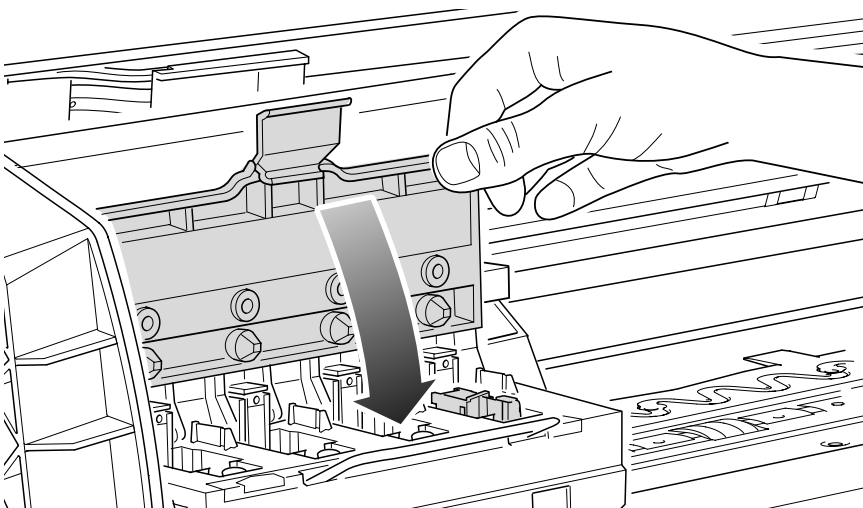
3 印刷領域の左側にあるキャリッジのカバーを開きます。



- 4 黒いカートリッジ スロットにキャリッジ高さ調整ツールを差し込みます。



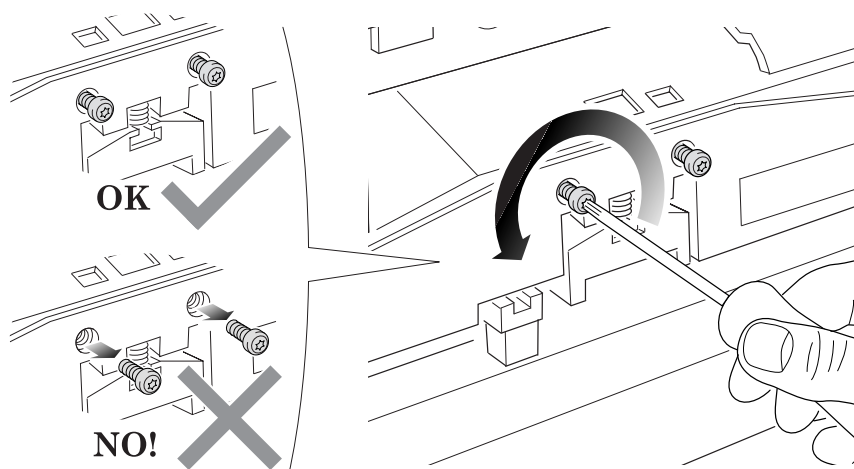
- 5 キャリッジ カバーを閉じます。



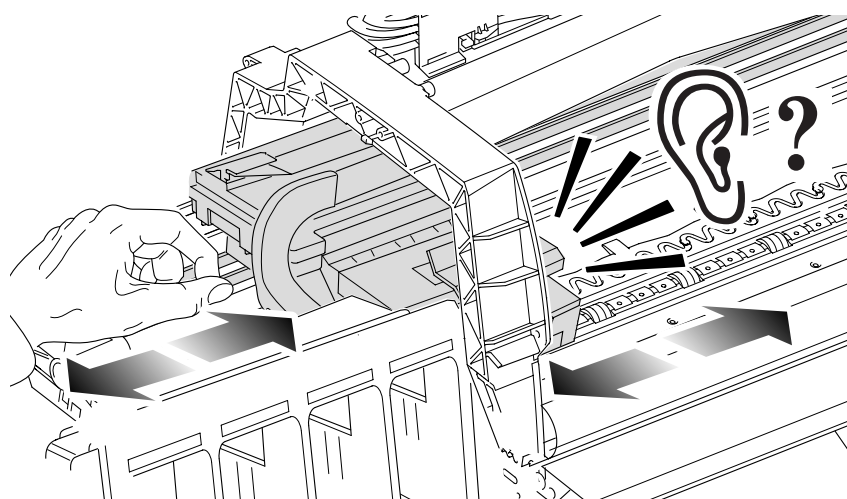
- 6 キャリッジアッセンブリ背面の2つのT10ネジをゆるめます。

注記

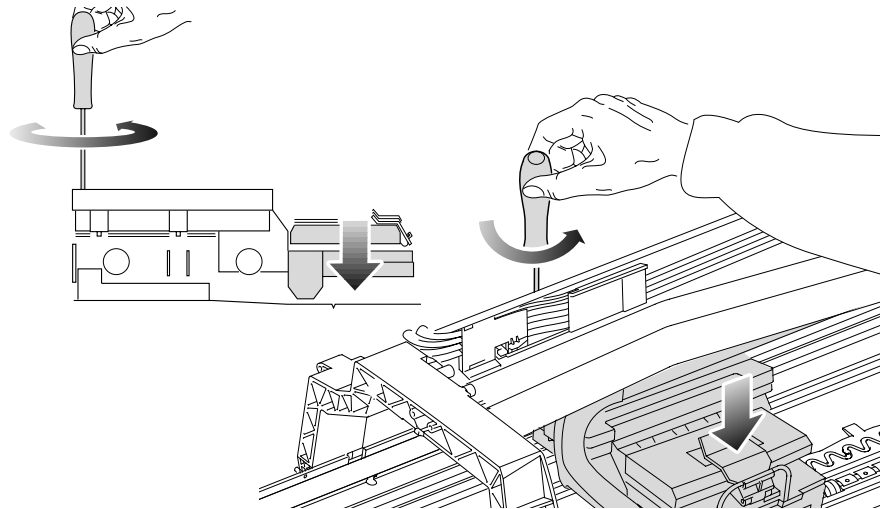
注記：ネジは取り外さないでください。



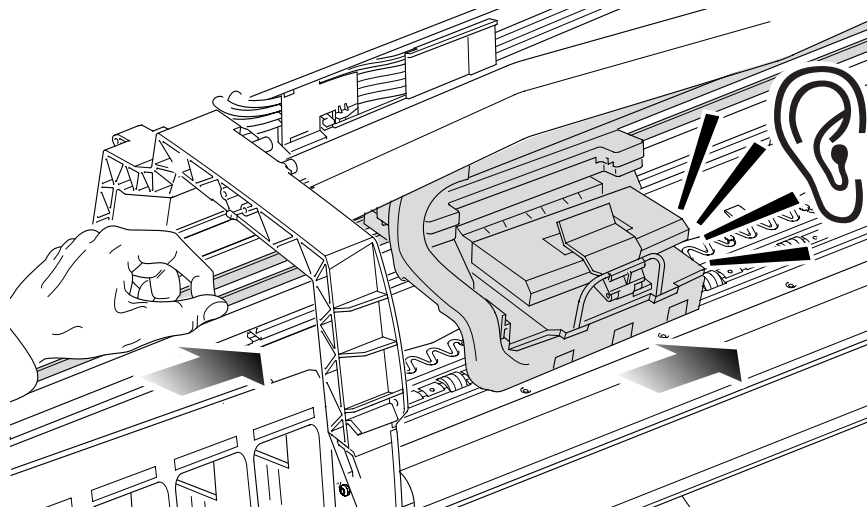
- 7 ベルトを使って、開始位置の左側 (印刷時に用紙の左端を合わせる場所) からセンタ プラテン上に沿ってキャリッジアッセンブリを移動します。その際、こすれる音がします：音が聞こえる場合は、手順9に進んでください。音がしない場合は、こすれる音がするようになるまでキャリッジアッセンブリを下げる必要があります (手順8)。



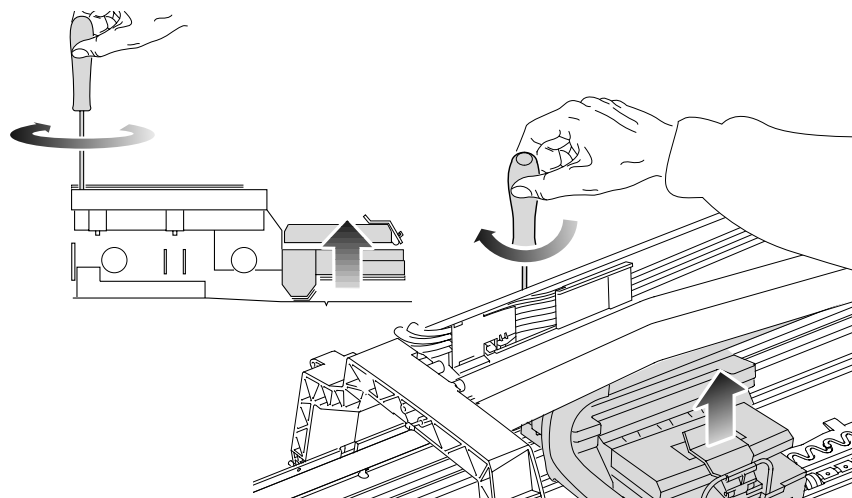
- 8 下の図に示すように、**T9**ネジを左に回してキャリッジ アッセンブリを少し下げ、前の手順7に示すように、こすれる音がするかどうかを点検します。



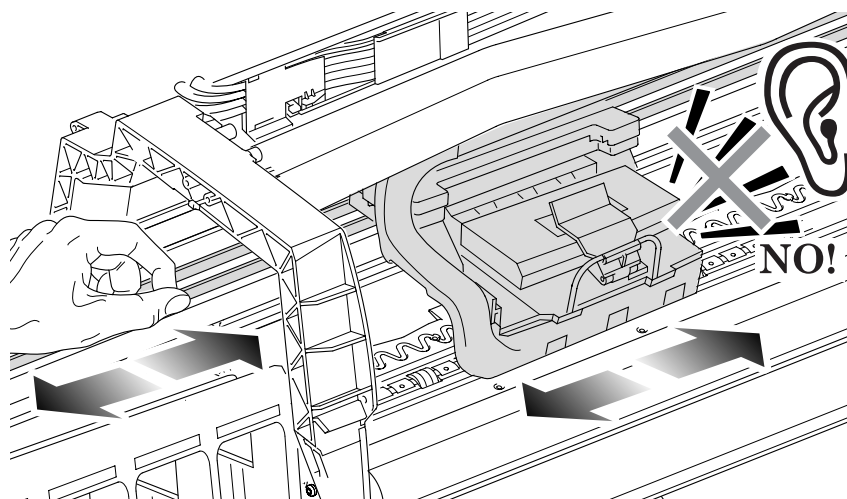
- 9 センタ プラテン上に沿ってキャリッジ アッセンブリを移動すると、今度はこすれる音がするはずですが：この音は、キャリッジ アッセンブリを上げる必要があることを示しています (音がしない場合は手順8を繰り返します)。



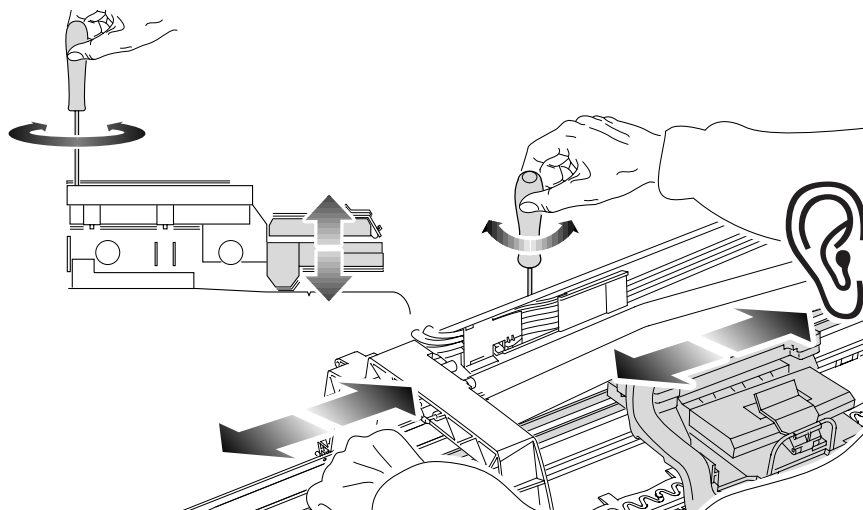
- 10** T9ネジを右に回してキャリッジ アセンブリを少し上げます (下の図を参照)。



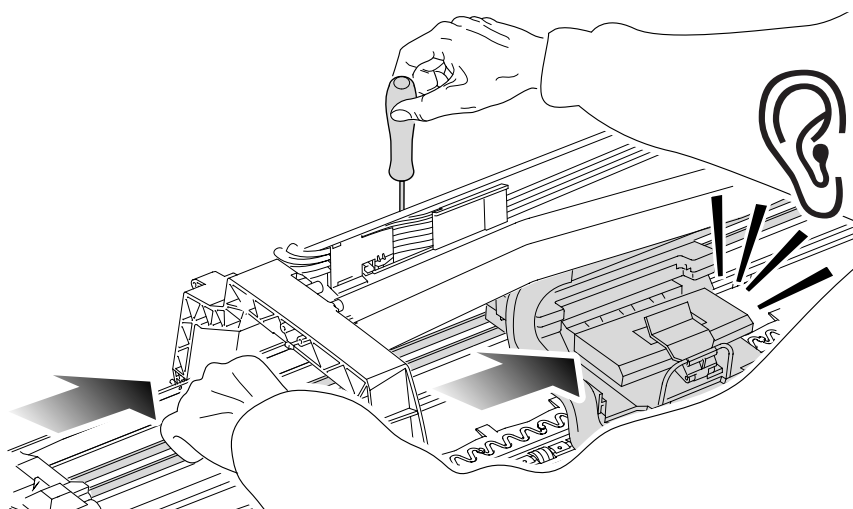
- 11** こすれる音がしないことを点検します。



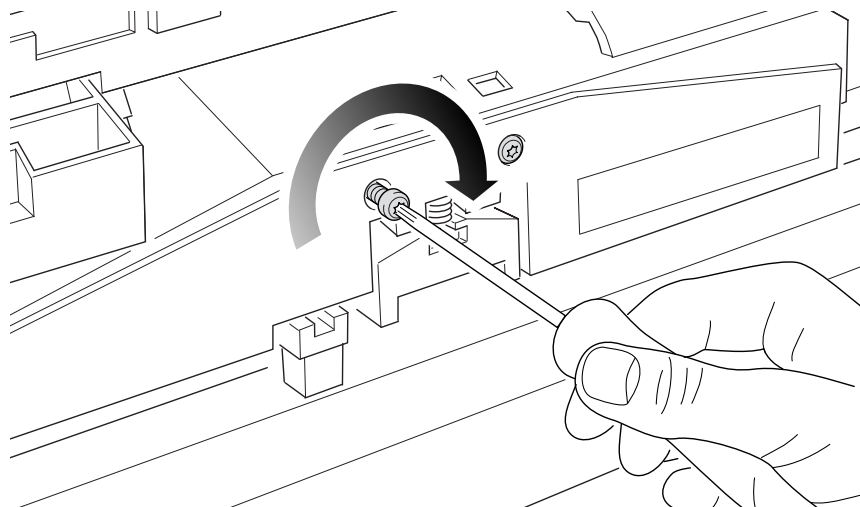
- 12 こすれる音がしなくなったら、キャリッジ アセンブリをセンタ プラテンにできるだけ近づけておくことが重要です。センタ プラテンにできる限り近い位置へキャリッジの高さを調整します。キャリッジをセンタ プラテンの左から右端まで移動させた時、僅かにこすれる音がするか、しない程度にキャリッジの高さを合わせます。



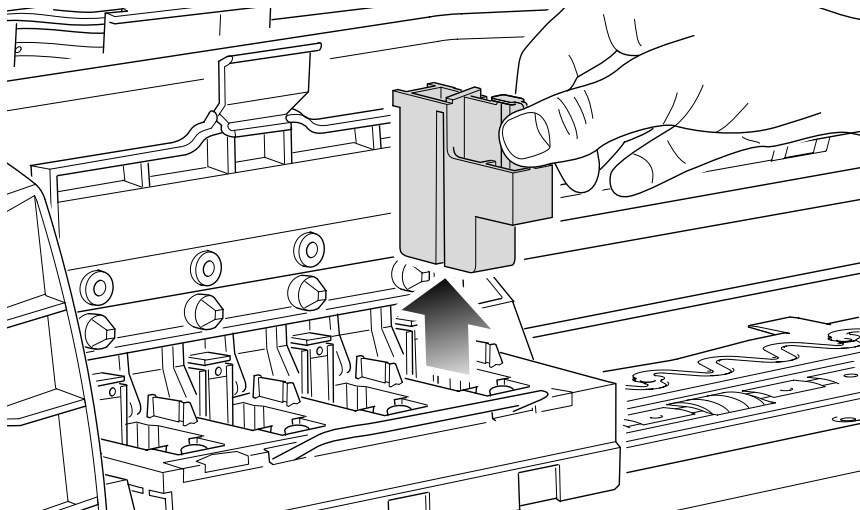
- 13 こすれる音が大きく広い幅でする場合は、手順10、11、12を繰り返し、センタ プラテンの左から右端までの点検を続けます。



- 14** センタ プラテン上での校正が完了したら (こすれる音がすべてクリアになったら)、現在の位置を確保するために、キャリッジアッセンブリ背面の2つの**T10**ネジをきつく締めます。



- 15** キャリッジ高さ調整ツールを取り外します。



- 出力品質 6-2
 - 出力品質のトラブル解決チェックリスト 6-2
 - 印刷モード 6-3
- 出力品質テストの使用方法 6-4
 - 出力品質テストとは 6-4
 - 出力品質テストの印刷 6-4
 - ノズルの印刷テスト 6-6
 - カラーの軸合わせプリント テスト 6-7
 - 帯状のムラとは？ 6-9
 - プリントヘッドの軸合わせ 6-12
- 出力品質のトラブルの解決 6-13
 - 段差のある線のトラブル 6-13
 - カラー濃度のトラブル 6-22
 - 時間の経過に伴うカラーのにじみ (光沢紙) 6-22
 - カラー精度設定 6-23
 - 印刷された用紙に汚れやきずが発見された場合 6-24

出力品質

出力品質のトラブル解決チェックリスト

出力品質のトラブルに直面したら、トラブルを解決するガイドとして次のチェックリストを使用してください。

- 1 トラブルの再現
 - カスタマが抱えているトラブルをオリジナル設定を使って再現します。
- 2 プリンタ設定
 - 印刷モード：「高品質」に設定します (プリンタとドライバで)。
 - 乾燥時間：「自動」に設定します。
 - 用紙を取り付けるとき、正しい用紙設定を選択します。
- 3 ハードウェア チェック リスト
ファームウェアのバージョン
 - 最新バージョンのファームウェアが取り付けられているかを点検します。最新バージョンでない場合は、最新バージョンのファームウェアを取り付けます。ファームウェアSIMMの製品番号については、第7章を参照してください。
- 4 プリントヘッド
プリントヘッドのトラブルの解決手順：
 - まだサンプルがない場合は、正しいプリンタ設定でオリジナルのトラブルを再現します。
 - 正確な設定、および出力品質のトラブルが発生したときにカスタマが使用していた用紙を使って、出力品質テストを印刷します。

プリントヘッドの軸合わせと点検：

 - HP 光沢フォト用紙を使ってプリントヘッドの軸合わせを行います。HP光沢フォト用紙が使用できない場合は、必要に応じてコート紙を使用してください。
- 5 用紙
 - 必ずHP純正用紙またはHP認定用紙を使用してください。
 - 用紙を取り付けるときは、フロントパネルで正しい用紙の種類を選択してください。
- 6 ドライバ出力品質の設定：

トラブルの原因がHP純正以外のドライバで定義されている印刷モードに関連しているかどうかを明確にするには、

次の操作を行います。

- HP 純正以外のドライバおよびその標準用紙を使って同じサンプルを印刷します。
- HP 純正用紙を使用し、前に示すようにプリンタを設定して、内蔵デモのうちの1つまたは出力品質テストを印刷します。
- HP の解決法を用いて得られた出力が正常で、他社製の解決法を用いて得られた出力が異常な場合、HPサポート組織では次のように対応します。
- トラブルの原因がプリンタにないことと、他社ベンダのサポート組織を通してトラブルを解決する必要があることをカスタマに伝えます。

7 サービス精度校正

- HP 光沢フォト用紙を使って「サービス精度校正」を行います。

警告

精度校正を行うときは、**HP 光沢フォト用紙以外の種類の用紙を使用しないでください。**

印刷モード

プリンタには数多くの印刷モードがあります。印刷モードは、それぞれが一連の行から成る1組のビットマップ面の解釈方法を指定します。各モードは、以下のパラメータの組み合わせに対応しています。

- 印刷解像度 (300 dpi、600 dpi、1200×600 位置指定可能)
- 用紙送りあたりのパス数
- 1スウォースあたりの用紙送り数
- 単方向印刷 (双方向印刷)
- キャリッジ速度
- スマート エリア フィル (SAF)
- プリント マスク
- サービスの状態
- マルチプル ドット (K)

印刷モード選択に対するユーザ入力、以下のものから成ります。

- 用紙の種類の選択
- 出力品質の設定の選択 (高速、標準、高品質)
- ファイルを受信する言語
- 使用するプリンタのモデル番号
- ドライバの種類 (HPまたはHP純正以外)

出力品質テストの使用法

出力品質テストとは

本製品には、出力品質の不具合の原因を診断するのに役立つデモ プリント品質テストが含まれています。出力品質テストは、3つの部分で構成されています。

- a ノズル プリント テスト。プリントヘッド ノズルが正常に印刷を行うか点検します。
- b カラー軸合わせテスト。プリンタのカラー間の軸ずれを点検します。
- c 高品質モードにおける全体的な出力品質。特に高濃度の領域での帯状のムラのトラブルを診断します。

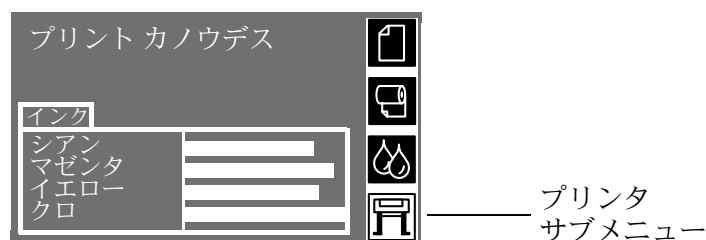
出力品質テストを印刷する際の注意

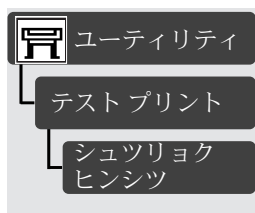
- 1 出力品質テスト プリントはA3またはBサイズ以上の用紙で印刷してください。
- 2 カスタマが出力品質にトラブルを見つけたときに使用していた用紙と同じ種類の用紙を使用してください。
- 3 カスタマがHP純正用紙以外の用紙を使用していて、出力品質テスト後も同じ出力品質のトラブルがある場合は、HP純正用紙に取り替えて、出力品質テストを再度実行してください。
- 4 出力品質テストでトラブルが発見されない場合は、プリンタには問題がない可能性があります。たとえば、RIPやドライバにトラブルがある可能性があります。

出力品質テストでトラブルを発見した場合は、以下の手順で問題を診断します。

出力品質テストの印刷

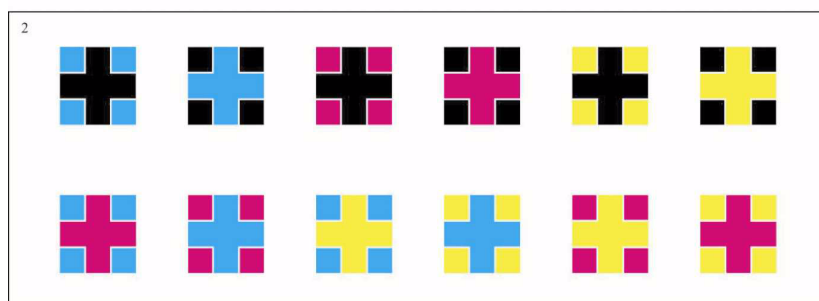
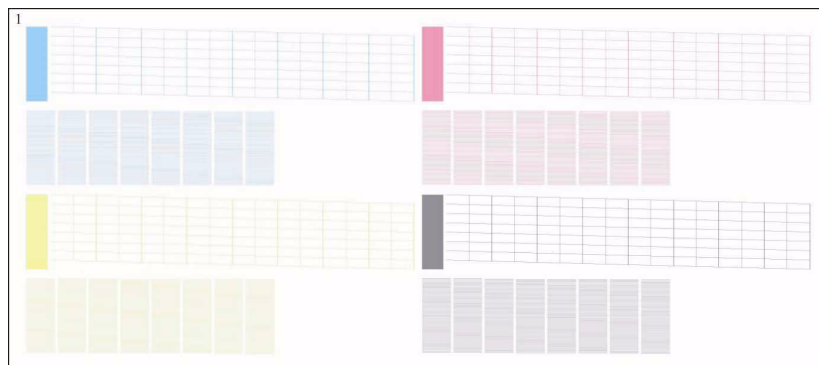
- 1 プリンタ サブメニューへ移動して、入力ボタンを押します。



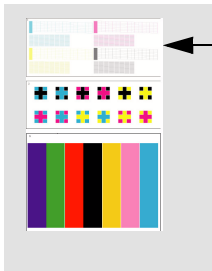


- 2 「ユーティリティ / テスト プリント」メニューから「シュツリョク ヒンシツ」を選択して、入力ボタンを押してテストを印刷します。

プリンタはパターンを連続で印刷します (以下参照)。

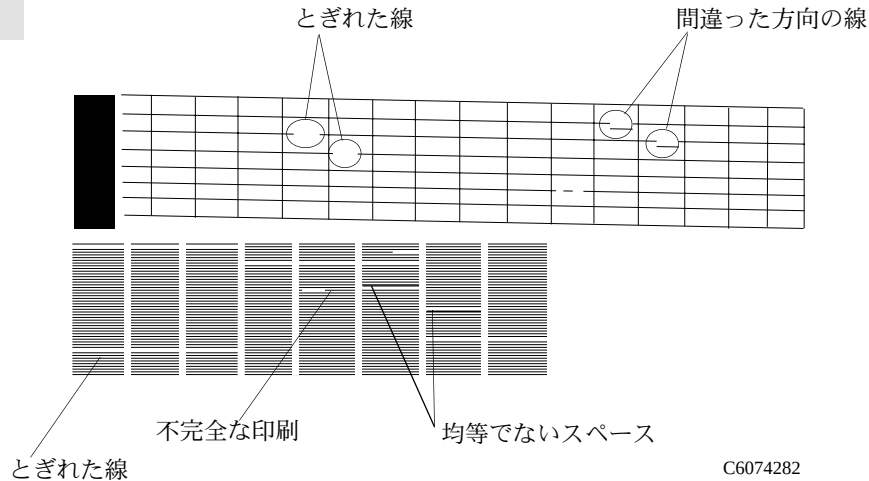


ノズルの印刷テスト



ノズルの印刷テストは出力品質テストの上部にあります。このテストでは、それぞれのプリントヘッドが印刷に使用する512のノズルをテストします。

以下はノズルが正常に印刷を行わないことを確認する方法を示しています。



C6074282

- 1 出力品質テストのトップパターンでは、段差のある斜めの線が連続してあります。1つまたは複数のノズルが正しく機能しないか、または位置が正しくない場合は、段差のある線が途切れているか、または1つまたは複数の場所で間違った方向に印字されています。
- 2 出力品質テストのトップパターンの下には、連続した水平方向のまっすぐな線があります。1つまたは複数のノズルが間違った方向に印字されている場合は、線の間スペースが均等ではありません。

ノズルの不具合の修正方法

注記

ノズルに不具合があると、完全な出力品質結果を得ることができません。プリンタは、多くのノズルの不具合をカバーする手順を、自動的に実行します。この種類の問題は、主に標準、ドラフト モードに影響を与えます。

- 1 プリンタ サブメニューへ移動して、入力ボタンを押します。



- 2 「ユーティリティ/プリントヘッドノズル」に移動します。
- 3 問題の原因となっているプリントヘッドのカラーを選択します。プリンタは不具合のあるプリントヘッドを‘修復’しようとします。問題の原因となっているカラーが確認できない場合は、すべてのプリントヘッドを選択します。修復手順には数分かかるので、お待ちください。
- 4 出力品質テストを再印刷して、不具合のあるノズルが修復されたことを確認してください。
- 5 依然としてエラーが発生する場合は、不具合のあるプリントヘッドを交換してください。

カラーの軸合わせプリント テスト

出力品質テストのこの部分は、カラーの軸合わせを点検するためのものです。この手順は異なる2色の基本色を使用して12のパターンを作成します。それぞれのパターンには、他のカラーに囲まれた十字があります。カラー間で軸ずれがある場合は、十字と他のカラーとの間のスペースが不均等です。

この種のトラブルには水平方向の軸ずれと垂直方向の軸ずれがあります。

- 水平 (スキャン軸) – 水平方向で軸が合っていない。
- 垂直 (用紙軸) – 垂直方向で軸が合っていない。

図は正常に軸合わせされた例と軸ずれした例です。



正常

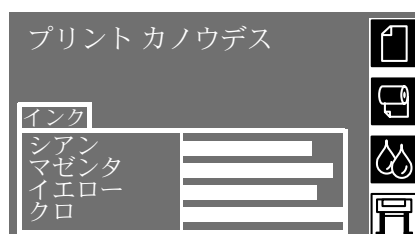


異常

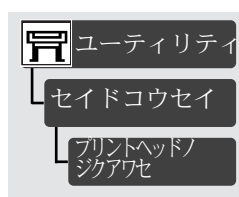
C6074276

カラーの軸合わせのトラブルの解決

- 1 用紙が取り付けられていることを確認します (クリアフィルム、ベラム紙、トレーシング ペーパー以外の用紙)。
- 2 プリンタ サブメニューへ移動して、入力ボタンを押します。



——— プリンタ サブメニュー



- 3 プリントヘッドの軸合わせ校正を実行します。「ユーティリティ / セイドコウセイ / プリントヘッド」に移動します。プリントヘッドの軸合わせ手順には数分かかるので、お待ちください。
- 4 軸合わせをする前に印刷しようとしたイメージを同じモードで再印刷して、問題がまだあるか確認します。
- 5 カラー間の校正 (Color to Color Calibration) を実行します⇒ 5-16 ページ

高品質モードでの全体的な出力品質テスト

ブルー、グリーン、レッド、黒、イエロー、マゼンタ、シアンテスト

このテスト パターンでは、使用している用紙のみに対して、**高品質モード**での帯状のムラの状態を点検します。



C6074279

帯状のムラとは？

明暗の異なる水平方向の縞模様が印刷されることを指します。

テスト パターンは4色の基本色 (黒、シアン、マゼンダ、イエロー) のインクを使用して印刷されています。3色の補助カラーはレッド、ブルー、グリーンを使用します。これらは次の表で示すように、主要4色の組み合わせでできています。

セカンダリ カラー	基本色
レッド (R)	マゼンタ (M) + イエロー (Y)
ブルー (B)	マゼンタ (M) + シアン (C)
グリーン (G)	シアン (C) + イエロー (Y)

帯状のムラのトラブルの解決

帯状のムラの主な原因：

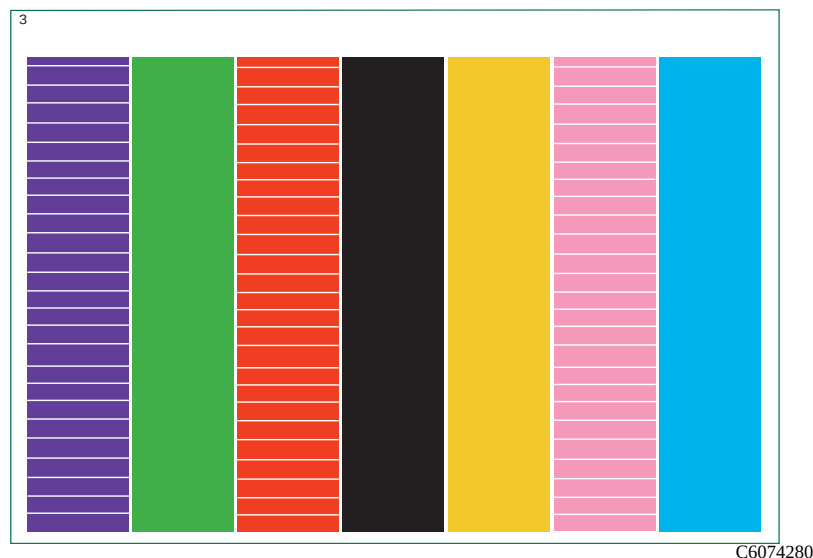
- プリントヘッドの問題 (以下を参照)
- HP純正用紙以外の用紙の使用
- フロントパネルで間違った種類の用紙が選択されている
- 用紙送りのトラブル

プリントヘッドが原因の帯状のムラ

この場合は、いくつかのカラーのみで帯状のムラが見られます。

テスト パターンの1つまたは複数の基本色に、はっきりしたあるいはぼんやりした帯状のムラがある場合、いくつかのセカンダリ カラーにも同じ場所に同様のムラがあるはずです。(基本色に比べると目立たないかもしれませんが)。

次の例の場合、マゼンタのプリントヘッドのノズルにトラブルがあることが分かります。マゼンタに白っぽい帯状のムラが見えます。したがって、セカンダリ カラーのレッド (マゼンタ+イエロー) とブルー (マゼンタ+シアン) の同じ場所に、輝度の低い帯状のムラが見られます。



- 1 この帯状のムラはノズルが正しく印刷しないために発生します。ノズルの印刷テストの手順に従って、ノズルの状態を点検することができます。

- 2 明るいまたは暗い水平方向の線も、プリントヘッドが損傷を受けていることが原因の場合があります。この問題の組み合わせは、以下の通りです。
- **シアン、ブルー、グリーン**のみに帯状のムラがありますが、シアンでは特にはっきりしています。シアンのプリントヘッドが損傷していることを示しています。
 - **マゼンタ、レッド、グリーン**のみに帯状のムラがありますが、マゼンタでは特にはっきりしています。マゼンタのプリントヘッドが損傷していることを示しています。
 - **イエロー、レッド、グリーン**のみに帯状のムラがありますが、イエローでは特にはっきりしています。イエローのプリントヘッドが損傷していることを示しています。
 - **黒**のコラムのみに帯状のムラがあります。黒のプリントヘッドが損傷していることを示しています。

高品質のイメージを印刷しようとする場合は、損傷したプリントヘッドを新しいものと交換してください。

注記

このような場合でも、高品質の線を印刷できることもあります。

用紙送りのトラブルによる帯状のムラ

他の種類の帯状のムラは用紙送りが正しく行われないことが原因です。この場合、すべての基本色とセカンダリカラーで帯状のムラ (テストパターンに沿った水平方向のムラ) が見られます。

帯状のムラは、用紙送りの幅が短すぎる場合はインクが重なるために濃くなり、幅が広がりすぎる場合には隙間ができて薄くなります。



C6074281

すべてのカラーの帯状のムラ

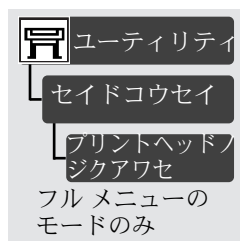
- 1 フロントパネルで選択した用紙が取り付けられている用紙であることを確認してください。
- 2 HP用紙以外の用紙を使用しているために、帯状のムラが発生することがあります。それでもHP用紙以外の用紙を使用する場合は、用紙精度の再校正を実行してください。選択した用紙のみのデフォルト設定値が上書きされます。

注記：後でHP認定用紙を取り付けた場合は、最適の設定を前の設定に戻すことができます。「ユーティリティ/セイドコウセイ/セイド/サイコウセイ」へ移動してください。

- 3 プリントヘッドの軸合わせ手順を実行します。



プリントヘッドの軸合わせ



「プリントヘッドノジクアワセ」を選択すると、プリンタはすぐに軸合わせを行います。イメージを印刷中の場合は、現在の印刷ジョブが終了するとすぐに実行します。プリントヘッドの軸合わせ手順には、最低でもA2またはCサイズ of 用紙が必要です。

プリントヘッドが交換されると、プリンタは自動的に軸合わせを実行します。出力品質プリントが軸合わせエラーを示している場合、この機能を使用できます。

注記

プリントヘッドの軸合わせには、トレーシング ペーパー、ベラム紙、クリアフィルムを使用しないでください。

サービス精度校正

HP純正用紙の使用後も帯状のムラのトラブルが残る場合は、上記の手順を実行してトラブルを解決し、サービス精度校正を実行します ⇒ 5-6 ページ

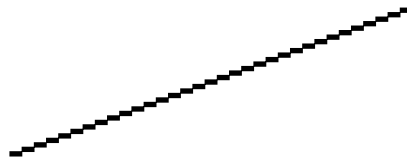
出力品質のトラブルの解決

段差のある線のトラブル

トラブルの説明

印刷されたイメージを見たときに、矢印の境界線に‘**段差のある線**’と斜めの線が見られます。この線は段差のないまっすぐな線でなければなりません。

次の図は、段差のある線のトラブルがある場合の例です。



C6074283

トラブルの解決方法

- 1 フロントパネルとドライバ ソフトウェアで出力品質を高品質に変更して、解像度 (dpi) を高くします。
- 2 このトラブルは印刷しようとしているイメージ自体に問題があることがあります。ファイル生成する**アプリケーション**でイメージを修正してください。

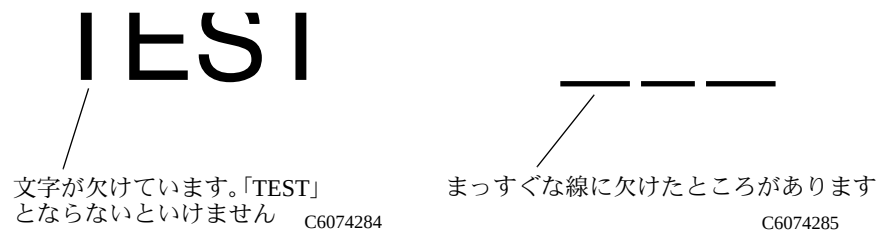
印刷した線のトラブル

トラブルの説明

印刷されたイメージには以下のようなトラブルが見られます。

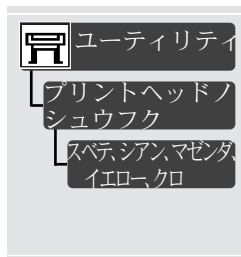
- 線がはっきりしない
- 印刷した文字に欠けた部分がある

次の図は、印刷した線にトラブルがある場合の例です。



トラブルの解決方法

- 1 プリンタ サブメニューへ移動して、**入力**ボタンを押します。



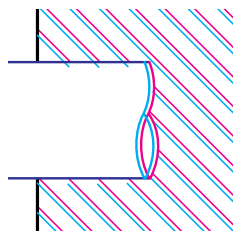
- 2 「ユーティリティ/プリントヘッドノ シュウフク」に移動します。
- 3 問題のあるプリントヘッドのカラーを選択します。プリンタは問題のあるプリントヘッドを「修復」しようとします。問題の原因となっているカラーが確認できない場合は、すべてのプリントヘッドを選択します。プリントヘッドの修復が終わるまで待ってください。
- 4 前に印刷しようとしたイメージを同じモードで**再印刷**して、トラブルがまだ解決されていないか確認します。
- 5 トラブルが解決されない場合は、**高品質**モードを使用してイメージを再印刷します。
- 6 高品質モードで印刷しても満足いく結果が得られない場合は、問題のあるプリントヘッドを交換します。プリントヘッドが原因でトラブルが起こるか確認できない場合は、出力品質テストを印刷します。故障したプリントヘッドを発見する手助けとなります。

カラー間の軸合わせのトラブル

トラブルの説明

印刷したイメージが以下のような状態です。

- カラーの線がずれていて正しいカラー印刷されません。



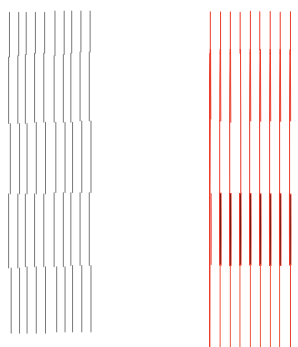
C6074286

- カラーの部分の境界線が重なっていて、重なった領域が違うカラーになっています。



C6074287

- 垂直方向の線が軸ずれしているかゆがんでいます (滑らかではない)。



C6074304

トラブルの解決方法

- 1 取り付けられている用紙を確認してください (クリアフィルム、トレーシングペーパー、ベラム紙は不可)。

- 2 プリンタ サブメニューへ移動して、**入力**ボタンを押します。



- 3 プリントヘッドの軸合わせ校正を実行します。「ユーティリティ/セイドコウセイ/プリントヘッドノ ジクアワセ」に移動します。プリントヘッドの軸合わせ手順には数分かかるので、お待ちください。
- 4 軸合わせをする前に印刷しようとしたイメージを同じモードで再印刷して、トラブルがまだ解決されていないか確認します。

水平方向の線のトラブル (帯状のムラ)

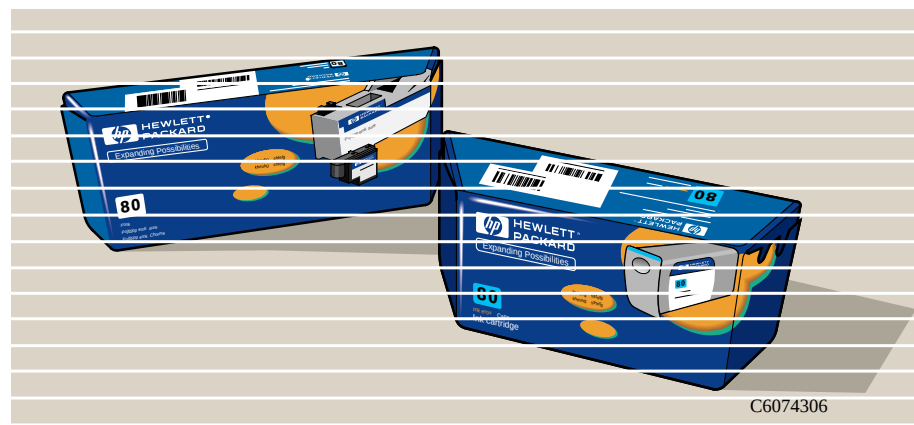
トラブルの説明

印刷したイメージに濃淡の線がある場合は、特に高濃度のインク領域の部分で顕著に見られます。このトラブルは帯状のムラと言われています。

重要

帯状のムラは、高濃度の印刷時にドラフトおよび標準モードにおいて、ある一定の間隔で発生することがあります。最良のイメージ品質を得るためには、常に高品質モードで印刷します。

次の図は、帯状のムラのトラブルがある場合の例です。



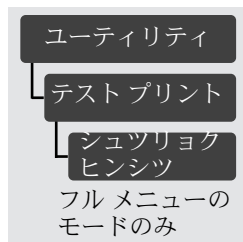
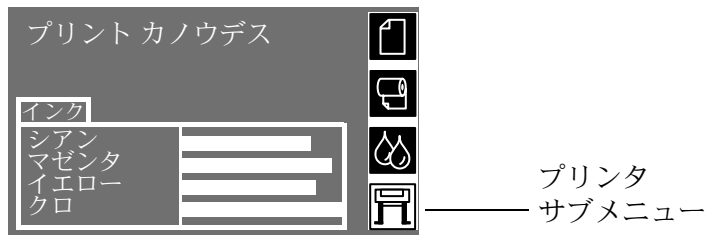
トラブルの解決方法

注記

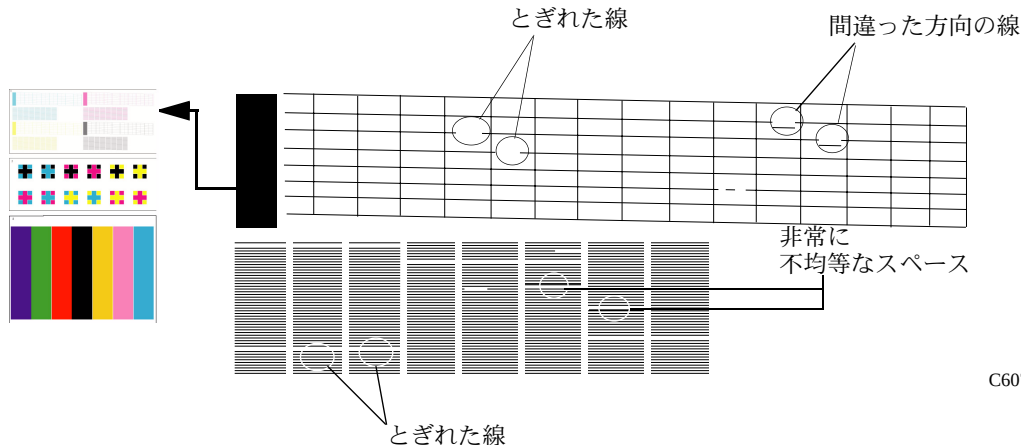
以下の手順を実行する際には、帯状のムラが発見されたときに使用したのと同じ用紙に同じ出力品質で印刷します。

- 1 フロントパネルで選択した用紙が、取り付けた用紙と一致していることを確認してください。
- 2 プリントヘッドの軸合わせ校正を実行します。
- 3 イメージを再印刷します。
- 4 イメージを標準またはドラフト モードで印刷して満足いく結果を得られなかった場合は、高品質モードで再印刷します。フロントパネルとドライバの選択を確かめて、高品質モードが選択されていることを確認してください。

- 5 プリンタ サブメニューへ移動して、入力ボタンを押します。

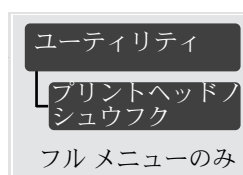


- 6 「ユーティリティ / テスト プリント / シュツリョク ヒンシツ」へ移動して、入力ボタンを押します。
- 7 プリンタは診断用のテスト プリントを印刷します。帯状のムラのトラブルの原因を発見する手助けになります。出力品質テスト プリントの印刷には数分かかりますので、しばらくお待ちください。
- 8 出力品質テストの初めのセクションを見ます。印刷に次の例のような問題があるか確認してください。



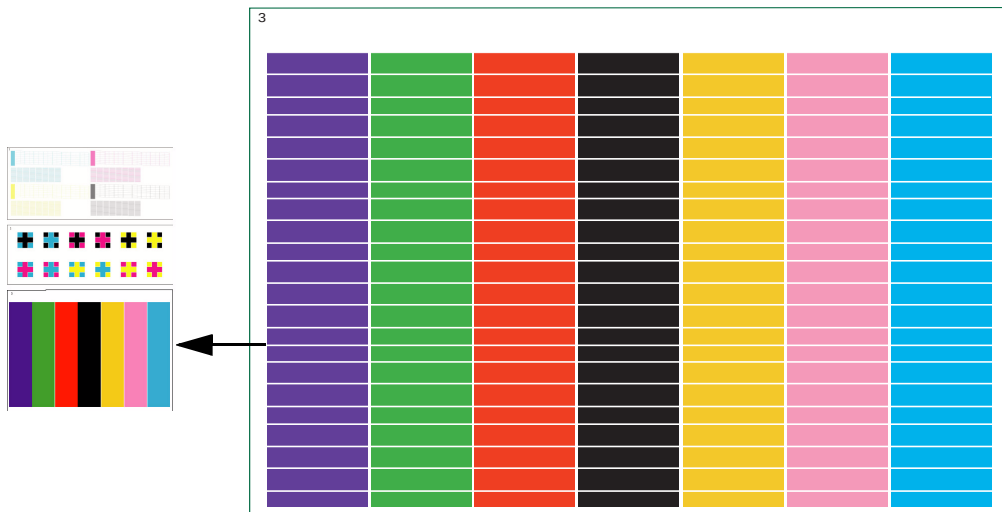
- 9 テスト プリントで発見できる問題以外にトラブルがある場合は、手順9aに進んでください。印刷テストのトップの部分で問題が発見されない場合は、手順10に進み、手順9aから9fまでは省略してください。

- a プリンタ サブメニューへ移動して、入力ボタンを押します。

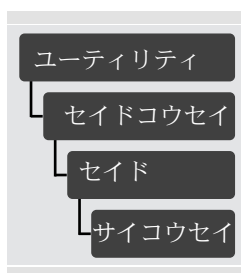


- b 「ユーティリティ / プリントヘッドノ シュウフク」へ移動して、入力ボタンを押します。

- c 出力品質テスト プリントで問題を示したプリントヘッドのカラーを選択します。問題の原因となっているカラーが確認できない場合は、すべてのプリントヘッドを選択します。
 - d プリントヘッドの軸合わせ手順を実行します。
 - e 軸合わせをする前に印刷しようとしたイメージを同じモードで再印刷して、トラブルがまだ解決されていないか確認します。
 - f イメージの品質が改善されない場合は、次の出力品質テストを再印刷して、次の手順に進みます。
- 10 出力品質テスト プリントの一番下のセクションを確認します。すべてのカラーで帯状のムラが見られる場合は、手順10aに進みます。帯状のムラがいくつかのカラーのみで見られる場合は、手順11に進みます。



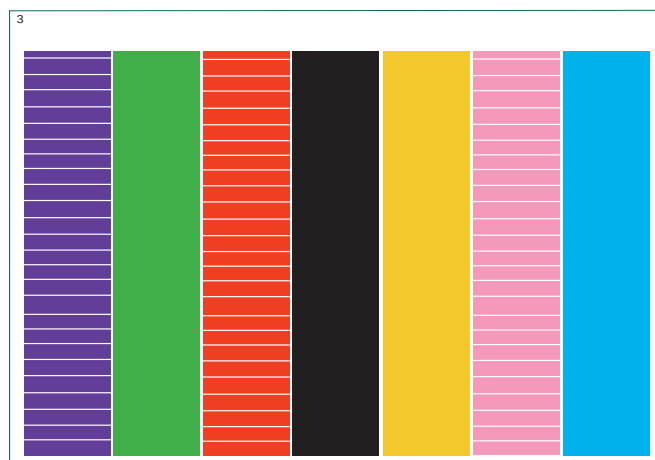
C6074281



- a HP 純正用紙以外の用紙を使用しているために、帯状のムラが発生することがあります。それでもHP純正用紙以外の用紙を使用する場合は、用紙精度の再校正を実行してください。選択した用紙のみの初期設定値が上書きされます。

注記：プリントヘッドの軸合わせの後でHP認定用紙を取り付けた場合は、プリンタの設定を以前の設定に戻すことができます。「ユーティリティ/セイドコウセイ/セイド/デフォルトニ モドス」へ移動してください。

- 11 図のように、印刷したイメージのいくつかのカラーに帯状のムラが見られる場合



- a この問題の組み合わせは、以下の通りです。
- シアン、ブルー、グリーンのみには帯状のムラがありますが、シアンでは特にはっきりしています。シアンのプリントヘッドが損傷していることを示しています。
 - マゼンタ、レッド、グリーンのみには帯状のムラがありますが、マゼンタでは特にはっきりしています。マゼンタのプリントヘッドが損傷していることを示しています。
 - イエロー、レッド、グリーンのみには帯状のムラがありますが、イエローでは特にはっきりしています。イエローのプリントヘッドが損傷していることを示しています。
 - 黒のみに帯状のムラがあります。黒のプリントヘッドが損傷していることを示しています。
- b 最高の出力品質を得るためには、損傷を受けたプリントヘッドを新しいものに交換してください。

注記

このような場合でも、高品質の線を印刷できることもあります。

出力品質テストでトラブルの原因が見つからなかった場合

出力品質テストで出力されたパターンには問題がないのに、出力品質に問題がある場合には、次の項目を確認してください。

- 使用している出力品質が印刷しているイメージに合っていない (プリンタのフロントパネル メニューの選択で決定されます)。
- 他社製のドライバ
- RIPの使用
- 使用しているソフトウェア

次の表を参考にして、システムを正しく設定してください。

設定する場所	設定内容	最適な設定
プリンタのフロントパネルメニュー	ヨウシノ シュルイ	現在取り付けられている用紙を取り出して、フロントパネルの用紙種類を変更してから、再度取り付けます。
	カンソウジカン	「ジドウ」に設定する。
HPドライバ (Windows、AutoCAD、Mac) (HP デザインジェット 2500CP)	出力品質	「高品質」に設定する。
他社製のドライバ (ソフトウェアRIP)	ドライバによって設定が異なるが、通常は次の項目を設定する。 ■ 出力品質 ■ ハーフトーン ■ 用紙の選択 出力品質の設定についての詳細は、ソフトウェアに付属のマニュアルを参照。	ソフトウェア側の設定 ■ 出力品質を「高品質」に設定する。 ■ ハーフトーンを使用する (またはプリンタのデフォルト使用)。 ■ ソフトウェアで選択した用紙と、プリンタに取り付けた用紙が一致していることを確認する。

カラー精度のトラブルの解決

カラー精度のトラブルを解決する際、次の2つの領域を調べる必要があります。

設定 (PostScriptオプションのみ)

使用しているドライバの設定およびソフトウェアのCRD情報が正しいか点検します。また、フロントパネルでどのカラー エミュレーションモードが選択されているか点検します。

用紙

HP純正用紙を取り付けていることと、フロントパネルとドライバで選択した用紙の種類が正しいことを確認してください。

カラー濃度のトラブル

- カラー濃度が重要である印刷には、HP-GL/2を使用しないことをお勧めします。
- 用紙は古くなるにつれ色褪せ、変質します。用紙の保存状態を確認し、状態の良いものを使用してください。
- 印刷の最中に動作環境が著しく変化すると、カラー濃度にも変化が見られます。その場合、カラー校正の手順を行ってください。印刷が行われた後で印刷物が極端な動作環境下に置かれる場合は (特に高湿度)、時間を短縮することで、カラー濃度のトラブルを減らすことができます。
- 750Cと本製品など、異なるプリンタ間ではカラーに違いがありますが、問題ありません。プリンタによって異なるインクを使用しているために、HPデザインジェットプリンタ間にカラーの違いが生じるのです。

時間の経過に伴うカラーのにじみ (光沢紙)

カラーが紙に浸透して線がゆがんだり、ぼやけたりするなど、カラーがにじんでいます。プリンタを操作する場所の湿度が高いことが原因です。

- 印刷する用紙を変更します。

または

- 高湿度の環境からプリンタを移動します。

カラー精度設定

プリンタ、ドライバ、ソフトウェアRIPの設定によって、それぞれの種類の用紙に適用されるインク量が決定されます。次の表を参考にし、プリンタとソフトウェアを設定して精度を向上してください。

設定対象	設定内容	最適な設定
プリンタのフロントパネルメニュー	ヨウシノ シュルイ	■ プリンタに取り付けた用紙の種類を選択。
	カラーエミュレーション (PSのみ)	■ ソフトウェアが生成する CMYK インクの種類を設定します。HP ドライバを使用している場合は、「エンハンス」を使用します。
	インクヨ セイゲンスル (PSのみ)	■ 「オン」 に設定。
	カラー コウセイ (PSのみ)	■ 「オン」 に設定。
HPドライバ	用紙	■ プリンタに取り付けた用紙種類を選択。
他社製ドライバ (ソフトウェアRIP)	用紙の選択	■ プリンタに取り付けた用紙種類を選択。ソフトウェアに付属のマニュアルを参照。
	カラー補正オプション	■ カラー補正を実行

用紙

印刷するイメージに対して適切な用紙を選び、ソフトウェア側でも正しく設定されていることを確認してください。カラー精度と出力品質においてトラブルが発生しないようにするには、プリンタに対応している用紙の種類を使用してください。他社製用紙、または対応していないHP用紙を使用すると出力品質が著しく低下します。HP純正用紙についての詳細は、『**ユーザズ ガイド**』または『**Media Guide for the HP Designjet Printers**』を参照してください。

注記

カラー精度を保つには、用紙の設定がプリンタに取り付けた用紙と一致している必要があります。

HPドライバで他社製の用紙を使用している場合、印刷のカラー精度が低下することがあります。カラー精度を改善したい場合は、HP純正用紙を使用してください。

印刷された用紙に汚れやきずが発見された場合

大量のインクが短時間で使用される場合は、紙ベースの素材にコーティングが施された種類の用紙にトラブルが起ることがあります。これは、用紙が短時間では十分にインクを吸収できずに損傷し、プリントヘッドが用紙上を移動するときに、プリントヘッドと用紙が接触し、印刷されたイメージが汚れてしまうことが原因です。

- 1 フロントパネルの**キャンセル** ボタンを押します。印刷を続行すると、プリントヘッドが用紙で損傷することがあります。
- 2 お使いのコンピュータ アプリケーションから印刷ジョブをキャンセルします。
良い結果を得るためには、以下を実行します。
 - 印刷しているイメージが濃いカラーの場合は、HP 厚手コート紙を使用してください。
 - マージンを広くして使用するか、またはソフトウェアアプリケーションでイメージを移動させることで印刷マージンを広げてください。
 - HP-GL/2ドライバのアドバンス セクションで、‘「用紙節約オプション」を使用している場合は、‘「自動回転」と‘「インク領域」の両方、または、どちらか1つを無効にしてください。

上記の手段を行っても汚れやきずのトラブルが解決されない場合は、使用している用紙をHP光沢フォト用紙などの、紙ベース以外の用紙に取り替えてください。

Parts and Diagrams

7

Printer Support	7-2
Rear Covers	7-4
Electronics Module	7-6
Right Hand Cover	7-8
Left Hand Cover and Window	7-10
Right Hand Assemblies	7-12
ISS and APS Assembly	7-14
Clutch Assembly	7-16
Carriage Assembly	7-18
Scan-Axis Assemblies	7-20
Drive Roller and ARSS Miscellaneous Parts	7-22
Paper Path Assemblies	7-24
Pinch Assembly	7-26
Drive Roller Assemblies	7-28
Center Guide and Media Sensor	7-30
Tubes Guide Assemblies	7-32
Ordering Accessories	7-34

Printer Support

Printer Support			
Reference on Drawing	HP Part Number	Quantity	Description/Comments
1	C6072-60183	1	Tray Assembly
2	C6071-60182	2	Foot Assembly
3	C6072-60184	2	Legs Assembly
4	C6071-60181	1	Bin Assembly
5	C6072-60185	1	X-Brace Assembly
-	C6071-60180	1	Hardware Kit (Includes Screw Drivers)
-	C6072-60017	1	Bin Cover Assembly

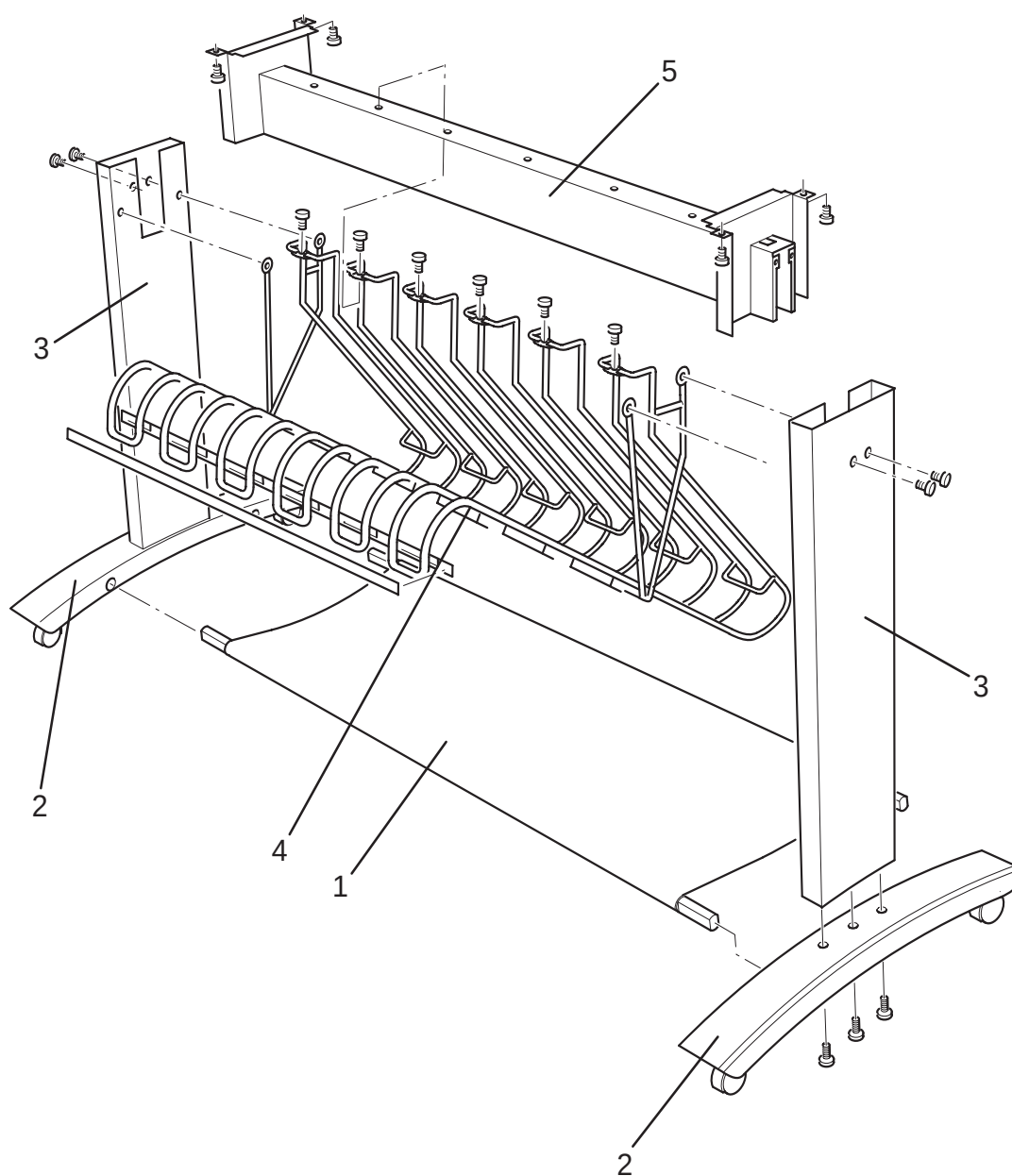


Figure 3: Printer Support

Rear Covers

Printer Support			
Reference on Drawing	HP Part Number	Quantity	Description/Comments
1	C6072-60168	1	Top Cover
2	0515-0382	5	Screw
3	0515-4228	1	Screw
4	C6072-60169	1	Back Cover (Includes Blank Serial Number Label)
5	C2847-20017	3	Screw
6	2190-0760	3	Washer
7	C6072-60186	1	Rear Platen
8	0624-0771	2	Screw
9	C6071-60148	3	Tail Deflectors
10	C6072-60170	1	Back EMC Cover
11	0535-0043	5	Nut
12	0515-2278	2	Screw
13	C6072-60188	1	Mount Bracket (Includes Left and Right Mount Bracket)
14	0624-0771	4	Screw

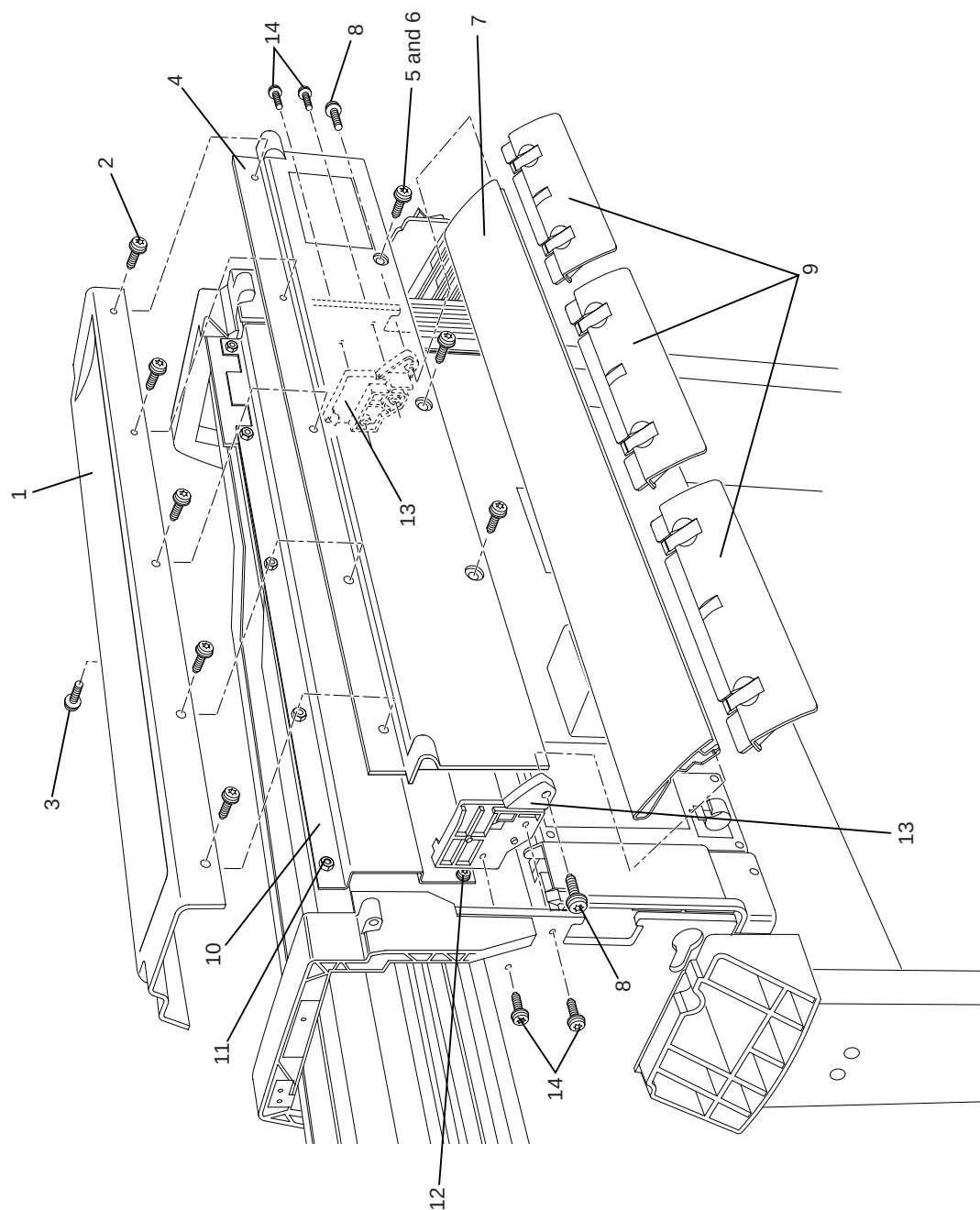


Figure 4: Rear Covers

Electronics Module

Printer Support			
Reference on Drawing	HP Part Number	Quantity	Description/Comments
1	J3113-61001	1	EIO Card
2	C6075-60005	1	Hard Disk Drive
3	C6072-60176	1	DIMM Cover
4	0515-2246	4	Screw
5	C6074-60003	1	DRAM DIMM 16MB
	C6074-60004	1	DRAM DIMM 32MB
	C6074-60005	1	DRAM DIMM 64MB
6	C6074-60009	1	Firmware DIMM (HP DesignJet 1050C)
	C6075-60009	1	Firmware DIMM (HP DesignJet 1055CM)
7	C6072-60171	1	Left Rear Cover (Includes Ferrite and Clip)
8	0515-2282	1	Screw
9	C6072-60172	1	Right Rear Cover
10	0515-2282	1	Screw
11	C6072-60146	1	Electronics Module
12	0515-0382	4	Screw (for Electronics Module)
-	C6072-60177	1	EIO Card Cover

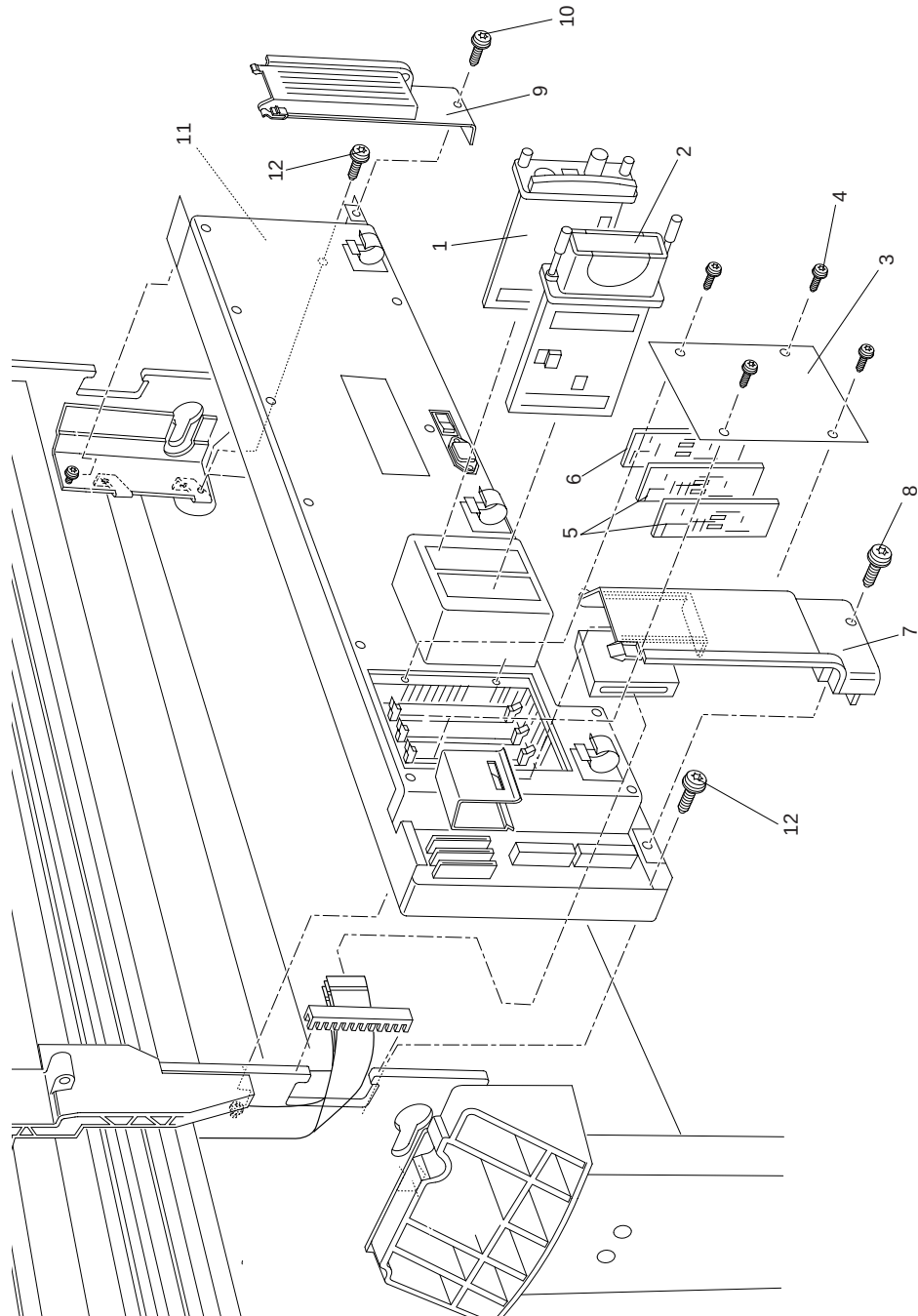


Figure 5: Electronics Module

Right Hand Cover

Printer Support			
Reference on Drawing	HP Part Number	Quantity	Description/Comments
1	C6072-60165	1	Right Hand Cover (Includes Front Panel Cable)
2	0624-0771	4	Screw
3	C6072-60174	1	Right Hand Trim (Includes Window Sensor)
4	0515-2248	1	Screw
5	0624-0771	1	Screw
6	C6072-60175	1	Front Panel Assembly (Includes Front Panel Cable)
-	C6071-60154	1	Quick Reference Guide Holder

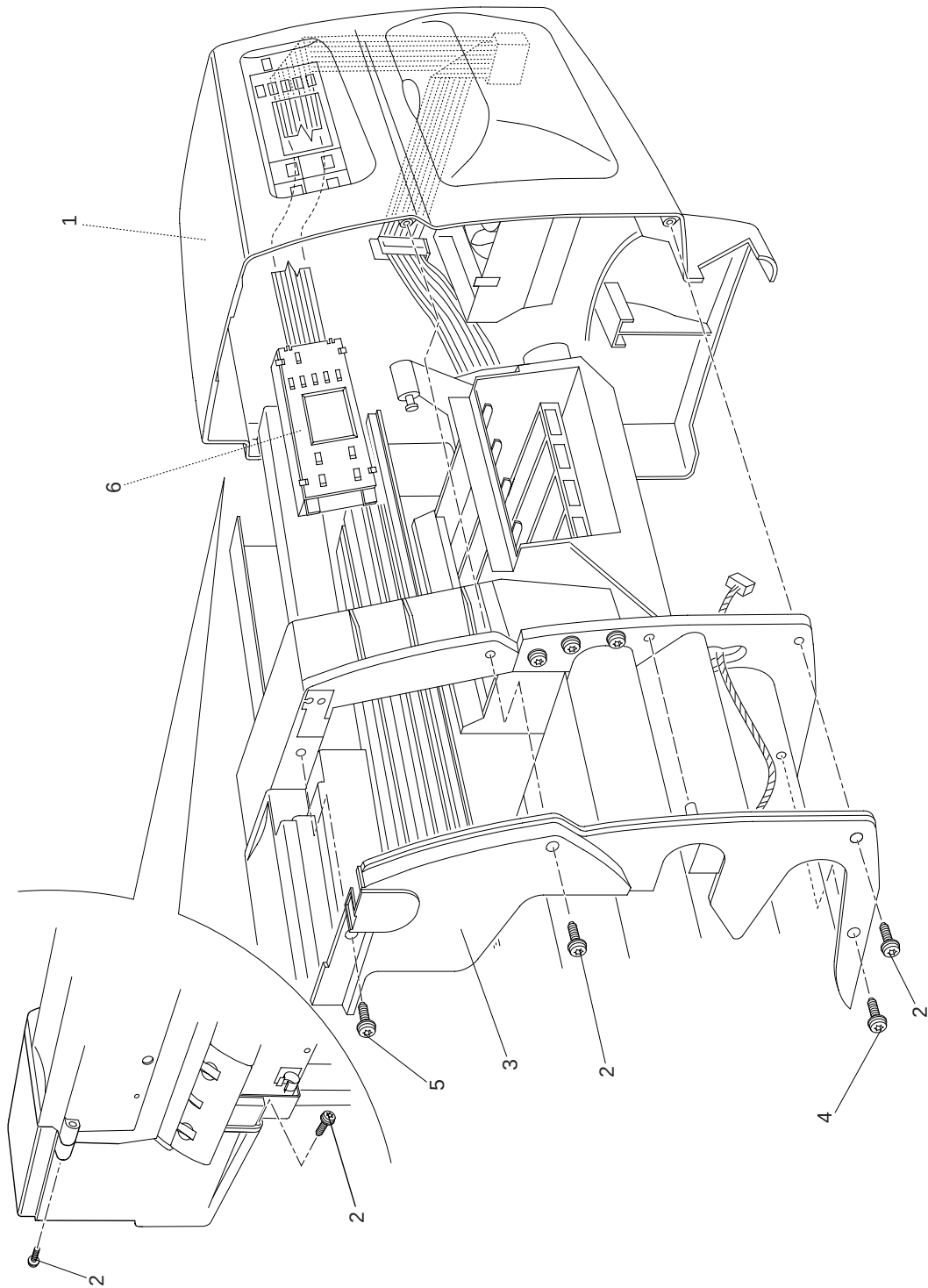


Figure 6: Right Hand Cover

Left Hand Cover and Window

Printer Support			
Reference on Drawing	HP Part Number	Quantity	Description/Comments
1	C6072-60167	1	Left Hand Cover
2	0624-0771	4	Screw
3	C6072-60173	1	Left Hand Trim
4	0515-2248	1	Screw
5	0624-0771	1	Screw
6	C6072-60164	1	Window
-	0624-0704	2	Screw (for rear door to access the Ink Tubes System)
7	C6072-60145	1	Ink Tubes System (Includes Setup Printheads, Ink Collector, Carrier Clip, Nye Oil and ISS Housing Foam)
8	C6072-00002	1	Nameplate (HP DesignJet 1050C)
	C6075-00001	1	Nameplate (HP DesignJet 1055CM)
9	C4704-00119	1	Adobe Logo Label (Only for HP DesignJet 1055CM)
-	C6071-60167	1	Setup Printheads

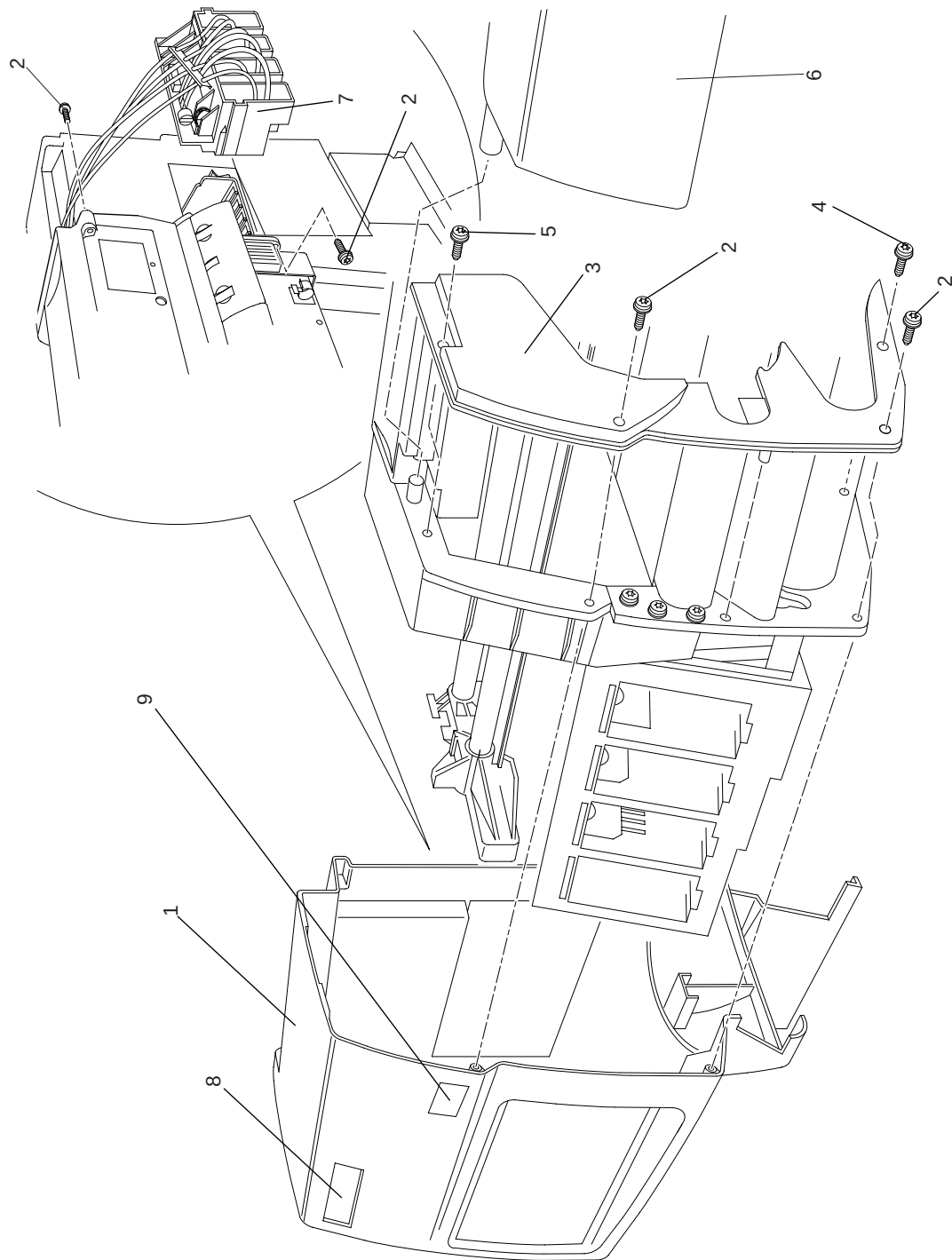


Figure 7: Left Hand Cover and Window

Right Hand Assemblies

Printer Support			
Reference on Drawing	HP Part Number	Quantity	Description/Comments
1	C6072-60178	1	Service Station Assembly (Includes Drop Detector and Primer Assembly)
2	0624-0771	2	Screw
3	0515-2248	1	Screw (for Service Station)
4	C6072-60159	1	Vacuum Fan
5	0515-2248	4	Screw
6	0515-1349	2	Screw
7	C6072-60160	1	Paper-Axis Motor Assembly (includes Helical Gear and Grease)
8	0515-2248	4	Screw
9	C6072-60179	1	Drop Detector Assembly (Includes Spittoon Foam)

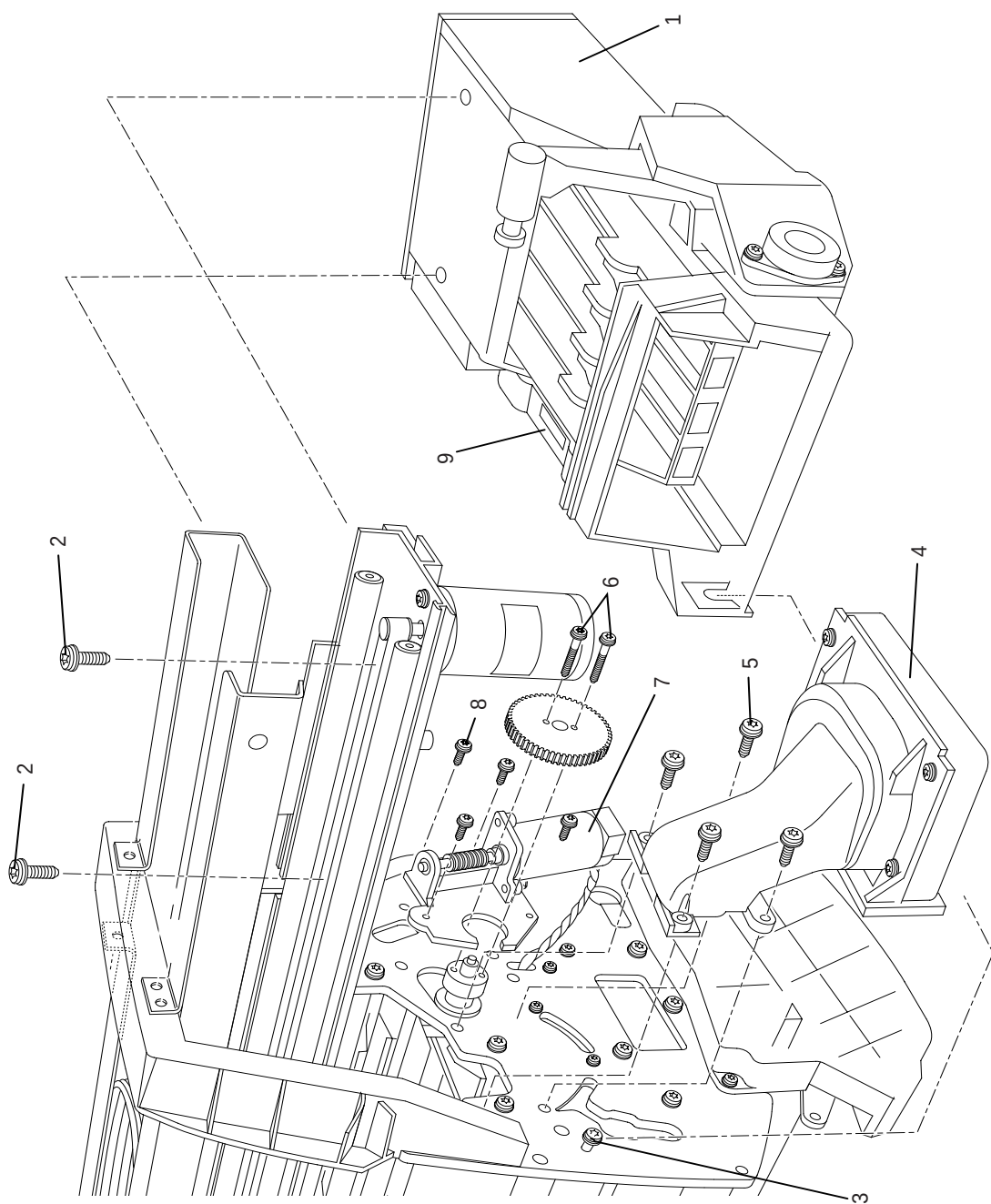


Figure 8: Right Hand Assembly

ISS and APS Assembly

Printer Support			
Reference on Drawing	HP Part Number	Quantity	Description/Comments
1	C6072-60015	1	Ink Supply Station (ISS)
2	C6072-60016	1	Air Pressurization System (APS)
-	C6071-60168	1	Ink Leak Detector (Includes Ink Collector, Leak Sense Cable and Leak Sense Cable Cip)

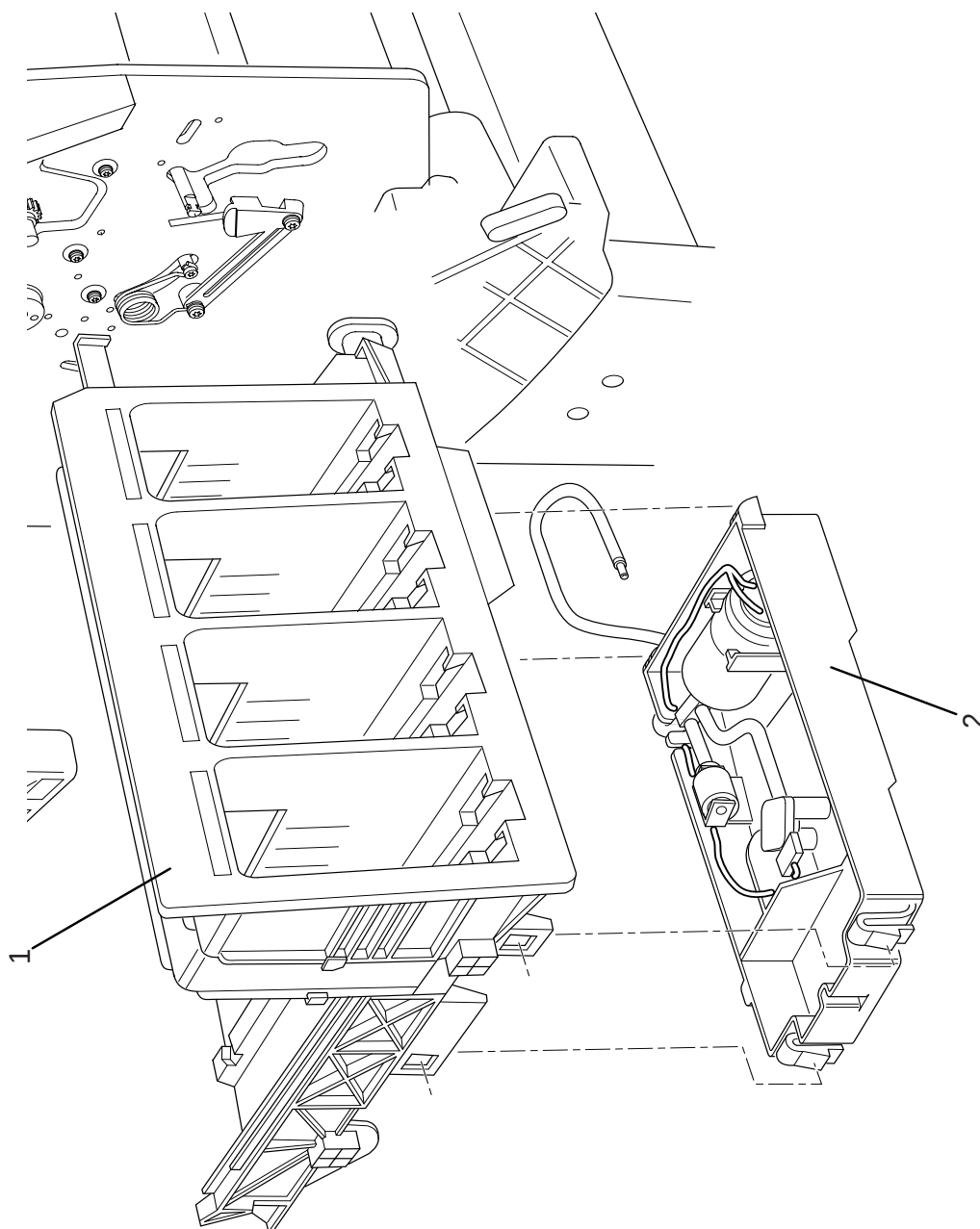


Figure 9: Ink Supply Station

Clutch Assembly

Printer Support			
Reference on Drawing	HP Part Number	Quantity	Description/Comments
1	C6072-60151	1	Clutch Assembly
2	0515-2278	2	Screw

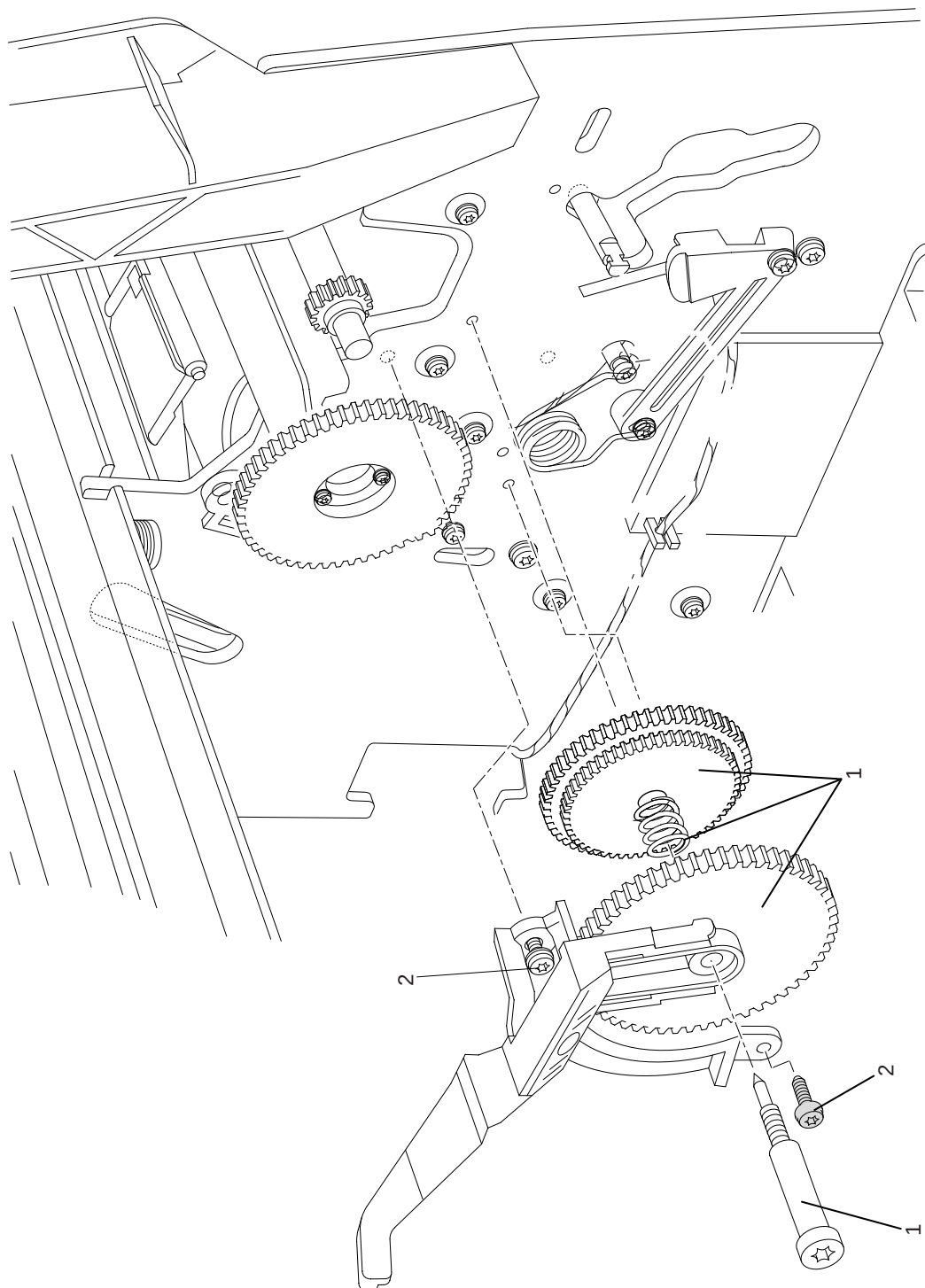


Figure 10: Clutch Assembly

Carriage Assembly

Printer Support			
Reference on Drawing	HP Part Number	Quantity	Description/Comments
1	C6072-60147	1	Carriage Assembly (Includes Carriage Height Tool, Cutter Assembly and Line Sensor)
2	C6072-60200	1	Cutter Assembly (Includes Screw and Washer)
3	0624-0737	1	Screw
4	3050-1982	1	Washer
5	C6072-60196	1	Trailing Cable (Includes Nye Oil, Trailing Cable Clip, Cover Cap, Trailing Ferrite and Ferrite Pincer)
-	C6071-60166	1	Carriage Height Tool (Also Included with the Carriage Assembly)

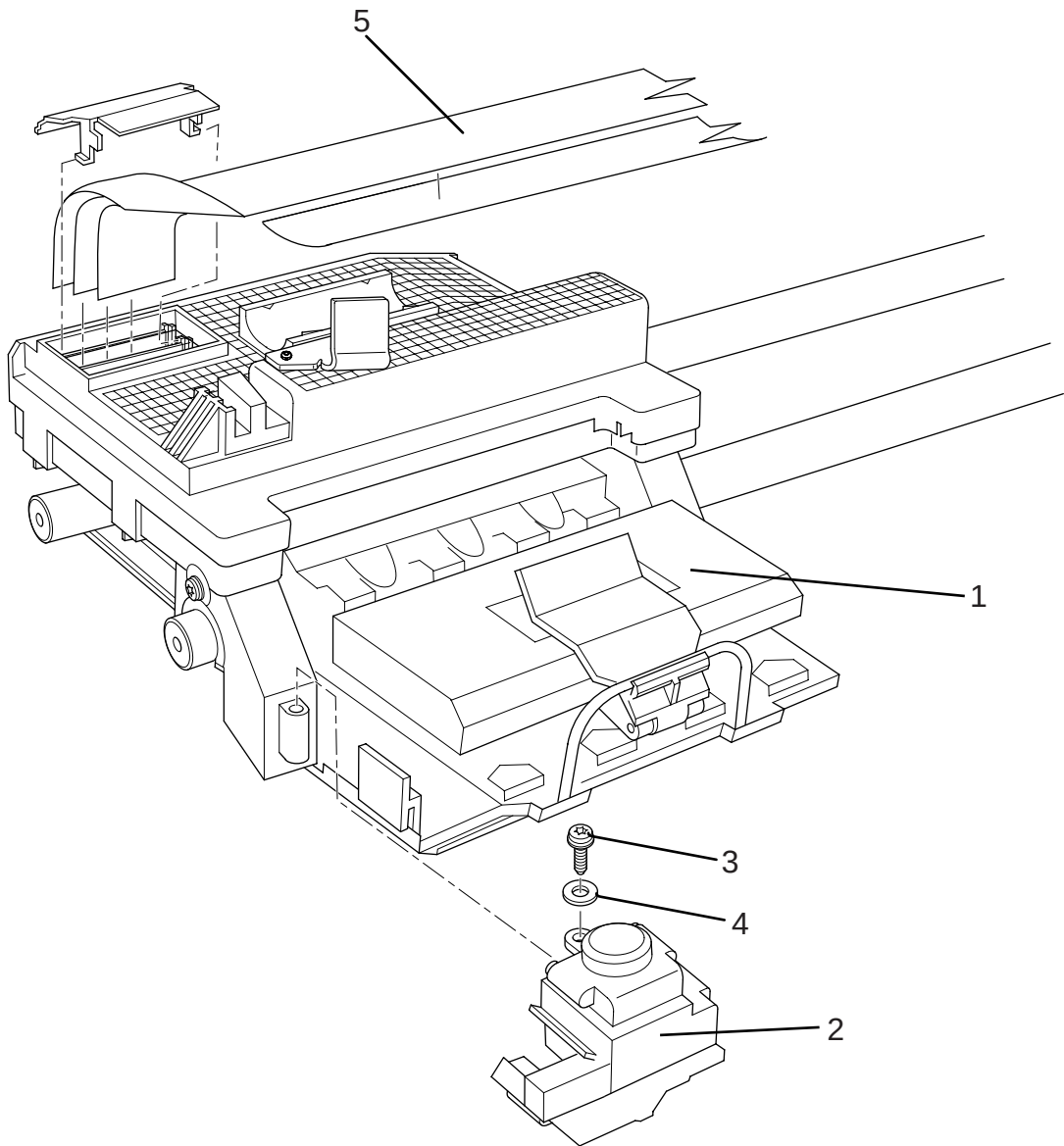


Figure 11: Carriage Assembly

Scan-Axis Assemblies

Printer Support			
Reference on Drawing	HP Part Number	Quantity	Description/Comments
1	C6072-60148	1	Scan-Axis Motor
2	0515-0382	2	Screw
3	C6072-60149	1	Tensioner Assembly (Includes Pulley Assembly, Pulley Spring, Wedge and Actuator Arm)
4	0515-0382	2	Screw
5	C6072-60199	1	Cutter Actuator Arm (also included with item 3)
6	C6072-60198	1	Belt (Includes Oil)
7	C6072-60197	1	Encoder Strip
8	0535-0031	2	Nut
9	3050-0026	2	Washer
10	C6072-60158	1	Left Rollfeed Module
11	C6072-60155	1	Right Rollfeed Module
12	C6072-60156	1	Right Rollfeed Brake
13	0624-0704	1	Screw (for item 12)
14		1	Washer (for item 12)
15	C6072-60157	1	Left Rollfeed Brake
16	0624-0704	1	Screw (for item 15)
17		1	Washer (for item 15)
18		2	Screw (for item 15)

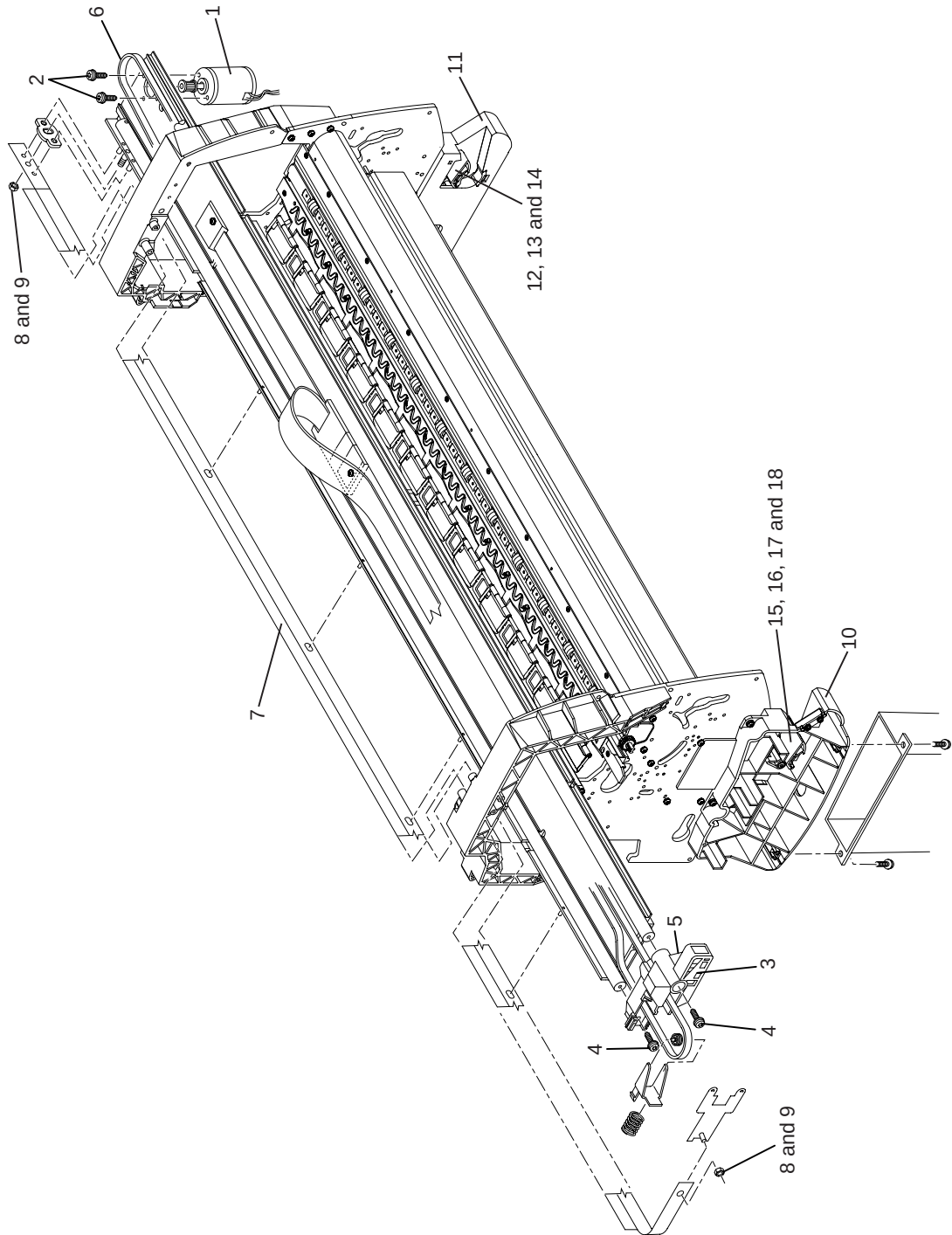


Figure 12: Scan-Axis Assemblies

Drive Roller and ARSS Miscellaneous Parts

Printer Support			
Reference on Drawing	HP Part Number	Quantity	Description/Comments
1	C6071-40017	1	Drive Roller Gear (See Note Below)
2	0515-2200	2	Screw
3	C6071-40016	1	Drive Roller Bracket (See Note Below)
4	0515-2282	2	Screw
5	C6071-60155	1	ARSS Miscellaneous Parts
6	0515-1743	1	Screw
7	C2847-20018	1	Screw

NOTE

Items 1 and 3 are not orderable separately. These parts are included when you order the Drive Roller Assembly on Page 7-28.

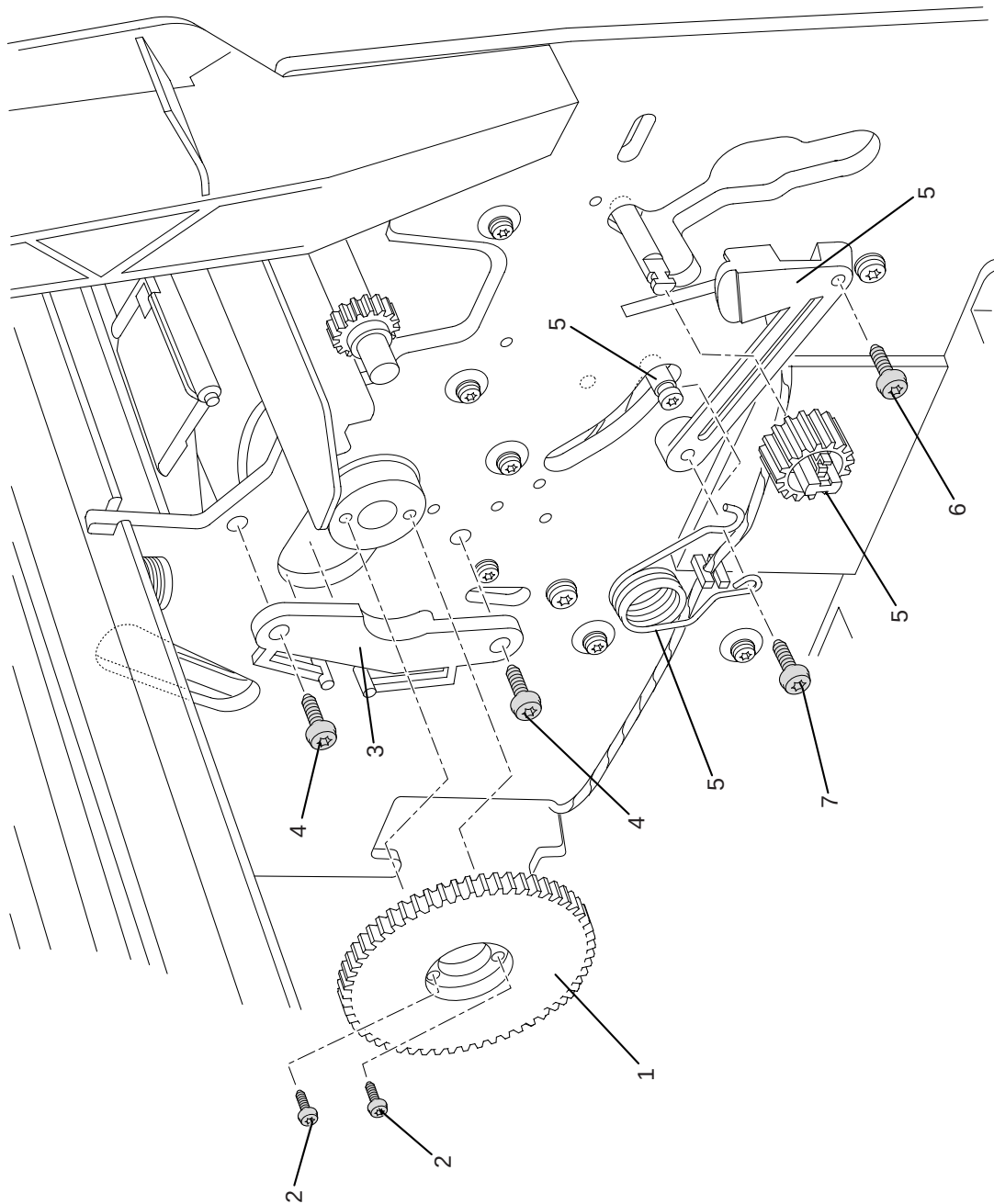


Figure 13: Drive Roller and ARSS Miscellaneous Parts

Paper Path Assemblies

Printer Support			
Reference on Drawing	HP Part Number	Quantity	Description/Comments
1	C6072-60153	1	Spindle
2	C6072-60154	1	Entry Roller
3	0515-2986	2	Screw
4	C6072-60150	1	ARSS Assembly
5	C6072-60152	1	ARSS Assembly Handles
6	0515-2250	8	Screw
7	C6072-60162	1	Front Platen Assembly (including screws)
8	C6072-60161	1	Centre Platen Assembly (including screws)

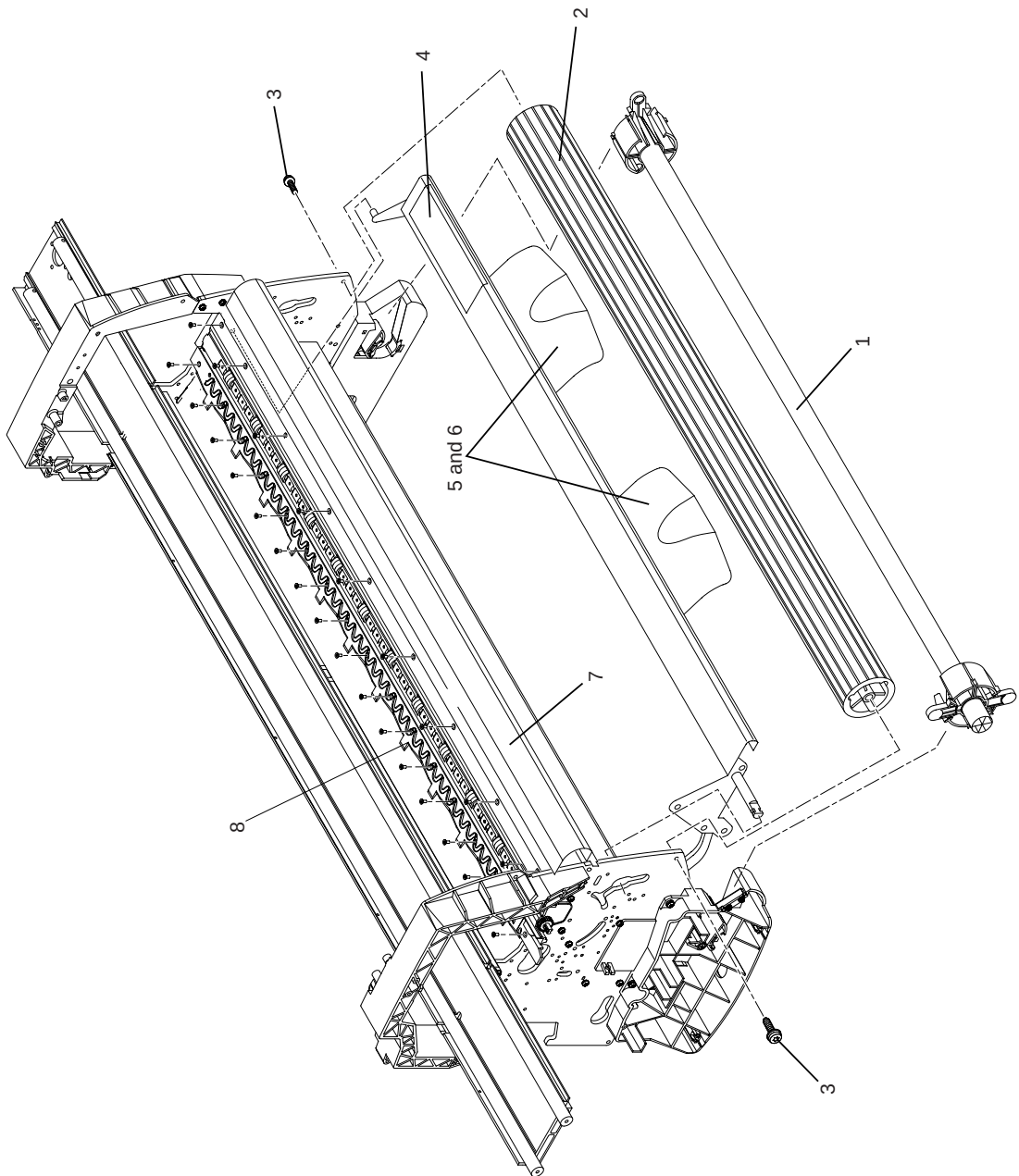


Figure 14: Paper Path Assemblies

Pinch Assembly

Printer Support			
Reference on Drawing	HP Part Number	Quantity	Description/Comments
1	C6072-60009	1	Pinch Assembly
2	0515-2981	1	Cam Lever Screw

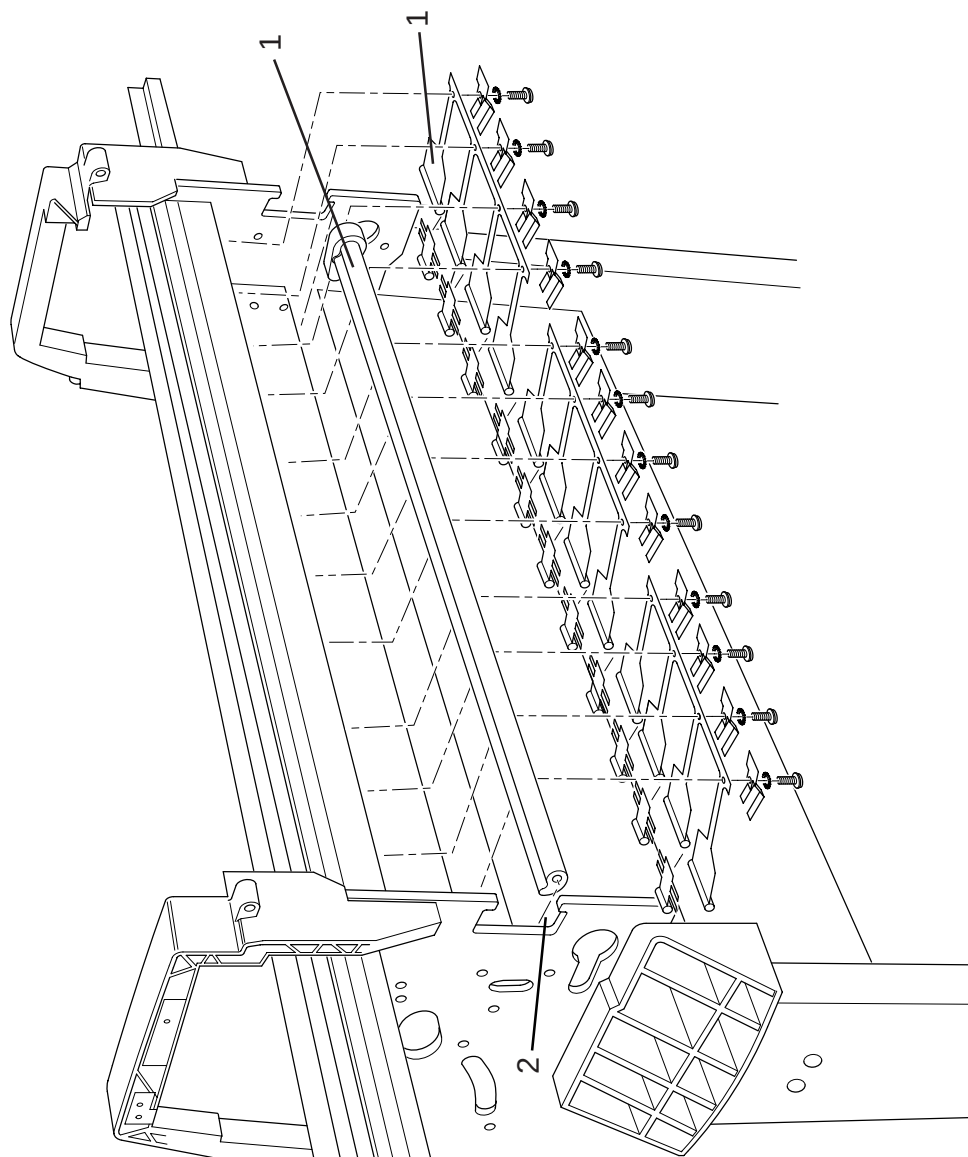


Figure 15: Pinch Assembly

Drive Roller Assemblies

Printer Support			
Reference on Drawing	HP Part Number	Quantity	Description/Comments
1	C6072-60191	1	Drive Roller Assembly
2	C6072-60163	1	Drive Roller Guide (Includes Item 4)
3	0515-2982	3	Screw (for Right Hand attachment of Drive Roller Guide)
	0515-2986	3	Screw (for Left Hand Attachment of Drive Roller Guide)
4	C6072-60011	1	Media Guide Strip
5	0624-0704	3	Screw

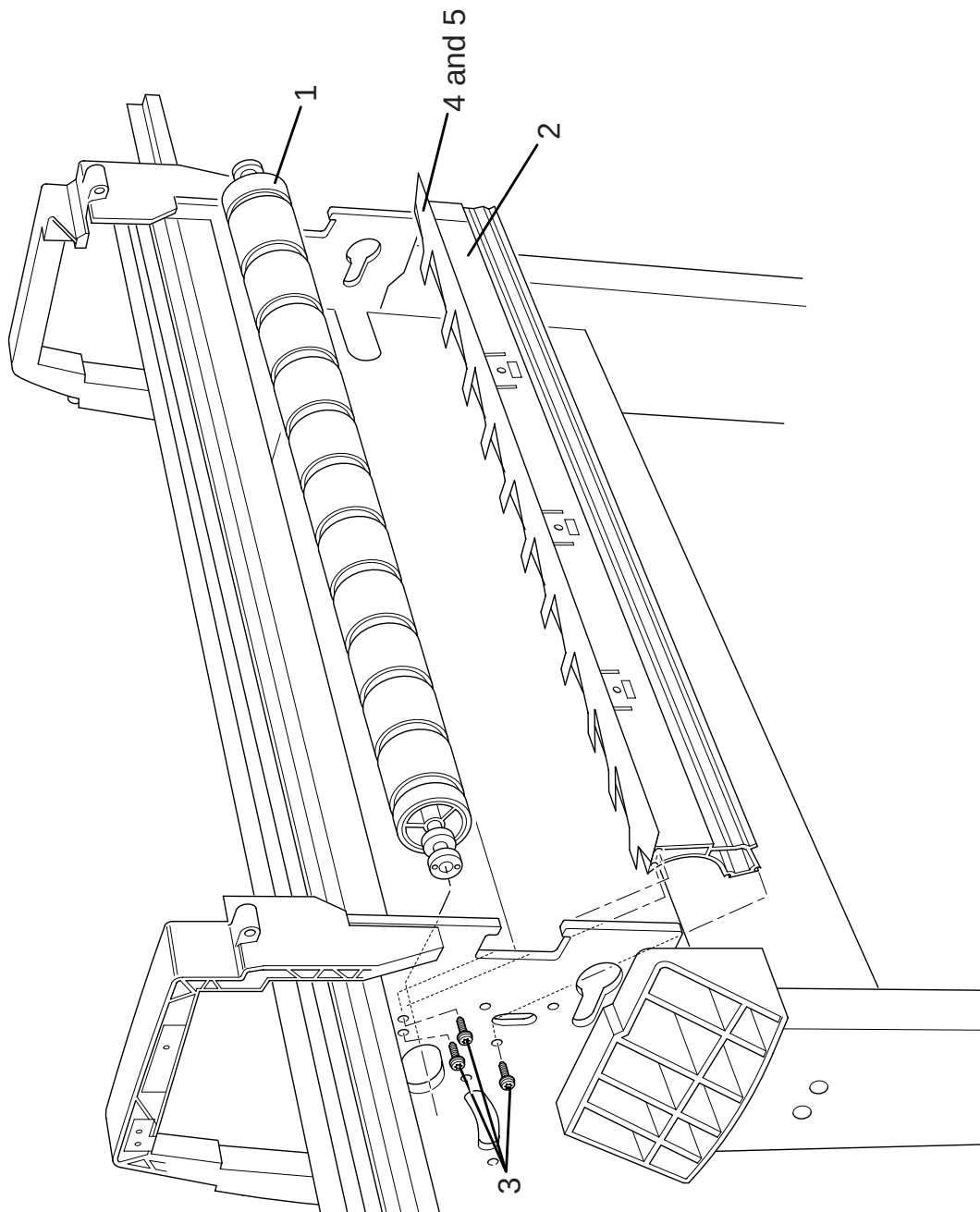


Figure 16: Drive Roller Assemblies

Center Guide and Media Sensor

Printer Support			
Reference on Drawing	HP Part Number	Quantity	Description/Comments
1	C6072-60189	1	Center Guide (Includes Item 3)
2	0515-2986	4	Screw
3	C6072-60190	1	Media Sensor

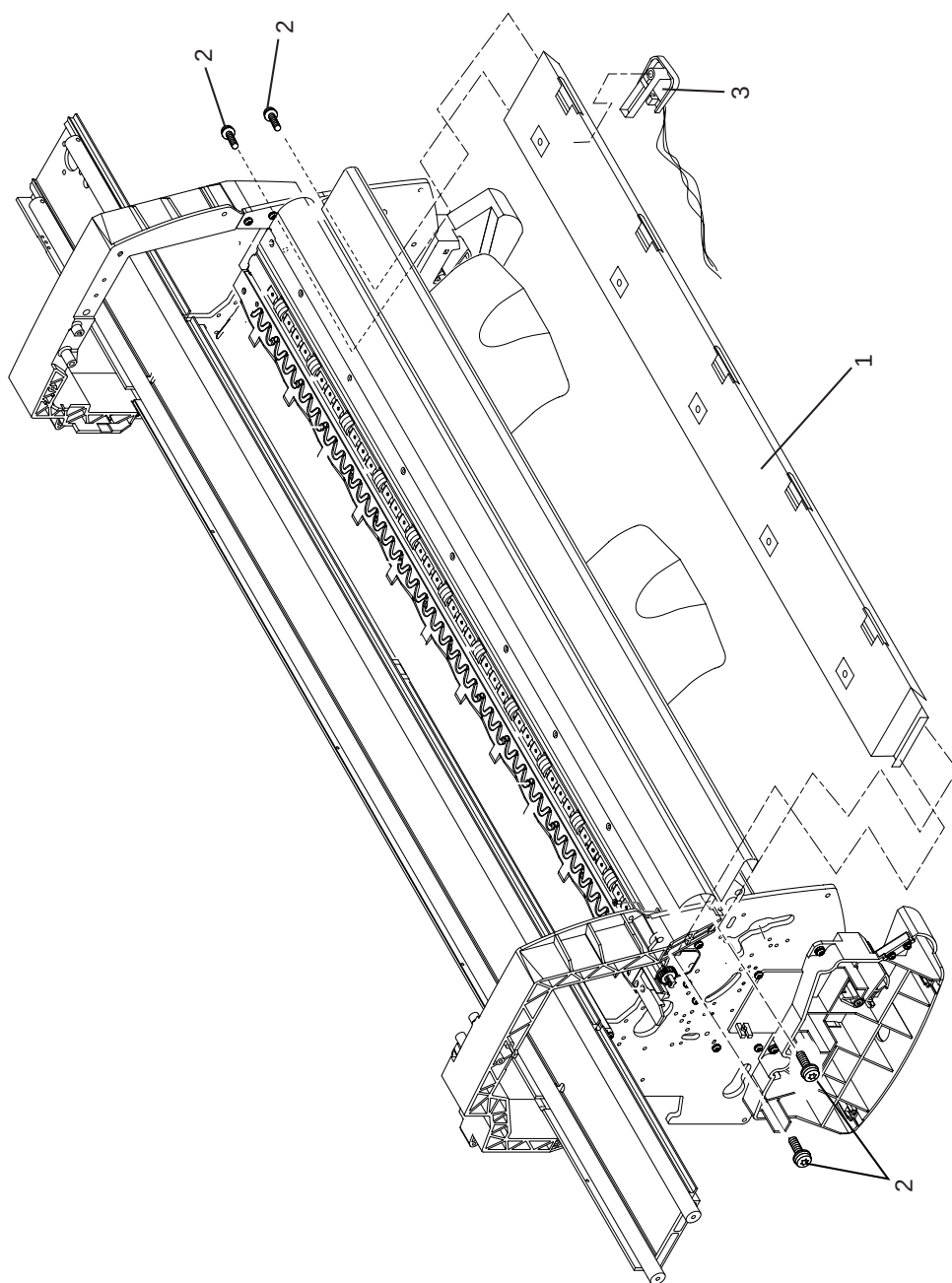


Figure 17: Center Guide and Media Sensor

Tubes Guide Assemblies

Printer Support			
Reference on Drawing	HP Part Number	Quantity	Description/Comments
1	C6072-60195	1	Tube Guide Assembly
2	C6072-60194	1	Front Guide Assembly
3	C6072-60193	1	Right Arc Assembly
4	0624-0771	8	Screw
5	C6072-60192	1	Left Arc Assembly

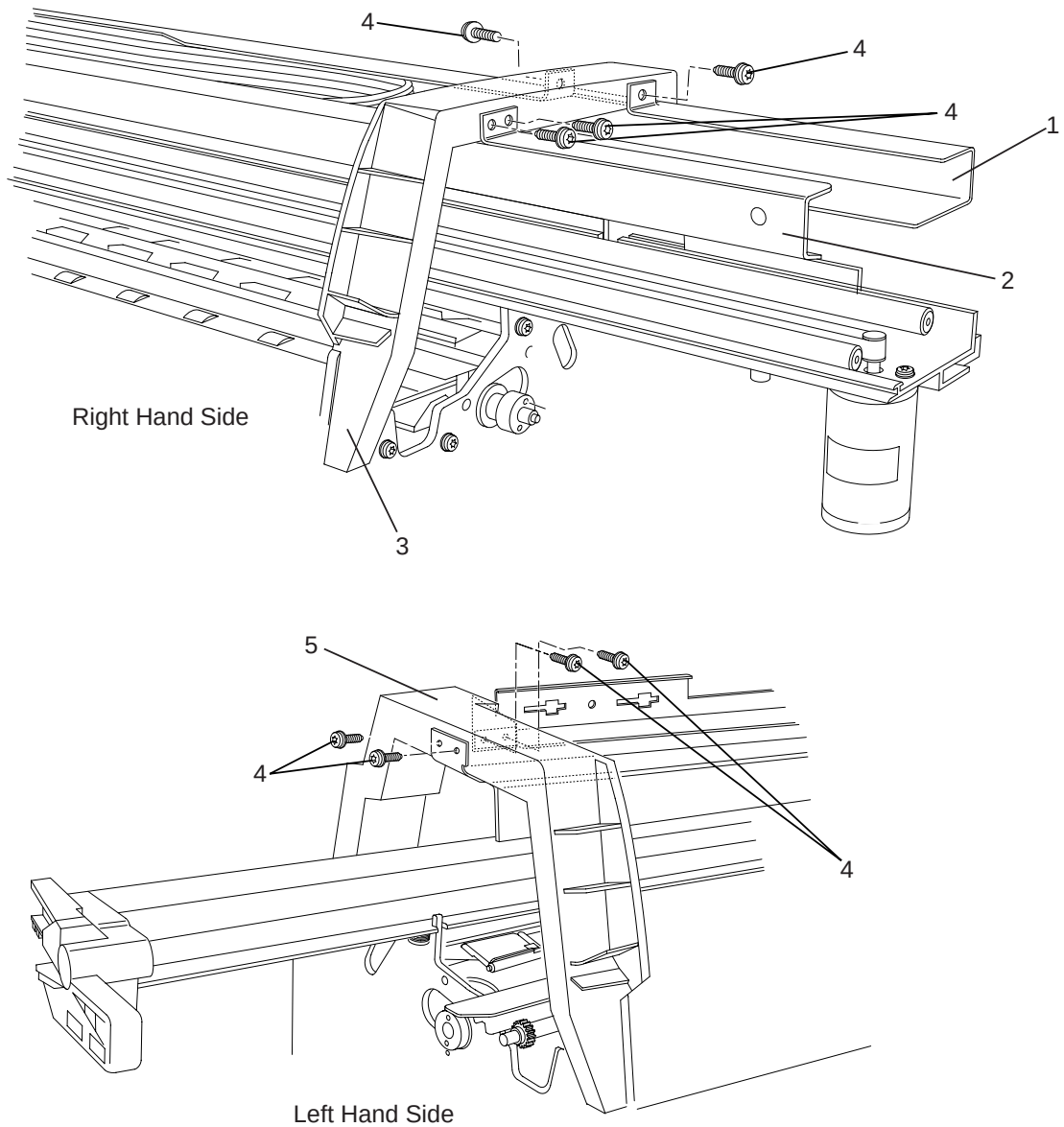


Figure 18: SRK Tubes Guide Assemblies

Ordering Accessories

Item		HP Part Number	
HP DesignJet 1050C and 1055CM Quick Reference Guide		English	C6071-90241
		Korean	C6071-90242
		Taiwanese	C6071-90243
		German	C6071-90244
		French	C6071-90245
		Spanish	C6071-90246
		Italian	C6071-90247
		Japanese	C6071-90248
		Portuguese	C6071-90249
		Chinese	C6071-90250
HP DesignJet 1050C and 1055CM User's Guide		English	C6071-90101
		Korean	C6071-90102
		Taiwanese	C6071-90103
		German	C6071-90104
		French	C6071-90105
		Spanish	C6071-90106
		Italian	C6071-90107
		Japanese	C6071-90108
		Portuguese	C6071-90109
		Chinese	C6071-90110
		Czech	C6071-90111
		Greek	C6071-90112
		Hungarian	C6071-90113
		Polish	C6071-90114
		Russian	C6071-90115
		Thai	C6071-90116
		Turkish	C6071-90117
Software Application Notes		English	C6074-90021
The HP-GL/2 and HP RTL Reference Guide		English	5961-3526
The Product Comparison Guide for HP-GL/2 and HP RTL Peripherals		English	5959-9734
PJL Technical Reference Manual		English	5021-0328
PostScript Upgrade Kit			C6076A
Hard Disk			C2985B
Memory Modules	All memory expansion modules are: 16, 32 or 64-MB DIMM 168pin x 64 EDO 50 nanoseconds, 3.3V	16 MB	C6251A
		32 MB	C6252A
		64 MB	C6258A
JetDirect EIO Network Cards	10Base-T		J3110A
	10 Base2, 10-T, LocalTalk		J3111A
	Token Ring		J3112A
	10/100Base-TX		J3113A

Item		HP Part Number	
Drivers Latest versions of the following were shipped with the 1055CM: HP DesignJet PostScript Driver for Power Macintosh and Macintosh HP DesignJet PostScript Driver for Microsoft Windows HP-GL/2 Windows Driver HP DesignJet HP-GL/2 and HP RTL AutoCAD driver. NOTE: For details of the latest version available, please visit the Hewlett Packard web site at: http://www.hp.com/go/designjet or consult your HP dealer or sales representative.			
Paper Supplies This item is updated regularly. Please visit the Hewlett Packard web site at: http://www.hp.com/go/designjet or consult your HP dealer or sales representative.			
	Color	175ml	350ml
Ink Cartridges	Black Cyan Yellow Magenta	N/A C4872A C4873A C4874A	C4871A C4846A C4848A C4847A
Value Pack (Printhead, Printhead Cleaner, 350ml Ink Cartridge)	Black Cyan Yellow Magenta	N/A N/A N/A N/A	C4890A C4891A C4893A C4892A
Item		Color	
Printheads and Printhead Cleaners		Black Cyan Yellow Magenta	C4820A C4821A C4822A C4823A
Spindle E Assembly	C6078A		

取り外しと取り付け

8

右側カバー	8-4
フロントパネル アッセンブリ	8-6
右側トリムとウィンドウ スイッチ	8-7
サービス ステーション アッセンブリ	8-8
ドロップ検出アッセンブリ	8-10
バキューム ファン	8-11
用紙軸モーター アッセンブリ	8-12
左側カバー	8-13
左側トリム アッセンブリ	8-18
インク サプライ ステーション アッセンブリ (ISS)	8-19
エアー プレシャライゼーション システム (APS)	8-20
クラッチ アッセンブリと左側のその他の部品	8-21
テイル デフレクタとリアー プラテン	8-24
左リアー カバーと右リアー カバー	8-25
エレクトロニクス モジュール	8-26
メディア センサ	8-30
ウィンドウ	8-31
トップ カバー	8-32
バック カバー	8-33
スキャン軸モーター アッセンブリ	8-34
エンコーダ ストリップ	8-35
テンショナ	8-38
トレーリング ケーブル	8-40
カッター アッセンブリ	8-44
キャリッジアッセンブリとベルト	8-46
チューブ システム アッセンブリ	8-55
インク漏れ検知アッセンブリ	8-62
フロント プラテン アッセンブリ	8-64
プラテン アッセンブリ	8-65
給紙アッセンブリ	8-66
ローラー ガイド	8-68
メディア ホルダ ストリップ	8-71
ドライブ ローラー	8-72
センタ ガイド	8-73
ピンチホイール アッセンブリとカム	8-75

はじめに

本章は、プリンタの主要な部品について取り外しおよび取り付けの手順を示したガイドです。作業を行いながら手順を確認するのに便利です。本文中に記載されている部品名については、各手順に付いているイラストで確認してください。

本章の手順は、取り外しの順序で記載されています。したがって、本章の最初から手順を一通り実行すると、プリンタ本体をすべて分解することができます。

注記

本章を使って新しい部品の取り外し / 取り付けを行う場合には、第4章の関連するサービス テストが実行されていることを確認してください。テストが正常に終了した場合、部品を交換する必要はありません。

安全のための注意

(安全記号 - 目次の直後)

プリンタの点検修理を行う前に、「警告」「注意」の記号および指示を確認してください。自分自身の安全を守り、プリンタへの損傷を避けるため、これらの警告や注意を遵守してください。

警告

以下の予防手段を怠ると、感電によって死亡または重症を負う可能性があります。

電源コンセント (主電源) に感電防止用のアース端子があることを確認してください。

保守作業を行う前に、プリンタの電源スイッチをオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

電子部品または回路の上や、開口部の中のモジュールに、水やその他の液体がかからないようにしてください。

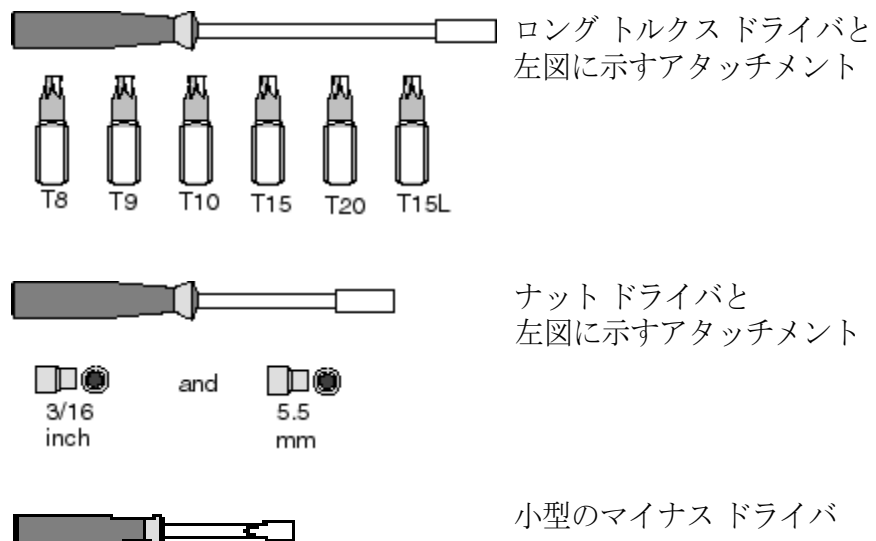
静電気放電 (ESD) に関する注意

高電圧の静電気放電 (ESD) によるプリンタ回路の損傷を回避するには：

- 1 静電気が蓄積しやすい衣服を着用しないでください。
- 2 集積回路 (IC) は、カーペット敷きの部屋の中で取り扱わないでください。
- 3 ICやプリント サーキット アッセンブリ (PCA) は、取り付ける準備ができるまで、伝導性のスポンジパッドや伝導性の梱包箱から取り出さないでください。
- 4 プリンタの取り外し作業中は、自分の身体をアース (接地) してください。
- 5 プリンタからカバーを取り外した後、共通PCAにアース線を接続してください。すべての工具は、プリンタに対して使用する前に、接地させて静電気を取り除くようにしてください。
- 6 プリンタから取り外したPCAは、伝導性のスポンジパッドの上や伝導性の梱包箱の中に置き、PCA上のICが静電気による損傷を受けないようにしてください。

必要な工具

プリンタの取り外しおよび修理には、次の工具が必要です。



右側カバー

図 1 参照。

取り外し

- 1 プリントヘッド クリーナを取り外します (『ユーザーズ ガイド』参照)。

注記	右カバーを取り外す前に、サービス ステーション キャリッジが後ろに押し込まれていることを確認してください。
----	---

警告	プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。
----	---------------------------------

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「エレクトロニクス モジュール左リアー カバー」 8-25 ページ参照。

注記	サイドプレートにケーブルタイで取り付けられているフェライトを取り外すときは、十分に注意してください。
----	--

- 2 エレクトロニクス モジュールの**P16 FRONT PANEL**の位置からフロントパネル ケーブルを取り外します。
- 3 エレクトロニクス モジュールの**P7 AEROSOL FAN**の位置からエアゾール ファン ケーブルを取り外します。
- 4 右側トリム (部品2) から2本のT-15のネジ (部品1)を取り外します。

注記	留め具を取り外した後、カバー (部品3) を落とさないように注意します。次の手順の間は、カバーを手で支えてください。
----	--

- 5 右側カバーの裏側から、カバーを右側サイド シャーシに固定している2本のT-15のネジ (部品4) を取り外します
- 6 右側カバー (部品3) を取り外します。このとき、次のことに注意してください。
 - a 右側サイド シャーシの穴から、フロントパネル ケーブルとエアゾール ファン ケーブルを慎重に引き出します。
 - b サービス ステーション ケーブルに付いているサービス ステーション ドア センサ ケーブルを取り外します。

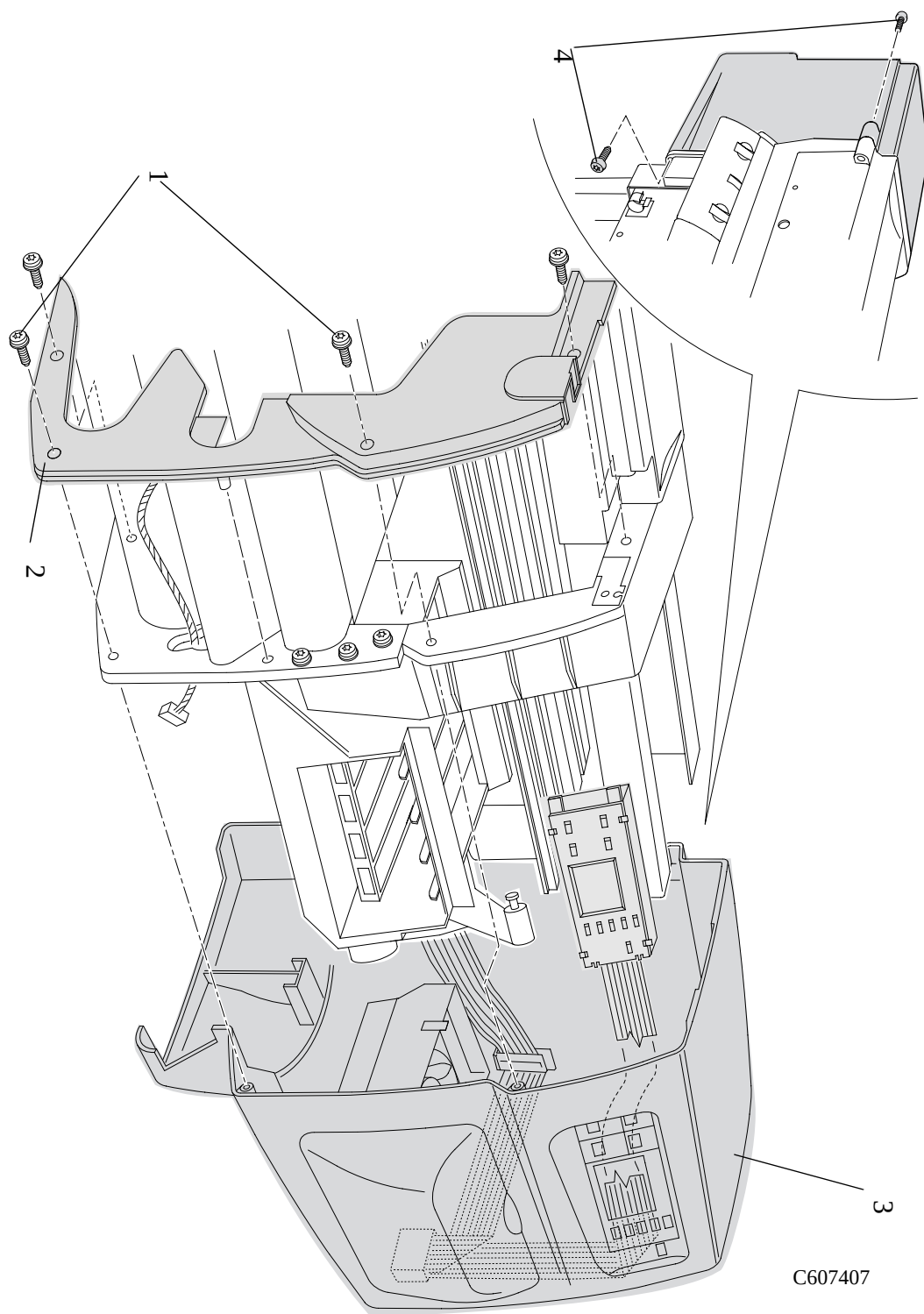


図 1: 右カバー

右側カバーの取り付け

注記

フロントパネル ケーブルとエアゾール ファン ケーブルが、ケーブル クランプと固定クリップで右側カバーの内側に固定されていることを確認してください。

注記

右側サイドシャーシの背面には、ケーブルを通す穴が開いています。カバーをプリンタの上にかぶせたときに、ケーブルがこの穴を通っていないと、カバーを正しく取り付けられません。

フロントパネル アセンブリ

取り外し

- 1 プリントヘッド クリーナを取り外します (『ユーザーズガイド』参照)。

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「右側カバー」 8-4 ページ参照。
- 2 右側カバー (部品3) の内側の固定クリップ (部品1) とケーブル クランプ (部品2) をゆるめると、フロントパネルアセンブリとフロントパネルアセンブリ ケーブルを取り外すことができます (図2参照)。

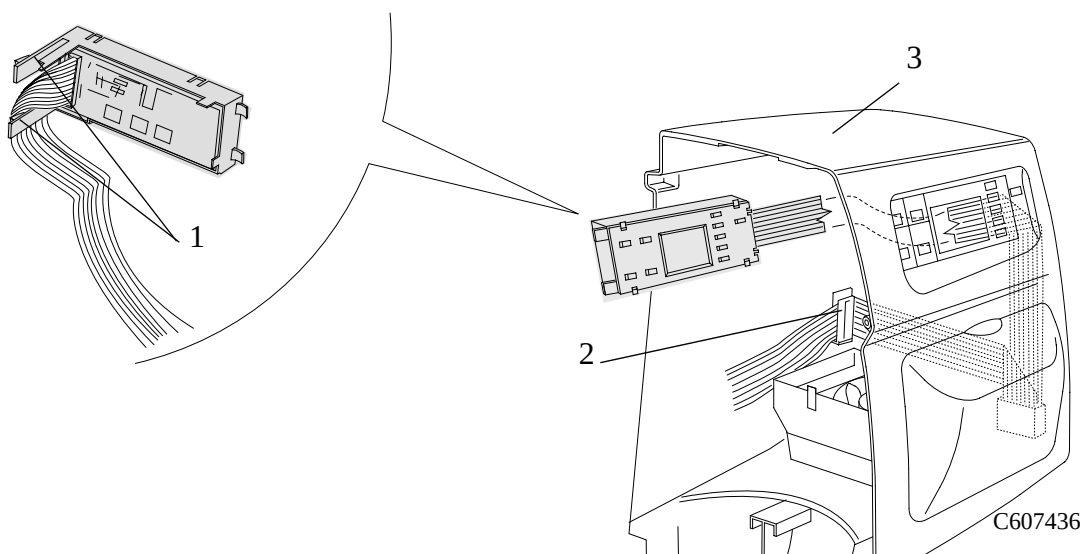


図 2: フロントパネル

右側トリムとウィンドウ スイッチ

図 3 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「右側カバー」 8-4 ページ参照。
- 2 サービス ステーション ケーブルからウィンドウ スイッチ ケーブルを取り外します。
- 3 右側トリム (部品2) をプリンタに固定している2本のネジ (部品1) を取り外します。
- 4 右側トリム (部品2) をプリンタから取り外します。

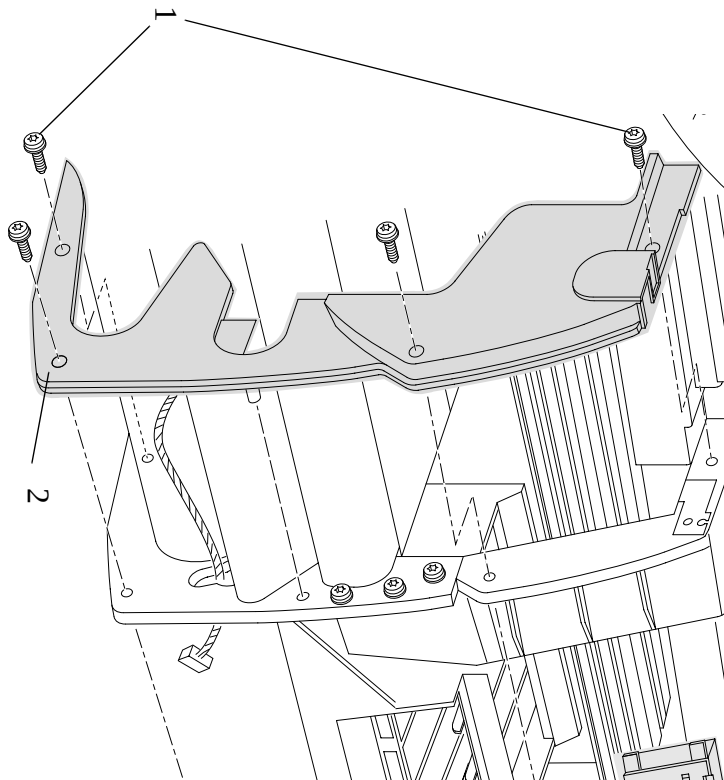


図 3: 右側トリム

サービス ステーション アッセンブリ

図 4 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 プリントヘッドクリーナを取り外します (『ユーザーズ ガイド』参照)。
- 2 次の部品を取り外します。
 - 1 「右側カバー」 8-4 ページ参照。
- 3 エレクトロニクス モジュールのSERVICE STATIONの位置からサービス ステーション ケーブルを取り外します。
- 4 サービス ステーション ケーブルからウィンドウ スイッチと右ドア スイッチのケーブルを取り外します。
- 5 サービス ステーションからスキャン軸モーター ケーブルを外します。
- 6 キャリッジ アッセンブリをプリンタ中央まで手でスライドさせます。

注記

留め具を取り外した後、サービス ステーション (部品2) を落とさないように注意します。次の手順の間は、サービス ステーションを手で支えてください。

- 7 キャリッジ アッセンブリのスライダ ロッドの間には、穴が2つ開いています。この穴からドライバを差し込み、2本のT-15のネジ (部品3) を取り外します。
- 8 サービス ステーションをプリンタ側面に固定しているT-15のネジ (部品1) をゆるめます。この長いネジは、完全にゆるめる必要はありません。

注記

サービス ステーションを取り外すときは、サービス ステーションの上に付いているクリップから用紙軸モーター ケーブルを外してください。

- 9 サービス ステーション (部品2) を持ち上げて、ゆるめたネジ (部品1) から外し、プリンタの前に立ってアッセンブリを手前にスライドさせます。

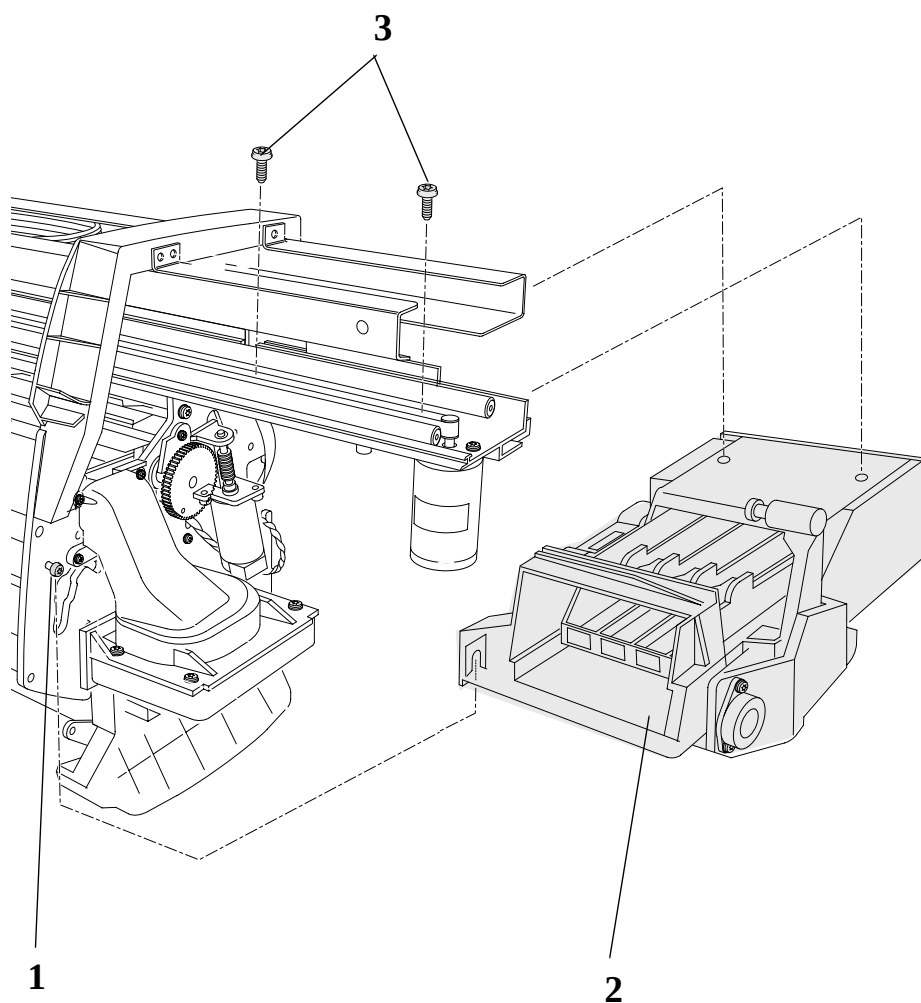


図 4: サービスステーションアセンブリ

注記

サービスステーションアセンブリの取り付け後は、次のサービス校正を実行する必要があります。

- Service Station (サービスステーションの校正)⇒ 5-11 ページ
- Color to Color calibration (カラー間の校正)⇒ 5-16 ページ

ドロップ検出アッセンブリ

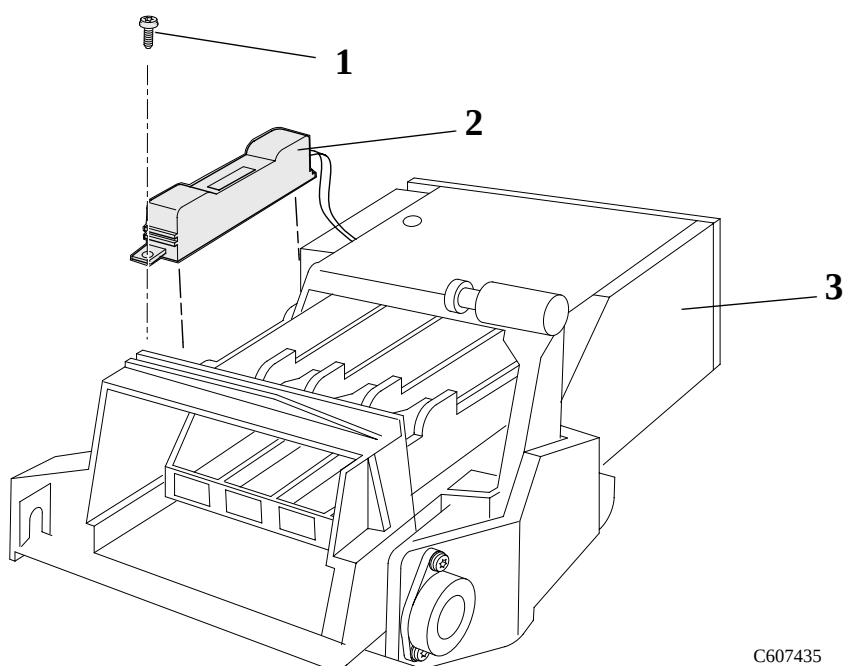
図 5 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 プリントヘッドクリーナを取り外します (『ユーザーズ ガイド』参照)。
- 2 次の部品を取り外します。
 - 1 「右側カバー」 8-4 ページ参照。
 - 2 「サービス ステーション アッセンブリ」 8-8 ページ参照。
- 3 サービス ステーション ケーブルからドロップ検出ケーブルを取り外します。
- 4 ドロップ検出アッセンブリ (部品2) をサービス ステーション (部品3) に固定しているネジ (部品1) を取り外します。
- 5 サービス ステーションからドロップ検出を取り外します。



C607435

図 5: ドロップ検出アッセンブリ

バキューム ファン

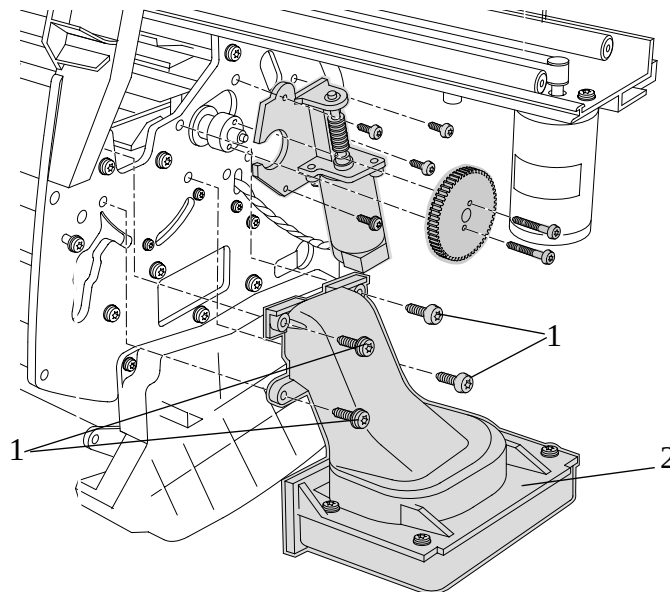
図 6 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「右側カバー」 8-4 ページ参照。
 - 2 「サービス ステーション アセンブリ」 8-8 ページ参照。
- 2 エレクトロニクス モジュールの**P7 VACUUM FAN**の位置からバキューム ファン ケーブルを取り外します。
- 3 バキューム ファン アセンブリ (部品2) を右側サイドシャーシに固定している4本のT-15のネジ (部品1) を外し、アセンブリを取り外します。



C607421

図 6: バキューム ファン

用紙軸モーター アッセンブリ

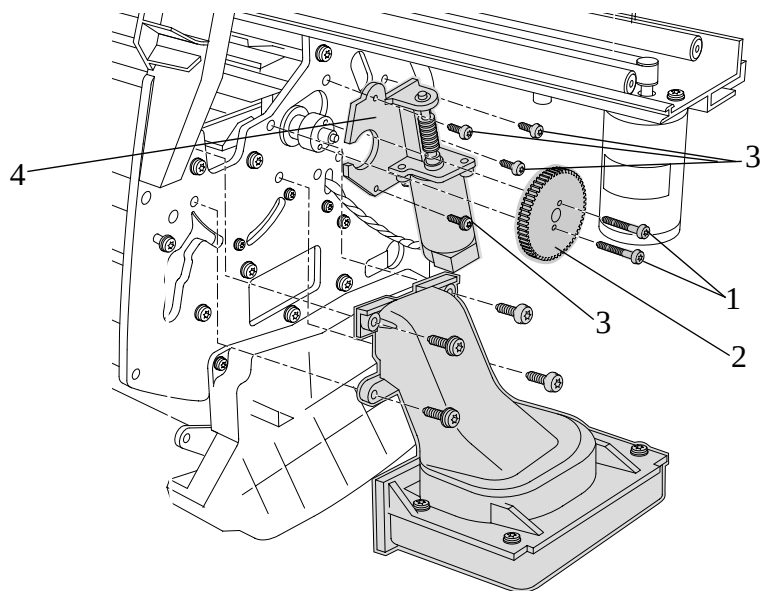
図 7 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「右側カバー」 8-4 ページ参照。
 - 2 「サービス ステーション アッセンブリ」 8-8 ページ参照。
- 2 エレクトロニクス モジュールの**P3 PAPER MOTOR**の位置から用紙軸モーター ケーブルを取り外します。
- 3 エレクトロニクス モジュールの**P1 PAPER ENCODER**の位置から用紙軸エンコーダ ケーブルを取り外します。
- 4 ギア (部品2) をローラーの右端に固定している2本のT-10のネジ (部品1) を外し、ギアを取り外します。
- 5 用紙軸モーター アッセンブリ (部品4) を右側シャーシに固定している4本のT-20のネジ (部品3) を取り外します。用紙軸モーター アッセンブリを取り外します。



C607421

図 7: 用紙軸モーター アッセンブリ

注記

用紙軸モーター アッセンブリの取り付け後には、**Accuracy Calibration (精度校正)** (⇒ 5-6 ページ) を実行する必要があります。

左側カバー

図 8 から図 15 参照。

取り外し

- 1 インク カートリッジを取り外します(『ユーザーズ ガイド』参照)。

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

注記

プリンタの背面から作業します。

- 1 左側カバー背面の扉を、2本のT-15のネジ (部品1) を取り外して開けます (図8参照)。

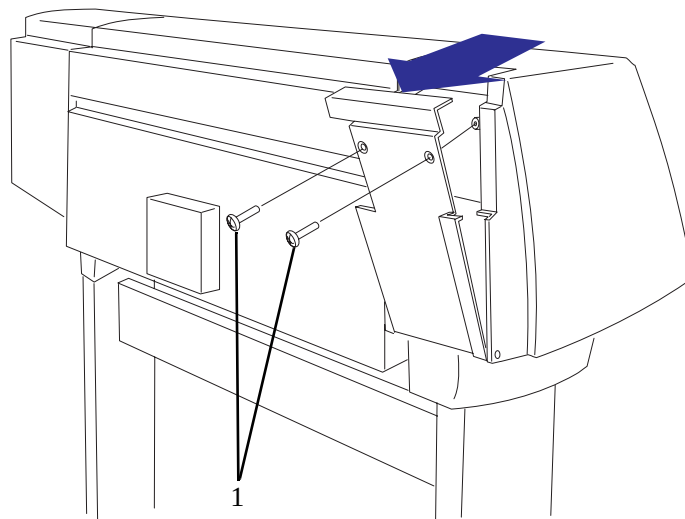


図 8 : 左側カバー

- 2 左側カバー背面のチューブホルダ (部品1) を押し上げて外します (図9参照)。

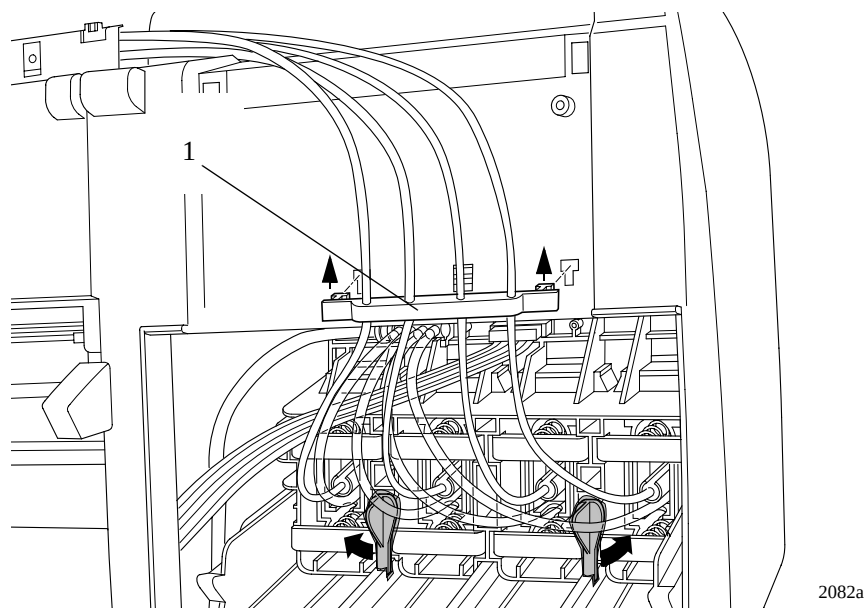


図 9: チューブ グリップ

- 3 インクカートリッジチューブコネクタの背面に付いている2個のラッチを外側にひねります (図10参照)。これで、アセンブリ全体が外れます。

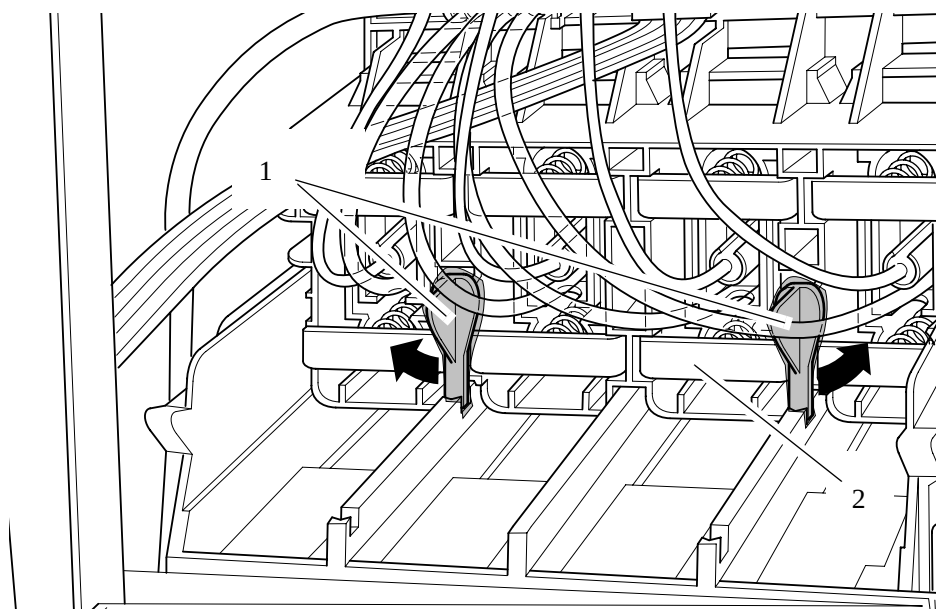


図 10: ラッチ

- 4 インク カートリッジ チューブ コネクタ アッセンブリを手前にスライドさせます (図11参照)。

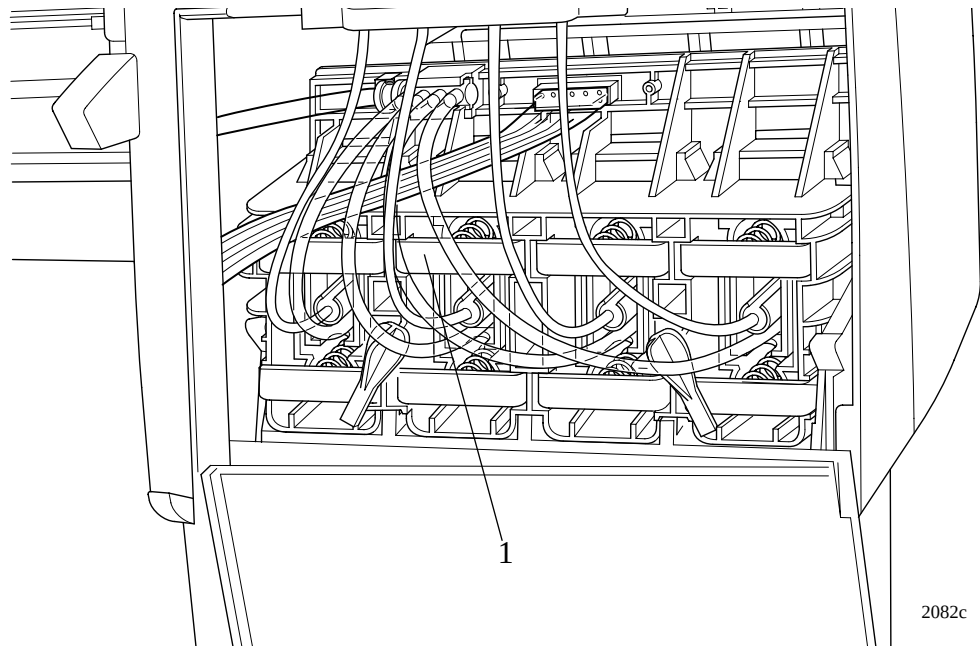


図 11 : インク カートリッジ チューブ コネクタ (引き出した状態)

- 5 インク カートリッジ チューブ コネクタ ケーブルを取り外します (図12参照)。

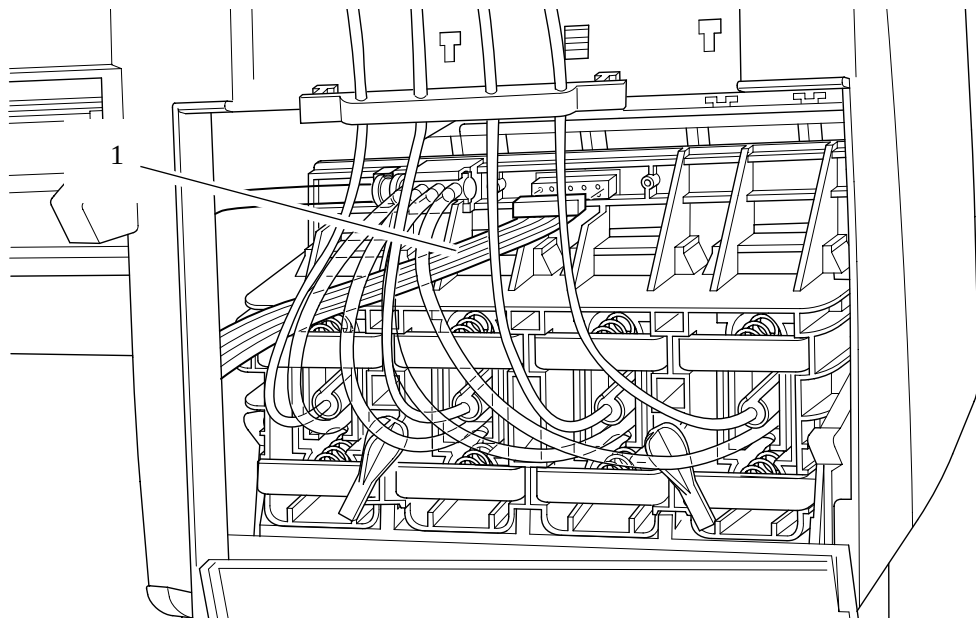


図 12 : インク カートリッジ チューブ コネクタ ケーブル

6 エアー チューブを外します (図13参照)。

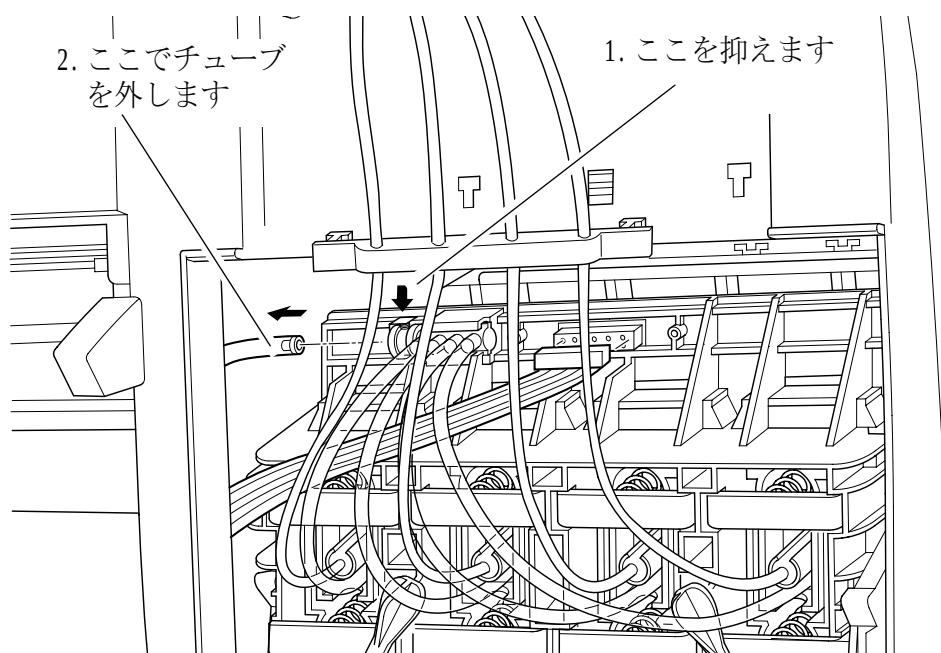
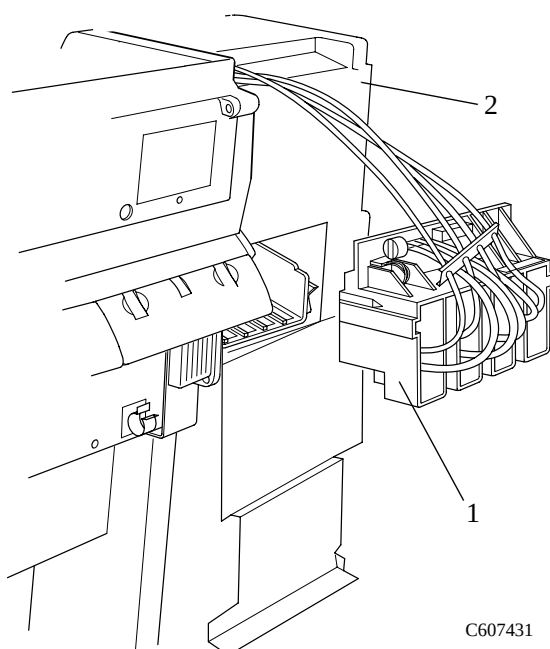


図 13 : エアー チューブ

7 左側カバー (部品2) の背面からインク カートリッジ チューブ コネクタ (部品1) を取り外し、プリンタの上の安全な場所に置きます (図14参照)。



C607431

図 14 : インク カートリッジ チューブ コネクタ (取り出した状態)

注記

以下の手順では、図15を参照してください。

- 8 左側トリムから2本のT-15のネジ (部品1) を取り外します。
- 9 左側カバー背面から、カバーを左側サイドシャーシに固定している2本のT-15のネジ (部品2) を取り外します。

注記

留め具を取り外した後、カバーを落とさないように注意してください。

- 10 左側カバーを (部品3) プリンタから取り外します。

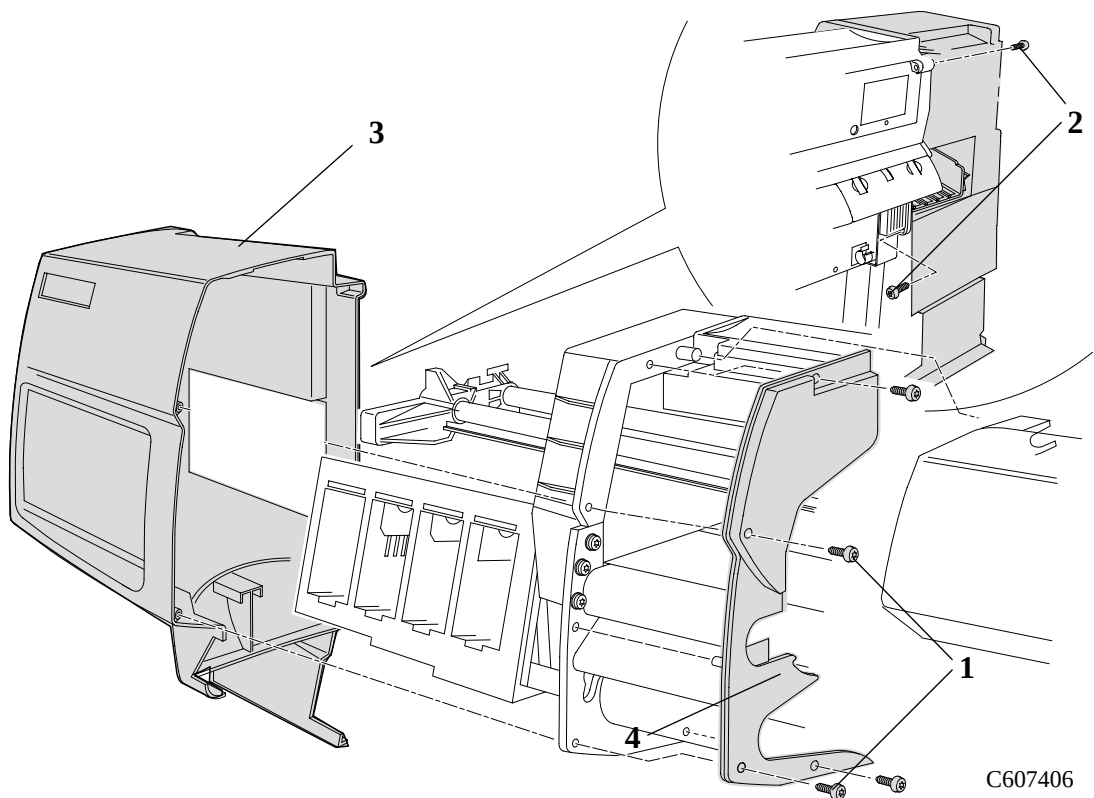


図 15 : 左側カバー

左側トリム アッセンブリ

図 16 参照。

取り外し

- 1 左側トリム (部品2) をプリンタに固定している4本のネジ (部品1) を取り外します。
- 2 左側トリム (部品2) をプリンタから取り外します。

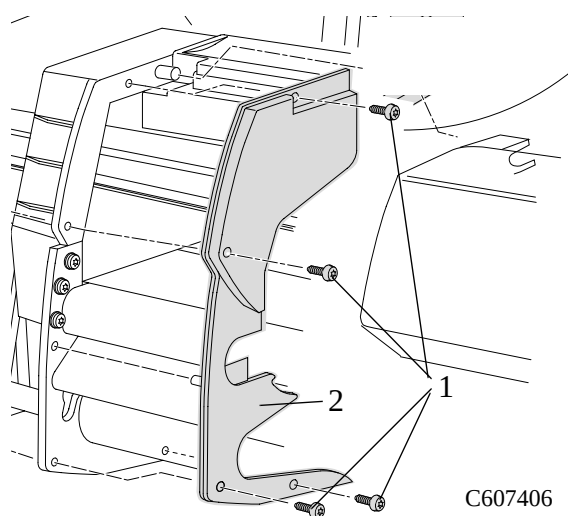


図 16 : 左側トリム

インク サプライ ステーション アッセンブリ (ISS)

図 17 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 インク カートリッジを取り外します(『ユーザーズ ガイド』参照)。
- 2 次の部品を取り外します。
 - 1 「左側カバー」 8-13 ページ参照。
 - 2 「左リアー カバー」 8-25 ページ参照。

注記

プリンタの背面から作業します。

- 3 エレクトロニクス モジュールの右側からすべてのケーブルを取り外します。

注記

プリンタの正面から作業します。

- 4 ラッチを外し、アッセンブリの前部を持ち上げて、ISS の前側のサポートをサイドシャーシの穴から外します。
- 5 ISSを後ろに押して、ISSの後ろ側のサポートをサイドシャーシのもう一つの穴から外します。
- 6 ISSを左に動かして、完全に取り外します。

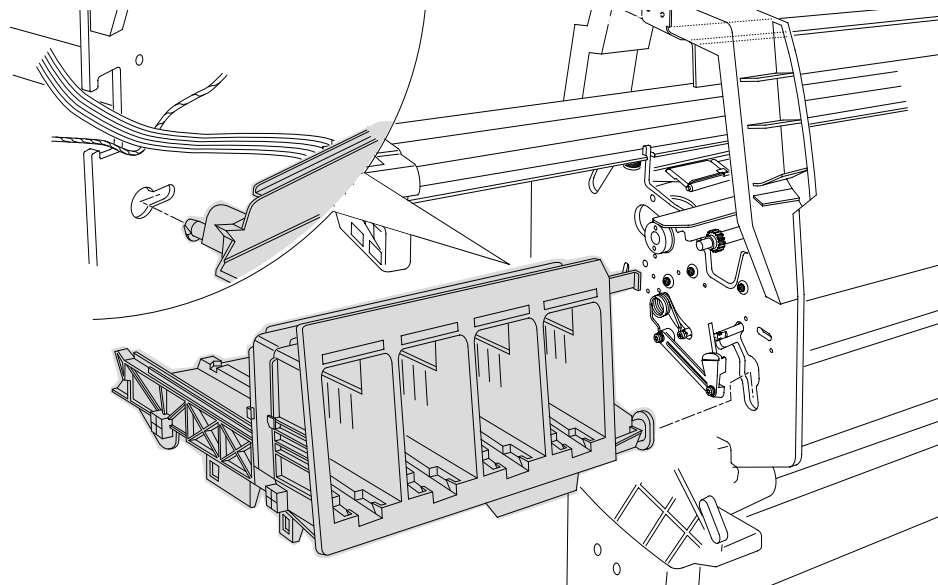


図 17: インク サプライ システム

エアープレシャライゼーションシステム (APS)

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 インクカートリッジを取り外します(『ユーザズガイド』参照)。
- 2 次の部品を取り外します。
 - 1 「左側カバー」 8-13 ページ参照。
 - 2 「インクサプライシステム」 8-19 ページ参照。

注記

APS(Air Pressurization System)をISSから取り外すときには、**ISS**に接続されているチューブおよびケーブルに注意してください。

- 3 図18を参照して、ISSの下に付いている固定クリップから**APS(Air Pressurization System)**を取り外します。

注記

エアーシステムへのインク混入の疑いがある場合(インクカートリッジの漏れやインクを正しく加圧できないエラー)は、**APS(Air Pressurization System)**の中にインクが入っている可能性があるため、**APS**を取り外すときには十分に注意してください。

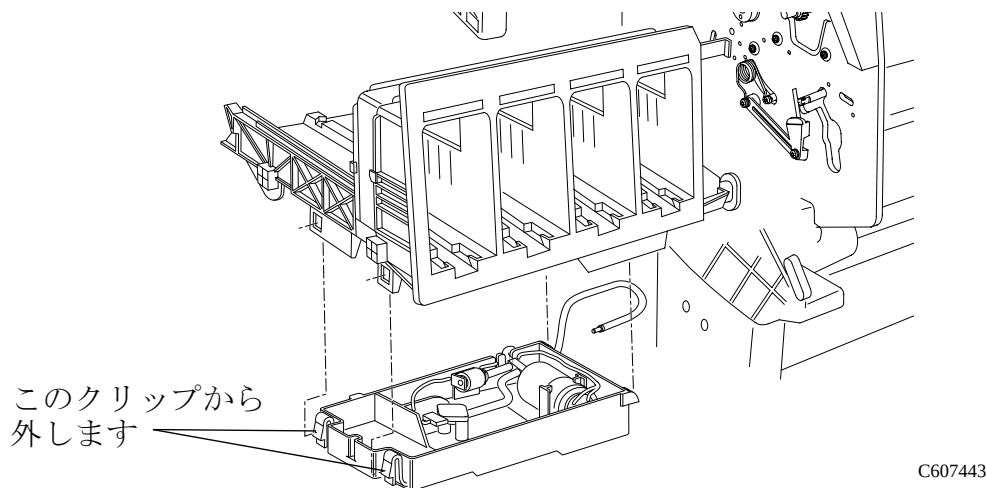


図 18 : エアープレシャライゼーションシステム

エアー プレシャライゼーション システム (APS) の取り付け

APS(Air Pressurization System)を取り付ける場合は、エアーチューブが正しく配置され、はさまれていないことを確認してください。

注記

APS(Air Pressurization System)の再取り付け後には、**Ink Pressure System Test (インク プレッシュ システムのテスト)**(⇒ 4-15 ページ)を実行して、正しく動作することを確認してください。

クラッチ アッセンブリ と左側のその他の部品

図 19 および図 20 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「左側カバー」 8-13 ページ参照。
 - 2 「インク サプライ システム アッセンブリ」 8-19 ページ参照。

注記

手順2から5までは、図19を参照してください。

- 2 給紙ギア (部品1) 上の2つのタブを引き離して、ギアを取り外します。
- 3 長いドライバを使って、クラッチ ブラケット (部品6) をサイド シャーシに固定している2本のT-15のネジ (部品5) を取り外します。
- 4 T-20の特殊ネジ (部品2) を取り外します。

注記

次の手順では、アッセンブリがばねの力を利用して取り付けられているため、固定しているネジを取り外したときに、部品が外れないように片手で抑えておくといよいでしょう。

- 5 クラッチ アッセンブリの中のギア (部品3) とスプリング (部品4) を外します。上の注記を参照してください。

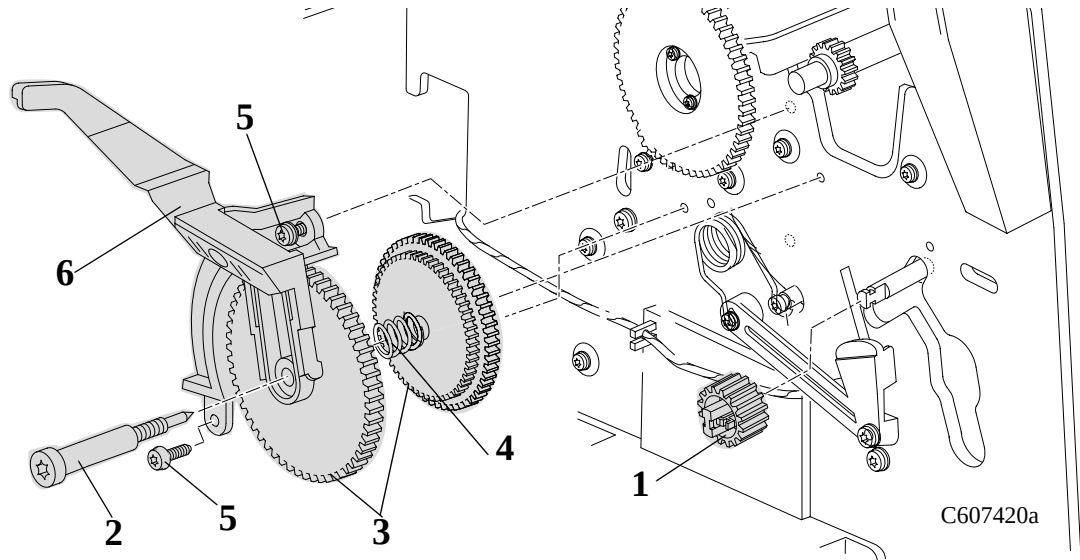


図 19 : クラッチ アッセンブリ

注記

以下の手順では、図20を参照してください。

- 6 ローラーの左側に取り付けられている左ローラー ギア (部品2) から、2本のT-10のネジ (部品1) を取り外します。
- 7 ローラー サポート (部品4) から2本のT-20のネジ (部品3) を外し、サポートを取り外します。
- 8 トーション スプリング (部品5) のアームをスプリング フック (部品6) から外して、スプリングにかかっている張力をゆるめます。
- 9 ピンチ センサ ブラケット (部品8) から2本のT-15のネジ (部品7) を外し、ブラケットをセンサごと取り外します。センサ ケーブルを固定クリップから外して、完全に取り外します。
- 10 スプリング フック (T-15) (部品6) を取り外します。

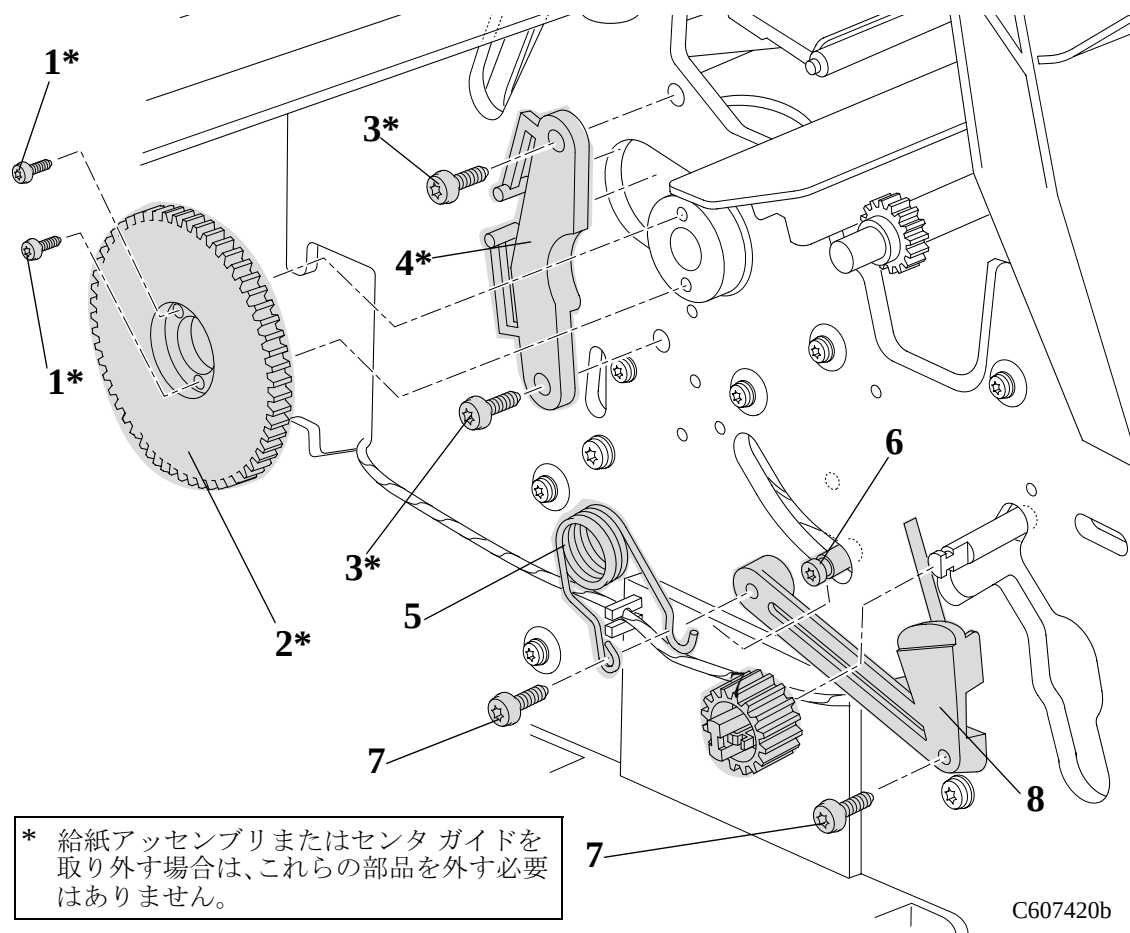


図 20 : その他の部品

テイルデフレクタとリアー プラテン

図 21 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 3枚のデフレクタ (部品1) をリアー プラテン (部品3) から外します。
- 2 リアー プラテン (部品3) の左右から2本のT-10のネジ (部品2) を外し、プラテンを取り外します。

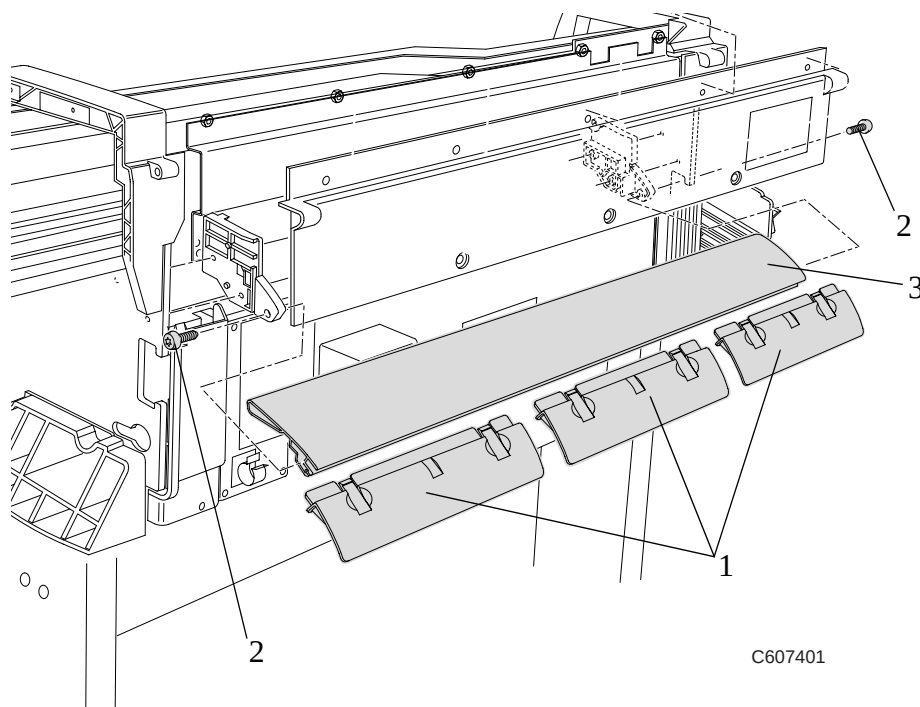


図 21 : テイルデフレクタとリアー プラテン

左リアー カバーと右リアー カバー

図 22 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

注記

プリンタの背面から作業します。

- 1 左側リアー カバー (部品2) をプリンタに固定しているT-10のネジ (部品1) を取り外します。
- 2 フェライト (部品4) をリアー カバーに固定しているクリップ (部品3) から、左側リアー カバー (部品2) を取り外します。
- 3 右側リアー カバー (部品6) をプリンタに固定しているT-10のネジ (部品5) を取り外します。
- 4 右側リアー カバー (部品6) を固定クリップから外します。

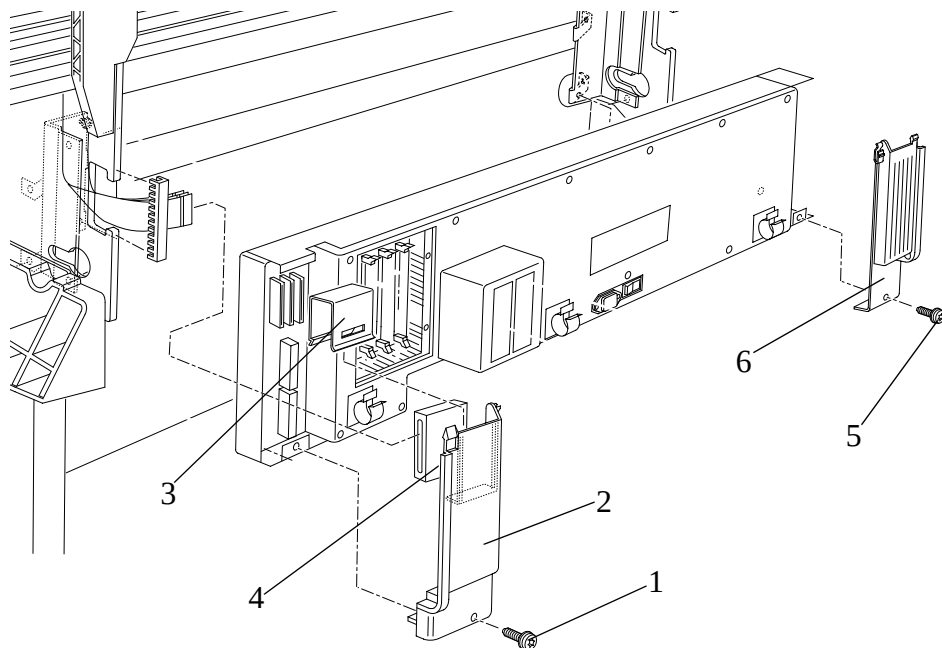


図 22 : 左リアー カバーと右リアー カバー

エレクトロニクス モジュール

図 23 および図 24 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

注記

プリンタの背面から作業します。

1 次の部品を取り外します。

1 「左リアー カバーと右リアー カバー」 8-25 ページ参照。

2 「テイル デフレクタとリアー プラテン」 8-24 ページ参照。

注記

手順**2**から**7**までは、図**23**を参照してください。

2 DIMMカバー (部品2) をエレクトロニクス モジュールに固定している4本のT-10のネジを (部品1) の位置を確認し、この4本のネジとDIMMカバーを取り外します。

DIMM の位置に注意してください。左から右へ、次のようになっています。

■ DRAM (メモリ) のDIMMは1番目および2番目のスロットに差し込まれています (部品3)。

■ ファームウェア/PostScriptコードのDIMMは、3番目のスロットに差し込まれています (部品4)。

3 DIMMを取り外します。各DIMMの上下の固定クリップをゆるめ、外側の非金属のエッジをつかんで手前にゆっくりと引っぱります。取り外した部品は安全な場所に保管してください。

4 マイナス ドライバで、EIOネットワーク カード (部品5) をエレクトロニクス モジュールに固定している2本のネジをゆるめます。EIOネットワーク カードを取り外し、安全な場所に保管します。

5 マイナス ドライバで、ハードディスク ドライブ (部品6) をエレクトロニクス モジュールに固定している2本のネジをゆるめます。ハードディスク ドライブを取り外し、安全な場所に保管します。

警告

エレクトロニクス モジュールからトレーリング ケーブルを取り外すときには十分に注意してください。取り扱いを誤ると、トレーリング ケーブルが損傷を受け、交換が必要になる場合があります。

- 6 トレーリング ケーブルをソケットの中の固定クリップから外し、慎重に手前に引いて取り外します。
- 7 エレクトロニクス モジュールの左右から、すべてのケーブルを慎重に取り外します。

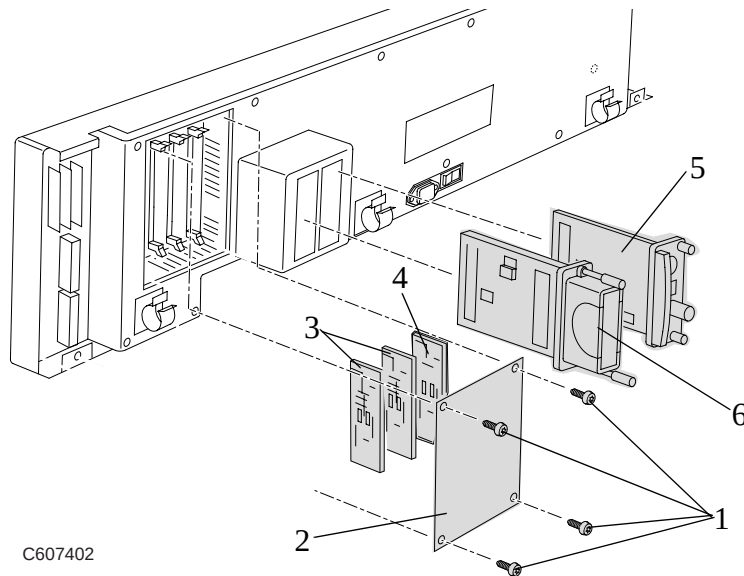


図 23 : エレクトロニクス モジュール

注記

以下の手順では、図24を参照してください。

- 8 エレクトロニクス モジュールの両端の下の方にある2本のT-20のネジ (部品1) を取り外します。
- 9 残りの2本のT-20のネジ (部品2) をゆるめ (取り外さないでください)、エレクトロニクス モジュール (部品3) 全体を上からスライドさせて手前に引き、慎重に取り外します。

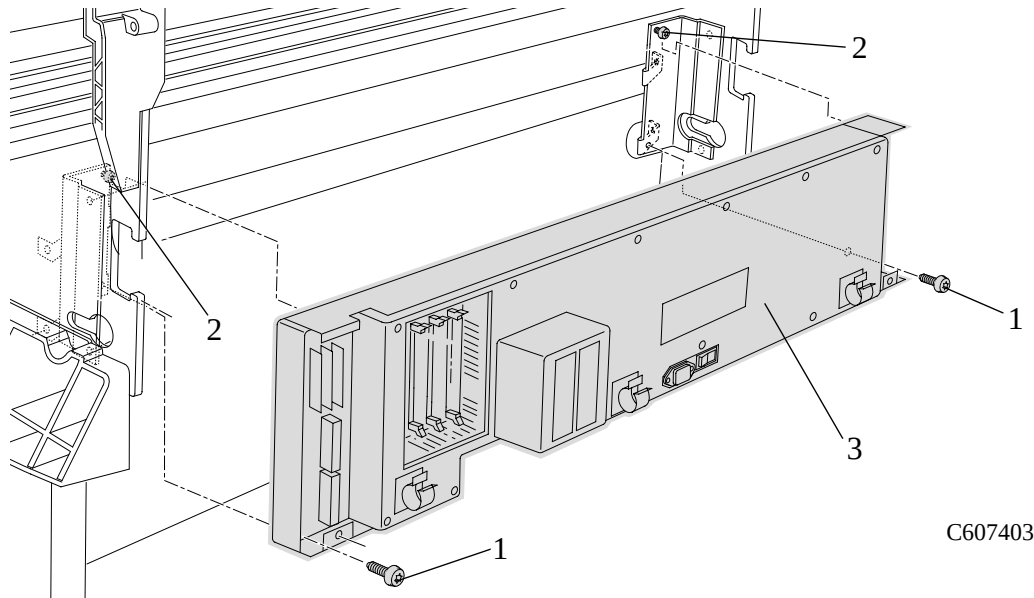


図 24: エレクトロニクス モジュール

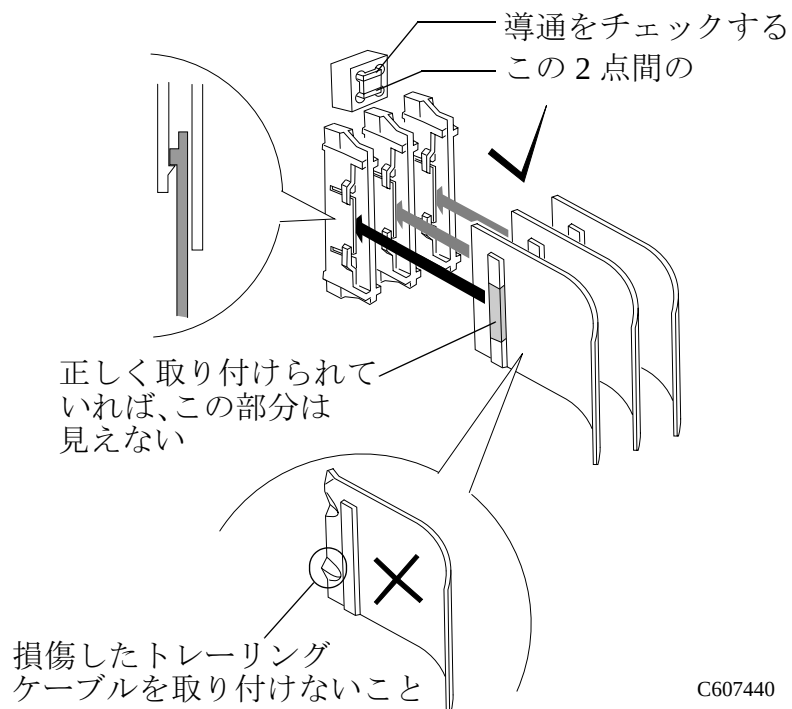
エレクトロニクス モジュールの取り付け

警告

トレーリング ケーブルをエレクトロニクス モジュールに再接続するときには、次のことに注意して正しく取り付けてください。

- 1 トレーリング ケーブルは、左から右へ接続してください (最も長いストリップを右から1番目のクリップに接続)。
- 2 トレーリング ケーブルは、曲げないようにまっすぐ押し込んでください。奥まで差し込むと、カチッという音がします。
- 3 トレーリング ケーブルが正しく差し込まれていれば、影の部分 (下図参照) は見えなくなります。
- 4 プリンタの電源をオンにする前に、2点間 (下図参照) の導通を (テスターを使って) チェックしてください。
 - 2点間に導通がある場合、トレーリング ケーブルは正しく取り付けられていません。内蔵のエレクトロニクス モジュールのヒューズが切れますので、プリンタの電源をオンにしないでください。トレーリング ケーブルを取り外し、上記の手順に従ってもう一度接続してください。
 - 2点間に導通がない場合、プリンタの電源をオンにしても内蔵のエレクトロニクス モジュールのヒューズが切れることはありません。ただし、システムエラー コード **0B0006** が表示される可能性があります。この場合は、上記の手順に従ってトレーリング ケーブルをもう

一度接続してください。



注記

エレクトロニクス モジュールの取り付け後には、次のサービス校正およびユーティリティを実行する必要があります。

- Set Asian PS Fonts (アジアPSフォントの設定) (アジアのみ) ⇒ 4-34 ページ
- Calibration Backup (校正のバックアップ) ⇒ 5-19 ページ
およびPen Alignment (ペンの軸合わせ) ⇒ 5-22 ページ

メディア センサ

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「センタ ガイド」 8-73 ページ参照。
- 2 センタ ガイド (部品1) の下からメディア センサ (部品2) を慎重に取り外します (図25参照)。

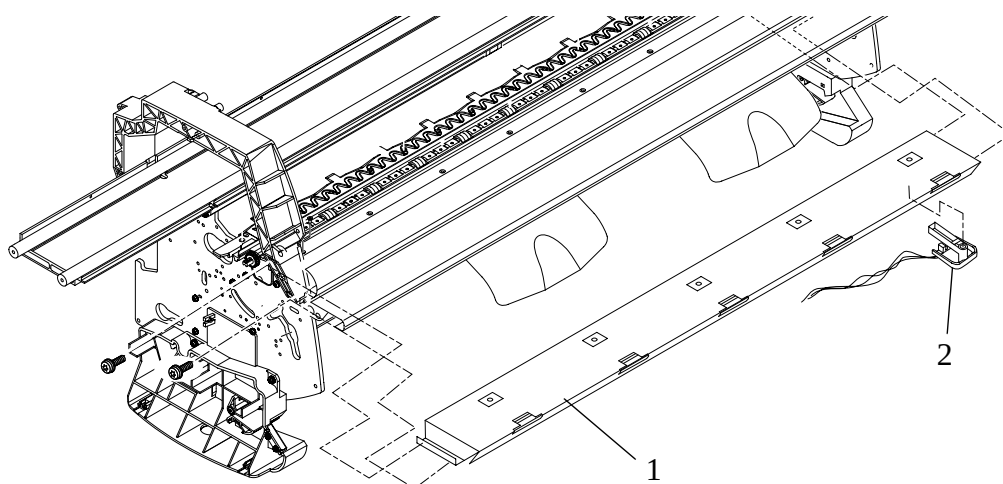


図 25 : メディア センサ

注記

メディア センサは次の方法で取り外すこともできます。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「エレクトロニクス モジュール」 8-26 ページ参照。
- 2 センタ ガイドの下から、メディア センサをゆっくりと下に引いて、慎重に取り外します。

ウィンドウ

図 26 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 ウィンドウを開け、両側を持ちながら引き上げて取り外します。

注記

引き上げるとき、ウィンドウのヒンジが垂直になるようにしてください。

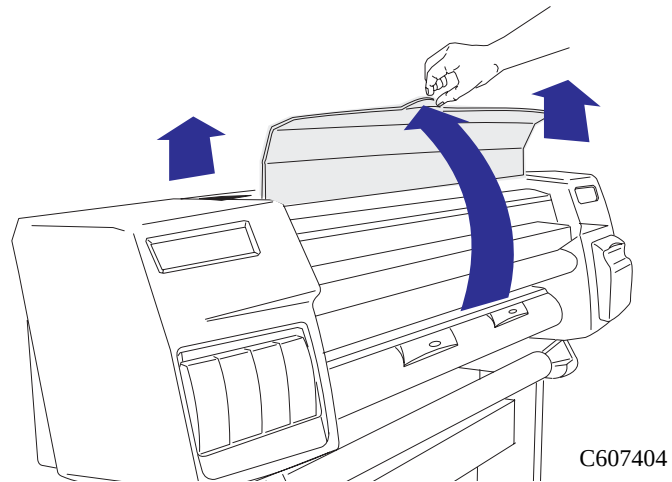


図 26 : ウィンドウ

トップ カバー

図 27 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 トップ カバー (部品2) の前面からT-15のネジ (部品1) を取り外します。
- 2 トップ カバーの背面から5本のT-15のネジ (部品3) を取り外します。
- 3 固定クリップからトップ カバー (部品2) を取り外します。

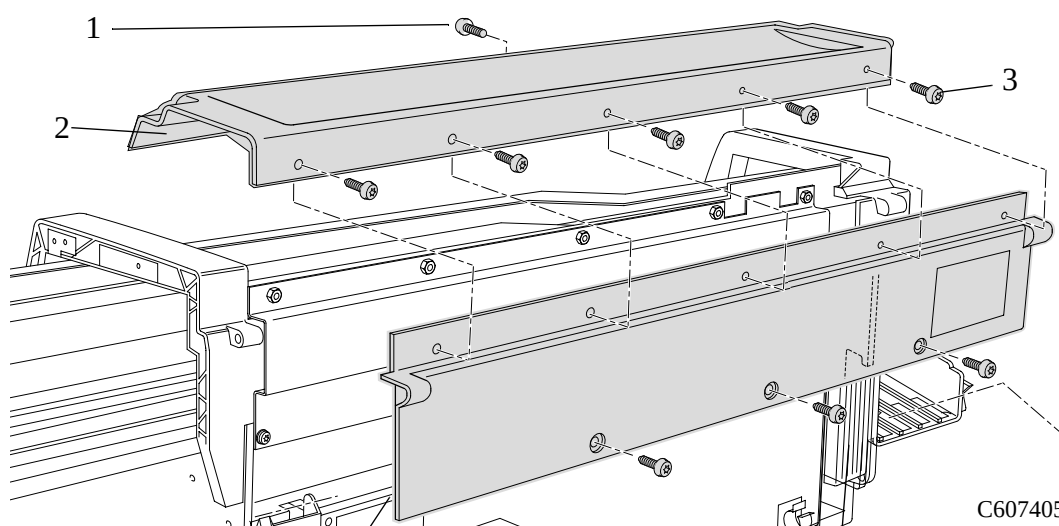


図 27: トップ カバー

バック カバー

図 28 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「トップ カバー」 8-32 ページ参照。
- 2 バック カバー (部品2) の下部から3本のT-15のネジ (部品1) を取り外します。バック カバーを持ち上げて取り外します。

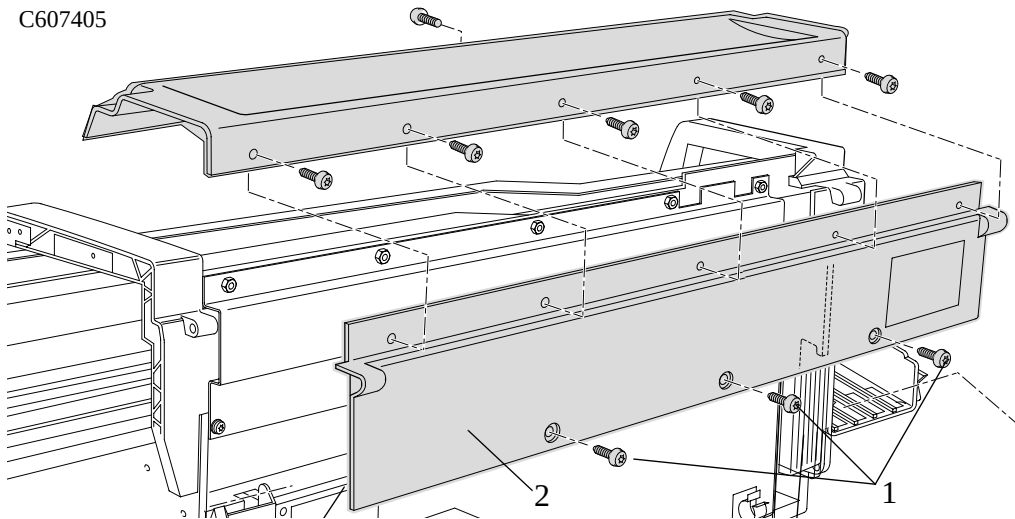


図 28 : バック カバー

スキャン軸モーター アセンブリ

図 29 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「右側カバー」 8-4 ページ参照。
 - 2 「左リアー カバー」 8-25 ページ参照。
- 2 エレクトロニクス モジュールの**P3 SCAN MOTOR**の位置からスキャン モーター ケーブルを取り外します。
- 3 スキャン軸モーター (部品2) をシャーシに固定している2本のT-15のネジ (部品1) を取り外します。
- 4 ベルト (部品3) が外せるように、スキャン軸モーターを傾けて持ちます。
- 5 スキャン軸モーターをプリンタから取り外します。

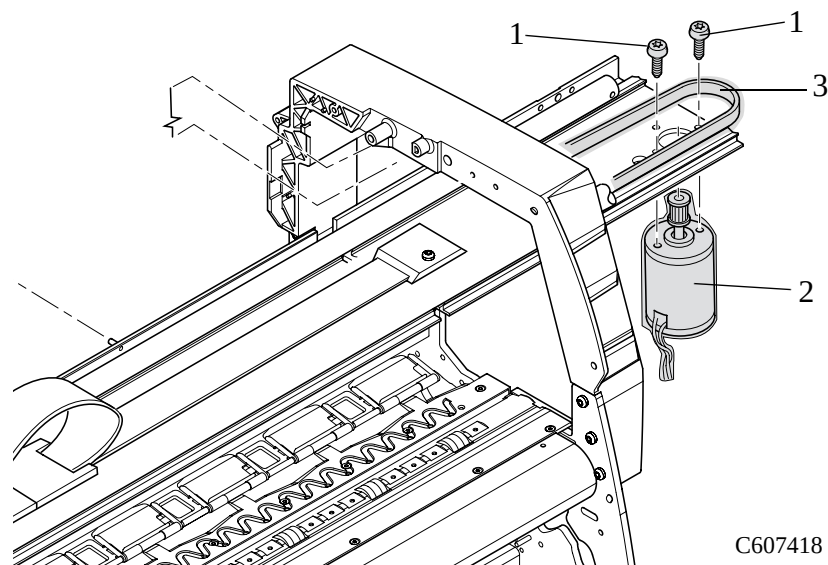


図 29 : スキャン軸モーター アセンブリ

エンコーダ ストリップ

図 30 から図 32 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「左側カバー」 8-13 ページ参照。
 - 2 「右側カバー」 8-4 ページ参照。
 - 3 「バック カバー」 8-33 ページ参照。

注意

エンコーダ ストリップの損傷を避けるため、端の部分だけを持つようにしてください。

注記

プリンタの背面から作業します。

注記

手順2および3では、図30を参照してください。

- 2 EMCカバー (部品2) から5本の7mmのナット (部品1) を取り外します。
- 3 EMCカバーから2本のT-15のネジ (部品3) を外し、プレートを取り外します。

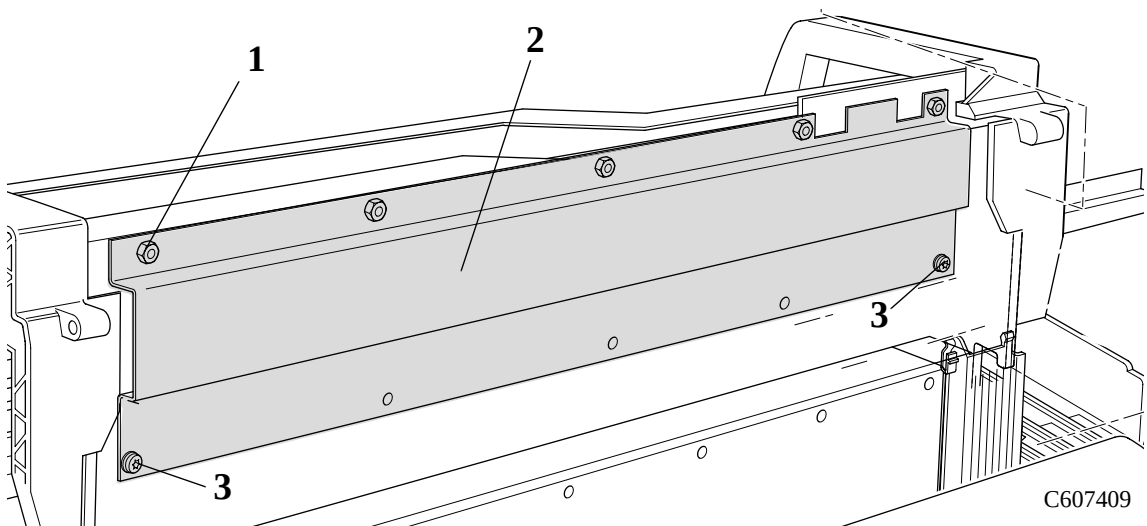


図 30 : エンコーダ ストリップ

注記 手順**4**および**5**では、図**31**を参照してください。

- 4** プリンタの左側から、エンコーダ ストリップ (部品**3**) をスプリング クリップ (部品**2**) に固定している5.5mmのナット (部品**1**) を取り外します。

注記 次の手順では、ドライバを使ってスプリング クリップ (部品**2**) をプリンタの中央に向って押し込みます。

- 5** スプリング クリップ (部品**2**) に付いている固定ピン (部品**4**) からエンコーダ ストリップ (部品**3**) を外します。

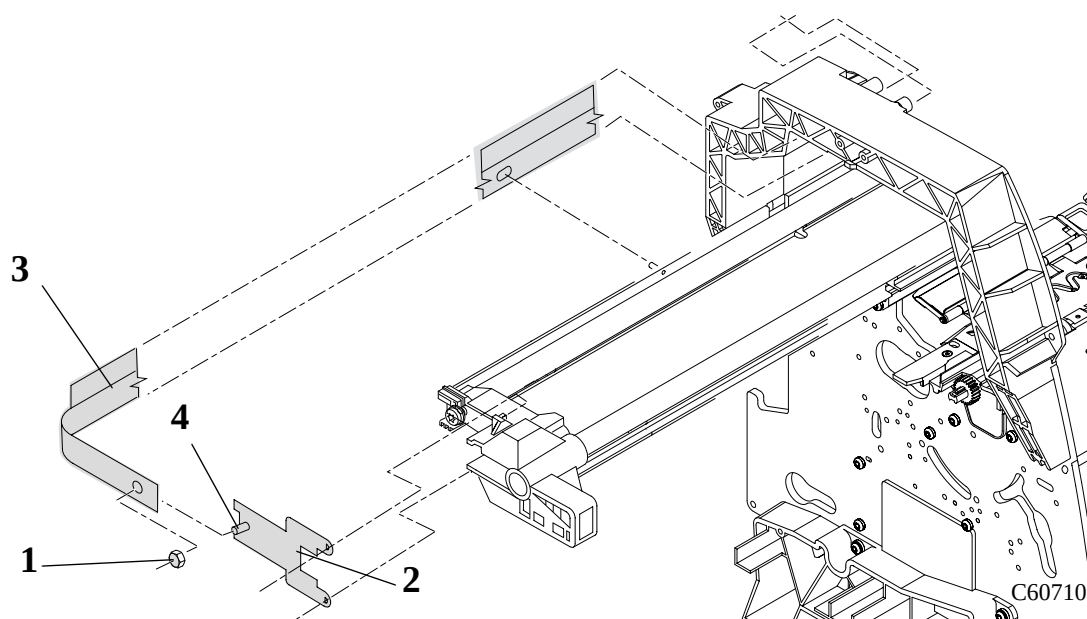


図 **31** : エンコーダ ストリップ

注記

以下の手順では、図32を参照してください。

- 6 プリンタの右側から、エンコーダ ストリップ (部品2) を固定している5.5mmのナット (部品1) を取り外します。
- 7 プリンタ シャーシの右側に付いている固定ピン (部品3) からエンコーダ ストリップを取り外します。
- 8 エンコーダ ストリップ スペーサ (部品4) を取り外します。
- 9 キャリッジ アッセンブリからエンコーダ ストリップを外します。
- 10 プリンタ背面に沿ってすべての固定ピン (部品5) からエンコーダ ストリップを外します。
- 11 エンコーダ ストリップをプリンタから取り外します。

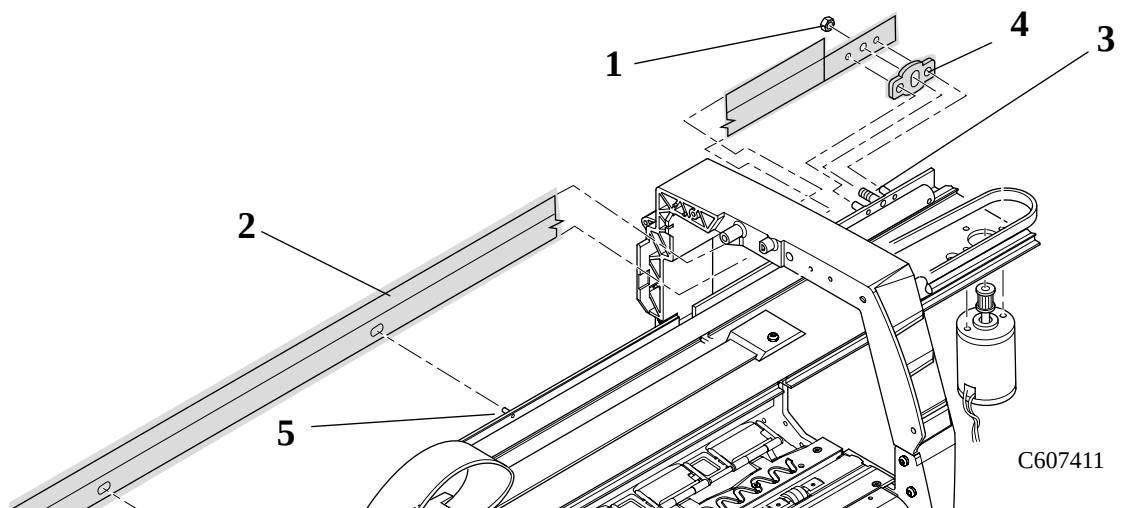


図 32 : エンコーダ ストリップ

テンショナ

図 33 から図 35 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「左側カバー」 8-13 ページ参照。
- 2 プリンタの左側で、テンショナ ウェッジクリップ (部品3) を使ってカチッという音がするまでスプリング (部品2) を縮め、ベルト (部品1) にかかっている張力をゆるめます (図 33参照)。

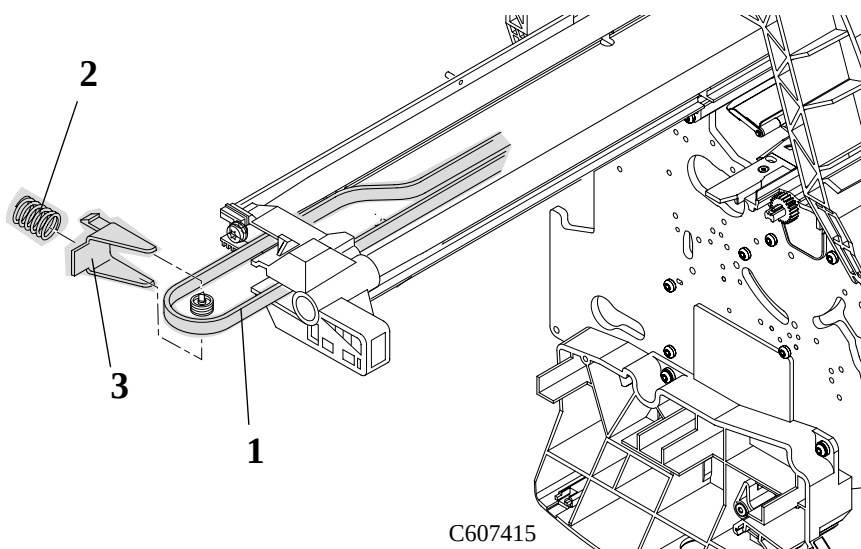


図 33: テンショナ アッセンブリ

- 3 プリンタ右側で、ベルト モーター プーリー (部品2) からベルト (部品1) を取り外します (図34参照)。

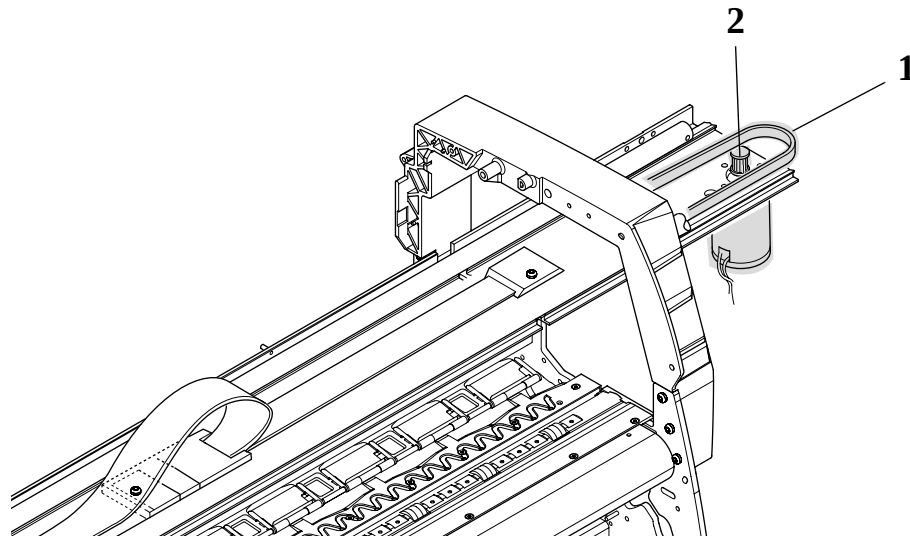


図 34 : テンショナ アッセンブリ

注記

手順4から6までは、図35を参照してください。

- 4 テンショナ アッセンブリ (部品3) の中にあるテンショナ プーリー (部品1) をベルト (部品2) から取り外します。
- 5 テンショナ アッセンブリをスライダ ロッド (部品5) に固定している2本のT-15のネジ (部品4) を取り外します。
- 6 テンショナ アッセンブリ (部品3) を取り外します。

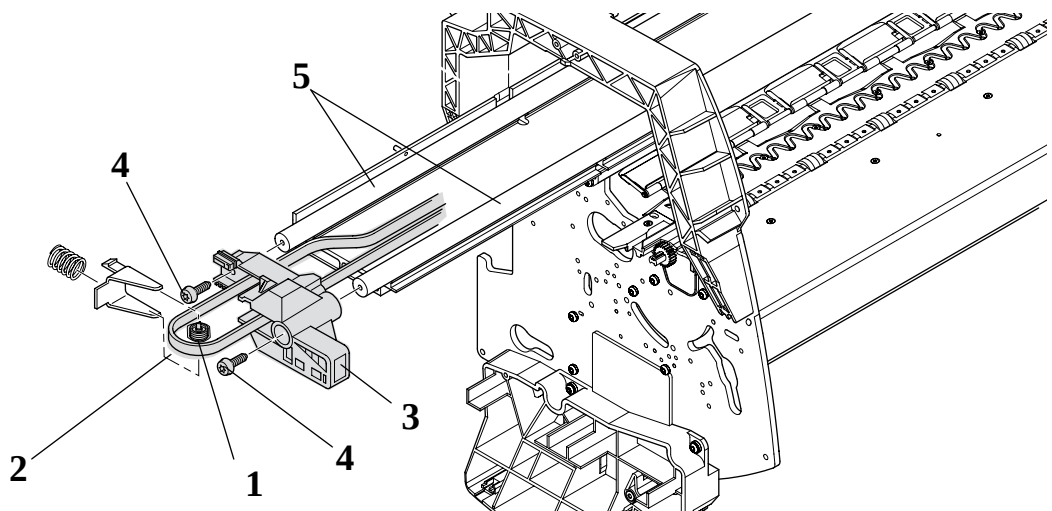


図 35 : テンショナ アッセンブリ

トレーリング ケーブル

図 36 および図 37 参照。

取り外し

警告

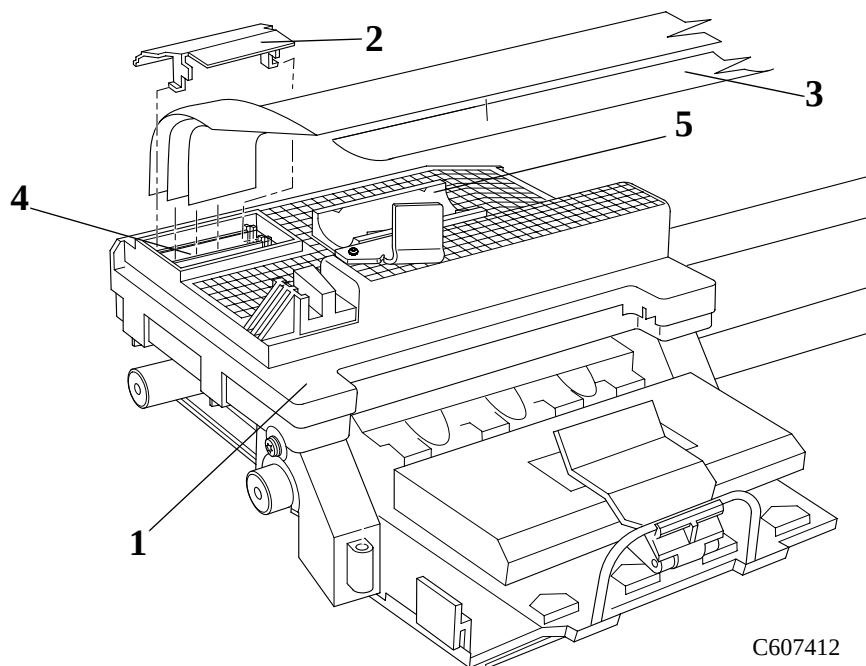
プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「右側カバー」 8-4 ページ参照。
 - 2 「左側カバー」 8-13 ページ参照。
 - 3 「左リアー カバー」 8-25 ページ参照。

注記

手順2から5までは、図36を参照してください。

- 2 キャリッジ (部品1) をプリンタの左端まで手でスライドさせます。
- 3 トレーリング ケーブルの固定クリップ (部品2) を取り外します。
- 4 キャリッジPCA (部品4) 中のコネクタからトレーリング ケーブル (部品3) を慎重に取り外します。
- 5 トレーリング ケーブル ホルダ (部品5) からトレーリング ケーブルを取り外します。



C607412

図 36 : トレーリング ケーブル

注記

以下の手順では、図37を参照してください。

- 6 トレーリング ケーブル ホルダ (部品2) からT-15のネジ (部品1) を取り外します。
- 7 トレーリング ケーブル クランプ (部品4) から2本のT-10のネジ (部品3) を取り外します。トレーリング ケーブル クランプ (部品4) を取り外します。

警告

エレクトロニクス モジュールからトレーリング ケーブルを取り外すときには十分に注意してください。取り扱いを誤ると、トレーリング ケーブルが損傷を受け、交換が必要になる場合があります。

- 8 トレーリング ケーブルをエレクトロニクス モジュールから慎重に取り外し、プリンタから完全に取り外します。

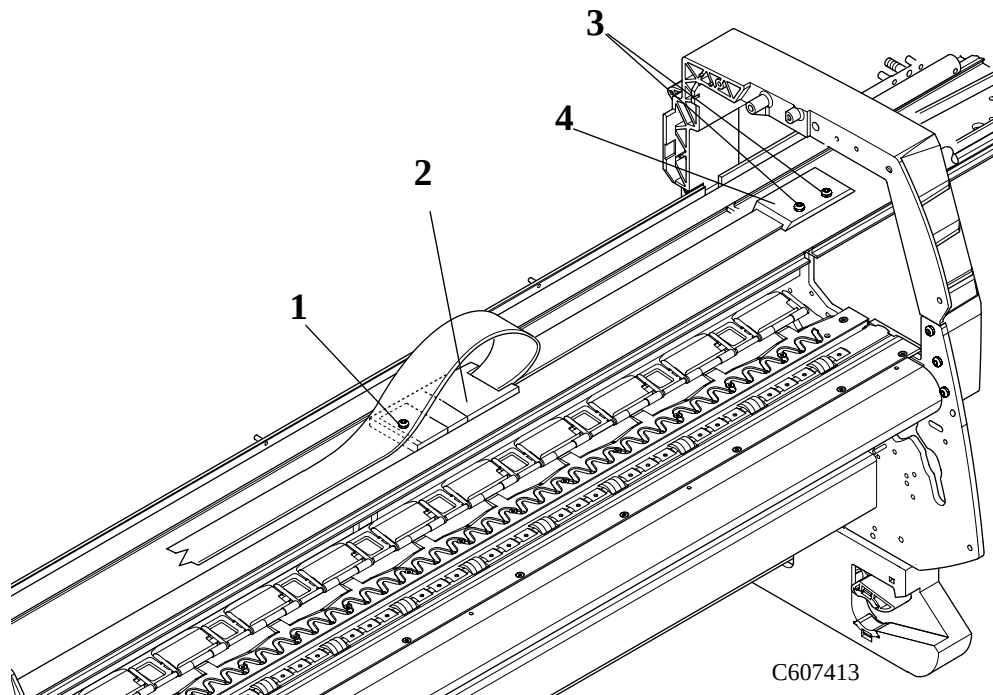


図 37: トレーリング ケーブル

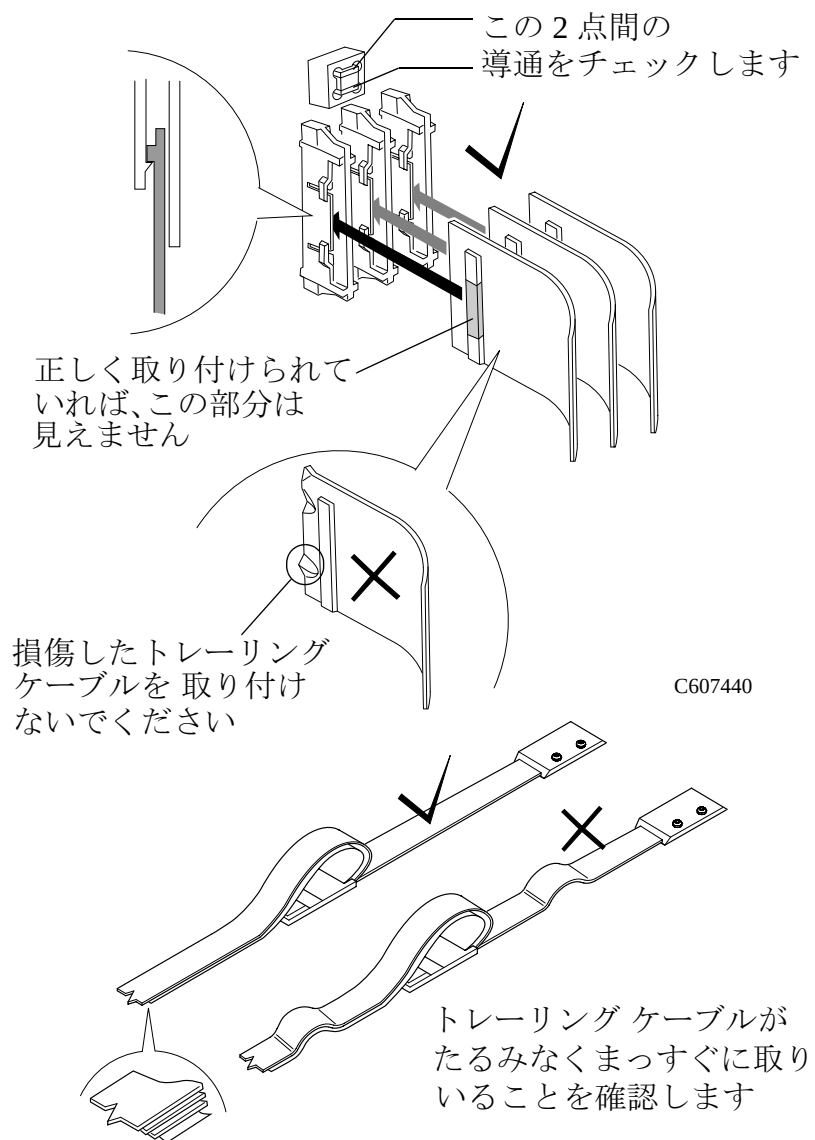
トレーリング ケーブルの取り付け

警告

トレーリング ケーブルをエレクトロニクス モジュールに再接続するときには、次のことに注意して正しく取り付けてください。

- 1 トレーリング ケーブルは、左から右へ接続してください (最も長いストリップを右から1番目のクリップに接続)。

- 2 トレーリング ケーブルは、曲げないようにまっすぐ押し込んでください。奥まで差し込むと、カチッという音がします。
- 3 トレーリング ケーブルが正しく差し込まれていれば、影の部分 (下図参照) は見えなくなります。
- 4 プリンタの電源をオンにする前に、2点間 (下図参照) の導通を (テスターを使って) チェックしてください。
 - 2点間に導通がある場合、トレーリング ケーブルは正しく取り付けられていません。内蔵のエレクトロニクスモジュールのヒューズが切れますので、プリンタの電源をオンにしないでください。トレーリング ケーブルを取り外し、上記の手順に従ってもう一度接続してください。
 - 2点間に導通がない場合、プリンタの電源をオンにしても内蔵のエレクトロニクスモジュールのヒューズが切れることはありません。ただし、システムエラーコード **0B0006** が表示される可能性があります。この場合は、上記の手順に従ってトレーリング ケーブルをもう一度接続してください。



カッター アッセンブリ

図 38 から図 40 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「トップ カバー」 8-32 ページ参照。
- 2 プリントヘッド チューブ コネクタに対して作業を行えるように、キャリッジの位置を移動します (図38参照)。

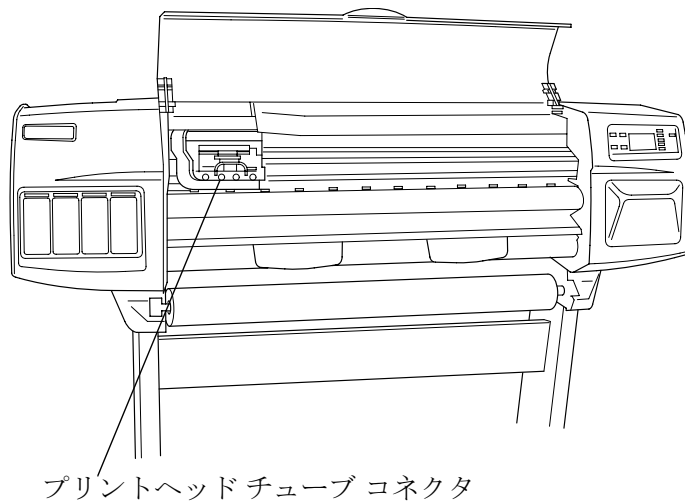


図 38 : カッター アッセンブリ

注記

手順**3**および**4**では、図**39**を参照してください。

- 3 プリントヘッド チューブ コネクタの背面にあるT-9の固定ネジをゆるめます。
- 4 プリントヘッド チューブ コネクタを取り外します (図**39**参照)。

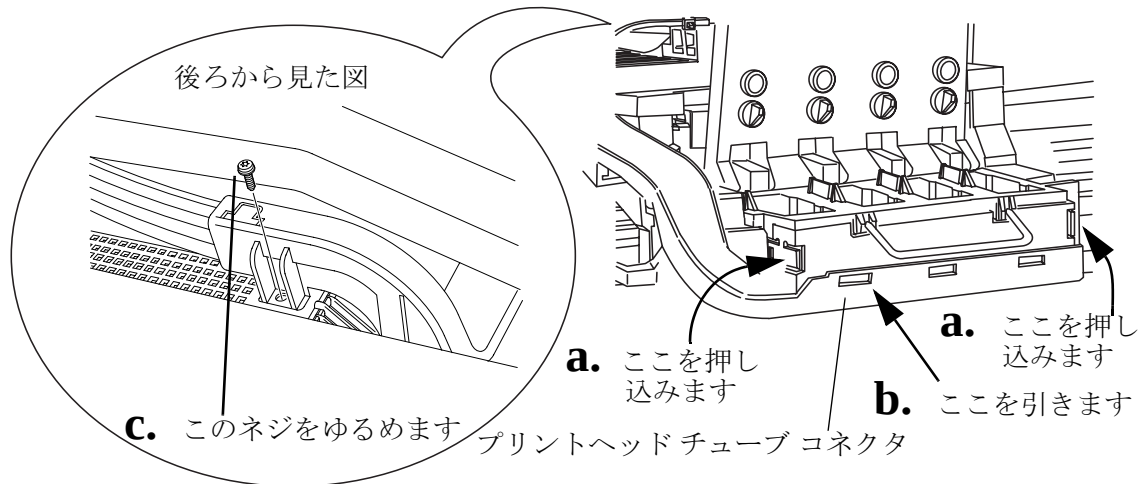


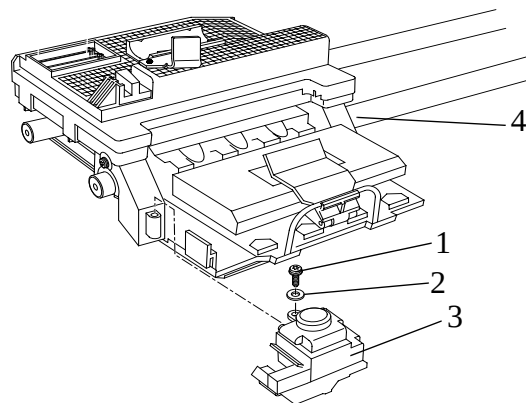
図 39 : カッター アッセンブリ

- 5 プリントヘッド チューブ コネクタを安全な場所に移動します。

注記

以下の手順では、図**40**を参照してください。

- 6 カッター アッセンブリ (部品3) をキャリッジ アッセンブリ (部品4) に固定しているネジ (部品1) とワッシャ (部品2) を取り外します。
- 7 カッター アッセンブリ (部品3) を手前にスライドさせ、プリンタから取り外します。



C607417a

図 40 : カッター アッセンブリ

キャリッジアッセンブリとベルト

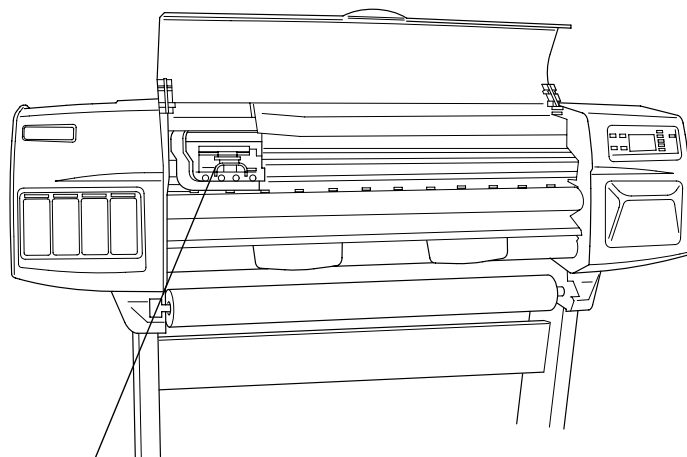
図 41 から図 51 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「トップカバー」 8-32 ページ参照。
 - 2 「右側カバー」 8-4 ページ参照。
 - 3 「左側カバー」 8-13 ページ参照。
- 2 プリントヘッドチューブコネクタに対して作業を行えるように、キャリッジの位置を移動します (図41参照)。



プリントヘッドチューブコネクタ

図 41 : キャリッジアッセンブリとベルト

注記

手順**3**および**4**では、図**42**を参照してください。

- 3 プリントヘッド チューブ コネクタの背面にあるT-9の固定ネジをゆるめます。
- 4 プリントヘッド チューブ コネクタを取り外します (図42参照)。

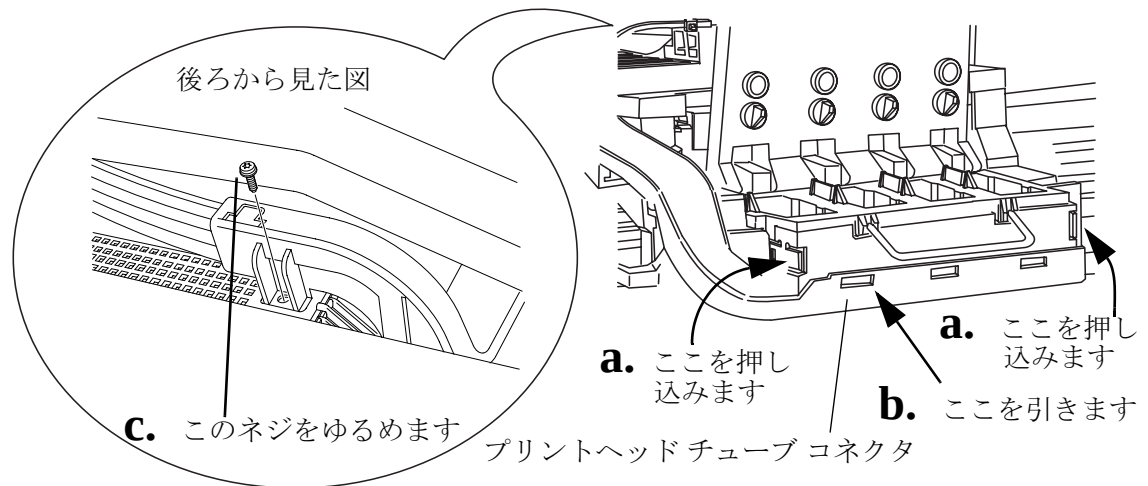


図 42 : キャリッジアッセンブリとベルト

- 5 プリントヘッド チューブ コネクタを安全な場所に移動します。

注記

手順6から8までは、図43を参照してください。

- 6 キャリッジ アッセンブリ (部品1) からトレーリング ケーブルの固定クリップ (部品2) を取り外します。
- 7 キャリッジPCA (部品4) 中のコネクタからトレーリング ケーブル (部品3) を慎重に取り外します。
- 8 トレーリング ケーブル ホルダ (部品5) からトレーリング ケーブル (部品3) を取り外します。

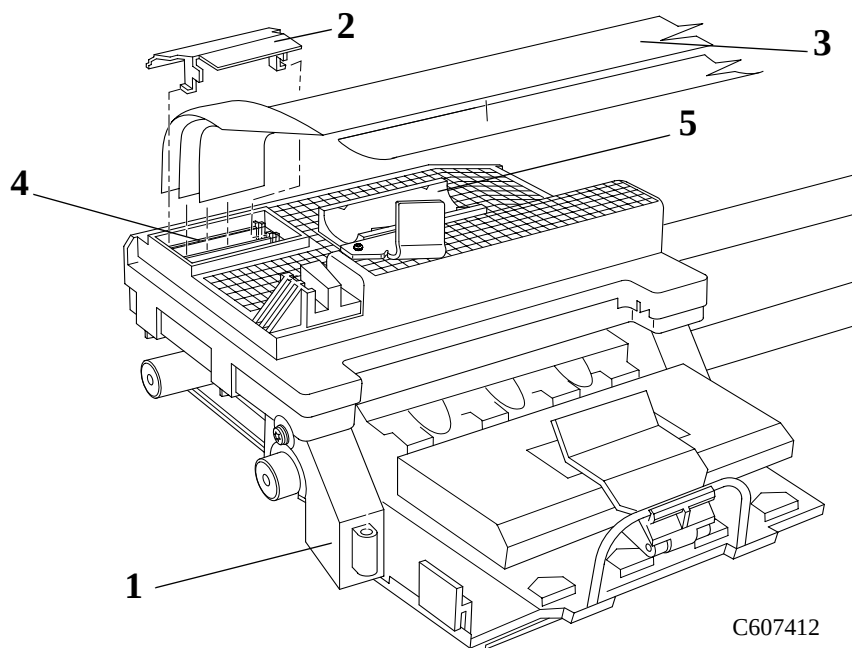


図 43 : キャリッジアッセンブリとベルト

- 9 プリンタの左側で、テンショナ ウェッジクリップ (部品3) を使ってカチッという音がするまでスプリング (部品2) を縮め、ベルト (部品1) にかかっている張力をゆるめます (図44参照)。

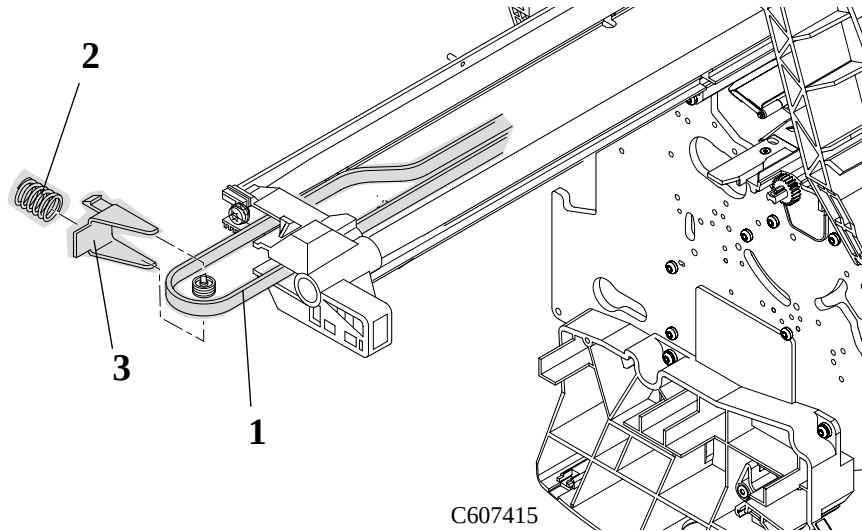


図 44 : キャリッジアセンブリとベルト

- 10 プリンタ右側で、ベルト モーター プーリー (部品2) からベルト (部品1) を取り外します (図45参照)。

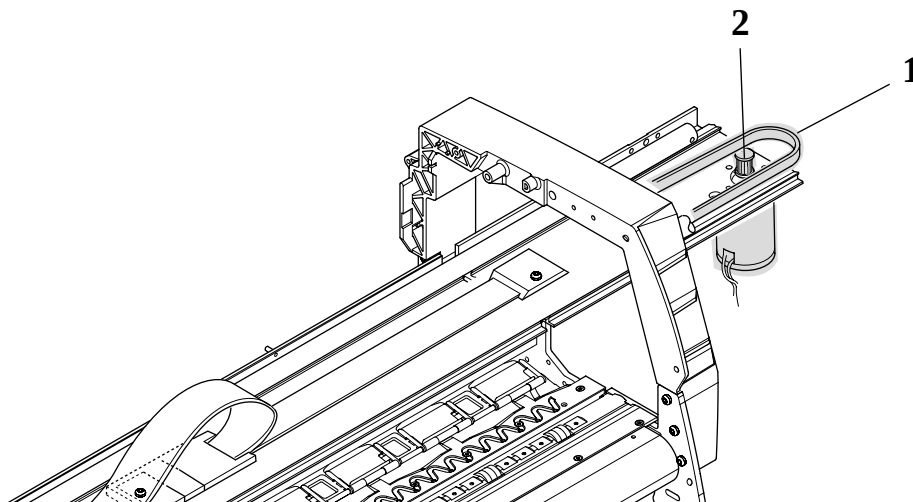


図 45 : キャリッジアセンブリとベルト

注記 手順**11**および**12**では、図**46**を参照してください。

- 11** プリンタの左側から、エンコーダ ストリップ (部品3) をスプリング クリップ (部品2) に固定している5.5mmのナット (部品1) を取り外します。

注記 次の手順では、ドライバを使ってスプリング クリップ (部品2) をプリンタの中央に向けて押し込みます。

- 12** スプリング クリップ (部品2) に付いている固定ピン (部品4) からエンコーダ ストリップ (部品3) を外します。

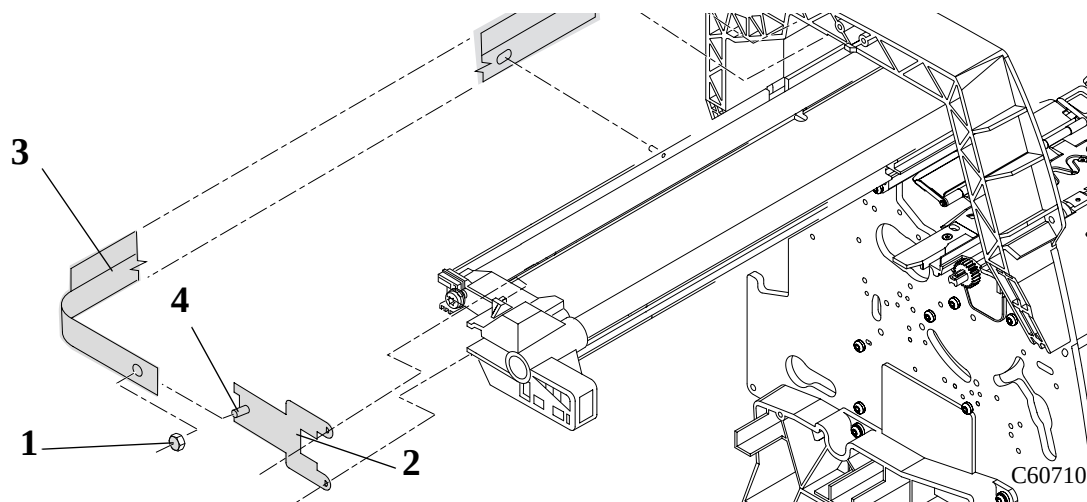


図 46 : エンコーダ ストリップ

注記

手順13から15までは、図47を参照してください。

- 13 部品2) から取り外します。
- 14 テンショナ アセンブリをスライダ ロッド (部品5) に固定している2本のT-15のネジ (部品4) を取り外します。
- 15 テンショナ アセンブリ (部品3) を取り外します。

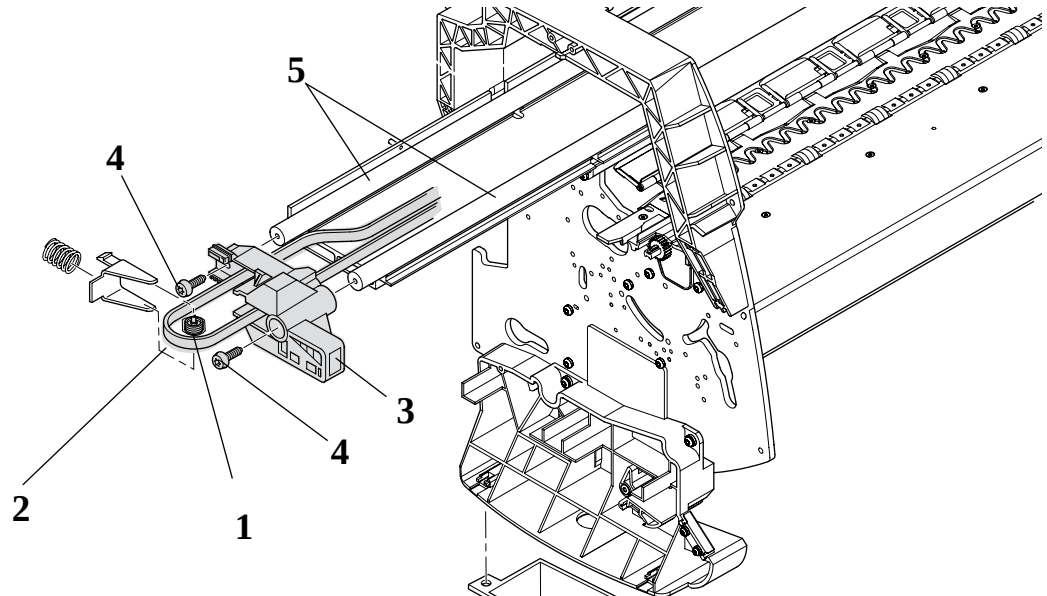


図 47 : キャリッジアセンブリとベルト

注記

以下の手順では、図48を参照してください。

注意

キャリッジ アッセンブリに付いているリアー ブッシュ (部品 1) には、スプリング (部品 2) によって張力がかかっています。キャリッジ アッセンブリ (部品 3) を取り外すときは、リアー ブッシュを手で支えてください。

- 16 キャリッジ アッセンブリ (部品3) をスライドさせてスライダ ロッドから取り外します。
- 17 キャリッジ アッセンブリの下の固定クリップ (部品5) をゆるめて、キャリッジアッセンブリからベルト (部品4) を取り外します。

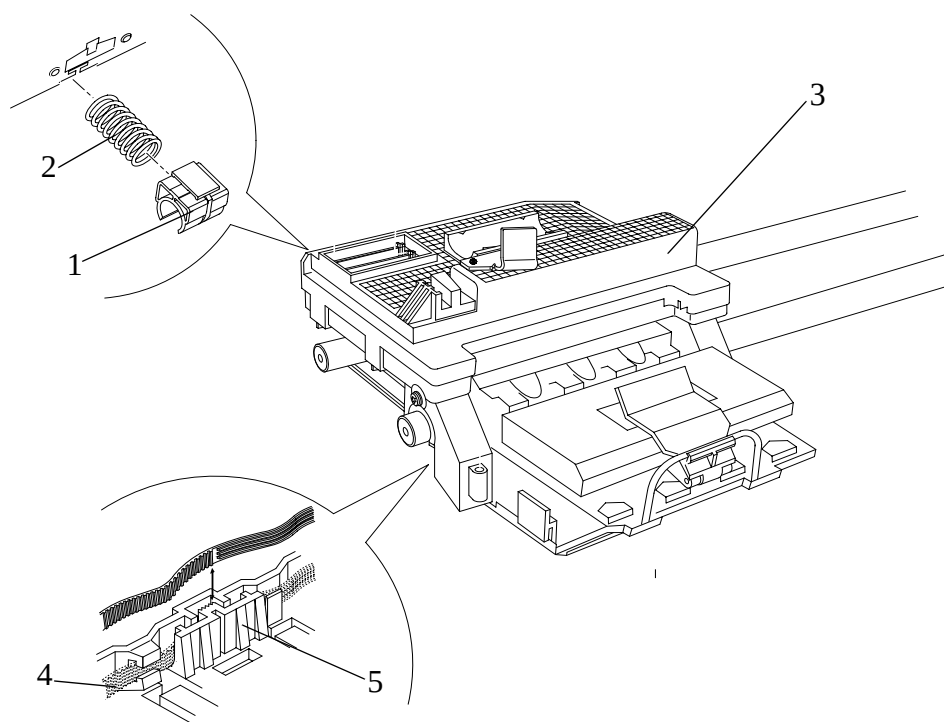


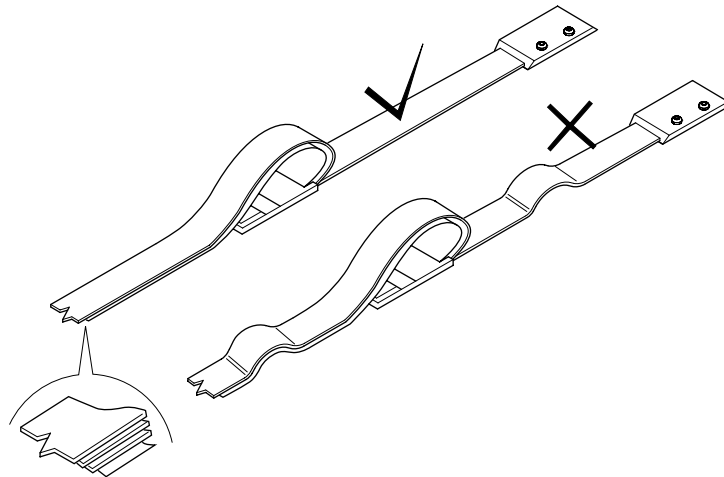
図 48 : キャリッジアッセンブリとベルト

キャリッジ アセンブリの取り付け

注記

キャリッジ アセンブリを取り付けるときには、次のことに注意してください。

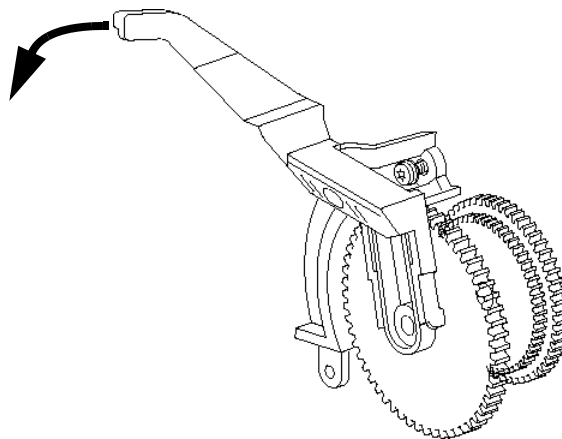
- 1 図49を参照して、トレーリング ケーブルが正しく取り付けられ、トレーリング ケーブル サポートがたるみなくまっすぐになっていることを確認してください。



C607441

図 49 : トレーリング ケーブルの取り付け

- 2 キャリッジを取り付けるときは、図50を参照してクラッチ アームを噛み合わせます。



C607420d

図 50 : クラッチ アセンブリ

- 3 ベルトを取り付けるときは、ベルトがねじれていないことを確認し、図51を参照して正しい方向に取り付けます。

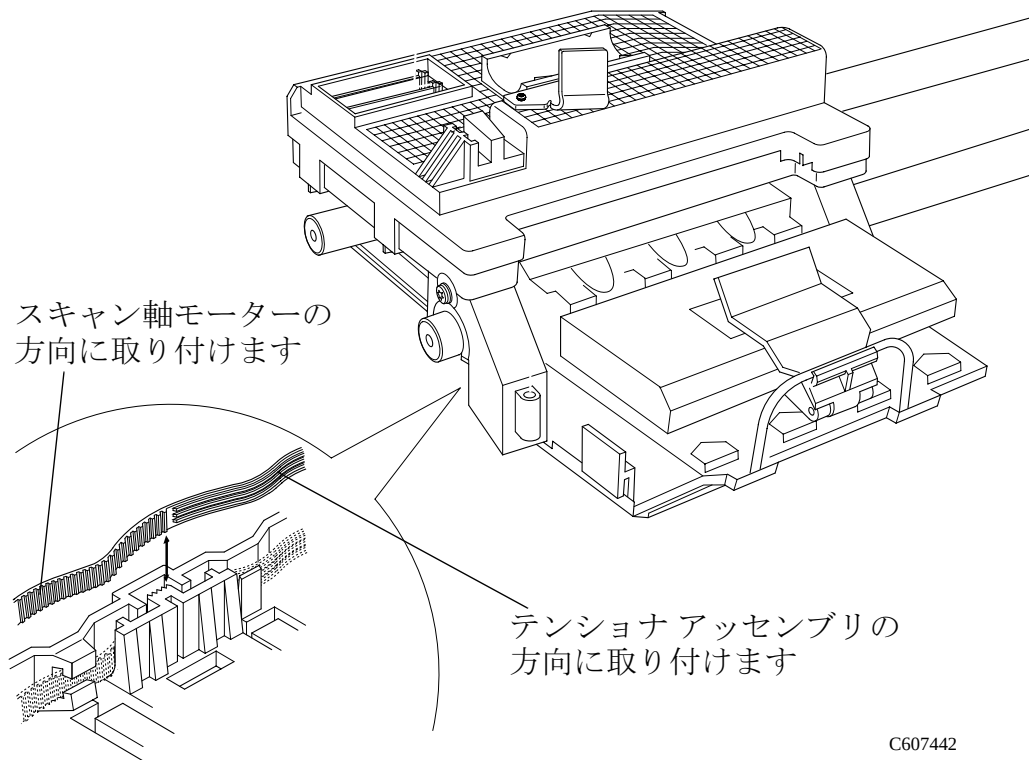


図 51 : ベルトの取り付け

注記

キャリッジアセンブリの取り付け後には、次のサービス校正を実行する必要があります。

- Carriage Height Calibration (キャリッジ高さの校正) ⇒ 5-24 ページ
- Line Sensor (ライン センサの校正) ⇒ 5-9 ページ
- Service Station (サービス ステーションの校正) ⇒ 5-11 ページ
- Roller Mark Position (ローラー マーク位置の校正) ⇒ 5-13 ページ
- Color to Color Calibration (カラー間の校正) ⇒ 5-16 ページ
- Pen Alignment (ペンの軸合わせ) ⇒ 5-22 ページ

チューブ システム アセンブリ

図 52 から図 63 参照。

取り外し

- 1 プリントヘッド、インク カートリッジ、プリントヘッド クリーナを取り外します。(詳しくは『ユーザーズ ガイド』を参照のこと)

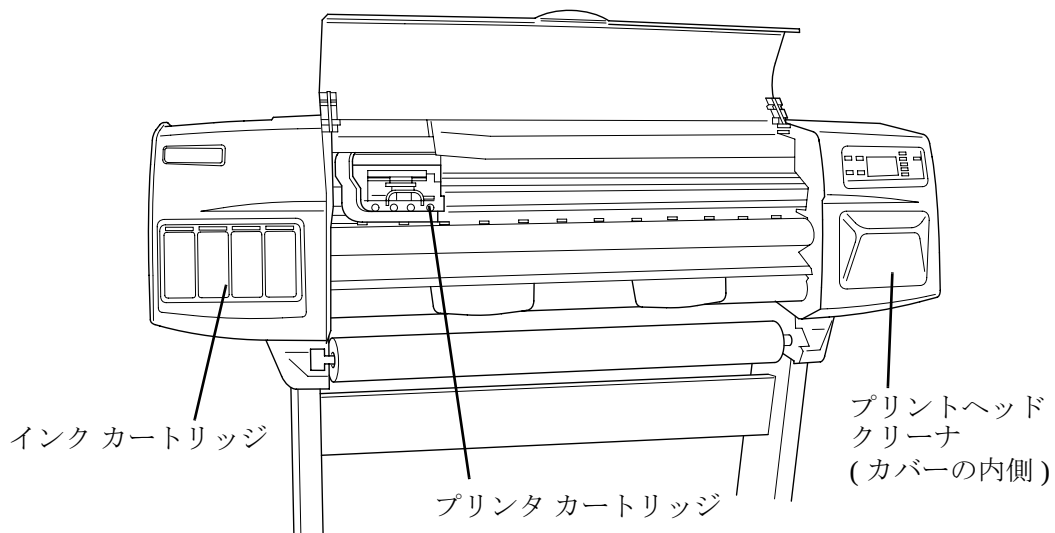


図 52 : プリンタ カートリッジの位置

警告

プリンタ背面の主電源スイッチをオフにしてください。

- 2 プリントヘッド チューブ コネクタに対して作業を行えるように、キャリッジの位置を移動します (図53参照)。

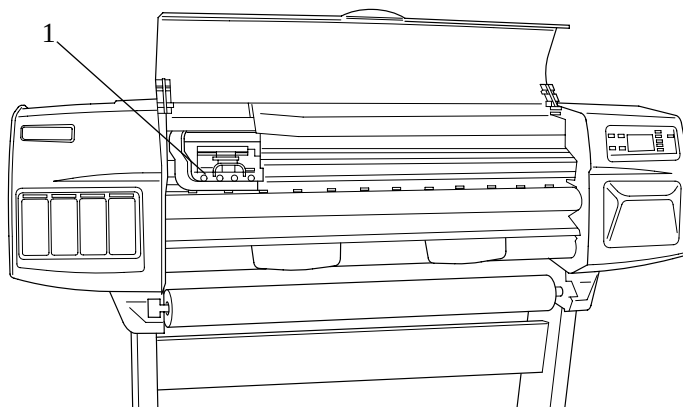


図 53 : プリントヘッドチューブ コネクタ

3 次の部品を取り外します。

1 「ウィンドウ」 8-31 ページ参照。

2 「トップ カバー」 8-32 ページ参照。

注記

以下の手順では、図54を参照してください。

4 プリントヘッド チューブ コネクタの背面にあるT-9の固定ネジをゆるめます。

5 プリントヘッドチューブ コネクタを取り外します。

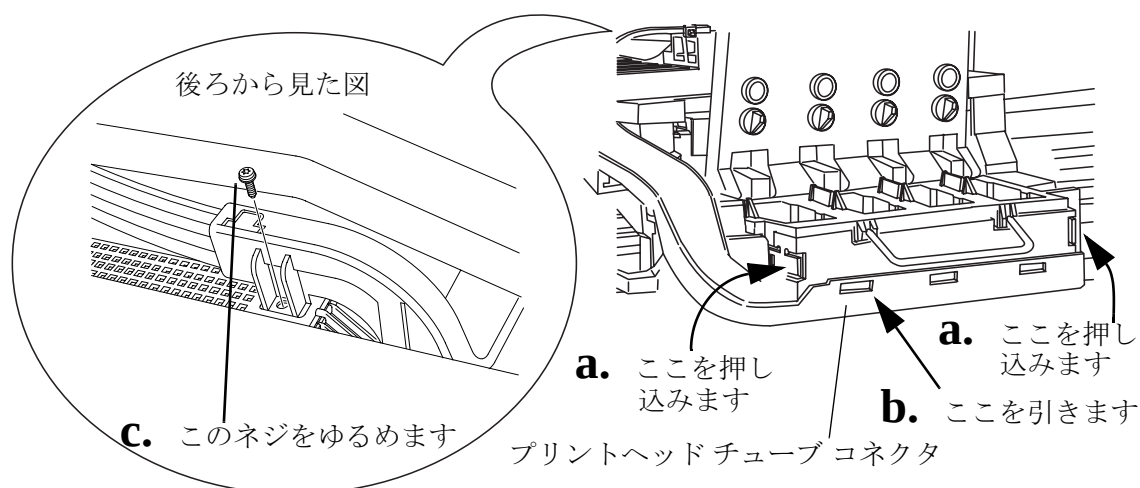


図 54: プリントヘッドチューブ コネクタの取り外し

6 プリンタ背面からチューブ固定クリップ (部品1) を取り外します (図55参照)。

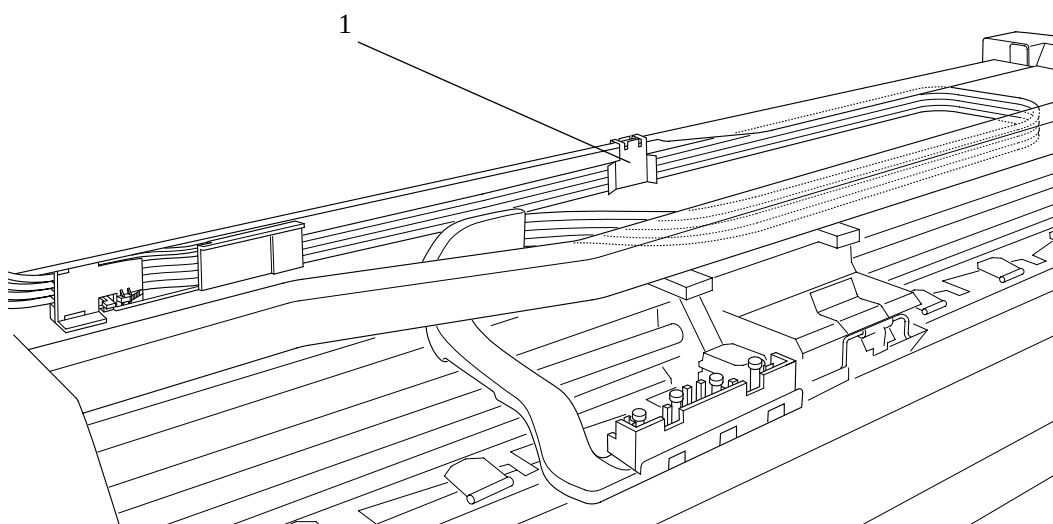


図 55: チューブ固定クリップ

注記

プリンタの背面から作業します。

- 7 2本のT15のネジ (部品1) を外して、左側カバー背面の扉を開けます (図56参照)。

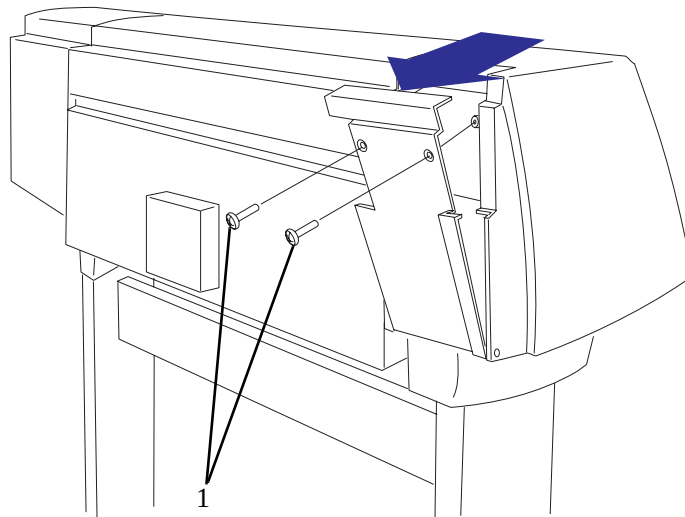


図 56 : 左側カバーの背面

- 8 左側カバー背面のチューブホルダ (部品1) を押し上げて外します (図57参照)。

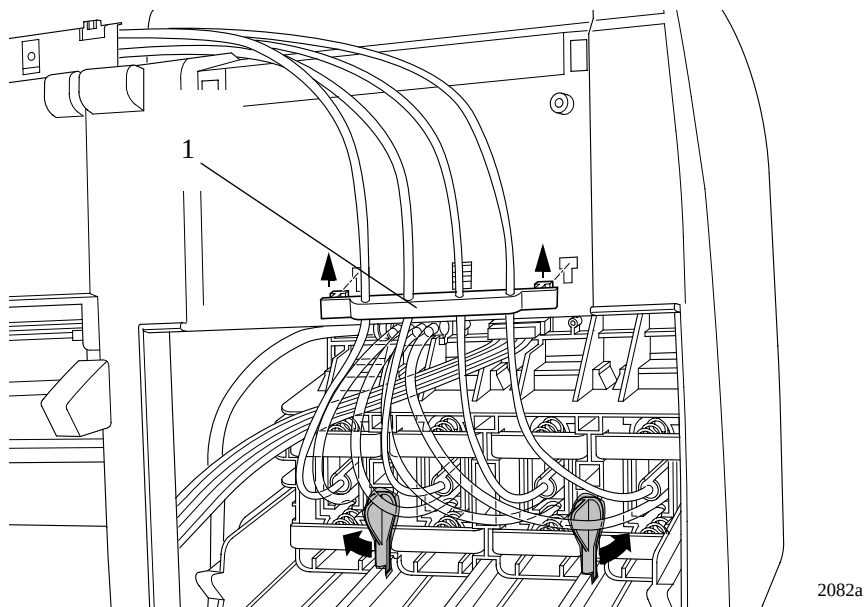


図 57 : リア チューブ グリップ

- 9 インク カートリッジ チューブ コネクタ (部品2) の背面に付いている2個のラッチ (部品1) を外側にひねります。これで、アセンブリ全体が外れます (図58参照)。

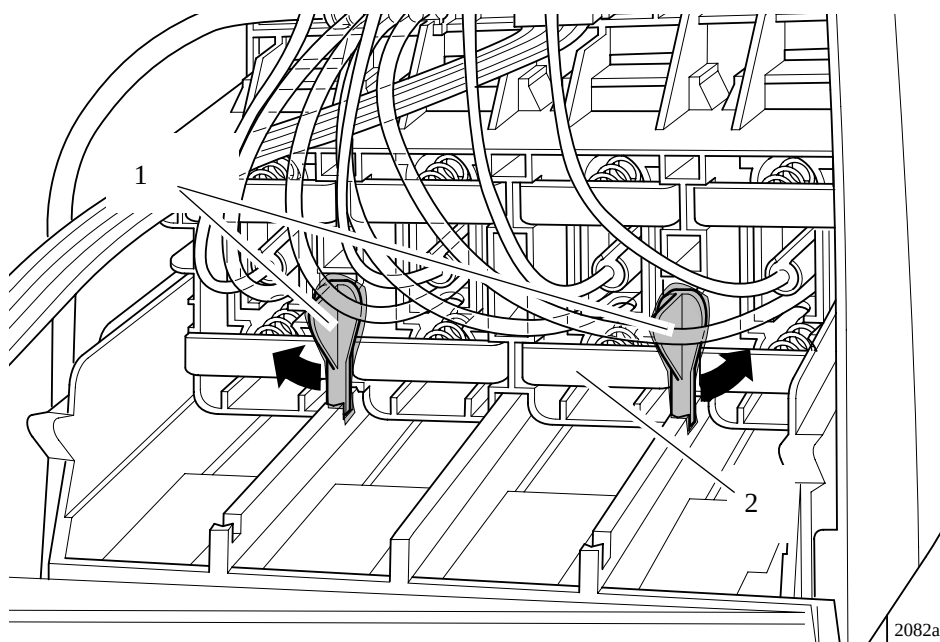


図 58 : ラッチ

- 10 インク カートリッジ チューブ コネクタ アセンブリ (部品1) を手前にスライドさせます (図59参照)。

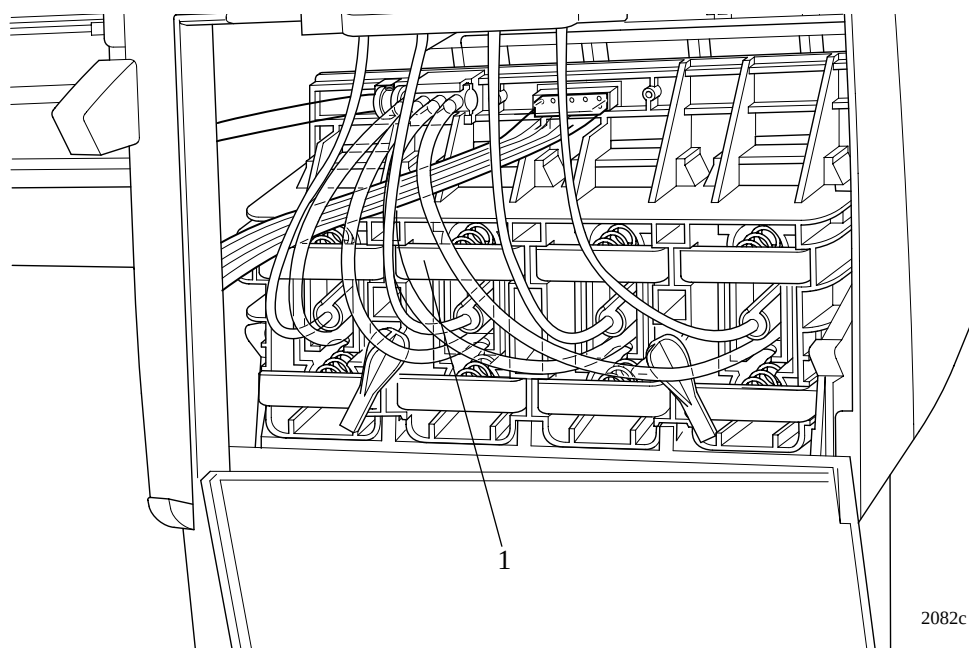


図 59 : インク カートリッジ チューブ コネクタ (引き出した状態)

- 11 インク カートリッジ チューブ コネクタ ケーブルを取り外します (図60参照)。

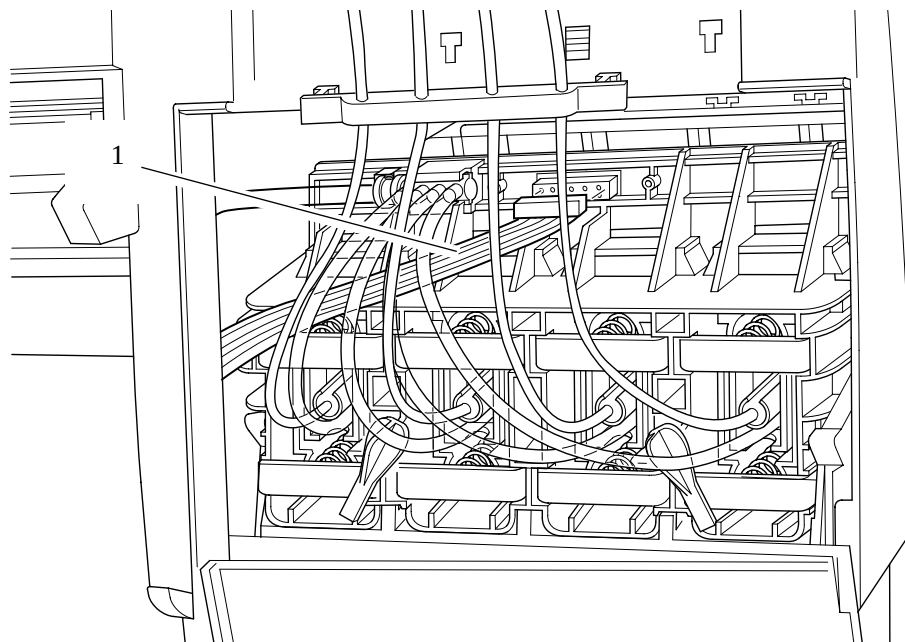


図 60 : インク カートリッジ チューブ コネクタ ケーブル

- 12 エアー チューブを外します (図61参照)。

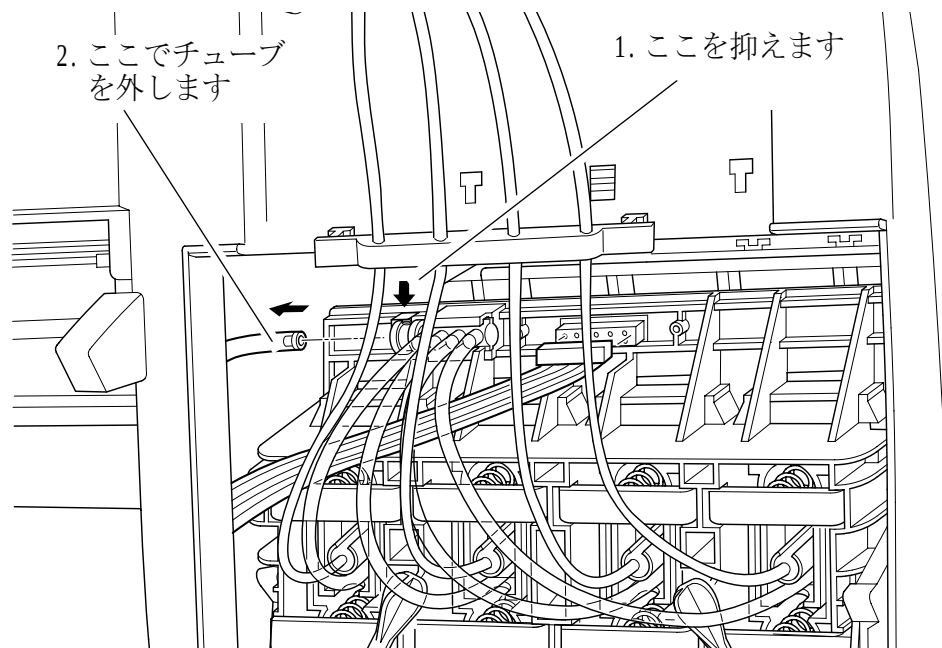


図 61 : エアー チューブ

- 13** 左側カバー (部品2) の背面からインク カートリッジ チューブ コネクタ (部品1) を外し、アセンブリを左側カバーの上に乘せます (図62参照)。

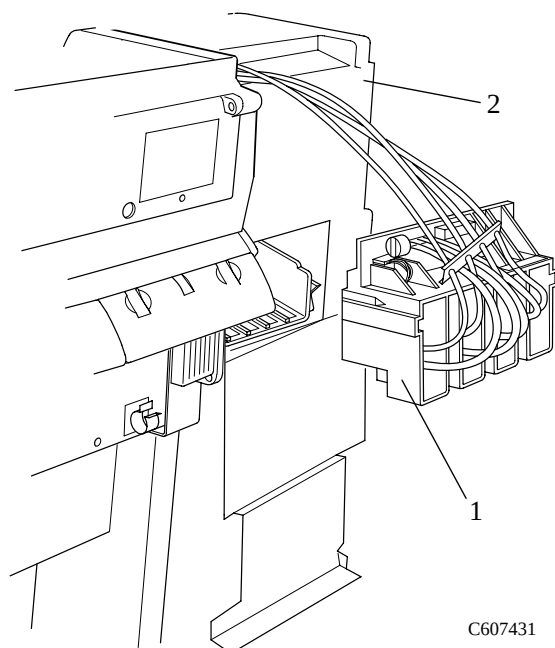


図 62 : インク カートリッジ チューブ コネクタ (取り出した状態)

- 14** タブ (部品1) を手前に押し込み、チューブ固定クリップ (部品2) 全体を右に押してから手前に引きます (図63参照)。

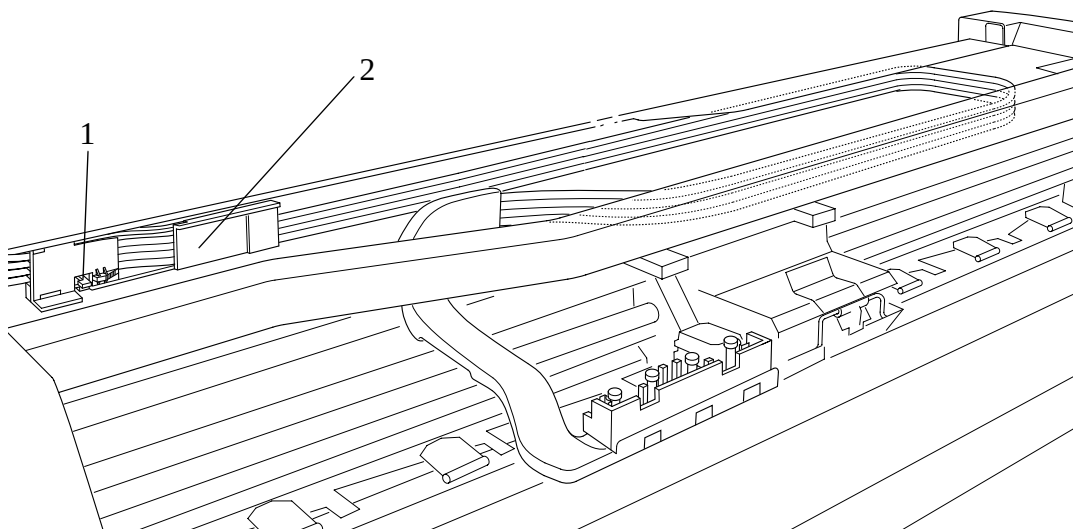


図 63 : チューブ固定クリップ

注意

インク チューブ システム全体にインクが充填されています。

- 15 チューブをチューブ ガイドの間からスライドさせて、チューブ システム全体をプリンタから取り外します。

プリンタの再起動

- 1 プリンタ背面の主電源スイッチとフロントパネルの電源 オン ボタンを使って、プリンタの電源をオンにします。
- 2 フロントパネルには、次のように表示されます。

システムノ スタートアップ
「ニュウリョク」ヲ
オンテ ツヅケマス

C4704034

- 3 入力ボタンを押します。
- 4 ウィンドウを開け、4 個のセットアップ用プリントヘッドをプリントヘッド キャリッジに取り付けます。(詳しくは『ユーザーズ ガイド』を参照のこと)
- 5 インク カートリッジを取り付けます。(詳しくは『ユーザーズ ガイド』を参照のこと)
- 6 フロントパネルには、次のように表示されます。

プリンタノ ショキカチュウ
シバラク オマチクダサイ

C4704034

- 7 約30秒間待ちます。
- 8 プリンタ キャリッジからセットアップ用プリントヘッドを取り外します。
- 9 プrintヘッドおよびプリントヘッド クリーナを取り付けます(詳しくは『ユーザーズ ガイド』を参照のこと)。

注記

チューブ システムの取り付け後には、次のサービス校正を実行する必要があります。

- Calibration Backup (校正のバックアップ) ⇒ 5-19 ページ
- Pen Alignment (ペンの軸合わせ) ⇒ 5-22 ページ

インク漏れ検知アッセンブリ

図 64 から図 66 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「ウィンドウ」 8-31 ページ参照。
 - 2 「トップ カバー」 8-32 ページ参照。
 - 3 「バック カバー」 8-33 ページ参照。
 - 4 「右リアー カバー」 8-25 ページ参照。

注記

プリンタの背面から作業します。

- 2 2本のT15のネジ (部品1) を外して、左側カバー背面の扉を開けます (図64参照)。

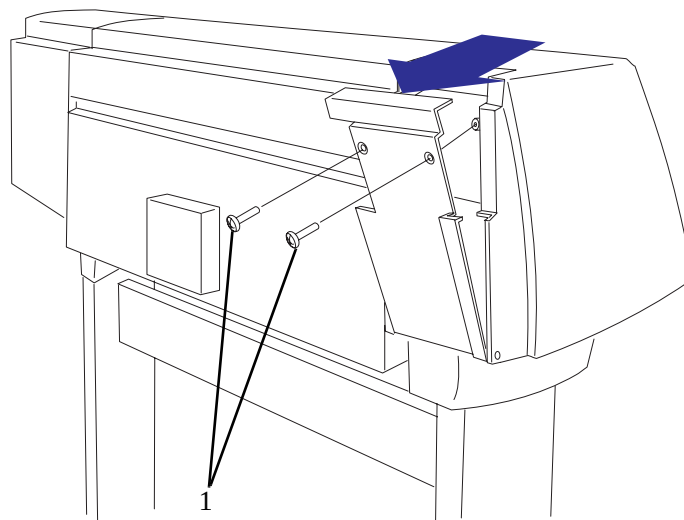


図 64 : 左側カバーの背面

- 3 エレクトロニクス モジュールの**P4 INK LEAK DETECTOR** の位置からインク漏れ検知ケーブルを取り外します。
- 4 インク漏れ検知ケーブルをサイド プレートに固定しているクリップの位置を確認し、クリップをサイドプレートに固定しているネジを外します。

- 5 図65を参照して、プリンタ背面からネジとクリップ (部品 2) を取り外し、インク漏れ検知ケーブルのコネクタ (部品 1) を取り外します。インク漏れ検知ケーブルを完全に取り外します。

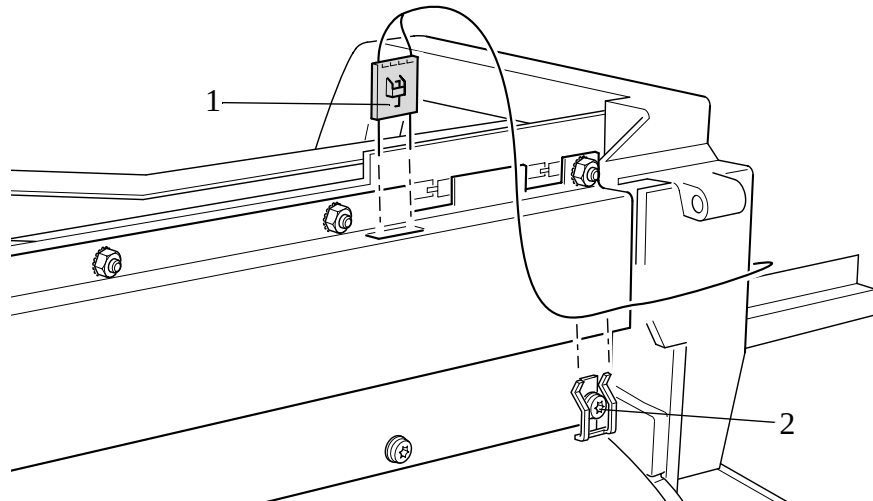


図 65 : インク漏れ検知ケーブル

- 6 図66を参照して、インク漏れ検知のクリップをゆるめてプリンタから取り外します。

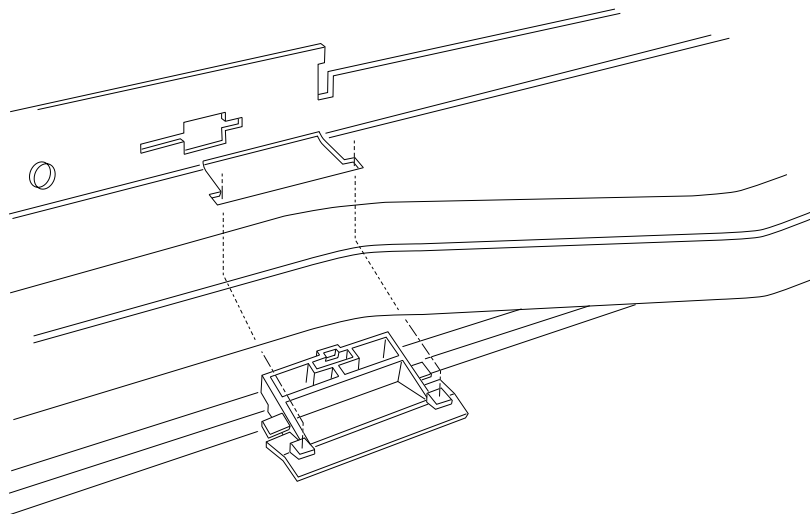


図 66 : インク漏れ検知

フロント プラテン アッセンブリ

図 67 参照。

取り外し

警告

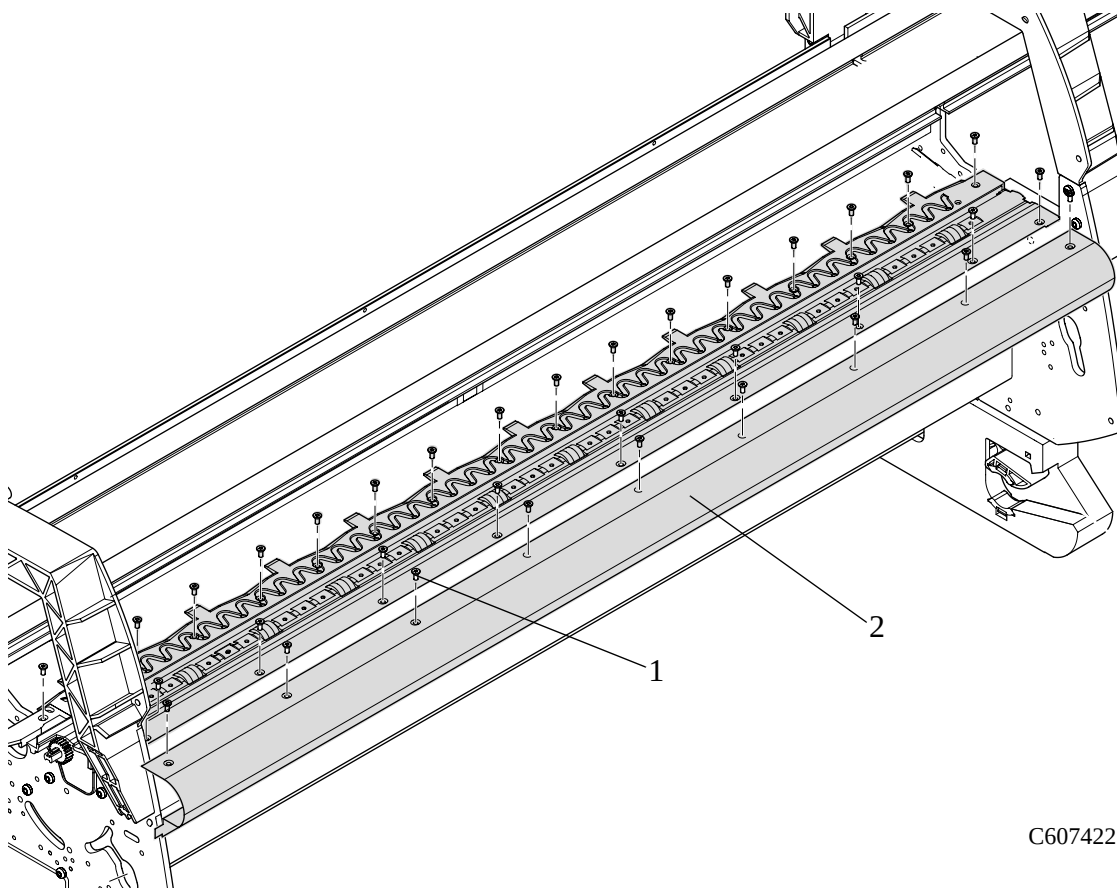
プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 ウィンドウを開けます。

注記

以下の手順では、ネジが損傷しやすいため、ネジの取り扱いには十分に注意してください。

- 2 フロント プラテン アッセンブリ (部品2) から9本のT-10のネジ (部品1) を外し、フロント プラテンを取り外します。



C607422

図 67 : フロント プラテン アッセンブリ

プラテン アッセンブリ

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 ウィンドウを開けます。

注記

以下の手順では、ネジが損傷しやすいため、ネジの取り扱いには十分に注意してください。

- 2 プラテン アッセンブリ (部品2) から29本のT-10のネジ (部品1) を外し、プラテン アッセンブリを取り外します (図68 参照)。

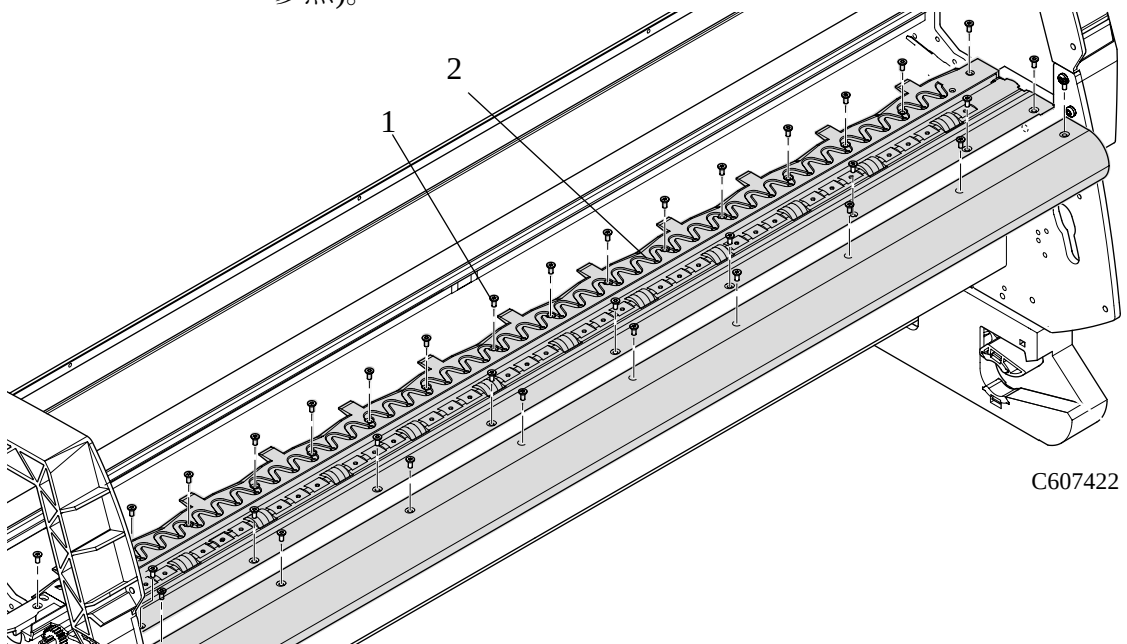


図 68 : プラテン アッセンブリ

プラテン アッセンブリの取り付け

注意

プラテン アッセンブリを取り付けるときは、ネジが正しく取り付けられていることを確認し、プリンタの使用中にネジが用紙経路に干渉しないようにします。また、ネジには **10psi** を超えるトルクをかけないでください。

注記

プラテン アッセンブリの取り付け後には、次のサービス校正を実行する必要があります。

- Carriage Height Calibration (キャリッジ高さの校正) ⇒ 5-24 ページ
- Service Station (サービス ステーションの校正) ⇒ 5-11 ページ
- Color to Color Calibration (カラー間の校正) ⇒ 5-16 ページ

給紙アッセンブリ

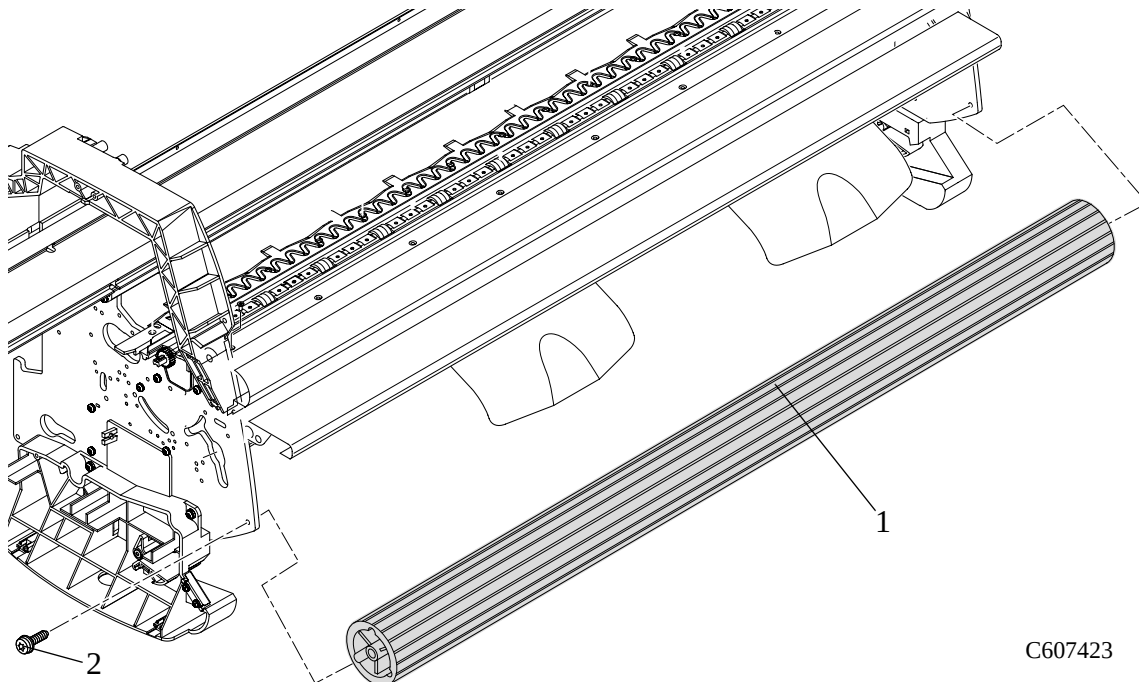
図 69 から図 71 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「左側カバー」 8-13 ページ参照。
 - 2 「左側トリム」 8-18 ページ参照。
 - 3 「インク サプライ システム アッセンブリ」 8-19 ページ参照。
 - 4 「クラッチ アッセンブリとその他の部品」 8-21 ページ参照。
- 2 エントリ ローラー (部品1) を左側シャーシに固定しているT-15のネジ (部品2) を取り外します (図69参照)。まずエントリ ローラーの左端を引き出してから、完全に取り外します。



C607423

図 69 : エントリ ローラー

- 3 リンケージ ロッド (部品2) とピンチホイール カム (部品3) からT-10のネジ (部品1) を取り外します (図70参照)。

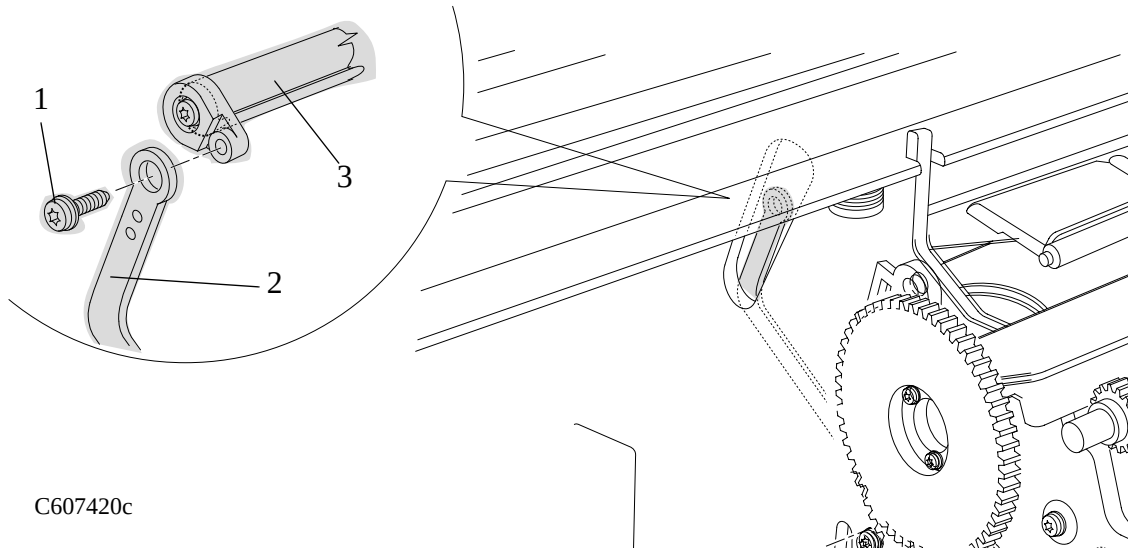


図 70 : リンケージ ロッド

注記

手順4および5では、図71を参照してください。

- 4 右側サイドシャーシの固定穴から給紙アッセンブリ (部品1) の右側を外します。
- 5 まず給紙アッセンブリ (部品1) の右側を取り外してから、左側を取り外します。

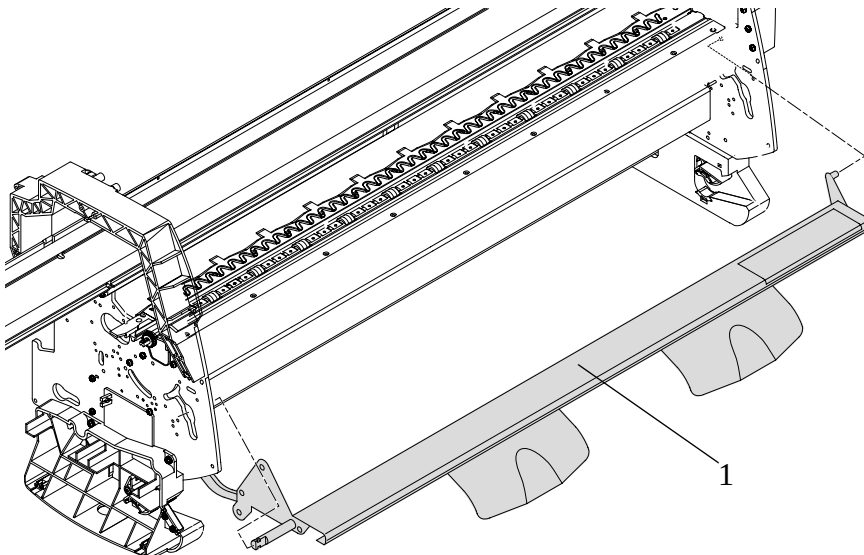


図 71 : 給紙アッセンブリ

ローラーガイド

図 72 から図 75 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「左側カバー」 8-13 ページ参照。
 - 2 「右側カバー」 8-4 ページ参照。
 - 3 「エレクトロニクス モジュール」 8-26 ページ参照。
 - 4 「インク サプライ システム アッセンブリ」 8-19 ページ参照。
 - 5 「サービス ステーション アッセンブリ」 8-8 ページ参照。
 - 6 「用紙軸モーター アッセンブリ」 8-12 ページ参照。

注記

プリンタの背面から作業します。

- 2 リアー プラテンの左側のマウント (部品2) を固定している2本のT-15のネジ (部品1) を取り外します (図72参照)。
- 3 リアー プラテンの右側のマウント (部品4) を固定している2本のT-15のネジ (部品3) を取り外します (図72参照)。

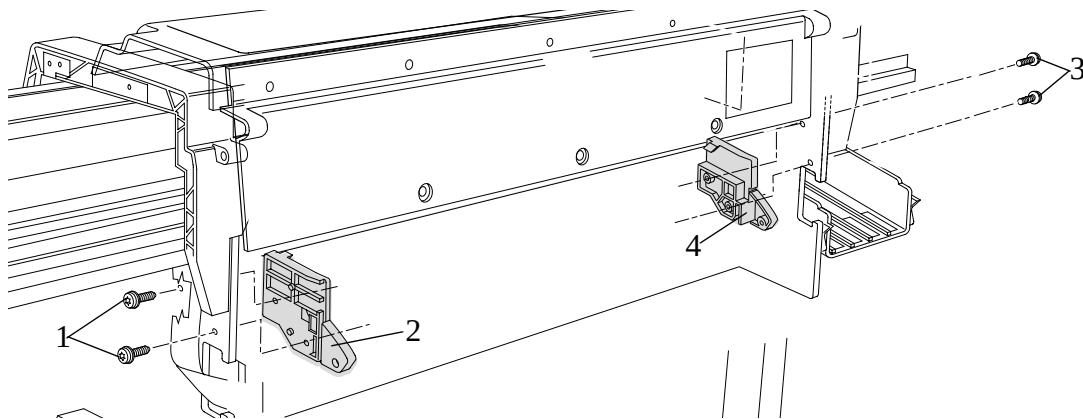


図 72: プラテン マウント

- 4 左側エレクトロニクス モジュール マウント (部品2) を左側シャーシに固定している4本のT-15のネジ (部品1) を取り外します (図73参照)。

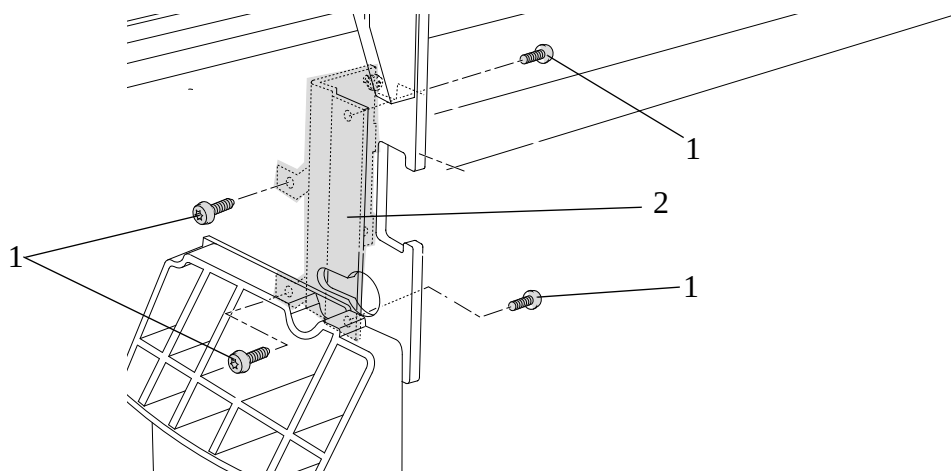


図 73 : レフト エレクトロニクス モジュール マウント

- 5 右側エレクトロニクス モジュール マウント (部品2) を右側シャーシに固定している4本のT-15のネジ (部品1) を取り外します (図74参照)。

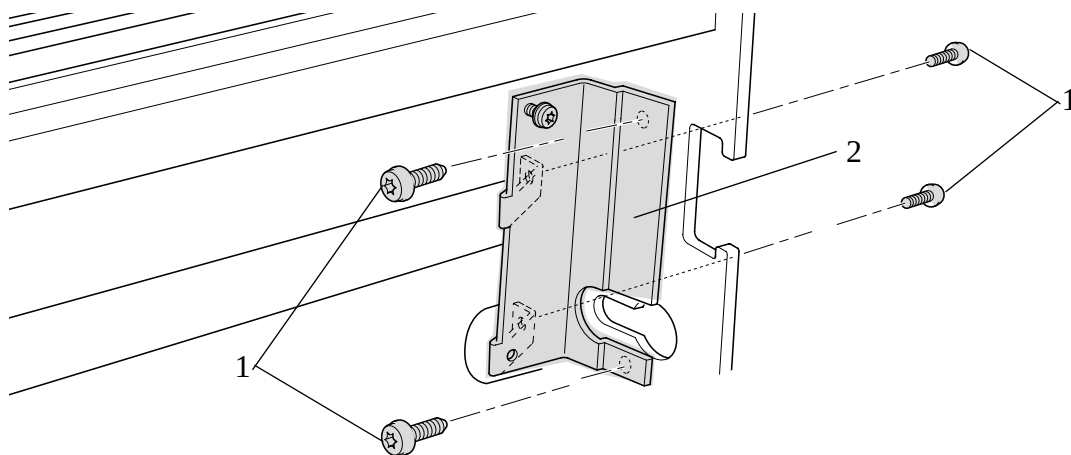


図 74 : 右エレクトロニクス モジュール マウント

注記

以下の手順では、図75を参照してください。

- 6 ローラー ガイド アッセンブリ (部品2) の右側から3本のT-15のネジを取り外します。

注記

留め具を取り外した後、ローラー ガイドを落とさないように注意してください。

- 7 ローラー ガイド アッセンブリの左側から3本のT-15のネジ (部品1) を外し、ローラー ガイドアッセンブリを取り外します。

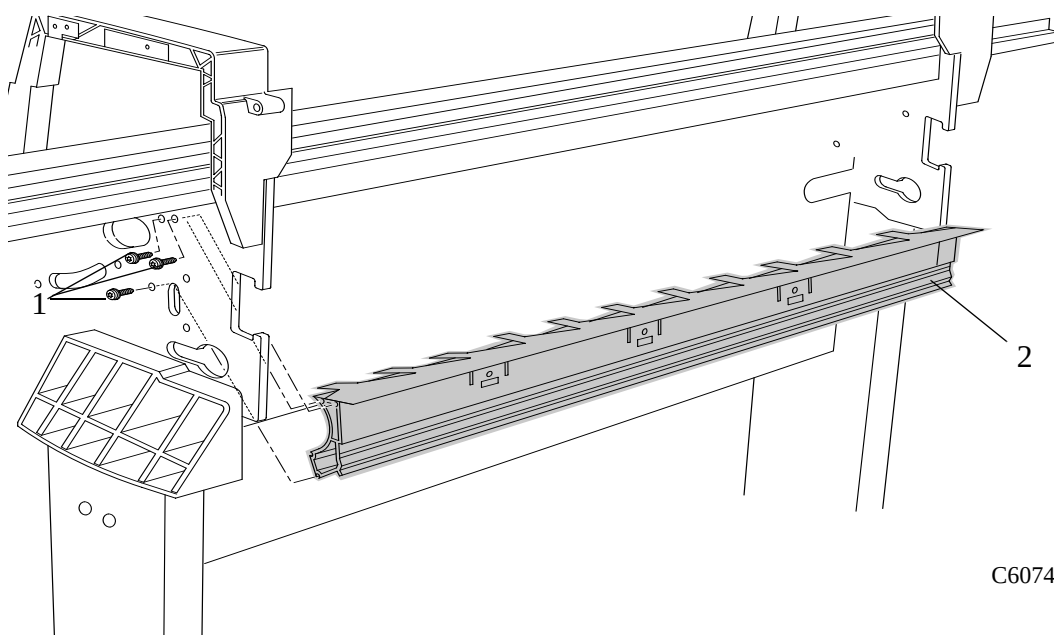


図 75 : ローラー ガイド

メディア ホルダ ストリップ

図 76 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

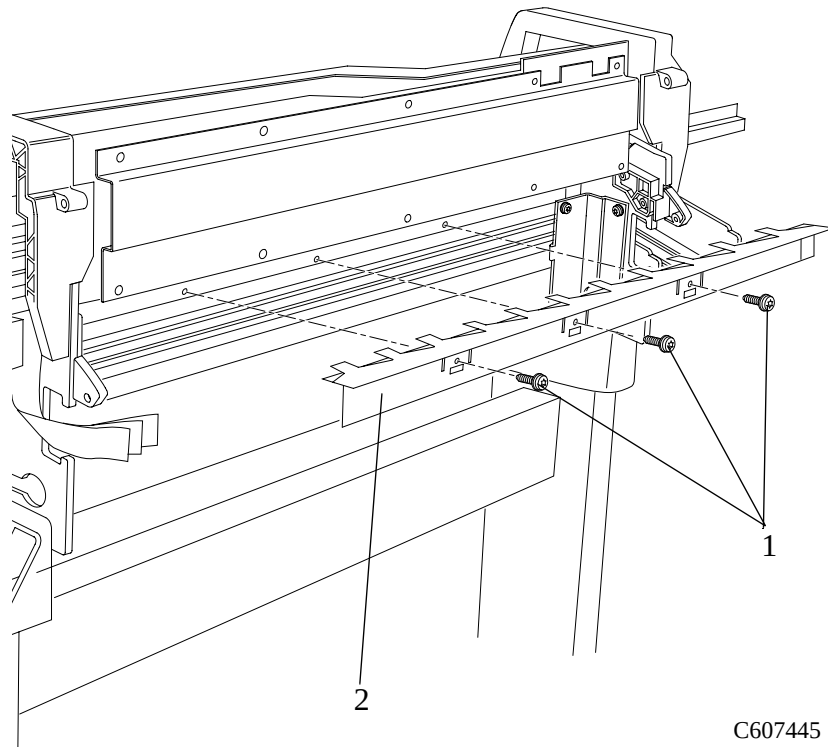
- 1 次の部品を取り外します。

1 「エレクトロニクス モジュール」 8-26 ページ参照。

注記

プリンタの背面から作業します。

- 2 メディア ホルダ ストリップ (部品2) をローラー ガイドに固定している3本のT-15のネジ (部品1) を取り外します (図 76参照)。



C607445

図 76 : メディア ホルダ ストリップ

ドライブ ローラー

図 77 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「クラッチ アセンブリ」 8-21 ページ参照。
 - 2 「ローラー ガイド」 8-68 ページ参照。

注記

プリンタの背面から作業します。

- 2 次の手順でローラー (部品1) を取り外します。
 - a ローラーの左端を手前に引いてから、右端を手前に引きます。
 - b ローラー全体を左に移動します
 - c まずローラーの右端を取り外し、次に左端を取り外します

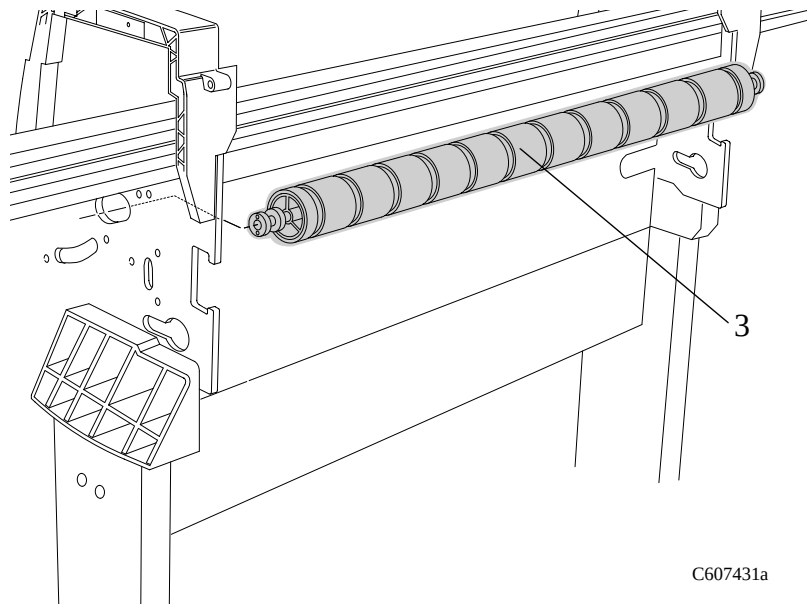


図 77: ドライブ ローラー

注記

ドライブ ローラーの取り付け後には、次のサービス校正を実行する必要があります。

- Accuracy Calibration (精度校正) ⇒ 5-6 ページ。
- Color to Color Calibration (カラー間の校正) ⇒ 5-16 ページ。

センタ ガイド

図 78 から図 80 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「左側カバー」 8-13 ページ参照。
 - 2 「右側カバー」 8-4 ページ参照。
 - 3 「エレクトロニクス モジュール」 8-26 ページ参照。
 - 4 「インク サプライ システム アセンブリ」 8-19 ページ参照。
 - 5 「クラッチ アセンブリ」 8-21 ページ参照。
 - 6 「サービス ステーション」 8-8 ページ参照。
 - 7 「バキューム ファン」 8-11 ページ参照。
- 2 給紙アセンブリを持ち上げます。
- 3 センタ ガイドの左側を固定している左のサイド プレートから、2本のT-15のネジを取り外します (図78参照)。

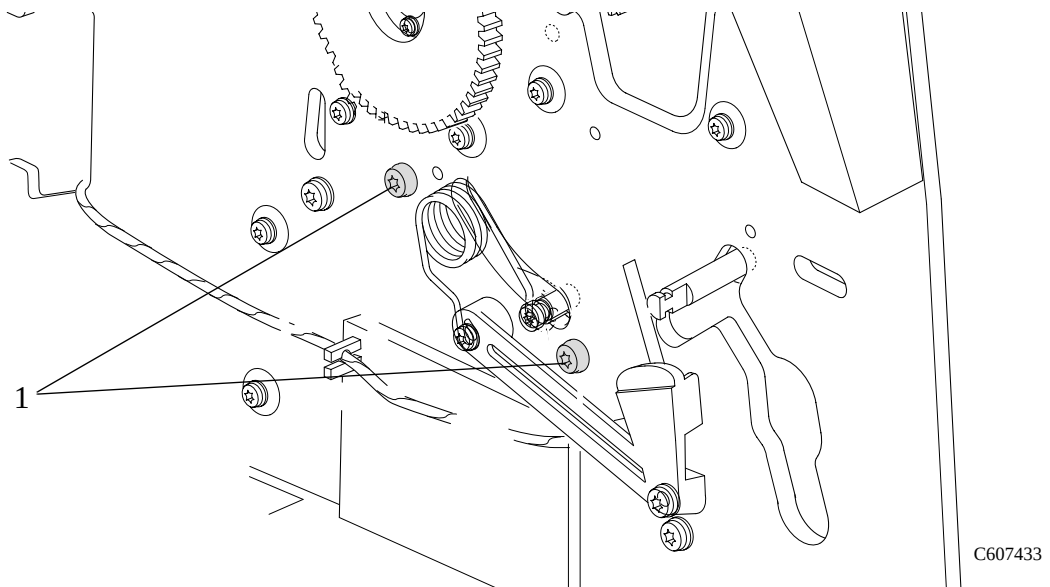
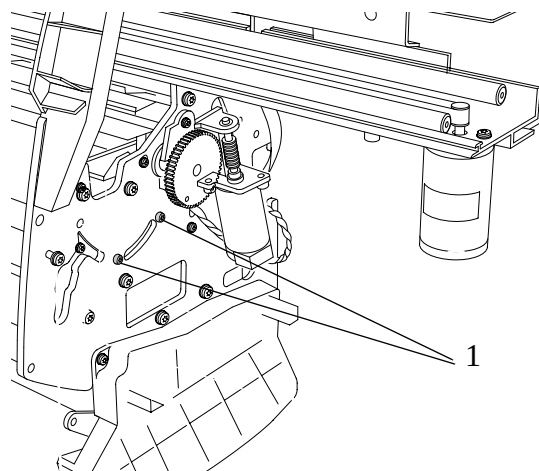


図 78 : センタ ガイド左側のネジ

- 4 センタ ガイドの右側を固定している右のサイド プレートから、2本のT-15のネジを取り外します (図79参照)。



C607432

図 79 : センタ ガイド右側のネジ

注記 再び取り付けるための、センタ ガイドを支えているピンの位置に注意してください。

注記 プリンタの正面から作業します。

- 5 センタ ガイド (部品1) を取り外します (図80参照)。
- a センタ ガイドの前部を持ち上げます。
 - b アッセンブリ全体を手前に引いて取り外します。

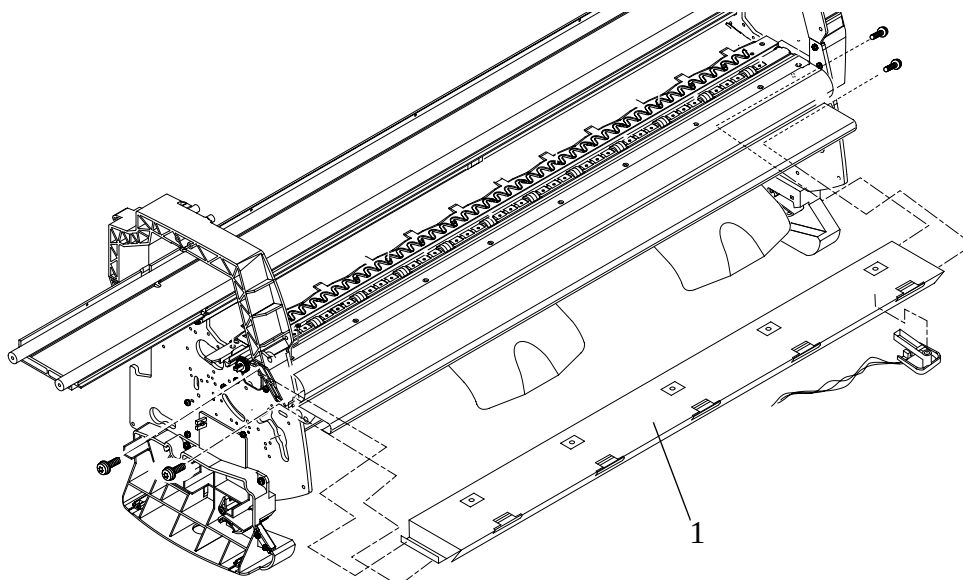


図 80 : センタ ガイド

ピンチホイール アッセンブリとカム

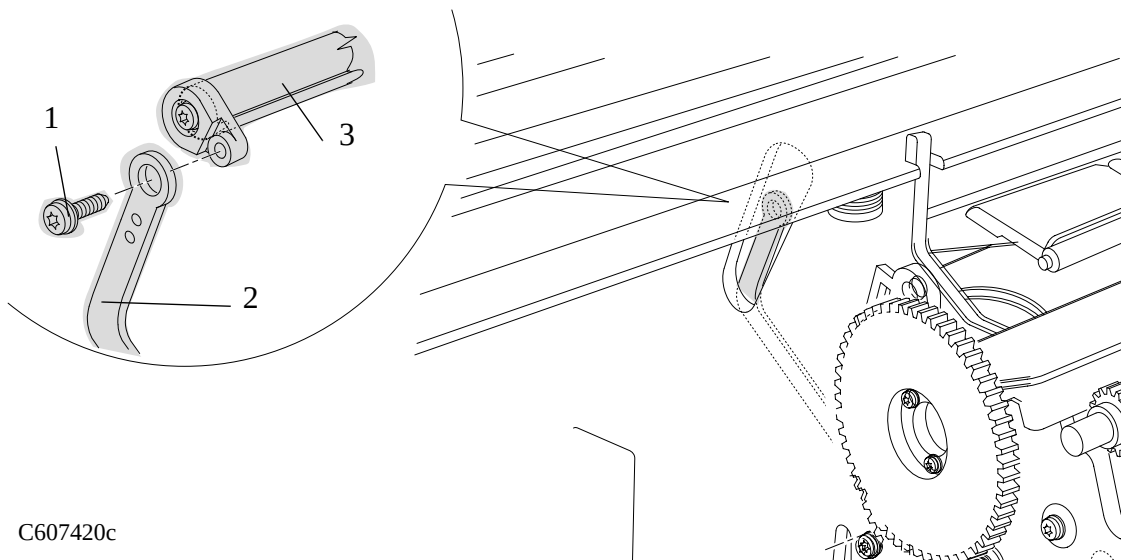
図 81 および図 82 参照。

取り外し

警告

プリンタの電源をオフにして、電源ケーブルを取り外してください。

- 1 次の部品を取り外します。
 - 1 「左側カバー」 8-13 ページ参照。
 - 2 「右側カバー」 8-4 ページ参照。
 - 3 「エレクトロニクス モジュール」 8-26 ページ参照。
 - 4 「インク サプライ システム アッセンブリ」 8-19 ページ参照。
 - 5 「クラッチ アッセンブリ」 8-21 ページ参照。
 - 6 「ローラー ガイド」 8-68 ページ参照。
- 2 リンケージ ロッド (部品2) をピンチホイール カム (部品3) に固定しているT-10のネジ (部品1) を取り外します (図81 参照)。



C607420c

図 81 : ピンチホイール カム

注記 プリンタの背面から作業します。

注記 手順3および4では、図82を参照してください。

- 3 ピンチアーム アッセンブリ (部品2) をスキャン軸の下に固定している12本のT-15のネジ (部品1) を取り外します。

注記 これらのネジは、同時にピンチホイール カムをプリンタに固定しています。最後のネジを取り外すときには、カムを支えてください。

- 4 スキャン軸の下からカム (部品3) を取り外します。

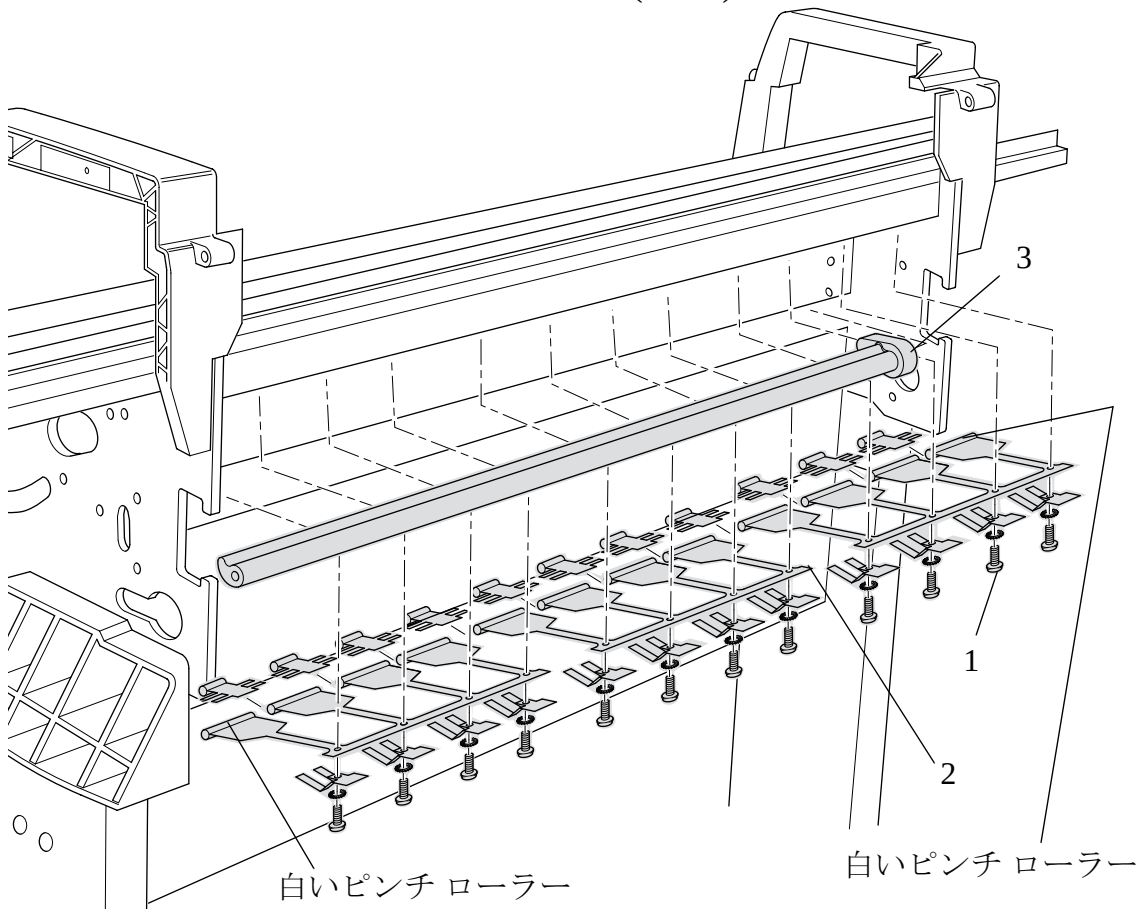


図 82 : ピンチアーム アッセンブリとカム

注記 ピンチ アッセンブリの取り付け時には、両端に白いピンチ ローラーが取り付けられていることを確認してください。

- プリンタの湿気 9-2
- キャリッジブッシングの騒音 9-2
- ベルトの膨張 9-2
- プリンタのクリーニング 9-2
- 一般クリーニング 9-2
- Overdrive Cleaning（オーバードライブのクリーニング） 9-3
- 予定保守 9-3
- プリンタ使用レベル 9-3
- スキャン軸の保守 9-4

予防保守

プリンタの湿気

プリンタは、20～80パーセントの相対湿度環境で使用する必要があります。高湿度な状態から回復するには、プリンタの電源をオフにして、リファレンスとしてメインローラーを使用し、プリンタが完全に乾いてから、再び使用してください。

キャリッジ ブッシングの騒音

キャリッジの騒音を防ぐには、キャリッジ背面のブッシングおよびブッシングが移動するスライダパスからアルミニウムやちり片を取り去ります。

ベルトの膨張

新しいベルトが不適切に膨張するのを防ぐには、取り付けが必要になるまで、それらを専用の袋の中に保管してください。

プリンタのクリーニング

プリンタをよい使用条件に保つには、ほこり、インク、その他の汚れを放置しないようにしてください。クリーニングの間隔は、プリンタ環境および使用しているプリンタサプライ品の種類によって決まります。

一般クリーニング

一般的なクリーニングには以下が含まれます。

- 1 圧縮エアーで積もったほこりを吹き払います (使用可能な場合)。
- 2 石鹼および中性洗剤をうすめて使用してください。研磨剤入り洗剤は使用しないでください。
- 3 毛羽立ちがなく柔らかい布でプリンタを拭いて乾かします。

Overdrive Cleaning（オーバードライブのクリーニング）

注記

オーバードライブにインクがこぼれたら、インクを拭き取ってください。インクの反射率のために、オーバードライブにこぼれたインクによってプリンタのエッジ検知機能に混乱が生じることがあります。オーバードライブからインクを拭き取るには、以下の手順を行います。

警告

電子部品または回路の上や、開口部の中のモジュールに、水やその他の液体がかからないようにしてください。

- 1 Overdrive Cleaning（オーバードライブのクリーニング）ユーティリティを実行します ⇒ 4-38 ページ
- 2 立ちがなく柔らかい布切れに浸し、オーバードライブを回転させながら表面を拭きます。オーバードライブの表面を隅々までクリーニングします。その後、乾拭き（中性洗剤を使用した場合は、水拭き後に乾拭き）します。また、ドライバローラーの左側のマーク エンコードも必ずクリーニングしてください。
- 3 クリーニング手順が完了したら、入力ボタンを押します。
- 4 プリンタに用紙を取り付ける前に、オーバードライブが乾くまで待ちます。

予定保守

プリンタ市場の一部の分野では、カスタマが、設計の限界を越えて許容スループットである最大印刷数より多くの枚数を印刷する傾向にあります。これにより、出力品質に問題が生じたり、継続的なプリンタの故障の原因になったりします。

予定された予防保守の目的は、これらの故障を防ぎ、全製品の耐用期間内に優れた性能を確保することです。

プリンタ使用レベル

標準プリンタのキャリッジ サイクルは平均7,500,000回です。標準的な使用条件下では、およそ5年ごとにプリンタの保守が必要になります。使用頻度が高い場合は、さらに頻繁に保守サービスが必要となります。

EEROM カウンタのうちの1つが、キャリッジ サイクル数のカウントに割り当てられています。プリンタがこの数を超

えると、次のメッセージがフロントパネルに表示されます。

「ホシュガヒツヨウデス」

サービス構成プリントでは使用情報も提供され、ユーザによるアクセスが可能です。

「ホシュガヒツヨウデス」というメッセージが表示されたら、予防保守キットを使ってプリンタの消耗の激しい部品を交換する必要があります。必要な部品を交換するためのガイドとして、本サービス マニュアルの「取り外しと取り付け」の章を参照してください。

予防保守キット - 製品番号 C6072-60143

スキャン軸の保守

スキャン軸モーターの消耗に加えて、用紙からのインク粒子やほこりの蓄積およびスライダ ロッド付近の空気により、この領域の摩耗が増大します。

スキャン軸の保守には、スライダ ロッドの正しいクリーニングとロッドへの減摩剤のオイル塗布が必要です。

注記

最もクリーニングが必要な部分は、ロッドの上部と内側です。

はじめに	10-2
HPデザインジェット1050Cプリンタ	10-2
HPデザインジェット1055CMプリンタ	10-2
エレクトリカル システム	10-2
電源ユニット (PSU)	10-3
ソフトパワーオフ スイッチ	10-4
フロントパネル	10-4
インク システム (IDS)	10-5
インク サプライ ステーション (ISS)	10-5
チューブ システム	10-6
エアー プレシャライゼーション システム (APS)	10-7
インク レベル センス (ILS)	10-8
インク漏れ検知システム (LDS)	10-9
サービス ステーション	10-9
プリント ヘッド クリーナ (PHC)	10-10
キャップ	10-11
ワイパ	10-11
スピトゥーン	10-11
スナウト ワイパ	10-12
ハンドルと印刷ラベル	10-12
Printer Specifications	10-13
Printable Area	10-17
Interface Specifications	10-18
法定規格通知	10-19
Declaration of Conformity	10-23

はじめに

本章では、HPデザインジェット1050C/1055CMプリンタサーキットおよび機械的な機能について簡単に説明します。機械的およびプリントサーキットアッセンブリ (PCA) の概要では、どのようにプリンタが動作するのかが機能的に説明されています。

HP デザインジェット 1050C プリンタ

HPデザインジェット1050Cには、ネットワーク インタフェースと16MBのメモリが搭載されていますが、ハードディスクドライブは含まれていません。

HP デザインジェット 1055CM プリンタ

HPデザインジェット1055CMには、ネットワーク インタフェース、32MBのメモリ、および2.1GBのハードディスクドライブが搭載されています。ポストスクリプトにも対応しています。

エレクトロニカル システム

プリンタのエレクトロニカル システムは、6つの主要なブロックと関連ケーブルで構成されています。

- 電源ユニット：あらゆる国の主電源に接続しても、電源ユニットは、エレクトロニカル システムに、24V、5V、3.3V、-15Vを供給します。この装置には、システムの電源が切れたときにファームウェアを制御したり、フロントパネルに対して高電圧ケーブルを不要にしたソフト電源切り替え機能が備わっています。
- メイン エレクトロニクス：このブロックには、プリンタの入出力、演算処理装置、およびモーターとセンサの大部分の制御装置が含まれています。モーターおよびセンサ自体はプリンタの至る所に配置され、ケーブル経由でメイン エレクトロニクスに接続されています。
- キャリッジ：プリントヘッドに接続されます。このブロックでは、電源の供給だけでなく、プリントヘッドのモニタと保護も行われます。また、ウォーミングの制御や継続的な点検を行う機能だけでなく、ラインセンサを制御する機能もあります。キャリッジ エンコーダ

は、このブロックにも配置されています。

- インク サプライ ステーション：インク サプライ ステーションはインク カートリッジ サプライ品に接続され、気圧 (ポンプ、センサ、バルブ) の制御だけでなく、インク レベルの確認およびサプライ ラッチ センサの制御も行います。
- サービス ステーション：ドロップ検出の実行に必要なエレクトロニクス、キャッピング、ワイピング、およびスピittingのためのDCモータ/エンコーダ、および充填のためのステッパモータが含まれています。
- フロントパネル：ユーザ インタフェースです。LCDディスプレイ、ボタン パネル、および6つのLEDで構成されています。

電源ユニット (PSU)

PSUは、あらゆる状況において製品が必要とする電源の供給に使用されます。以下の最大出力電流で、+5V、+3.3V、-15V、+24Vがメイン ボードに供給されます。

電圧	最大出力電流 (A)	システム
+3.3	12.0	マイクロプロセッサ、メモリ、デジタル ロジック
+5.0	3.0	デジタルおよびアナログ ロジック
+24.0	13.5	アナログ電源システムおよびキャリッジ電圧供給
-15.0	0.1	フロントパネル補助電圧

PSUはエレクトロニクス エンクロージャに格納されており、メイン ボードとの次の2つの接続があります：電圧供給接続と補助出力接続。電圧供給接続は、14本のワイヤで15ピン コネクタを経由して実装されており、+3.3V、+5V、+24Vの電圧およびアース ラインをエレクトロニクスに供給します。補助出力コネクタは、-15Vの電圧、PSUプリセット信号およびソフト パワー オフ信号を提供します。PSUプリセット信号は、PSUがオンの状態でこのラインがオープン状態のとき、あるいは+3.3Vおよび+5V出力が電圧変動範囲外になる最低3分前に、接地する信号のスイッチをオフにする必要があるときに、PSUによって生成される論理信号です。パワー オフ信号は、メイン エレクトロニクスによって生成される信号で、電源をオフにするのに

使用されます。PSUがオンの状態で信号が作動していないとき、あるいは信号がメイン エレクトロニクスによって接地されるとき、PSUのスイッチがオフになります。

ハード スイッチと共に実装された電源への入力コネクタがあり、80～264Vの範囲の入力電圧が供給されます。

ソフト パワーオフ スイッチ

フロントパネルには、制御された方法で製品のスイッチをオフにするパワー オフ スイッチがあります。

スイッチが作動し、ファームウェアによっていくつかのサブシステムがオフになり、製品に関する情報がEEROMに保管されると、製品のスイッチを切るためにPSUにソフト パワー オフ信号が接地されます。ソフト パワーオフ スイッチの主な目的は、システムの電源をオフにする製品や、電源がオフになる前にそれを通知する製品の信頼性を高めることです。

フロントパネル

ユーザは次の2つの方法でプリンタを操作できます。入出力チャンネル経由でホストから操作する方法とフロントパネル経由で直接操作する方法です。フロントパネルは、メッセージ (マシンのステータスまたは警告など) の表示、プリンタの設定 (出力品質の設定またはパレットの定義など)、およびコマンドの送信 (ジョブのキャンセルまたはデモの印刷など) に使用されます。ある出力のヘッダと共に送信される設定が、その出力にのみ適用され、次の出力のフロントパネル設定を無効にしないことが重要です。

フロントパネル モジュールには、LCDディスプレイ、10個のボタン、6個のLED、および1つのビープ音を出す機構があります。

フロントパネル ディスプレイは128×64ピクセルのグラフィックLCDです。すべてのピクセルが個々に作動し、フロントパネル ボード上にあるコントローラによって、ディスプレイ上にテキストとグラフィックスを同時に表示することができます。ディスプレイには、その表示特性を向上させるためのLEDバックライトが搭載されています。バックライトはソフトウェアによってオン/オフに切り替

えることができます。LCDのコントラストも調整できます。

ボタンは4つのグループに分けられます。

- 左下にある2つのボタンは、**出力品質** (高品質、標準、高速) およびカラー/モノクロ印刷を選択するのに使用します。ボタン最上部のLEDには、選択したオプションが表示されます。
- 左上の2つのボタンは、次のコマンドをプリンタに直接送信するのに使用します。**キャンセル**および**排紙/カット**です。
- ディスプレイの右にある5つのボタンは、メニューを介してナビゲートするのに使用します。**戻る**、**入力**、**↑**、**↓**、**メニュー**。(メニューというデモ出力を印刷すると、完全なメニュー ツリーが得られます)。
- 右上にある1つのボタンは、電源のスイッチをオン/オフにするのに使用します。このボタンは、プリンタ背面にあるハード パワー オン/オフ スイッチに対比して、ソフト パワー オン/オフ スイッチと呼ばれます。ビープ音を出す機構は、音で聞こえるフィードバックをユーザに提供するのに使用されます。

インク システム (IDS)

インク システム (IDS) は、常設のチューブ経由で、大容量のオフ アクシス インク カートリッジからHPデザインジェット1050C/1055CMプリンタの高スループット プリントヘッドにインクを送ります。

IDSは5つの主要なサブシステムで構成されています。

- インク サプライ ステーション (ISS)
- チューブ システム
- エアー プレシャライゼーション システム (APS)
- インク レベル センシング (ILS)
- インク漏れ検知システム (LDS)

インク サプライ ステーション (ISS)

プリンタには、インク サプライ ステーション (ISS) 内にインク カートリッジがあります。このモジュールはマシンの左側に位置しています。ISSには、サプライ品を囲むプラスチックハウジング、ラッチ メカニズム、およびインク カー

トリッジへの流動接続および電気接続が含まれます。また、エアー ポンプと関連チューブ、圧力軽減バルブ、および圧力センサを含むエアー プレッシャ システム (APS) をサポートしています。APS(Air Pressurization System)は、ISS 下でクリップされる交換可能なモジュールを形成します。

これらはISSの主な機能です。

- インク カートリッジのサポートと位置付け
- カートリッジ側の壁のクリープ制限
- カラーおよびインクの不正な挿入の防止
- インクの漏れ防止
- エアー プレッシャライゼーション システム (APS) のサポート

チューブ システム

チューブ システムは、以下の機能を実行するアッセンブリです。

- インクカートリッジから送り出されたインクをプリントヘッドに供給する。
- ポンプからインク カートリッジに空気を供給する。
- プrintヘッドに送られるまでインクを良い状態に保つ。
- カスタマ先でのインク漏れを最小限に防ぎます。

チューブ システム アッセンブリの主な機能グループは、チューブ ルーティング、つまりチューブとプリントヘッドの流体接続です。

チューブは、チューブ ガイドによって定義されたボリューム内部を前後に移動します。チューブ ガイドは、相反するU字形プロファイルを持つ1組の薄板部品です。チューブの移動はガイド内部に制約されており、よじれの防止に役立ちます。チューブ ガイドの主な機能は以下のとおりです。

- チューブの両方向移動をサポート。水平方向と垂直方向。
- チューブ キャリアに適正なスライディング表面を提供。
- 交換の際、チューブに容易にアクセス可能。

疲労応力制限のため、チューブとガイドの間のスペースは、チューブの圧力と利用可能なスペースとを折衷したものになります。

チューブは水平方向のループ内をルーティングし、キャリアリッジ上に接続されます。チューブは、チューブ キャリア

と呼ばれる保護用ガイドの内部を通過します。チューブ キャリアは、2つの異なる機能を持つ2種類の素材を使った押し出し部品です。

- 基本素材。この素材は部品の構造に使用されています。これは、キャリッジにかかる負担を軽減するためのゴムに似た素材です。この素材は安価で耐久性に優れていますが、摩擦係数が高く、耐摩耗性が低いので、チューブガイドでの使用には適していません。
- 保護リブ。摩擦の影響を受けやすい外側のチューブ キャリア プロファイル部分で、保護を必要とします。これらのリブは、優れた耐久性と非常に低い摩擦係数を持つ硬質のプラスチックで作られています。

チューブ キャリアの主な機能は以下のとおりです。

- チューブが摩損するのを防ぎ、それらを良好な状態に保つ。
- 低い摩擦係数を保つ。
- チューブに加わる負荷を回避する。

エアー プレシャライゼーション システム (APS)

APS(Air Pressurization System)は、インク カートリッジのインクの与圧を制御するシステムです。このシステムの主要な“「使命」”は、必要な印刷速度で、個々のプリントヘッドの注入口において必要最小限のインク圧を確保することです。この圧力の目的は、滴下重量の制御に必要な制限内で、プリントヘッドの内圧を維持できる速さでプリントヘッドにインクを補充することなので、制御が必要なのは最小圧力だけであることに注意してください。また、APS(Air Pressurization System)は、チューブ パージとプライムする際に圧力を与えます。

使用されるメカニズムは、気圧のフィードバック制御による低圧のエアー システムです。

エアー サーキットには、インク カートリッジ、フレキシブル エアー チューブ、チューブのマーホールド コネクタ、DC モータ駆動エアー ポンプ、双方向ソレノイド バルブ、およびアナログ圧力センサが含まれています。接続は、インクに使用される同じニードル/セプタム システムにより、各インクカートリッジごとに確立されます。また、チューブと、チューブ システムおよびAPS(Air Pressurization System) モジュールに接続したままのマニホールドとの間に、“「ク

イック接続」”もあります。

APS(Air Pressurization System)モジュールは、1つのシャーシ内にエア ポンプ、圧力軽減バルブ、および圧力センサを置く交換可能なサービス モジュールです (インク受けが二重にあります)。このアッセンブリは、ISSハウジング下で固定されています。

APS(Air Pressurization System)は、周囲のエアーを与圧することによって、カートリッジ バッグ内のインクを与圧します。プリンタは、センサからのフィードバックにより、ポンプを使って空気圧を制御します。必要に応じて、エアサーキットを減圧するためにバルブが開きます。したがって、この気圧により、プリントヘッドに対するインク圧が注入口で制御されます。印刷のシステム圧は、できるだけ高いフロー レートにプリントヘッド注入口の圧力を確保するよう設定されています。

インク レベル センス (ILS)

プリンタには、オフアクシス インク サプライ内に残っているインク量を確認する、インク レベル センシング (ILS) と呼ばれるサブシステムがあります。プリンタで使用するインク サプライ品は、圧力シエル内の折りたたみ可能なインク バッグで構成されています。2つのコイルがバッグの外側に取り付けられて、それらが可変変圧器を形成するように互いに整列されます。変圧器の結合係数は、両コイル間の距離の関数です。つまり、それはインクの残留量に依存します。これらの2つのコイルは、接続パッドとインク漏れ検出パッドも含むフレックスPCBの一部です。

ISSボードには、この可変変圧器を使ってインクのレベルを測定するのに必要なエレクトロニクスが含まれています。回路は、一次コイルに適用される励磁信号を生成し、一次コイルを流れている電流と二次コイルで誘発される電圧を読み取ります。二次コイルでの電圧と一次コイルでの電流の比率が、結合係数の測定値になります。

インクの残留量が減少すると測定された比率は増大しますが、その関係は線形ではありません。バッグを折りたたむプロセスが複雑なため、経験的關係は実験的な方法で得られた説明データを使って開発されています。比率と残留インクの曲線は、使用可能なサプライ品のサイズごとに異なります (175ccと350cc)。

ISSボードには、容器のステータスを確認するのに必要な

電気回路図も含まれます。これは、一次コイルと二次コイルの両方の電氣的な連続性を点検したり、バッグがインク漏れでないかどうかを検出したりすることができます。この最後の機能は、フレックスPCBにある2つのインク漏れ検出パッド間の電流の流れを測定することによって実行されます。

インク漏れ検知システム (LDS)

インク漏れ検知システム (LDS) の目的は、インク カートリッジからプリントヘッドにインクを送るチューブに破損がないかを検出することです。

チューブ ルーティングでは、チューブは湾曲部で継続的に圧迫されます。キャリッジが左右に移動するとき、チューブの圧迫される部分も移動して疲労サイクルを生じます。

チューブが折れると、小さな割れ目ができます。システムが与圧されると、インクは割れ目を通して流れ、チューブとチューブ キャリアの間に着いて、いっぱいにしてしまいます。

チューブ キャリアのキャリッジの両端は、チューブ キャリアにオーバーモールドされたO型リングでふさがれています。このジョイントによって、キャリッジへのインクの漏れが防止されます。キャリッジの一方の端がふさがれると、インクはプリンタに固定されている他方の端に移動します。チューブ キャリアの両端には、重力によってチューブ キャリアから滴下するインクを保存するインク コレクタがあります。

インク コレクタには、抵抗を点検する2本の金属ピンがあります。漏れがないときは、エアーが存在し、抵抗の測定値は高くなります。漏れがある場合は、コレクタがインクを含み、インクを貫通する両電極の間に潜在的なショートがあり、インクの漏れが検出されます。

LDSによってコレクタの抵抗が測定されます。この抵抗がしきい値より下の場合、コレクタ内にインクがあると見なされ、プリンタは停止されます。

サービス ステーション

サービス ステーションは線運動のメカニズムから成り、各プリントヘッドごとに1つのプリントヘッド クリーナ

(PHC) を含むシャーシがあります。各PHCは、1つのスピトウーン、容器、スレッドタイプのキャップ ノズル ワイパ、およびペン スナウト ワイパから成ります。サービスステーション シャーシに取り付けられ、1つの光学式ドロップ検出機構によってノズル点検機能が提供されます。

ワイパはPHC上に対称的に配置されています。これにより、スキャン軸と プリントヘッド間の距離 (32 mm) と共に、別々のカラー /黒のワイパが可能になります。

インクの排出を誘発するために、プリントヘッド レギュレータ バッグにエアーを注入し加圧するプライム システムが実装されています。空気をバックの口まで送るエアーフロー チャネルは、ラッチ システム スプリングビームに組み込まれています。プライム ポンプは、サービスステーションの右側に設置された連結レバーに組み込まれています。プライム プロセスは、無駄なインクを制御し、プライム後のサービス ルーチンを容易にするために、個々のスピトウーン上の各プリントヘッドで動作します。

プリント ヘッド クリーナ (PHC)

PHCケースは交換モジュールの主要な構成部分です。それはカスタマが扱う部品で、他のサブコンポーネントを含みます。

- ワイパ
- スピトウーン
- 洗浄液
- キャップ スレッド アッセンブリ

キャップ

キャップの目的は、プリンタがアイドル状態の間ノズルが乾くのを防ぐことです。キャップによってプリントヘッドが密封され、インクを少量を含む密閉された高湿度室が形成されます。キャップは、各プリントヘッドの機能を参照することによってプリントヘッドに自動軸調整します。

ワイパ

ワイピング (拭き取り) 機能とは、プリントヘッドの耐用期間にわたって良好なドロップ イジェクションとノズル性能が維持されるように、インクの残留物と外部の破片をプリントヘッドから取り去ることで、リニア ワイパ モーションは、0.2~6.0ipsのプログラム可能な速度でノズル行の方向 (キャリッジ モーションの方向に直角) で起こります。最大ワイピング力は2Nです。

スピトゥーン

インクの予備噴射とは、すべてのプリントヘッド ノズルをコンテナ (スピトゥーン) へ噴射させる動作です。スピトゥーンへのインクの予備噴射は、ノズルから粘性のプラグを取り除いたり、ノズルからインクの固まりを取り除いたりするために、定期的に行われます。PHCスピトゥーンは、50ccの吐き捨てられたインクを保持するようにデザインされています (蒸発のため水の含有量はほとんどありません)。

PHCを交換するときにインクが流出するのを防ぐために、カラー スピトゥーンには、毛管効果によりインクを流出させないスポンジがあります。

黒いインクにはスポンジはありません。黒いインクは顔料で、顔料インクは予備噴射時にスポンジの表面上に蓄積することが証明されています。顔料インクのPHCにスポンジを含むと、プリントヘッドに当たってノズルが作動しなくなる可能性のある石筈を作成します。

黒いインクは非常に速く乾きます。その際、傾けられたときにスピトゥーンから落ちないインクの固体ブロックが作成されます。ほとんどの場合、スピトゥーン内にいっぱいになっている液状インクがこぼれ出る確率は非常に低いといえます。

スピトゥーンの寿命を短くする可能性のある高く細い石

筈が大きくなるのを防ぐために、プリントヘッドは4つの異なる場所 (スキャン軸) でランダムにインクの予備噴射を行います。

スナウト ワイパ

スナウト ワイパは、ワイピング (拭き取り) 操作のためにペンのスナウト (接点側の垂直方向の角) に溜まるインクのクリーニングに使用されます。これは、ペンを交換時にインクが接点上に付いてしまうこと、および接点パッド間でインク ショートが発生するのを防ぐ目的で行われます。

ハンドルと印刷ラベル

ハンドルはPHCの取り外しと取り付けに使用されます。また、プリンタはハンドルの上部表面を使って、以下を認識するためにいくつかのパターンを印刷およびスキャンします。

- PHCが存在するか、存在しないか。
- PHCが新しいか、既に使用されているか。

さらに、ハンドル上には、問題があつてEEROMが消去される場合にサービス ステーション (スキャン軸) を校正するための組み込みマーク (垂直の穴) があります。

Printer Specifications

Functional Specifications				
HP No.80 Supplies	Four colors: : cyan, magenta, yellow and black.			
	Printheads:	600 dpi	12.0 kHz (Cyan, Magenta, Yellow). 12.0 kHz (Black).	
	Printhead Cleaners:	Cyan, magenta, yellow and black.		
	Ink Cartridges:	Cyan, magenta, yellow, each containing 175cc or 350cc of ink Black contains 350cc of ink.		
Paper sizes	Width (carriage axis)		Length (paper axis)	
	Minimum	Maximum	Minimum	Maximum
Roll	610mm	917mm	600mm	The maximum length depends on the amount of memory the printer has.
Sheet	210mm A/A4	E/A0	210mm A/A4	1.6m
Paper types	Plain Paper HP Translucent bond HP Bright White Inkjet paper HP Vellum HP Coated paper HP Heavy coated paper HP High-gloss photo paper HP Matte film HP Clear film HP Natural tracing paper Thin natural tracing paper (greater than 70 g/m ²)			
From time to time, new paper types may become available.For up-to-date information, please contact your HP dealer or our web site www.designjet-online.hp.com . Also see the <i>Supplies Source</i> catalog and (in Europe and USA) <i>HP Paper Guide</i> . For alternative names, HP commercial names and physical characteristics of these paper types, see chapter 3.				
Print resolution by mode setting	Draft Normal Best	300 x 300 dpi 600 x 600 dpi 600 x 600 dpi. Addressable 1200 x 600 dpi. (Grayscale prints in Best)		

Functional Specifications				
	Roll (normal)	Sheet (normal)	Roll (extended)	Sheet (extended)
Margins	Side Margins 5mm Leading edge Margin 10mm Trailing Edge Margin 5mm	Side Margins 5mm Leading edge Margin 10mm Trailing Edge Margin 15mm	Side Margins 15mm Leading edge Margin 10mm Trailing Edge Margin 5mm	Side Margins 15mm Leading edge Margin 10mm Trailing Edge Margin 15mm
Programming languages supported	CALS G4 (Type I) HP-GL HP-GL/2 (with Kanji Level 1 and 2 character sets) HP-RTL (with color extensions) PJI, PML Adobe PostScript 3 (supports Asian languages) VAREWARE			
Accuracy	0.2% of the specified vector length at 23°C (73°F), 50-60% Relative Humidity, on HP special polyester film.			

Physical Specifications				
Type	Weight	Length	Depth	Height
E size printer	59 kg without stand 81 kg with stand	1566mm	675mm	1290mm

Memory Specifications		
Memory	Up to 128 Mbyte DRAM (2 x 64 Mb DIMMs)	2.0 Gb Hard Disk (As standard in the 1055CM)

Printer Power Specifications	
Source	100-240 V ac $\pm 10\%$ autoranging
Frequency	50-60 Hz
Current	3 amp maximum.
Consumption	200 watts maximum.
Energy Star rating (USA)	Maximum power in idle state: 45 watts.

Ecological Specifications	
Energy efficiency	Compliant with Energy Star Program EPA (US).
Manufacturing process	Free of ozone-depleting chemicals (Montreal Protocol).
Plastics	Free of brominated flame retardants (PBB and PBDE). All housing parts made of the same material: ABS. Parts marked according to ISO 11469 standard.
Metals	Enclosures made of electro-galvanized steel sheet.
Packaging	Cardboard (non-chlorine-bleached) and foam are 100% recyclable. Inks used for printing do not contain heavy metals.
User Documentation	Majority can be recycled, not bleached with chlorine and printed with inks that do not contain heavy metals. For specification of this User's Guide see the back cover.
Batteries	Not used.
Recyclability	Modular construction, connecting elements snap-type can be re-used, screws easy to find and disassembly done using universal tools.

Environmental Specifications		
Operating Range	Printing:	15°C to 35°C (59° F to 95° F) RH 20% to 80%.
	Optimal print quality:	22°C~26°C (72° F~79° F) RH 30% to 60%.
	Acceptable print quality:	15°C~30°C (59° F~86° F) RH 20% to 80%.
Non Operating Ranges	Printer:	-40°C~70°C (-40° F~158° F)
	Packed consumables and system:	-40°C~60°C (-40° F~140° F)

NOTE If the printer temperature falls below its minimum operating temperature it may stop to protect its ink systems.

NOTE At 3000m altitude the printer may have operational problems.

Acoustic Specifications	
Operating sound pressure	54 dB (From a one-meter bystander position)
Idle sound pressure	<30dB (A) (From a one-meter bystander position)
Operating sound power	6.5Bels (A)
Idle sound power	<4.3 Bels (A)

EMC (ElectroMagnetic Compatibility) Specifications	
Canada	Canadian Department of Communications, Radio Interference Regulations Class B ¹ compliant.
European Union	89/336/EEC EMC Directive compliant. Meets EN 55022 Class B ¹ emission limits, prEN 55024-2 ESD, prEN55024-3 Radiated Immunity, prEN 55024-4 Fast Transients.
Japan	Registered VCCI Class B ¹ .
Korea	RRL certified.
South Africa	SABS licensed.
USA	Federal Communications Commission. Class B ¹ computing device. CFR 47 Part 15
Australia New Zealand	Meets AS/NZS 3548
Taiwan	BCIQ certified

¹ Product exhibits Class A operation when connected to LAN cables using Print Server accessories

Printer Safety Specifications	
Information Technology Equipment (ITE), Movable, Class I, Plugable Type A, Installation Category II, Pollution Degree 2, For indoor controlled office environments use.	
Canada	Canadian Standards Association “Certified” ITE, CSA C22.2 No.950
European Union	73/23/EEC Low Voltage Directive compliant. Meets EN 60950
Mexico	DGN, NOM019-SCFI-1994 certified
Norway	NEMKO approved, KEN 60950, EMKO TSE(74)DK207/94
USA	Underwriters' Laboratories “Listed” ITE, UL 1950
China	CCIB certified GB 4943-90 1st Ed.
Czech Republic	EZU, IEC950 certified.
Singapore	PSB, SS337 certified.
Poland	PCBC certified.
Russia	GOST certified.

Printable Area

Printing Area (= Paper Size Minus Margins)						
	Paper Size (and Orientation of Paper)		Printing Area (Width x Height) by Orientation of Image			
			inches		millimeters	
			landscape	portrait	landscape	portrait
ANSI paper	A	(portrait)	9.5 x 7.2	7.2 x 9.5	243 x 185	185 x 243
	A	(landscape)	9.8 x 7.0	7.0 x 9.8	249 x 180	180 x 249
	B	(portrait)	15.5 x 9.8	9.8 x 15.5	395 x 249	249 x 395
	B	(landscape)	15.7 x 9.5	9.5 x 15.7	401 x 243	243 x 401
	C	(portrait)	20.5 x 15.7	15.7 x 20.5	522 x 401	401 x 522
	C	(landscape)	20.8 x 15.5	15.5 x 20.8	529 x 396	396 x 529
	D	(portrait)	32.5 x 20.7	20.7 x 32.5	827 x 528	528 x 827
	D	(landscape)	32.8 x 20.5	20.5 x 32.8	834 x 523	523 x 834
	E	(portrait)	42.6 x 32.8	32.8 x 42.6	1082 x 834	834 x 1082
Architectural paper	A	(portrait)	10.5 x 7.8	7.8 x 10.5	268 x 119	199 x 268
	A	(landscape)	10.8 x 7.6	7.6 x 10.8	275 x 193	193 x 275
	B	(portrait)	16.5 x 10.8	10.8 x 16.5	421 x 275	275 x 421
	B	(landscape)	16.8 x 10.5	10.5 x 16.8	427 x 269	269 x 427
	C	(portrait)	22.6 x 16.8	16.8 x 22.6	574 x 427	427 x 574
	C	(landscape)	22.8 x 16.5	16.5 x 22.8	580 x 421	421 x 580
	D	(portrait)	34.5 x 22.8	22.8 x 34.5	878 x 580	580 x 878
	D	(landscape)	34.8 x 22.6	22.6 x 34.8	884 x 574	574 x 884
	E1	(portrait)	40.5 x 28.8	28.8 x 40.5	1031 x 732	732 x 1031
	E	(portrait)	46.5 x 34.8	34.8 x 46.5	1183 x 884	884 x 1183
ISO paper	A4	(portrait)	10.2 x 7.0	7.0 x 10.2	261 x 180	180 x 261
	A4	(landscape)	10.1 x 6.8	6.8 x 10.1	257 x 174	174 x 257
	A3	(portrait)	15.1 x 10.5	10.5 x 15.1	384 x 267	267 x 384
	A3	(landscape)	14.9 x 10.2	10.2 x 14.9	380 x 261	261 x 380
	A2	(portrait)	21.9 x 14.9	14.9 x 21.9	558 x 380	380 x 558
	A2	(landscape)	22.2 x 15.1	15.1 x 22.2	564 x 384	384 x 564
	A1	(portrait)	31.6 x 21.8	21.8 x 31.6	805 x 554	554 x 805
	A1	(landscape)	31.5 x 20.6	20.6 x 31.5	801 x 524	524 x 801
	A0	(portrait)	45.3 x 31.5	31.5 x 45.3	1153 x 801	801 x 1153
For margins, see page 5-9. This table is calculated using normal margins.						

Interface Specifications

Below are the parallel interface specifications.

For specifications of the HP JetDirect Print Server (Network Interface), see the JetDirect Print Server documentation supplied with the Print Server Interface or consult your dealer.

Parallel (IEEE-1284 compatible/Centronics) Interface			
The connector on the printer is 36-pin female. Most existing parallel cables support IEEE-1284 compatible communication, but for use with this printer, the cable must meet the specification in this table.	Pin	Wire/Signal Name	Source
	1	Strobe	computer
	2 ... 9	D0 ... D7 (data lines)	both
	10	Ack	printer
	11	Busy	printer
	12	PError	printer
	13	Select (SelectOut)	printer
	14	AutoFd	computer
	16	GND	
	19 ... 30	GND	
	31	Init	computer
	32	Fault	printer
	36	SelectIn	computer

The following cable is recommended for optimum performance and electromagnetic compatibility:

Recommended Cable for PCs and Unix Systems			
Interface type (Computer)	HP part number	Cable length	Connector type at computer end of cable
IEEE compatible/Centronics Interface (All)	C2951A	3.0m	25-pin male

NOTE

There is a small serial port at the rear of the printer, this is there for manufacturing purposes only and cannot be used to print.

法定規格通知

Material Safety Data Sheet (MSDS) の入手方法

プリンタで使用されるインク システムの現在のMaterial Safety Data Sheetが必要な場合は、下記の住所まで郵便にてお申し込みください。**Hewlett-Packard Customer Information Center**, 19310 Pruneridge Avenue, Dept. MSDS, Cupertino, CA 95014, U.S.A. Web ページ(<http://www.hp.com/abouthp/envrnmnt/contents/envfacts/hpmsds.htm>) から入手可能です。

サウンド

Gerauschemission (ドイツ) LpA < 70 dB, am Arbeitsplatz, im Normalbetrieb, nach DIN 45635 T.19.

電磁整合性 (EMC)

FCC基準 (米国) 米国連邦通信委員会 (47 cfr 15.105) により、この製品の使用者に対して以下を通知することが規定されています。

製品ID番号：

プリンタ	デザインジェット 1050C	デザインジェット 1055CM
モデル	C6074A	C6075A

この装置は、FCC (連邦通信委員会) 基準第15部に準拠しています。操作には、次の2つの条件が必要となります：(1) この装置によって電波障害を引き起こさないようにすること。(2) この装置によって他の受信機に受信障害を与えないようにすること。

シールド ケーブル

シールド データ ケーブルは、FCC基準第15部のクラスB制限に従って使用する必要があります。

注意

Hewlett-Packard 社の明確な承認なしに、この装置に変更または部分修正を加えたことによって電波障害が引き起こされた場合、FCC 基準第 15 部 21 項に従って、この装置に対する FCC 認可は無効となります。

注記：この装置はテスト済みで、住宅地域での電波障害防止を目的とした、FCC基準第15部に準拠するクラスBデジタル機器の制限に従っています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、放射しますので、取り扱い説明書に従って正しく取り付けおよび使用しないと、ラジオやテレビ受信機等に受信障害を与えることがあります。特定の装置で電波障害が発生しない保証はありません。この装置がラジオやテレビ受信機に受信障害を与える場合は、装置の電源をオン/オフにして障害を確かめてください。また、受信障害を回避するために、以下の操作のうちのいくつかを行うことをお勧めします。

- a 受信アンテナの向きを変える
- b 装置と受信機との間の距離を離す
- c 受信機を接続しているコンセントとは別の回路のコンセントに装置を接続する
- d 販売店または経験豊かなラジオ/テレビの技術者に相談する

連邦通信委員会が発行する小冊子「*How to Identify and resolve Radio-TV Interference Problems*」には、便利な情報が掲載されています。この小冊子は米国政府印刷局 (Washington, DC 20402) で入手可能で、在庫番号は004-000-00345-4です。

プリント サーバ アクセサリを使っ てLANケーブルに 接続する場合...	この装置はテスト済みで、商工業地域での電波障害防止を目的とした、FCC基準第15部に準拠するクラスAデジタル機器の制限に従っています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、放射しますので、取り扱い説明書に従って正しく取り付けおよび使用しないと、ラジオやテレビ受信機等に受信障害を与えることがあります。この装置を住宅地域で使用すると電波障害の原因となることがあり、その場合は使用者が個人の負担において電波障害の改善に必要な処置を施さなければなりません。
Normes de securite (Canada)	Le présent appareil numérique n'émet pas de bruits radioélectriques dépassant les limites applicables aux appareils numériques de Classe B prescrites dans le règlement sur le brouillage radioélectrique édicté par le Ministère des Communications du Canada. Connecté à un réseau par des accessoires de serveur, l'appareil n'émet pas de bruits radioélectriques dépassant les limites applicables aux appareils numériques de Classe A prescrites dans le règlement sur le brouillage radioélectrique édicté par le Ministère des Communications du Canada.
DOC statement (Canada)	This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications. When connected to LAN cables using print server accessories, this digital apparatus does not exceed the Class A limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

VCCI Class A and Class B (Japan)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（V C C I）の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

注意

IEEE802.3 もしくは Ethernet に接続されている場合、この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（V C C I）の基準に基づく第一種情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

Korean EMI statement

이 기기는 업무용으로 전자파장애검정을 받은 기기이오니 판매자 또는 사용자는 이점을 주의하시기 바라며 만약 잘못 구입하였을 때에는 구입한 곳에서 비업무용으로 교환하시기 바랍니다

Taiwanese EMI statement

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

Tele-communications General Approval (UK)

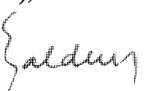
Telecommunications Statement

The HP DesignJet 1050C and 1055CM printers, models C6074 and C6075, are approved under Approval Number NS/G/1234/5/100003 for indirect connection to public telecommunication systems within the United Kingdom.

Address

Hewlett-Packard Company
Manager of Corporate Product regulations
3000 Hanover Street
Palo Alto, CA 94304
415/857-1501

Declaration of Conformity

DECLARATION OF CONFORMITY		
according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014		
Manufacturer's Name:	Hewlett-Packard Espanola S.A.	Hewlett-Packard Singapore (PTE) Ltd.
Manufacturer's Address:	Barcelona Division Avenida Graells, 501 08190 Sant Cugat del Valles Barcelona, Spain	Asia Hardcopy Manufacturing Operation 20 Gul Way Singapore 629196
Declares that the product		
Product Name:	HP DesignJet 1050C and 1055CM Inkjet Printers	
Model Number(s):	HP C6074X, HP C6075X	
Product Accessory:	All	
Conforms to the following Product Specification:		
Safety:	IEC 950 (1991)+A1,A2, A3, A4/ EN 60950 (1992)+A1,A2,A3,A4 CSA C22.2 No 950 (1995) UL 1950 (1995) NOM-019-SCFI-1994 EMKO-TSE (74) DK 207/94 GB 4943 (1995) IEC 825-1 (1993)/EN 60825-1 (1994) Class 1 for LED	
EMC:	CISPR 22:1993 / EN 55022 (1994):Class B ⁽¹⁾⁽²⁾ EN 50082-1 (1992) IEC 801-2:1991/prEN 55024-2 (1992):4KV CD, 8KV AD IEC 801-3:1984/prEN 55024-3 (1991):3V/m IEC 801-4:1988/prEN 55024-4 (1993):1KV Power Lines, 0.5KV Signal Lines IEC 1000-3-2:1995/EN 61000-3-2 (1995) IEC 1000-3-3:1994/EN 61000-3-3 (1995) FCC Part 15 - Class B/DOC-B/VCCI-B/RRL-A/BCIQ-A AS/NZS 3548 ⁽¹⁾ /GB9254:1988	
Supplementary Information:		
The product herewith complies with the requirements of the Low-Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC Directive 89/336/EEC and carries the CE marking accordingly.		
(1) Product exhibits class A operation when connected to LAN cables using print server accessories.		
(2) The product was tested in a typical system with a Hewlett Packard Personal Computer and second peripheral. An Apple Macintosh was used for Local Talk.		
Sant Cugat del Valles (Barcelona), September 30th 1998 Jordi Balderas, Quality Engineering Manager		Singapore, September 30th 1998 Kum Yew Chan, Quality Manager 
European Contact: Your local Hewlett-Packard Sales and Service Office or Hewlett-Packard GmbH, Department HQ - TRE, Herrenberger Strasse 130, D-71034 Boeblingen, Germany (FAX: +49 7031 143143)		

www.designjet-online.hp.com



Direct access to HP and the information you want, when you need it. Register now!

HP DesignJet Online is a free, web-based “user club” exclusive to HP DesignJet users. Having registered, the user has unrestricted access to a range of useful services, the emphasis being on “useful”, as this is definitely not a sales-oriented site.

Communication from HP to users includes:

- a quarterly newsletter focussing on usage tips, technical briefings and examples of HP DesignJet applications around the world;
- full information on worldwide HP Customer Care contacts;
- an on-line HP DesignJet Diagnosis troubleshooting tool;
- a calendar of HP DesignJet-related events and programs;
- on-line access to training videos and selected user documents;
- and immediate information on new products.

Communication from the users to HP includes:

- feedback on HP DesignJet features;
- automatic contact with HP Customer Care from the troubleshooting tool, for HP to follow up;
- and the chance to ask technical questions on large-format printing to industry experts.

And finally, communication from user to user includes the chance to win prizes by submitting HP DesignJet success stories, as well as a user-to-user discussion forum where users can share best practices and ask for advice from their fellow professionals.

HP DesignJet Online is available in English, German, French, Italian, Spanish and Portuguese.

用語集

ac

交流。

ANSI size

米国規格の用紙サイズ。たとえばサイズ「D」、「E」などがある。

application

描画を作成するのに使用するソフトウェア。

APS (Air Pressurization System)

エアー プレシャライゼーション システム。

Centronics

パラレル インタフェースを介するコンピュータと周辺装置間の標準。

clipping

イメージの端の部分が切り落とされること。

CMYK

プリンタに内蔵される、シアン、マゼンタ、イエロー、黒の4色のインク。標準のカラー モデル。

coated paper

片面がインクジェット専用にコートされている用紙。

default

特定の値や条件が指定される前の設定。

device

コンピュータの周辺機器。プリンタ、プロッタ、テープ ドライブなどがある。HPデザインジェットもデバイスと呼ばれる。

dpi

Dots per inch (出力解像度の測定単位)。

driver

コンピュータと周辺機器間の通信を制御するソフトウェア。

front panel

プリンタの右側にあるコントロールパネル。

front-panel menus

フロントパネルのディスプレイで設定できるオプション。

graphics language

グラフィック データを出力するためのプログラミング言語。

grayscale

カラーを黒1色のみで表現するために使用されるグレーの濃淡。

high-gloss film

光沢があり、不透明なポリエステル用紙の種類。

high-gloss photo

光沢があり、不透明なフォト用紙。

HP-GL/2

Hewlett-Packard社により開発されたプロッタおよびプリンタ用の標準グラフィックス言語。ベクタ データが生成される。HP-GLより新しい。

IDS (Ink Delivery System)

インク デリバリ システム。

I/O Input/output

コンピュータと周辺機器間のデータ転送。

inked area

相対寸法を変えずに描画の内容全体が収まる最小の長方形の領域。

ISO size

国際規格の用紙サイズ。「A1」、「A2」などがある。

ISS (Ink Supply Station)

インク サプライ ステーション。

JIS size

日本の国内規格の用紙サイズ。

LAN

Local area network (ローカル エリア ネットワーク) の略。

LDS (Leak Detect System)

インク漏れ検知システム。

long-axis printing

標準のページサイズより長いX軸 (プリンタを給紙方向の前面から見たときの垂直軸) を持つページの印刷。

margin

プリンタによりページの周囲に加えられたスペース。ページを区別する目的とページの端まで印刷されるのを防ぐ目的がある。

matte

光沢のない用紙。

media

プリンタの印刷先の物質で、通常は用紙。

nesting

複数のページを横に並べて出力し、ロール紙を節約する機能。

palette

カラーや幅が指定された論理的なペン。

Paper-axis

プリンタを給紙方向の前面から見たときの垂直軸。

PJL (Printer Job Language)

プリンタ管理用のプログラミング言語。

PML (Printer Management Language)

プリンタ管理用の言語。

parallel interface

コンピュータと周辺機器間のインタフェースの種類。一般に、シリアルインタフェースより高速。

PANTONE

PANTONE MATCHING SYSTEM®。グラフィックアート業界で使われる、色情報の国際規格。

pen

プリンタには物理的なペンはないが、プリンタの描く線は、ペンの特性を持つ。

platen

給紙スロットに引き込まれる前に用紙を保持するプリンタの外部パーツ。

printing area

ページサイズからマージンを除外した領域。

PostScript

グラフィックスやDTP用のソフトウェアで一般的に使用されるページ記述言語。

PSU (Power Supply Unit)

電源ユニット。

queueing

周辺機器が受信した各出力ファイルをメモリに記憶させ、他の出力を行うこと。

raster

イメージを線ではなくドットで定義する方法。ベクタ データと比較すると、一般的にラスタ データの方がメモリを多く使用する。

RGB (Red, green and blue)

赤、緑、青。標準カラー モデル。

RIP (Raster Image Processor)

ラスタ イメージ プロセッサ。

RTL (Raster Transfer Language)

Hewlett-Packard社により開発されたプロッタおよびプリンタ用の標準グラフィックス言語。ラスタ データを生成する。

ROM DIMM

読み取り専用のデータを含む物理的なモジュール。プリンタの背面に取り付けてアップグレードすることができる。

Scan-axis

プリンタを前面から見たときの水平軸。

semi-gloss photo

半光沢のある、不透明なフォト用紙。

spindle

ロール紙を取り付けるための芯。

索引

A

Accessories 7-34
Acoustic Specifications 10-16
APS Assembly 7-14

C

Calibration Backup
(校正のバックアップ) 5-19
Carriage Assembly 7-18
Center Guide 7-30
Clutch Assembly 7-16

D

Declaration of Conformity 10-23
Drive Roller 7-28

E

Ecological Specifications 10-15
EEPROM ユーティリティ 4-41
EIO ネットワーク カードのサービス
テスト 4-12
Electro-Magnetic Compatibility 10-19
Electronics Module 7-6
EMC Specifications 10-16
Environmental Specifications 10-15

F

Functional Specifications 10-13

H

HP DesignJet Online 10-24
HP No.80 サプライ品 3-2
一般情報 3-4
交換 3-6
トラブルの解決 3-17
HP No.80 サプライ品 3-5

I

Interface Specifications 10-18
ISS Assembly 7-14

L

Left Hand Cover 7-10
Line Sensor Calibration
(ラインセンサの校正) 5-9

M

Media Sensor 7-30
Memory Specifications 10-14

P

Paper Path 7-24
Parts List
APS Assembly 7-14
ARSS Miscellaneous Parts 7-22
Carriage Assembly 7-18
Center Guide 7-30
Clutch Assembly 7-16
Drive Roller Assemblies 7-28
Electronics Module 7-6

Ink Supply Station 7-14
Left Hand Cover 7-10
Media Sensor 7-30
Paper Path Assemblies 7-24
Pinch Assembly 7-26
Printer Support 7-2
Rear Covers 7-4
Right Hand Assemblies 7-12
Right Hand Cover 7-8
Scan-Axis Assemblies 7-20
Tubes Guide Assemblies 7-32
Window 7-10
Physical Specifications 10-14
Pinch Assembly 7-26
Printable Area 10-17
Printer Power Specifications 10-14
Printer Safety Specifications 10-16
Printer Specifications 10-13
Printer Support 7-2

R

Rear Covers 7-4
Right Hand Assemblies 7-12
Right Hand Cover 7-8

S

Scan-Axis Assemblies 7-20
Service Station Calibration
(サービスステーションの校正) 5-11

T

Tubes Guide Assemblies 7-32

W

Window 7-10

あ

アジア PS フォントの設定 4-36

い

イメージの光沢低下 1-14
インク カートリッジ 3-2
 情報を得る 3-8
インク カートリッジのステータス
 メッセージ
 インクガ アリマセン 3-11
 スグニ ナクナリマス 3-11
 ステータス バー 3-11
 ツケナオシテ クダサイ 3-12
 トリカエテ クダサイ 3-11
 フメイデス 3-12
 モウスグ ナクナリマス 3-11
 モデルガ チガイマス 3-12
インク サプライ ステーション 8-19,
10-5
インク システム 10-5
インク システムのプライミング 3-5
インク プレッシャ システムのサービ
 ス テスト 4-17
インク レベル センス 10-8
インク漏れ検知 8-62
インク漏れ検知システム 10-9
印刷にトラブルの原因なし 6-21
印刷モード 6-3

う

ウィンドウ 8-31
ウィンドウ スイッチ 8-7

え

エアー プレシャライゼーション シス
 テム 8-20, 10-7
エレクトリカル システム 10-2
エレクトロニクス システムのサービ
 ス テスト 4-5

エレクトロニクス モジュール 8-26
エンコーダ ストリップ 8-35

お

オーバードライブのクリーニング 4-40
帯状のムラ 1-13, 6-9

か

解決

イメージ品質に関するトラブル 1-3
カッター アッセンブリ 8-44
カット紙 1-14
カム 8-75
カラー間の校正 5-16
カラー精度設定 6-23
カラーの違い 1-11

き

きず 6-24

機能の概要

インク サプライ ステーション 10-5
インク レベル センス 10-8
インク漏れ検知システム 10-9
エアー プレシャライゼーション システム 10-7
エレクトリカル システム 10-2
サービス ステーション 10-9
ソフト パワーオフ スイッチ 10-4
チューブ システム 10-6
電源ユニット 10-3
プリント ヘッド クリーナ 10-10
キャップ 10-11
キャリッジ アッセンブリ 8-46
キャリッジ ブッシングの騒音 9-2
キャリッジ接点クリーナ 3-18
キャリッジ高さの校正 5-24
給紙アッセンブリ 8-66

く

クラッチ アッセンブリ 8-21
クリーニング
一般 9-2
オーバードライブ 9-3
プリンタ 9-2

さ

サービス ステーション 8-8, 10-9
サービス テスト 1-3
EIO ネットワーク カード 4-12
インク プレッシュ システム 4-17
エレクトロニクス システム 4-5
スキャン軸 4-20
ドロップ検出 4-25
ハードディスク ドライブ 4-14
用紙軸 4-23
サービス ユーティリティ
EEROM ユーティリティ 4-41
アジア PS フォントの設定 4-36
オーバードライブのクリーニング 4-40
チューブ パージ 4-31
表示 4-29
プリンタ モデル タイプ 4-38
プリントヘッド チェック 4-44
モニタモード ボーレート選択 4-45
リリース情報 4-35
サービス校正 1-3
Calibration Backup
(校正のバックアップ) 5-19
カラー間の校正 5-16
キャリッジ高さの校正 5-24
サービス ステーション 5-11
精度校正 5-6
表示 5-4
ペンと用紙間 5-15
ペンの軸合わせ 5-22
ライン センサ 5-9
ローラー マーク位置 5-13
サービス構成プリント 1-20
サウンド 10-19

し

シールド ケーブル 10-19
時間の経過に伴うインクのにじみ 1-13
色相の変化 1-13
システム エラー コード 2-2
 0000D8 2-3
 010020 2-3
 010021 2-4
 010023 2-4
 01002D 2-3
 010040 2-5
 010041 2-5
 010042 2-6
 010050 2-6
 01009X 2-7
 02xxxx 2-7
 048xxx 2-8
 04Cxxx 2-8
 060301 2-9
 060305 2-9
 060309 2-10
 06030A 2-10
 06030B 2-11
 070100 2-11
 080001 2-12
 09xxxx 2-12
 0A0000 2-13
 0A0010 2-13
 0A0020 2-14
 0A0030 2-14
 0A0040 2-14
 0A0050 2-15
 0A0060 2-15
 0A0070 2-16
 0B0000 2-18
 0B0001 2-18
 0B0002 2-18
 0B0003 2-19
 0B0004 2-19
 0B0005 2-19
 0B0006 2-20
 0B0007 2-20
 0B0008 2-20
 0B0009 2-21

 0B000A 2-21
 0B000B 2-22
 0B000C 2-22
 0B000D 2-22
 0C0030 2-16
 0C0032 2-17
 0C1000 2-17
 0C1001 2-17
 使用継続可能 2-2
 使用継続不可能 2-2
出力結果へのひっかき傷 1-12
出力品質
 トラブル解決チェックリスト 6-2
 トラブルの解決 6-13
出力品質テスト 6-4

す

スキャン軸のサービス テスト 4-20
スキャン軸の保守 9-4
スキャン軸モーター 8-34
スナウト ワイパ 10-12
スピトウーン 10-11

せ

精度校正 5-6
センタ ガイド 8-73

そ

ソフト パワーオフ スイッチ 10-4

ち

チューブ システム 8-55, 10-6
チューブ パージ 4-31

て

テイル デフレクタ 8-24

電源ユニット 10-3

テンショナ 8-38

と

トップ カバー 8-32

ドライブ ローラー 8-72

トラブル

印刷した線 6-14

カバー センサ 1-6

カラー間の軸合わせ 6-15

カラーの軸合わせ 6-8

カラー精度 6-22

カラー濃度 6-22

吸引力 1-9

時間の経過に伴うカラーのにじみ

(光沢紙) 6-22

水平方向の線 6-17

段差のある線 6-13

バキューム ファン 1-9

用紙の取り扱い 1-15

ライン センサ 1-6

トラブルの解決

システム エラー コード 1-2

シャットダウン 1-7

取り付け

エアー プレシャライゼーション システム 8-20

エレクトロニクス モジュール 8-28

キャリッジアッセンブリ 8-53

トレーリング ケーブル 8-41

プラテンアッセンブリ 8-65

右側カバー 8-6

取り外し

インク サプライ ステーションアッセンブリ 8-19

インク漏れ検知アッセンブリ 8-62

ウィンドウ 8-31

ウィンドウ スイッチ 8-7

エアー プレシャライゼーション システム 8-20

エレクトロニクス モジュール 8-26

エンコーダ ストリップ 8-35

カッターアッセンブリ 8-44

キャリッジアッセンブリ 8-46

給紙アッセンブリ 8-66

クラッチアッセンブリ 8-21

サービスステーションアッセンブリ 8-8

スキャン軸モーターアッセンブリ 8-34

センタガイド 8-73

チューブシステムアッセンブリ 8-55

テイルデフレクタ 8-24

テンショナ 8-38

トップカバー 8-32

ドライブローラー 8-72

トレーリングケーブル 8-40

ドロップ検出アッセンブリ 8-10

バキュームファン 8-11

バックカバー 8-33

左側カバー 8-13

左側トリムアッセンブリ 8-18

左リアーカバー 8-25

ピンチホイールアッセンブリとカム 8-75

プラテンアッセンブリ 8-65

フロントプラテンアッセンブリ 8-64

フロントパネルアッセンブリ 8-6

ベルト 8-46

右側カバー 8-4

右側トリム 8-7

右リアーカバー 8-25

メディアセンサ 8-30

メディアホルダ ストリップ 8-71

用紙軸モーターアッセンブリ 8-12

リアープラテン 8-24

ローラーガイド 8-68

トレーリングケーブル 8-40

ドロップ検出 8-10

ドロップ検出のサービステスト 4-25

の

ノズルの印刷テスト 6-6

ノズルの不具合 6-7

は

ハードディスク ドライブのサービス
テスト 4-14
バキューム ファン 8-11
バック カバー 8-33

ひ

左側カバー 8-13
左側トリム 8-18
左リアー カバー 8-25
必要な工具 8-3
ピンチホイール アッセンブリ 8-75

ふ

プラテン アッセンブリ 8-65
プリンタ モデル タイプ 4-38
プリンタ使用レベル 9-3
プリンタの湿気 9-2
プリンタの電源が入らない 1-5
プリント ヘッド クリーナ 10-10
プリントヘッド 3-2
 情報を得る 3-9
プリントヘッド クリーナ 3-2
プリントヘッド チェック 4-44
プリントヘッドが認識されない 1-6
プリントヘッドのクラッシュ 1-7, 10-4
プリントヘッドのステータス メッセージ
 OK 3-12
 コウカンシテ クダサイ 3-12
 シヨウズミデス 3-15
 セットアップ 3-15
 セットシテ クダサイ 3-15
 ツケナオシテ クダサイ 3-16
 トリカエテ クダサイ 3-16
 フメイデス 3-16
 フリョウデス 3-14
 モデルガ チガイマス 3-16
 モニタ 3-15
プリントヘッドの汚れ 1-10
フロント プラテン アッセンブリ 8-64
フロントパネル 8-6, 10-4

フロントパネル ディスプレイ 3-7
フロントパネル メニュー 1-16

へ

ベルト 8-46
ベルトの膨張 9-2
ペンの軸合わせ 5-22

ほ

法定規格通知 10-19
ボーレート選択 4-45

み

右側カバー 8-4
右側トリム 8-7
右リアー カバー 8-25
ミミズのような跡 1-14

め

メディア センサ 8-30
メディア ホルダ ストリップ 8-71

よ

用紙 6-24
用紙軸のサービス テスト 4-23
用紙軸モーター 8-12
用紙詰まり 1-7
汚れ 6-24
予定保守 9-3
予防保守キット 9-4

ら

ライス ペーパ 1-14

り

リアー プラテン 8-24

リリース情報 4-35

ろ

ローラー ガイド 8-68

ローラー マーク位置の校正 5-13

わ

ワイパ 10-11

本版について

本書は『サービス マニュアル』の第1版です。

タイトル：

HP C6074A/C6075Aデザインジェット1050C/1055CM

サービス マニュアル

本サービス マニュアルの内容

本書には、テスト、校正、およびサービスに必要な情報が記載されています。

- HPデザインジェット1050C (モデル C6074A)
- HPデザインジェット1055CM (モデル C6075A)

上記のプリンタの使用方法に関する情報は、対応する『ユーザーズガイド』および『クイックレファレンスガイド』を参照してください。

本書に記載した手順は、HP認定のサービス員によってのみ実行されるものです。